

**平成27年度
市民意識調査結果報告書**

**平成 28 年 3 月
恵那市**

目 次

調査の概要	1
1. 調査の目的.....	1
2. 調査地域.....	1
3. 調査対象者.....	1
4. 調査方法と期間.....	1
5. 表記方法.....	1
1 回答者について.....	2
(1) 性別.....	2
(2) 年齢.....	2
(3) 居住地域.....	3
(4) 職業.....	4
(6) 居住形態.....	6
(7) 家族構成.....	7
(8) 同居家族.....	8
2 調査結果の要旨.....	9
(1) 施策の満足度・重要度について.....	9
(2) 個別施策について.....	9
3 施策の満足度・重要度について.....	14
(1) 全 57 施策の満足度(今回調査一覧).....	14
(2) 全 57 施策の重要度(今回調査一覧).....	16
4 分野別施策満足度の経年比較について.....	18
(1) 健康福祉分野.....	18
(2) 生活環境分野.....	19
(4) 産業振興分野.....	21
(5) 教育・文化分野.....	22
(6) 住民参画分野.....	23
5 分野別施策重要度の経年比較について.....	24
(1) 健康福祉分野.....	24
(2) 生活環境分野.....	25
(4) 産業振興分野.....	27
(5) 教育・文化分野.....	28
(6) 住民参画分野.....	29
6 求められるまちづくりの方向性について.....	30
(1) 満足度・不満度・重要度の上位 10 項目.....	30
(2) 年齢別の上位 10 項目.....	31
(3) 居住地別の上位 10 項目.....	37
(4) 全施策マトリックス図.....	50
(5) 分野別施策マトリックス図.....	52
(6) 年齢別施策マトリックス図.....	58

(7) 居住地別施策マトリックス図	64
(8) 個別施策の満足度・不満度・重要度.....	77
(9) 個別施策の満足度指数・重要度指数.....	83
7 個別の施策について	87
(1) 人口減少対策について	87
(2) 健康づくりについて	88
(3) 子育てについて	89
(4) 生活環境について	90
(5) 防災・消防について	91
(6) 公共交通について	93
(7) 産業振興について	94
(8) 教育について	95
(9) 市民参加や市民協働について	97
(11) 選挙での投票所の開所時間について.....	102
(12) 市議会活動について	103
(13) 個人番号カードの活用について	106
(14) 環境問題・環境対策について	107
(15) 男女共同参画について	112
8 その他の意見・自由回答について（恵那市のまちづくりについて）	124
(1) その他の意見について	124
(2) 自由回答について	137

調査の概要

1. 調査の目的

市民の皆さんから市の取組に対する評価をいただくとともに、これからのまちづくりに対する考えをお聞きし、今後の市政運営の基礎資料とするため、市民意識調査を実施しました。

2. 調査地域

恵那市全域

3. 調査対象者

平成 27 年 11 月 1 日時点における住民基本台帳から、満 20 歳以上の住民 2,000 人を無作為抽出しました。

4. 調査方法と期間

本調査は郵便による送・返信での質問紙調査法により、平成 27 年 12 月 9 日（水）から平成 27 年 12 月 28 日（金）までの期間で実施しました。

【アンケート回収状況】

	発送数 (A)	回収数 (B)	回収率 (B/A)	有効回答数 [※] (C)	有効回答率 (C/A)
今回調査	2,000 件	987 件	49.3%	987 件	49.3%
参考: 前回調査 (平成 26 年度)	2,500 件	1,451 件	58.0%	1,451 件	58.0%

※無効回答とする全ての設問に回答がないものは 0 件でした。

5. 表記方法

単数回答の集計にあたっては、原則として小数点以下第 2 位を四捨五入したうえで、割合の合計が 100.0%になるように調整しています。一方、複数回答(複数の選択肢から 2 つ以上の選択肢を選ぶ方式)の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が 100.0%を超える場合があります。

図表中の「n(number of case)」は、集計対象者総数(あるいは回答者限定条件に該当する人)を表しています。

各設問のクロス集計においては、上位 1 位は濃い網掛け、上位 2 位は薄い網掛けとしています。

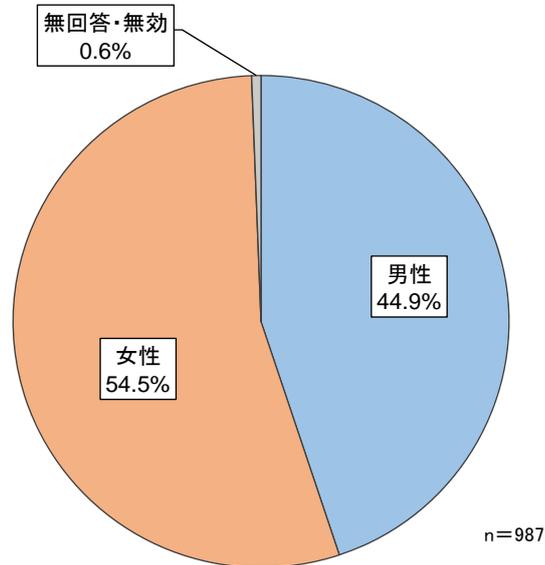
1 回答者について

(1) 性別

問1 あなたの性別は次のどちらですか。

(単数回答)

全体では「男性」が44.9%、「女性」が54.5%と、女性の回答者が半数以上を占めています。

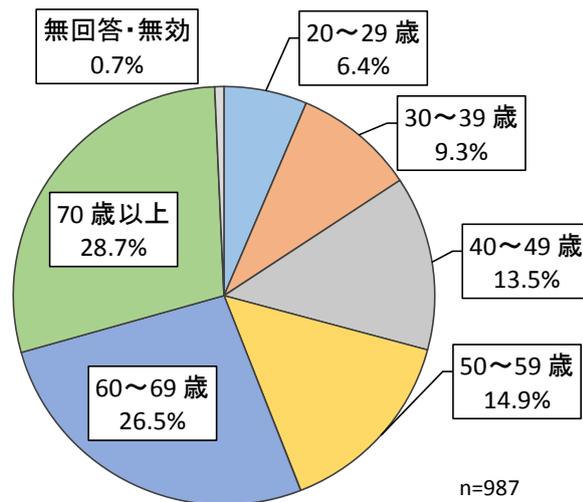


(2) 年齢

問2 あなたの年齢は、次のどの区分ですか。(12月1日現在)

(単数回答)

全体では「70歳以上」が28.7%と最も高く、次いで「60歳代」26.5%、「50歳代」が14.9%の順となっています。



(3) 居住地域

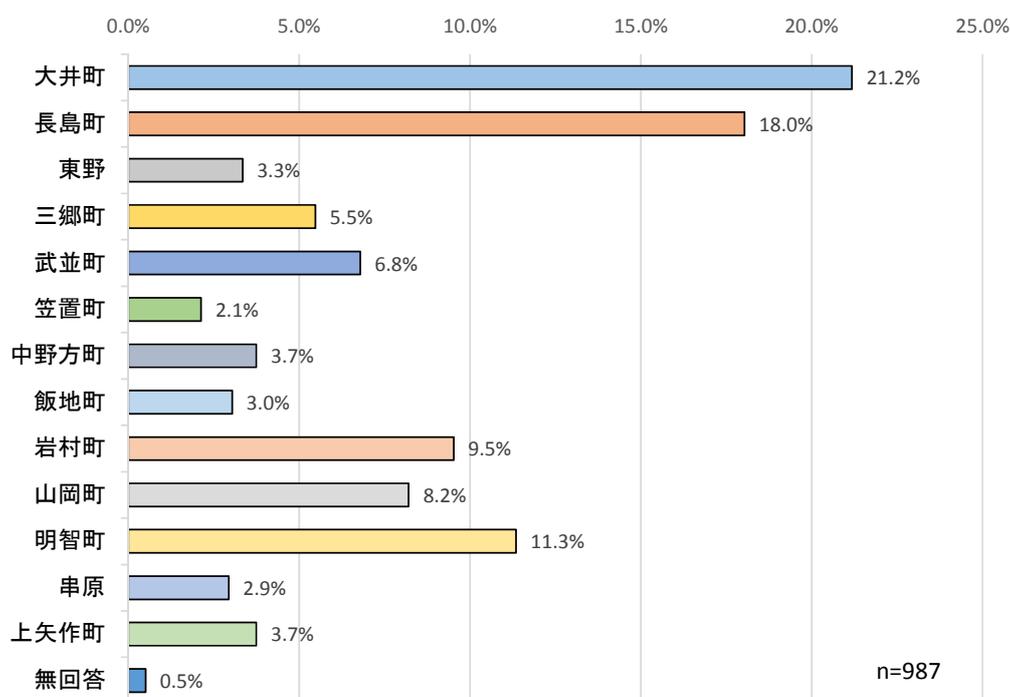
問3 あなたのお住まいは、次のどの地区ですか。

(単数回答)

全体では「大井町」が21.2%と最も高く、次いで「長島町」が18.0%、「明智町」11.3%の順となっています。

性別でみると、男女ともに「大井町」が最も高くなっています。

年齢別でみると、30歳代では「長島町」が26.1%で最も高く、それ以外の世代では「大井町」が最も高くなっています。



		大井町	長島町	東野	三郷町	武並町	笠置町	中野方町	飯地町	岩村町	山岡町	明智町	串原	上矢作町	無回答
全体 (n=987)		21.2%	18.0%	3.3%	5.5%	6.8%	2.1%	3.7%	3.0%	9.5%	8.2%	11.3%	2.9%	3.7%	0.5%
性別	男性 (n=443)	20.5%	17.8%	2.9%	5.4%	6.3%	1.6%	3.8%	3.2%	10.2%	8.8%	12.9%	3.2%	3.2%	0.2%
	女性 (n=538)	21.2%	18.4%	3.7%	5.6%	7.2%	2.6%	3.7%	3.0%	9.1%	7.8%	10.2%	2.8%	4.3%	0.4%
年齢別	20~29歳 (n=63)	28.6%	15.9%	3.2%	4.8%	6.3%	3.2%	4.8%	3.2%	9.5%	7.9%	7.9%	0.0%	4.8%	0.0%
	30~39歳 (n=92)	22.8%	26.1%	3.3%	4.3%	8.7%	1.1%	4.3%	1.1%	14.1%	4.3%	7.6%	2.2%	0.0%	0.0%
	40~49歳 (n=133)	27.1%	24.1%	4.5%	3.8%	6.0%	3.0%	2.3%	1.5%	9.0%	7.5%	7.5%	1.5%	2.3%	0.0%
	50~59歳 (n=147)	20.4%	16.3%	4.8%	7.5%	7.5%	0.7%	3.4%	3.4%	9.5%	7.5%	12.9%	2.0%	3.4%	0.7%
	60~69歳 (n=262)	18.3%	17.2%	2.3%	5.7%	5.7%	2.3%	5.0%	4.2%	9.5%	9.2%	12.6%	5.0%	3.1%	0.0%
	70歳以上 (n=283)	19.4%	15.2%	3.2%	5.7%	7.1%	2.5%	2.8%	3.2%	8.1%	9.5%	13.1%	3.2%	6.4%	0.7%

(4) 職業

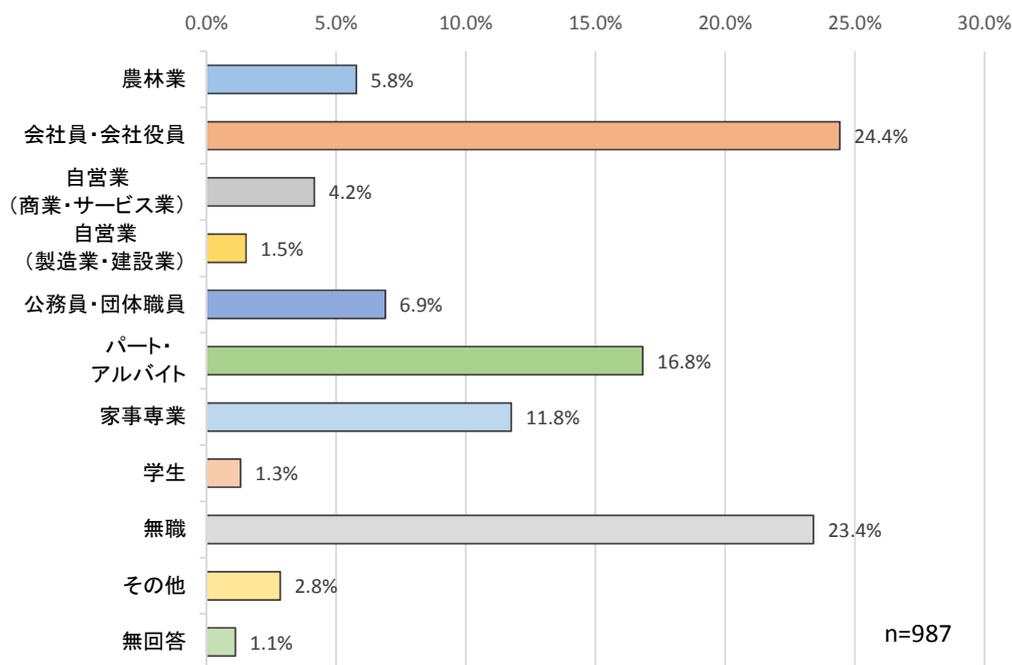
問4 あなたの職業は、次のうちどれですか。

(単数回答)

全体では「会社員・会社役員」が24.4%と最も高く、次いで「無職」が23.4%、「パート・アルバイト」が16.8%の順となっています。

性別でみると、男性では「会社員・会社役員」、女性では「パート・アルバイト」、年齢別でみると、20歳代から50歳代は「会社員・会社役員」、60歳代では「パート・アルバイト」、70歳代以上では「無職」の割合がそれぞれ最も高くなっています。

居住地別でみると、三郷町・笠置町では「家事専業」、串原では「農林業」、上矢作町では「公務員・団体職員」の割合が他の地区に比べ高くなっています。



	農林業	会社員・会社役員	自営業 (商業・サービス業)	自営業 (製造業・建設業)	公務員・団体職員	パート・アルバイト	家事専業	学生	無職	その他	無回答
全体 (n=987)	5.8%	24.4%	4.2%	1.5%	6.9%	16.8%	11.8%	1.3%	23.4%	2.8%	1.1%
性別											
男性 (n=443)	10.4%	36.1%	4.7%	2.5%	9.9%	7.9%	0.2%	1.4%	23.0%	3.2%	0.7%
女性 (n=538)	2.0%	15.1%	3.7%	0.7%	4.5%	24.3%	21.2%	1.3%	23.4%	2.6%	1.1%
年齢別											
20~29歳 (n=63)	1.6%	41.3%	0.0%	0.0%	20.6%	12.7%	1.6%	20.6%	0.0%	1.6%	0.0%
30~39歳 (n=92)	1.1%	44.6%	4.3%	1.1%	6.5%	21.7%	16.3%	0.0%	1.1%	3.3%	0.0%
40~49歳 (n=133)	0.8%	44.4%	3.0%	1.5%	16.5%	26.3%	2.3%	0.0%	2.3%	3.0%	0.0%
50~59歳 (n=147)	0.0%	39.5%	4.8%	1.4%	13.6%	21.8%	10.2%	0.0%	5.4%	3.4%	0.0%
60~69歳 (n=262)	6.5%	19.5%	3.8%	2.7%	1.9%	22.9%	16.4%	0.0%	22.5%	3.4%	0.4%
70歳以上 (n=283)	13.1%	1.8%	5.7%	1.1%	0.7%	3.5%	13.4%	0.0%	56.2%	2.1%	2.5%
居住地別											
大井町 (n=209)	0.5%	28.7%	3.3%	1.9%	6.2%	19.6%	10.5%	1.9%	23.0%	3.3%	1.0%
長島町 (n=178)	2.2%	24.7%	6.2%	1.7%	9.0%	18.5%	12.4%	1.1%	21.3%	2.8%	0.0%
東野 (n=33)	12.1%	27.3%	6.1%	0.0%	9.1%	18.2%	12.1%	0.0%	12.1%	3.0%	0.0%
三郷町 (n=54)	5.6%	18.5%	1.9%	0.0%	5.6%	18.5%	18.5%	1.9%	25.9%	0.0%	3.7%
武並町 (n=68)	6.0%	29.9%	6.0%	1.5%	1.5%	19.4%	7.5%	1.5%	25.4%	1.5%	0.0%
笠置町 (n=21)	14.3%	14.3%	4.8%	0.0%	4.8%	14.3%	19.0%	0.0%	23.8%	4.8%	0.0%
中野方町 (n=37)	5.4%	24.3%	0.0%	2.7%	2.7%	16.2%	13.5%	2.7%	21.6%	8.1%	2.7%
飯地町 (n=30)	10.0%	26.7%	3.3%	3.3%	3.3%	10.0%	16.7%	0.0%	20.0%	3.3%	3.3%
岩村町 (n=94)	11.7%	21.3%	4.3%	2.1%	8.5%	11.7%	11.7%	2.1%	20.2%	4.3%	2.1%
山岡町 (n=81)	9.9%	23.5%	1.2%	0.0%	7.4%	13.6%	12.3%	0.0%	29.6%	2.5%	0.0%
明智町 (n=112)	4.5%	27.7%	5.4%	0.0%	6.3%	16.1%	10.7%	0.9%	27.7%	0.9%	0.0%
串原 (n=29)	17.2%	10.3%	3.4%	10.3%	10.3%	24.1%	6.9%	0.0%	17.2%	0.0%	0.0%
上矢作町 (n=37)	10.8%	10.8%	5.4%	0.0%	13.5%	10.8%	8.1%	2.7%	29.7%	5.4%	2.7%

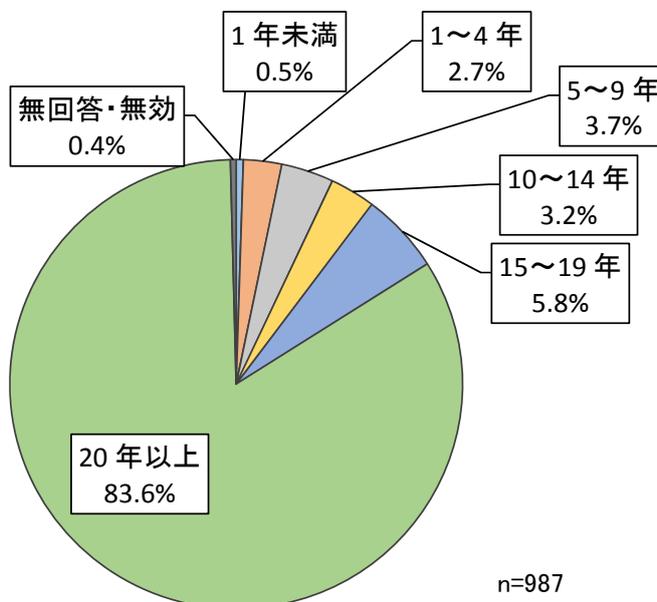
(5) 居住年数

問5 あなたの恵那市での居住年数（通算）は、次のうちどれですか。

（単数回答）

全体では「20年以上」の居住年数が83.6%と8割以上を占めており、次いで「15～19年」が5.8%、「5～9年」が3.7%の順となっています。

年齢別で見ると、30歳代は「1～4年」「5～9年」「10～14年」、40歳代は「5～9年」「10～14年」の割合がそれぞれほかの年代に比べ高くなっています。



		1年未満	1～4年	5～9年	10～14年	15～19年	20年以上	無回答
全体 (n=987)		0.5%	2.7%	3.7%	3.2%	5.8%	83.6%	0.4%
性別	男性 (n=443)	0.2%	3.4%	3.2%	2.5%	5.2%	85.1%	0.5%
	女性 (n=538)	0.7%	2.2%	4.3%	3.9%	6.1%	82.7%	0.0%
年齢別	20～29歳 (n=63)	0.0%	4.8%	4.8%	1.6%	14.3%	74.6%	0.0%
	30～39歳 (n=92)	2.2%	12.0%	16.3%	14.1%	2.2%	53.3%	0.0%
	40～49歳 (n=133)	0.0%	3.8%	9.0%	9.0%	9.0%	68.4%	0.8%
	50～59歳 (n=147)	0.7%	2.0%	1.4%	1.4%	11.6%	83.0%	0.0%
	60～69歳 (n=262)	0.4%	1.1%	0.4%	0.8%	2.7%	94.7%	0.0%
	70歳以上 (n=283)	0.4%	0.7%	1.4%	0.4%	3.5%	93.3%	0.4%
居住地別	大井町 (n=209)	0.0%	5.3%	4.3%	4.8%	5.7%	79.9%	0.0%
	長島町 (n=178)	1.1%	3.9%	6.2%	2.8%	7.3%	78.7%	0.0%
	東野 (n=33)	0.0%	0.0%	6.1%	6.1%	6.1%	81.8%	0.0%
	三郷町 (n=54)	0.0%	1.9%	1.9%	1.9%	5.6%	87.0%	1.9%
	武並町 (n=68)	0.0%	3.0%	0.0%	3.0%	7.5%	86.6%	0.0%
	笠置町 (n=21)	0.0%	4.8%	0.0%	4.8%	0.0%	90.5%	0.0%
	中野方町 (n=37)	0.0%	0.0%	5.4%	2.7%	2.7%	89.2%	0.0%
	飯地町 (n=30)	0.0%	3.3%	0.0%	3.3%	6.7%	86.7%	0.0%
	岩村町 (n=94)	1.1%	2.1%	7.4%	6.4%	6.4%	76.6%	0.0%
	山岡町 (n=81)	1.2%	0.0%	2.5%	2.5%	2.5%	90.1%	1.2%
	明智町 (n=112)	0.0%	0.0%	1.8%	0.0%	7.1%	91.1%	0.0%
	串原 (n=29)	3.4%	6.9%	0.0%	0.0%	6.9%	82.8%	0.0%
	上矢作町 (n=37)	0.0%	0.0%	2.7%	2.7%	2.7%	91.9%	0.0%

(6) 居住形態

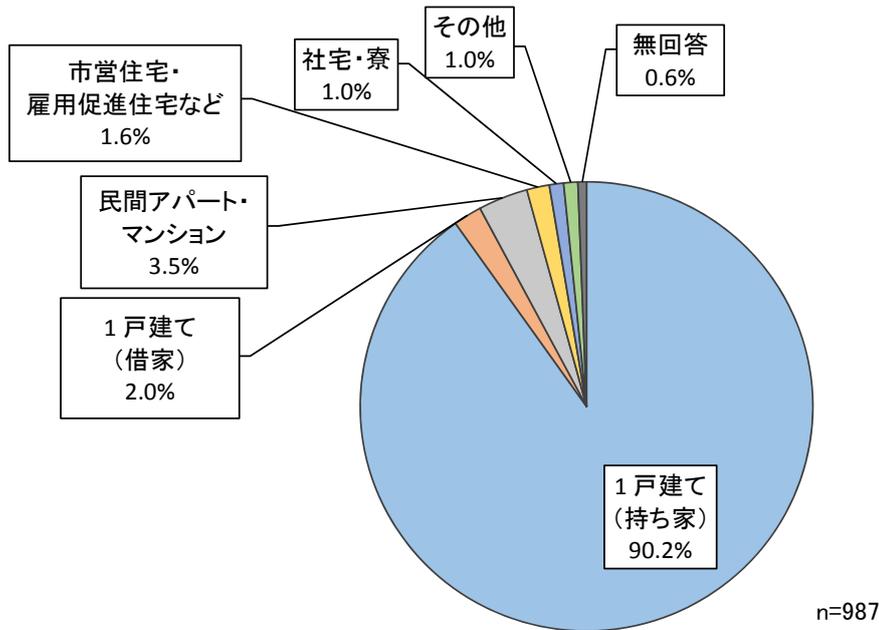
問6 あなたのお住まいの形態は、次のうちどれですか。

(単数回答)

全体では「1戸建て(持ち家)」に住む方が90.2%と9割を占めており、次いで「民間アパート・マンション」が3.5%、「1戸建て(借家)」が2.0%となっています。

年齢別でみると、50歳代は「市営住宅・雇用促進住宅など」の割合が他の年代に比べ高くなっています。

居住地別でみると、笠置町・中野方町は「1戸建て(持ち家)」が100.0%となっており、岩村町・上矢作町は「社宅・寮」の割合が他の地区に比べ高くなっています。



	1戸建て(持ち家)	1戸建て(借家)	民間アパート・マンション	市営住宅・雇用促進住宅など	社宅・寮	その他	無回答
全体 (n=987)	90.2%	2.0%	3.5%	1.6%	1.0%	1.0%	0.6%
性別							
男性 (n=443)	90.3%	1.6%	3.8%	1.6%	1.4%	0.9%	0.5%
女性 (n=538)	90.3%	2.4%	3.3%	1.7%	0.7%	1.1%	0.4%
年齢別							
20~29歳 (n=63)	85.7%	0.0%	9.5%	3.2%	1.6%	0.0%	0.0%
30~39歳 (n=92)	80.4%	1.1%	9.8%	3.3%	4.3%	1.1%	0.0%
40~49歳 (n=133)	79.7%	3.8%	11.3%	0.8%	1.5%	2.3%	0.8%
50~59歳 (n=147)	91.8%	0.0%	2.0%	3.4%	1.4%	1.4%	0.0%
60~69歳 (n=262)	95.0%	3.1%	0.4%	0.8%	0.4%	0.0%	0.4%
70歳以上 (n=283)	94.3%	2.1%	0.4%	1.1%	0.0%	1.4%	0.7%
居住地別							
大井町 (n=209)	80.4%	2.4%	11.0%	2.4%	1.9%	1.9%	0.0%
長島町 (n=178)	86.5%	3.4%	5.6%	2.8%	0.6%	1.1%	0.0%
東野 (n=33)	97.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.0%	0.0%
三郷町 (n=54)	98.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.9%
武並町 (n=68)	94.0%	3.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.0%	0.0%
笠置町 (n=21)	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
中野方町 (n=37)	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
飯地町 (n=30)	96.7%	3.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
岩村町 (n=94)	89.4%	3.2%	2.1%	1.1%	3.2%	0.0%	1.1%
山岡町 (n=81)	96.3%	2.5%	0.0%	1.2%	0.0%	0.0%	0.0%
明智町 (n=112)	95.5%	0.0%	0.0%	2.7%	0.9%	0.0%	0.9%
串原 (n=29)	96.6%	3.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
上矢作町 (n=37)	89.2%	0.0%	0.0%	2.7%	2.7%	2.7%	2.7%

(7) 家族構成

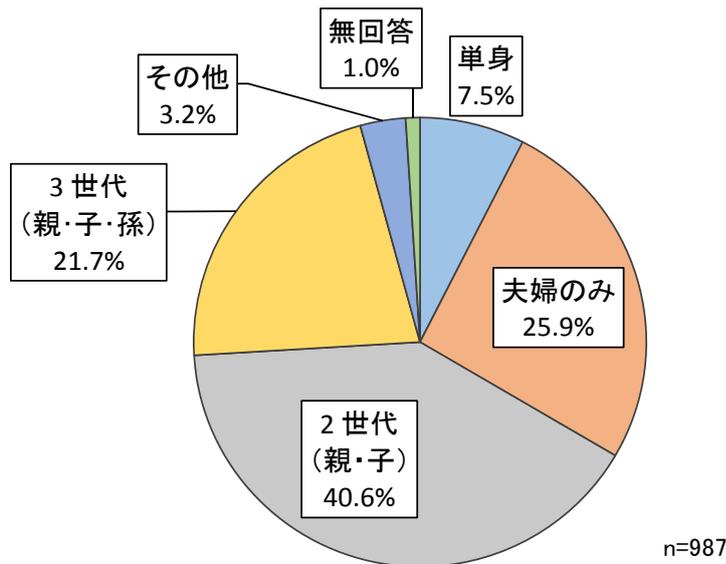
問7 あなたの同居している家族構成は、次のうちどれですか。

(単数回答)

全体では「2世代(親・子)」が40.6%と最も高く、次いで「夫婦のみ」が25.9%、「3世代(親・子・孫)」が21.7%の順となっています。

年齢別で見ると、60歳以上で「夫婦のみ」の割合が他の年代に比べ高くなっています。

居住地別で見ると、山岡町では「3世代(親・子・孫)」が37.0%、三郷町では「夫婦のみ」が33.3%と高い中、その他の地域では「2世代(親・子)」が高い傾向にあります。



	単身	夫婦のみ	2世代 (親・子)	3世代 (親・子・孫)	その他	無回答
全体 (n=987)	7.5%	25.9%	40.6%	21.7%	3.2%	1.0%
性別						
男性 (n=443)	7.7%	26.4%	41.5%	19.9%	4.3%	0.2%
女性 (n=538)	7.4%	25.5%	40.0%	23.4%	2.4%	1.3%
年齢別						
20~29歳 (n=63)	7.9%	1.6%	42.9%	44.4%	3.2%	0.0%
30~39歳 (n=92)	4.3%	6.5%	67.4%	17.4%	3.3%	1.1%
40~49歳 (n=133)	7.5%	9.0%	57.1%	21.8%	4.5%	0.0%
50~59歳 (n=147)	4.8%	15.0%	51.0%	24.5%	4.8%	0.0%
60~69歳 (n=262)	7.3%	35.1%	37.8%	18.3%	1.5%	0.0%
70歳以上 (n=283)	10.2%	42.8%	20.8%	20.1%	3.5%	2.5%
居住地別						
大井町 (n=209)	11.0%	28.7%	43.1%	13.4%	2.9%	1.0%
長島町 (n=178)	5.1%	25.8%	46.6%	18.0%	4.5%	0.0%
東野 (n=33)	3.0%	18.2%	57.6%	18.2%	3.0%	0.0%
三郷町 (n=54)	5.6%	33.3%	29.6%	25.9%	3.7%	1.9%
武並町 (n=68)	7.5%	16.4%	46.3%	23.9%	4.5%	1.5%
笠置町 (n=21)	9.5%	28.6%	33.3%	28.6%	0.0%	0.0%
中野方町 (n=37)	8.1%	13.5%	43.2%	29.7%	5.4%	0.0%
飯地町 (n=30)	13.3%	23.3%	43.3%	16.7%	0.0%	3.3%
岩村町 (n=94)	8.5%	27.7%	41.5%	20.2%	2.1%	0.0%
山岡町 (n=81)	4.9%	29.6%	25.9%	37.0%	2.5%	0.0%
明智町 (n=112)	2.7%	25.9%	39.3%	25.9%	5.4%	0.9%
串原 (n=29)	10.3%	31.0%	31.0%	27.6%	0.0%	0.0%
上矢作町 (n=37)	16.2%	24.3%	32.4%	27.0%	0.0%	0.0%

(8) 同居家族

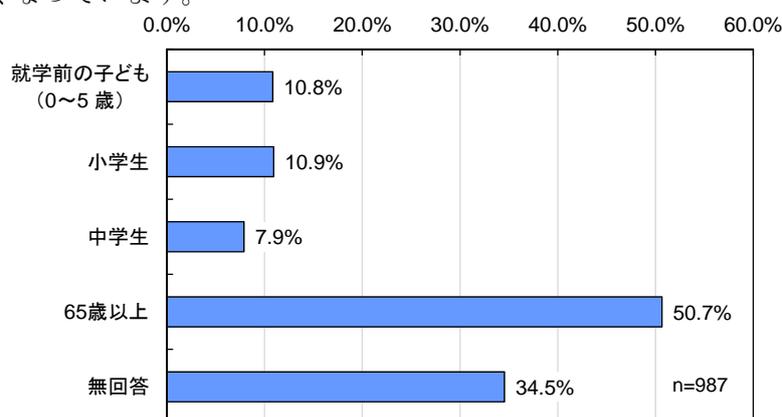
問 8 あなたの同居家族に次の方はいますか。

(複数回答：該当するものすべて)

全体では「65歳以上」が50.7%と最も高く、次いで「小学生」が10.9%、「就学前の子ども(0～5歳)」が10.8%の順となっています。

年齢別でみると、30歳代で「就学前の子ども(0～5歳)」、40歳代では「中学生」の割合が、他の年代に比べ高くなっています。

居住地別でみると、山岡町・串原・上矢作町で「65歳以上」の割合が50%以上であり、他の地区に比べ高くなっています。



		就学前の子ども (0～5歳)	小学生	中学生	65歳以上	無回答
全体 (n=987)		10.8%	10.9%	7.9%	50.7%	34.5%
性別	男性 (n=443)	8.8%	10.4%	9.3%	53.0%	34.3%
	女性 (n=538)	12.6%	11.5%	7.6%	52.6%	34.8%
年齢別	20～29歳 (n=63)	7.9%	1.6%	3.2%	50.8%	39.7%
	30～39歳 (n=92)	46.7%	30.4%	7.6%	35.9%	14.1%
	40～49歳 (n=133)	15.0%	31.6%	24.1%	39.8%	24.8%
	50～59歳 (n=147)	5.4%	4.1%	4.8%	55.1%	38.1%
	60～69歳 (n=262)	8.0%	6.5%	6.1%	57.6%	35.1%
	70歳以上 (n=283)	3.5%	4.9%	4.9%	51.9%	41.7%
居住地別	大井町 (n=209)	9.6%	12.9%	6.7%	42.6%	40.2%
	長島町 (n=178)	15.2%	9.6%	7.3%	50.6%	32.6%
	東野 (n=33)	15.2%	15.2%	9.1%	48.5%	27.3%
	三郷町 (n=54)	7.4%	14.8%	7.4%	53.7%	38.9%
	武並町 (n=68)	17.6%	7.4%	13.2%	36.8%	41.2%
	笠置町 (n=21)	9.5%	9.5%	9.5%	42.9%	33.3%
	中野方町 (n=37)	16.2%	10.8%	8.1%	62.2%	29.7%
	飯地町 (n=30)	10.0%	13.3%	13.3%	56.7%	33.3%
	岩村町 (n=94)	6.4%	9.6%	8.5%	47.9%	37.2%
	山岡町 (n=81)	9.9%	8.6%	8.6%	63.0%	27.2%
	明智町 (n=112)	11.6%	13.4%	6.3%	57.1%	27.7%
	串原 (n=29)	0.0%	13.8%	6.9%	72.4%	24.1%
	上矢作町 (n=37)	2.7%	2.7%	5.4%	54.1%	37.8%

2 調査結果の要旨

市民意識調査結果の要旨を以下に整理します。

(1) 施策の満足度・重要度について

総合計画の各施策に対する満足度や重要度を57項目で調査した結果を以下のように整理しました。

満足度の最も高い施策は、「ごみ収集と処理サービス」

満足度（「満足」と「やや満足」の合算）の高い施策は、「ごみ収集と処理サービス」「上水道簡易水道の整備」「健康診断・相談、保健予防」などとなっています。

不満度の最も高い施策は、「商店街のにぎわい」

不満度（「やや不満」と「不満」の合算）の高い施策は、「商店街のにぎわい」「魅力ある働く場の確保」「バスの便利さ」などとなっています。

重要度の最も高い施策は、「医療機関（病院・診療所）」

重要度（「高い」と「やや高い」の合算）の高い施策は、「医療機関（病院・診療所）」「緊急医療体制（夜間・休日・救急）」「健康診断・相談、保健予防」などとなっています。

医療、防災、環境、公共交通、生活、雇用、行政改革などが今後の重点課題

満足度と重要度を指数化し評価したところ、『重点課題』に該当したのは、健康福祉分野の「緊急医療体制（夜間・休日・救急）」「医療機関（病院・診療所）」、生活環境分野の「地震・災害に対する安心感」「自然エネルギーなどの地球温暖化対策」、都市・交流基盤分野の「幹線道路（国道・県道など）の整備」「身近な市道・生活道路の整備、維持管理」「段差や道幅など歩道の安全性」、産業振興分野の「買い物の便利さ」「魅力ある職場の確保」、住民参画分野の「健全な財政運営」「行政改革の推進」の11項目です。これらのうち、健康福祉分野の「医療機関（病院・診療所）」及び産業振興分野の「買い物の便利さ」を除き、全て前回調査時の『重点課題』10項目にあった施策であり、満足度の向上につながるよう、今後も重点的な取り組みの推進が求められています。

(2) 個別施策について

今回の調査では、「人口減少対策」「健康づくり」「子育て」「生活環境」「防災・消防」「公共交通」「産業振興」「学校教育」「生涯学習」「市民参加・市民協働」「行財政運営」「投票所の開所時間」「市議会の活動」「個人番号カードの活用」「環境問題・環境対策」「男女共同参画社会」の16項目について調査した結果を以下のように整理しました。

▶ 人口減少対策について

「少子化対策」が6割強、「雇用対策」が7割弱

人口減少対策として、「雇用対策（雇用の確保、起業・就職支援、産業の活性化）」が67.9%と最も高く、次いで「少子化対策（結婚・子育て支援）」が62.7%と高くなっています。

▶ 健康づくり

健康づくりを充実するために必要なことは、「健康診断の充実」「医療施設や救急診療、休日・夜間診療体制の充実」が4割弱

「健康診断の充実」が38.6%と最も高く、次いで「医療施設や救急診断、休日・夜間診療体制の充実」が36.9%、「手軽にスポーツに親しむことができる環境づくり」が34.1%の順となっています。

➤ 子育て

安心して子どもを生み育てるために必要なことは、「保育サービスの充実（乳児保育、延長保育、一時保育など）」が6割弱

「保育サービスの充実（乳児保育、延長保育、一時保育など）」が58.6%と最も高く、次いで「産科・小児科医療の充実」が51.7%、「子育て家庭への経済支援」が26.0%、「子どもが安心・安全に遊べる場所の整備」が24.1%の順となっています。

➤ 生活環境

市の生活環境を快適なものとするために必要なことは、「安心・安全な居住環境の整備と定住促進」が4割強

「安心・安全な居住環境の整備と定住促進」が43.1%と最も高く、次いで「生活道路や歩道の整備」が37.5%、「自然環境の保全（山林や里山の整備）」が31.8%の順となっています。

➤ 防災・消防

災害に対する不安内容は、「建物・家屋の倒壊」が5割弱

「建物・家屋の倒壊」が47.9%と最も高く、次いで「地滑り・がけ崩れの発生」が35.8%、「大雨による浸水被害」が18.4%、「災害に対する地域の取組が希薄」が17.1%の順となっています。

火災や救急に対する不安内容は、「搬送先の病院が、希望に添えるか心配」が3割弱

「搬送先の病院が、希望に添えるか心配」が28.1%と最も高く、「応急手当に自信がない」が24.2%、「道が狭いなど、緊急車両の到着が不安」が22.7%、「初期消火に自信がない」が21.1%の順となっています。

➤ 公共交通

充実してほしい公共交通サービスは、「市が運営する自主運行バスの利便性の向上」が4割強

「市が運営する自主運行バスの利便性の向上」が44.3%と最も高く、次いで「乗合タクシー、有償ボランティア輸送など、新たな交通手段の導入」が36.5%、「JR・民間バスの利便性の向上」が36.4%の順となっています。

➤ 産業振興

「活力あるまち」にするために必要なことは、「地産地商（消）や観光との連携などによる、農林業の活性化」が3割強

「地産地商（消）や観光との連携などによる、農林業の活性化」が34.0%と最も高く、次いで「企業団地を整備し、企業や工場などの誘致」が32.7%、「商店街のまち並み整備や、空き店舗対策」が29.3%の順となっています。

➤ 学校教育

小中学校教育を充実するために、力を入れるべきことは、「子どもの道徳心やしつけの向上」が4割強

「子どもの道徳心やしつけの向上」が40.4%と最も高く、次いで「教職員の資質・指導力の向上」が33.2%、「いじめや不登校への対応」が26.4%、「家庭教育と学校教育の連携」が20.1%の順となっています。

➤ 生涯学習

生涯学習を通じた学習を充実させるために特に力を入れるべきことは、「生涯学習講座の充実」が4割弱

「生涯学習講座の充実」が36.4%と最も高く、次いで「生涯学習体制の充実（指導者の育成）」が31.1%、「体験学習の充実（社会体験など）」が29.8%の順となっています。

➤ 市民参加・市民協働

市民と行政の協働による地域づくりの進捗状況は、「どちらともいえない」が5割弱

「どちらともいえない」が45.5%と最も高く、次いで「どちらかと言えば、進んでいないと思う」が16.8%、「どちらかと言えば、進んでいると思う」が14.5%の順となっています。

過去1年間に地域のまちづくり活動やボランティア活動への参加は、「参加した」が7割弱

「参加した」が68.9%と最も高く、次いで「参加していない」が29.3%の順となっています。

市政情報の取得手段は、「市の発行する広報誌」が9割弱

「市の発行する広報誌」が86.6%と最も高く、次いで「自治会の回覧」が54.5%、「告知放送」が31.6%、「新聞、雑誌」が23.3%の順となっています。

市民の意見を市政に反映するために必要なことは、「アンケートや意見箱など、多数の意見を聞く機会を増やす」が3割弱

「アンケートや意見箱など、多数の意見を聞く機会を増やす」が29.8%と最も高く、「計画づくりなどで市民参画の機会を充実する」が27.2%、「市が行う会議の内容を、知ることができる機会を充実する」が25.8%、「市長や議員が、多くの市民と対話集会する機会を充実する」が25.4%の順となっています。

➤ 行財政運営

効率的な行財政運営のために今後さらに進めなければならないことは、「行政組織の簡素化・合理化」が3割強

「行政組織の簡素化・合理化」が31.3%と最も高く、「職員の意識改革」が29.9%、「内部経費（給与・事務費など）の適正化・削減」が23.7%の順となっています。

➤ 投票所の開所時間

各選挙における、投票日当日の投票所の開所時間を早めることは、「今までどおりで良い」が4割強

「今までどおりで良い」が45.0%と最も高く、次いで「閉鎖時間を、1時間早めても良い」が20.6%、「特に意見は無い」が15.7%、「閉鎖時間を、2時間早めても良い」が13.8%の順となっています。

➤ 市議会の活動

市議会活動情報の取得手段は、「広報誌『えな議会だより』」が7割強

「広報誌『えな議会だより』」が72.6%と最も高く、次いで「各議員が発行する議員だより等」が27.1%、「特に情報は得ていない」が22.8%、「新聞記事」が12.0%の順となっています。

市議会中継のインターネット配信の周知度は、「知らない」が6割弱

「知らない」が56.2%と最も高く、「知っているが、見たことはない」が28.2%、「見たことがある」が11.3%の順となっています。

市議会・議員の活動への期待は、「行政とのパイプ役」は3割強

「行政とのパイプ役」が32.5%と最も高く、「議会報告等、市民への説明責任」が32.0%、「地域での相談、調整役」が30.0%、「行政のチェック機能」が27.2%の順となっています。

➤ 個人番号カードの活用

「個人番号カード」を活用して、利用したい行政サービスは、「利用したいサービスは無い」が3割強

「利用したいサービスは無い」が33.0%と最も高く、「全国のコンビニエンスストアでの、各種証明書（住民票・戸籍・印鑑証明・税証明書）の交付」が26.1%、「わからない」が24.3%の順となっています。

➤ 環境問題・環境対策

環境問題に特に関心を持っていることは、「地球温暖化」が5割弱

「地球温暖化」が49.2%と最も高く、「森林・河川・農地などの荒廃」が38.0%、「新エネルギー（太陽光発電、バイオマスエネルギーなど）」が24.0%、「廃棄物の不法投棄」が23.3%の順となっています。

環境を守るために、普段行っていることは、「マイバッグを持参したり、過剰包装を断る」が6割強

「マイバッグを持参したり、過剰包装を断る」が63.5%と最も高く、次いで「節電行動（電化製品の主電源切ったり、テレビの視聴を控える等）」が47.5%、「省エネ家電やLED電球への交換」が40.0%の順となっています。

ごみを減らすために、特に必要なことは、「日常生活でごみを減量する（レジ袋をもらわないなど）」が6割弱

「日常生活でごみを減量する（レジ袋をもらわないなど）」が59.1%と最も高く、「長持ちする製品を購入し、壊れても修理して使う」31.0%、「行政が、資源回収しやすい取組を進める」29.3%、「事業者が、生産から廃棄まで責任を持ち、資源ごみの回収などを行う」26.8%の順となっています。

水の環境を守るために、行政が行うべきことは、「工場等の排水への規制・監視の強化」が5割弱

「工場等の排水への規制・監視の強化」が49.0%と最も高く、次いで「森林や里山、農地の保全」が46.0%、「下水道、浄化槽などの整備」40.3%、「家庭での生活排水対策の普及・啓発」24.5%の順となっています。

環境教育を進めるために、行政が行うべきことは、「学校での環境教育の充実」が3割弱

「学校での環境教育の充実」が25.0%と最も高く、次いで「環境教育の後方・PR活動」が16.5%、「わからない」が14.4%の順となっています。

➤ 男女共同参画社会

男女共同参画に周知度は、「言葉は聞いたことがあるが、内容はよく知らない」が5割弱

「言葉は聞いたことがあるが、内容はよく知らない」が48.7%と最も高く、次いで「言葉聞いたことがない」が22.5%、「言葉を聞いたことがあり、内容も知っている」が25.0%の順となっています。

「男は仕事、女は家庭」という考え方については、「男女とも仕事をし、家事・育児・介護の役割も分かち合うのがよい」が8割強

「男女ともに仕事をし、家事・育児・介護の役割を分かち合うのがよい」が82.0%と最も高く、「『男は仕事、女は家庭』がよい」が6.8%、「男女とも仕事をするが、家事・育児・介護は女性の役割である」が3.3%の順となっています。

①～⑧の場面による男女の優遇差については、②職場での待遇、⑥社会通念・習慣・しきたり、⑦政治の場、⑧社会全体としては、男性が優遇されているが6割超

②職場での待遇、⑥社会通念・習慣・しきたり、⑦政治の場、⑧社会全体としてでは、「男性が、非常に優遇されている」と「男性が、やや優遇されている」を合わせた男性の方が優遇されているが60%から69%と高くなっています。次いで、①家庭生活、③地域活動の場、⑤法律や制度上では、男性の方が優遇されているが36%から46%となっています。④学校教育の場では「平等である」が52.6%と高く、男性の方が優遇されているは12.7%と低くなっています。③地域活動の場と⑤法律や制度上でも「平等である」が30%以上となっています。「女性が、非常に優遇されている」と「女性が、やや優遇されている」を合わせた女性の方が優遇されているは、①家庭生活において12.5%とほかの項目に比べ高くなっています。

ワーク・ライフ・バランス（生活と仕事の調和）についての周知度は、「言葉は聞いたことがあるが、意味は知らない」が4割弱

「言葉は聞いたことがあるが、意味は知らない」が36.7%と最も高く、次いで「言葉を聞いたことがない」が33.3%、「意味を知っていて、実践している」が12.9%、「意味を知っているが、実践できていない」が7.6%の順となっています。

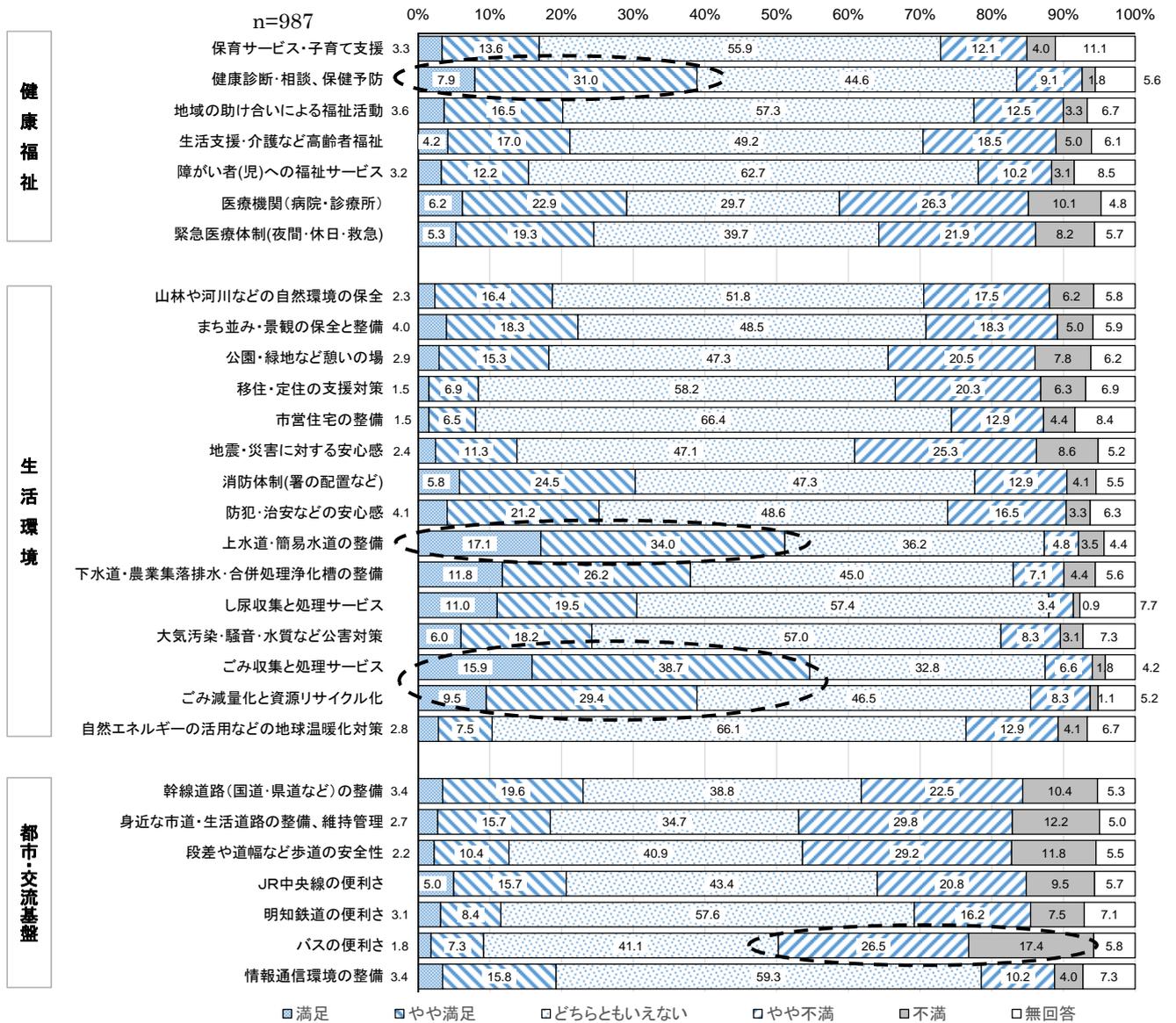
3 施策の満足度・重要度について

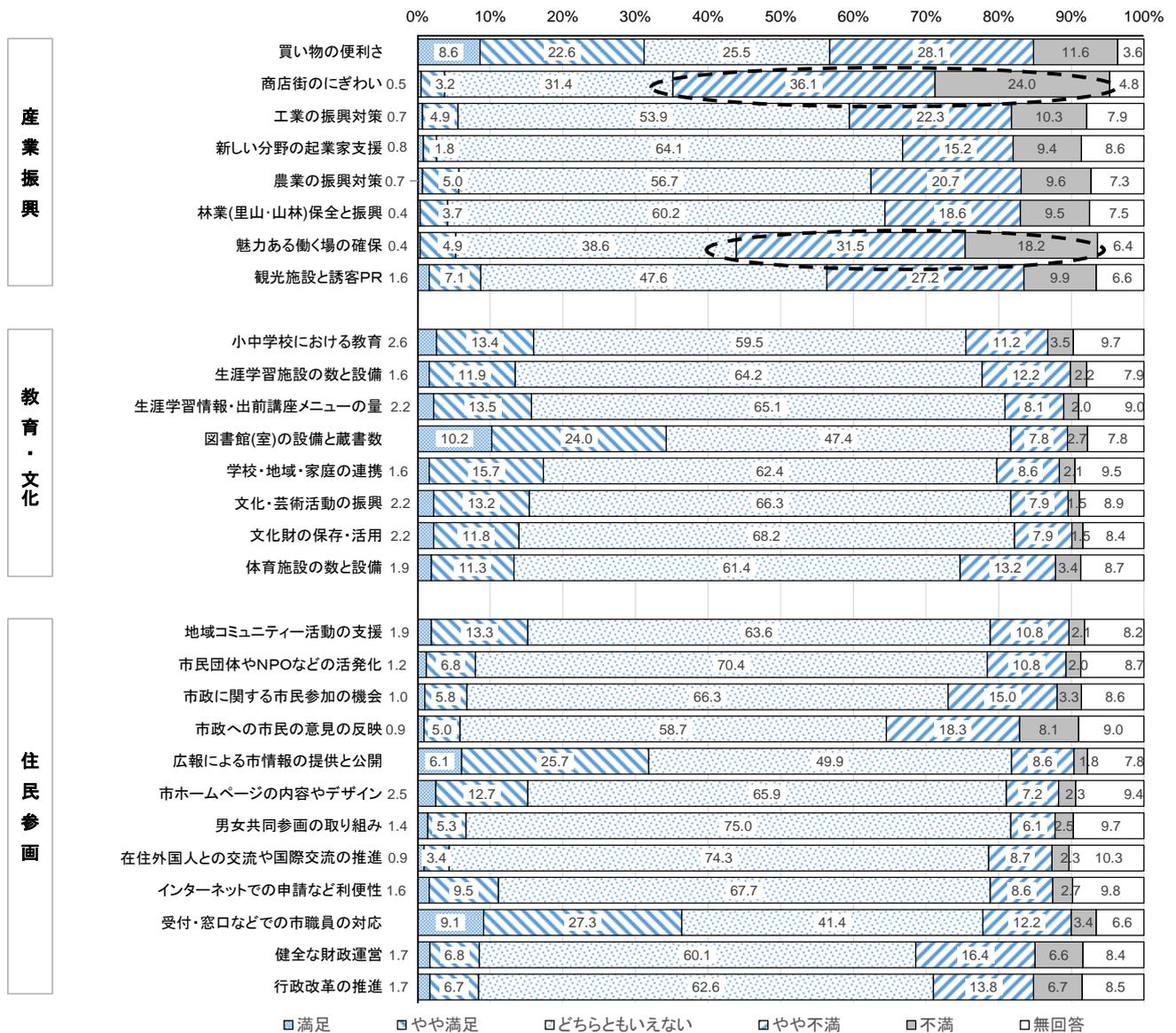
(1) 全 57 施策の満足度(今回調査一覧)

問9 「1」～「57」のすべての項目について(1)『満足度』の1～5の中から1つに○印、(2)『重要度』の1～5の中から1つに○印を付けてください。(単数回答)

満足度(「満足」と「やや満足」の合算)の高い施策は、「ごみ収集と処理サービス」が54.6%と最も高い割合となっており、次いで「上水道・簡易水道の整備」が51.2%、「健康診断・相談、保健予防」及び「ごみ減量化と資源リサイクル化」が38.9%の順となっています。

一方、不満足(「不満」と「やや不満」の合算)の高い施策は、「商店街のにぎわい」が60.1%と最も高い割合となっており、次いで「魅力ある働く場の確保」が49.7%、「バスの便利さ」が44.0%の順となっています。

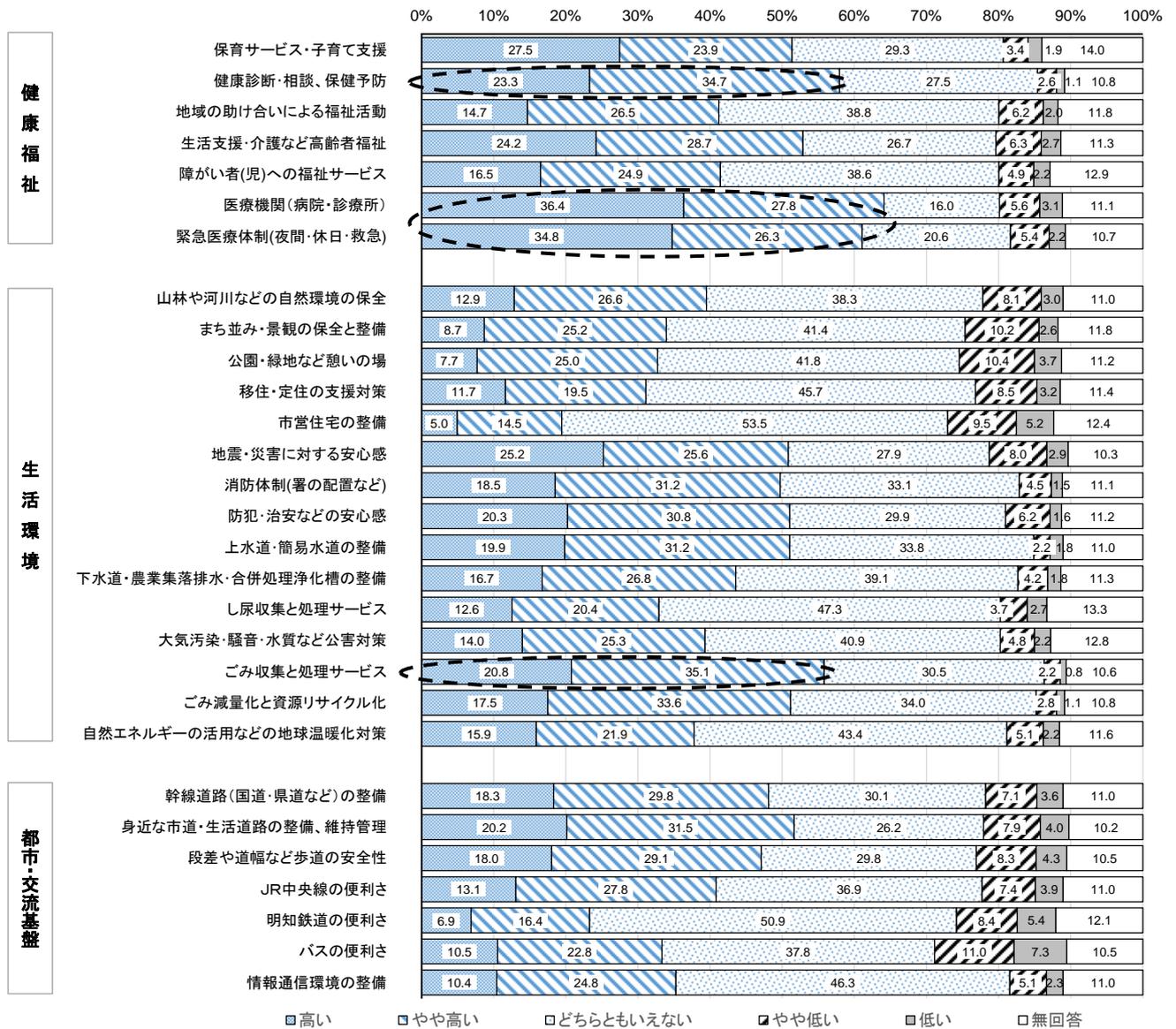


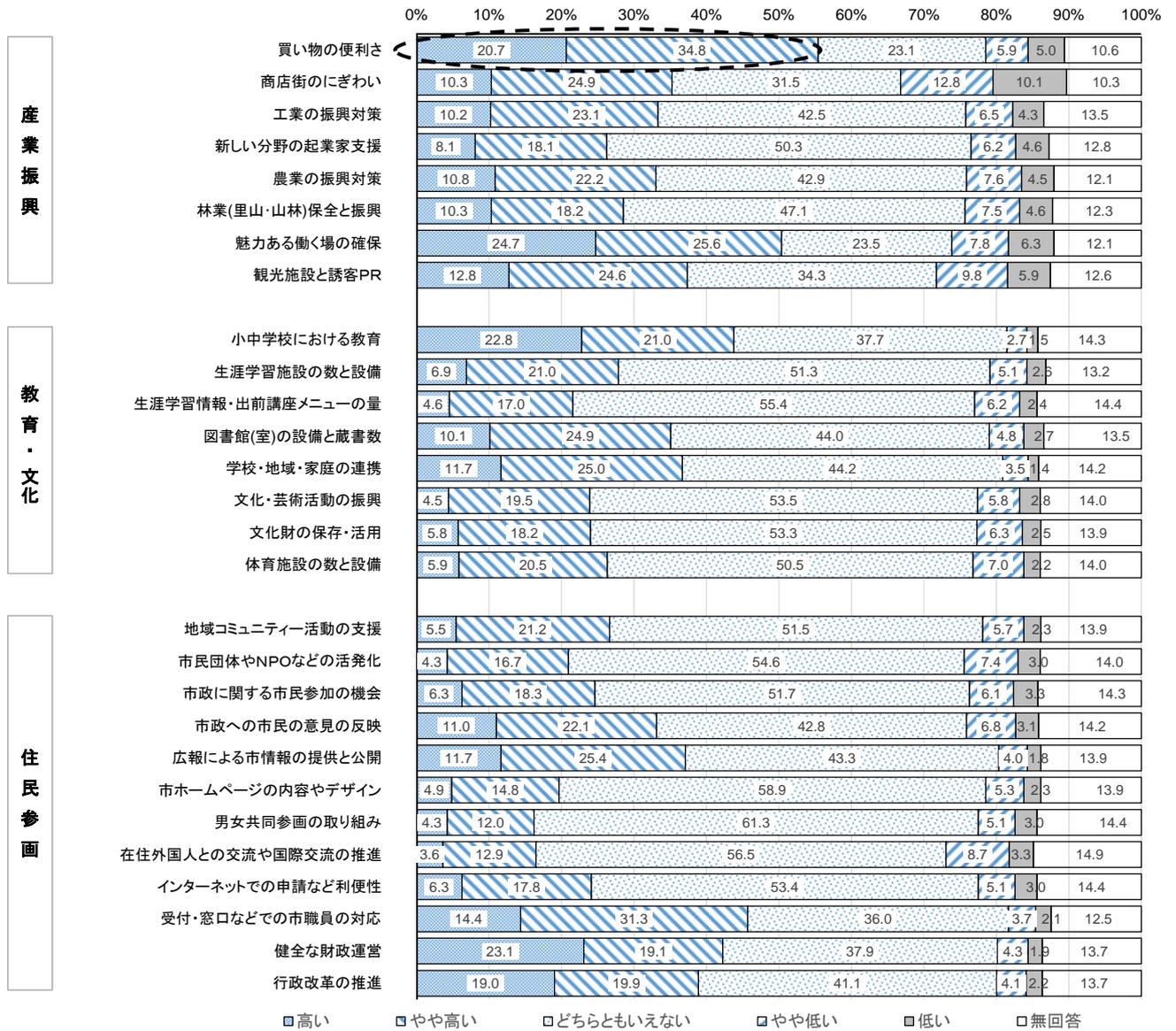


(2) 全 57 施策の重要度(今回調査一覧)

問9 「1」～「57」のすべての項目について(1)『満足度』の1～5の中から1つに○印、
(2)『重要度』の1～5の中から1つに○印を付けてください。(単数回答)

重要度(「高い」と「やや高い」の合算)の高い施策は、「医療機関(病院・診療所)」が64.1%と最も高い割合となっており、次いで「救急医療体制(夜間・休日・救急)」が61.1%、「健康診断・相談、保健予防」が58.0%、「ごみ収集と処理サービス」が55.8%、「買い物の便利さ」が55.4%の順となっています。



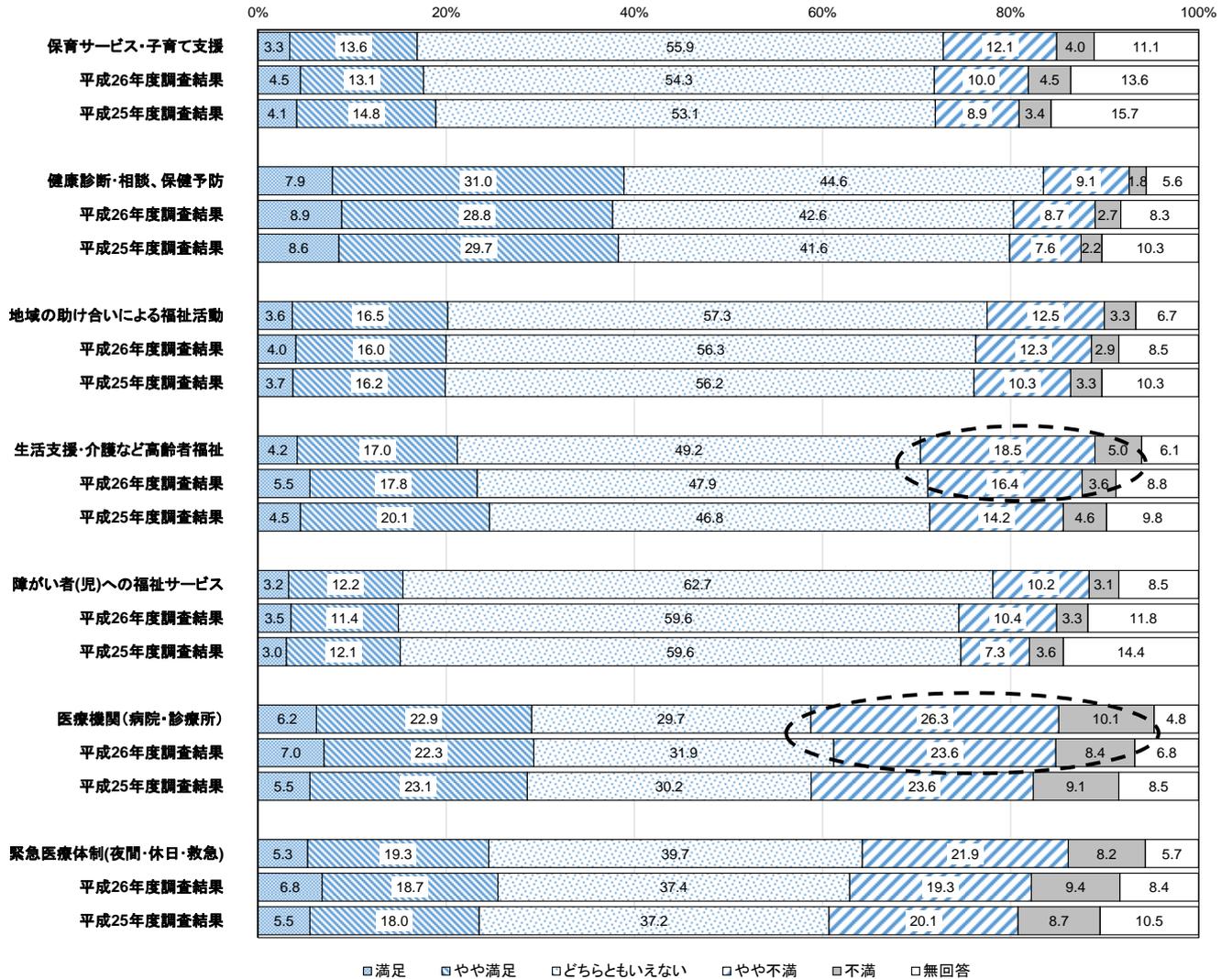


4 分野別施策満足度の経年比較について

(1) 健康福祉分野

健康福祉分野の満足度を前年度と比較すると、ほとんど変化がありませんでした。不満度を前年度と比較すると、「生活支援・介護など高齢者福祉」で3.5ポイント、「医療機関(病院・診療所)」で4.5ポイント上昇しています。

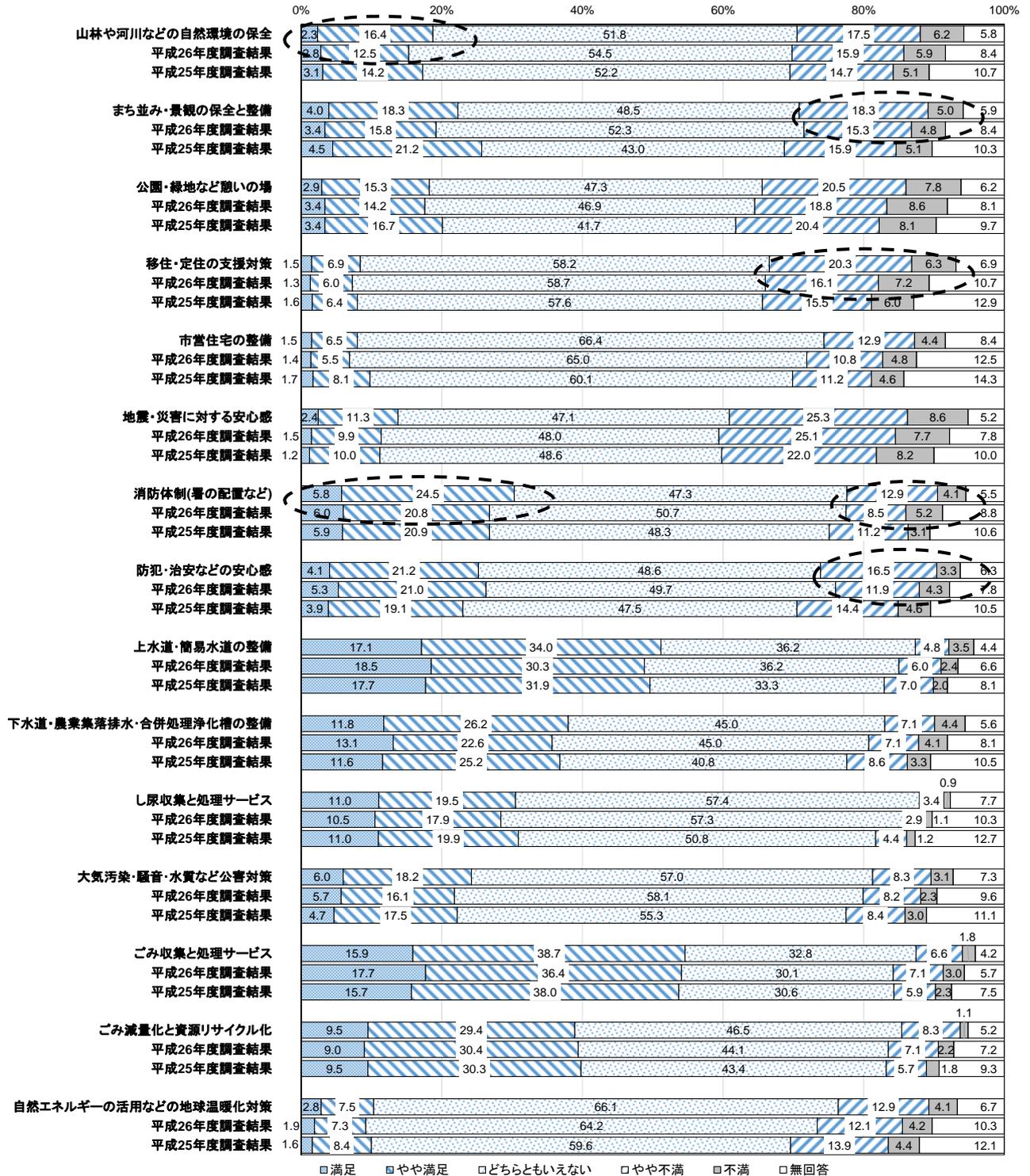
n=987(平成27年度)、n=1,451(平成26年度)、n=1,375(平成25年度)



(2) 生活環境分野

生活環境分野の満足度を前年度と比較すると、「消防体制（署の配置など）」で3.5ポイント上昇し、「山林や河川などの自然環境の保全」で3.4ポイント上昇しています。不満度を前年度と比較すると、「防犯・治安などの安心感」で3.7ポイント上昇し、「まち並み・景観の保全と整備』『移住・定住の支援対策』『消防体制（署の配置など)』で3.2ポイント上昇しています。

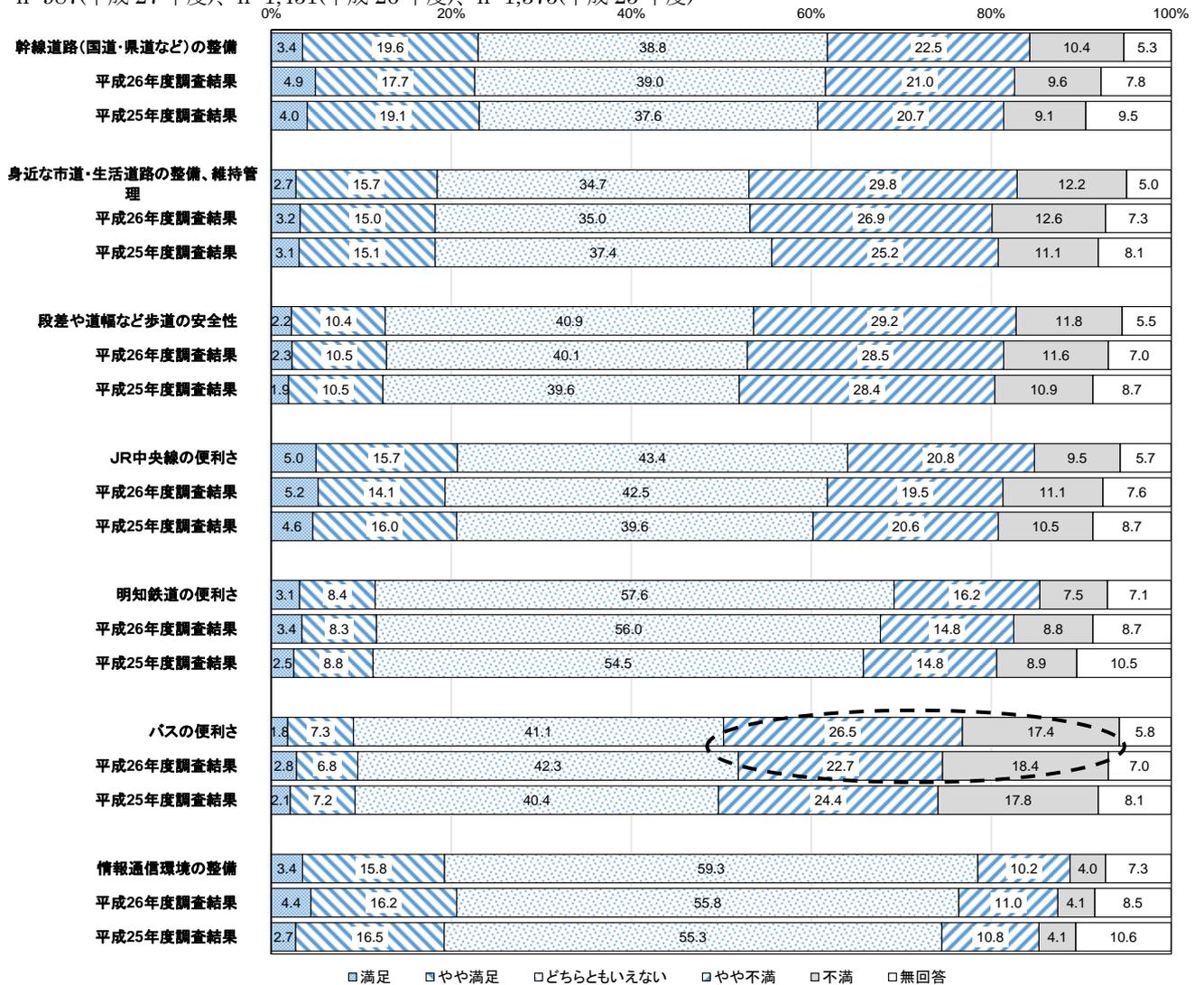
n=987(平成 27 年度)、n=1,451(平成 26 年度)、n=1,375(平成 25 年度)



(3) 都市・交流基盤分野

都市・交通基盤分野の満足度を前年度と比較すると、ほとんど変化がありませんでした。不満度を前年度と比較すると、「バスの便利さ」で2.9ポイント上昇しています。

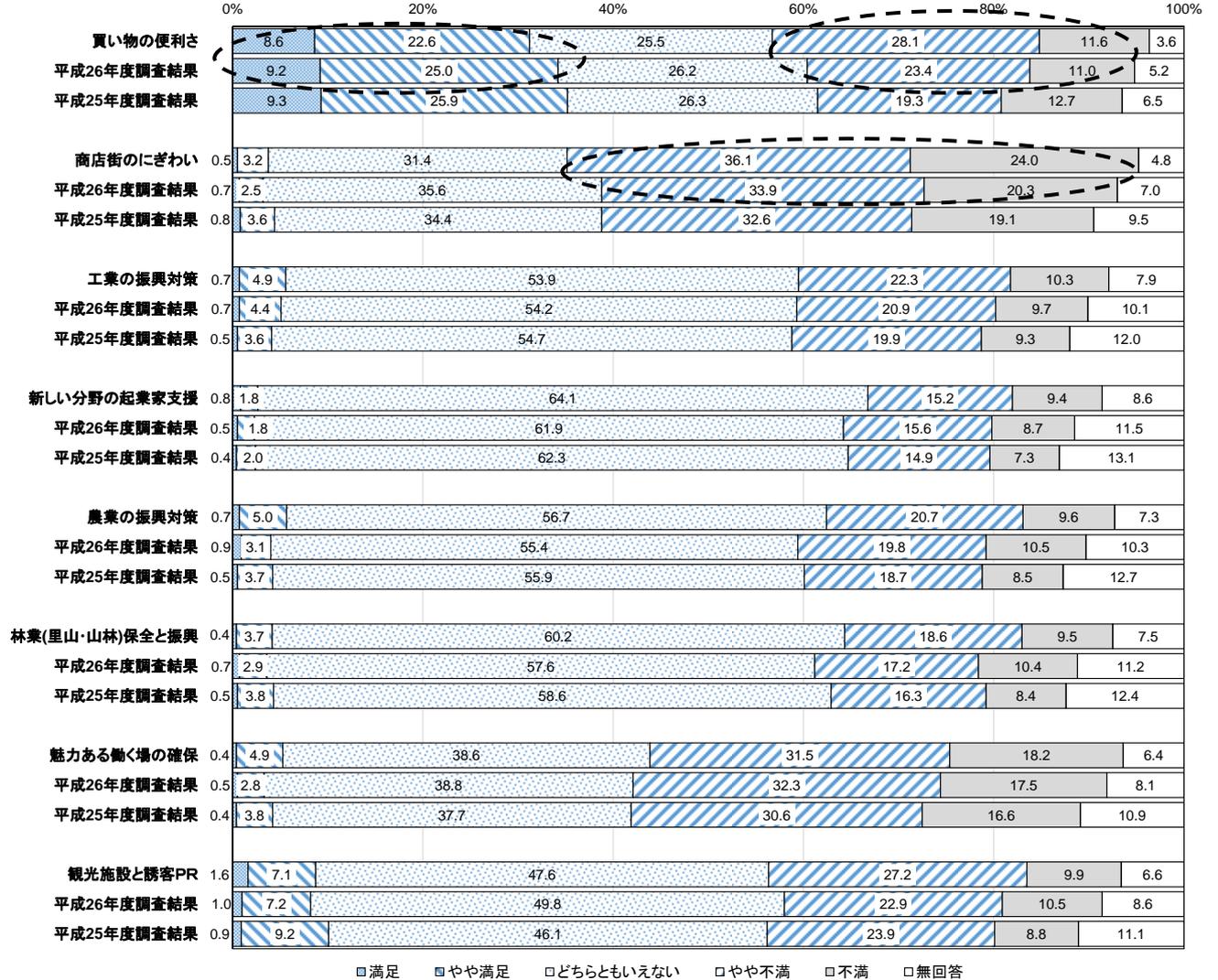
n=987(平成27年度)、n=1,451(平成26年度)、n=1,375(平成25年度)



(4) 産業振興分野

産業振興分野の満足度を前年度と比較すると、「買い物の便利さ」で3.0ポイント低下しています。また、不満度を前年度と比較すると、「買い物の便利さ」で5.2ポイント上昇し、「商店街のにぎわい」で5.9ポイント上昇しています。

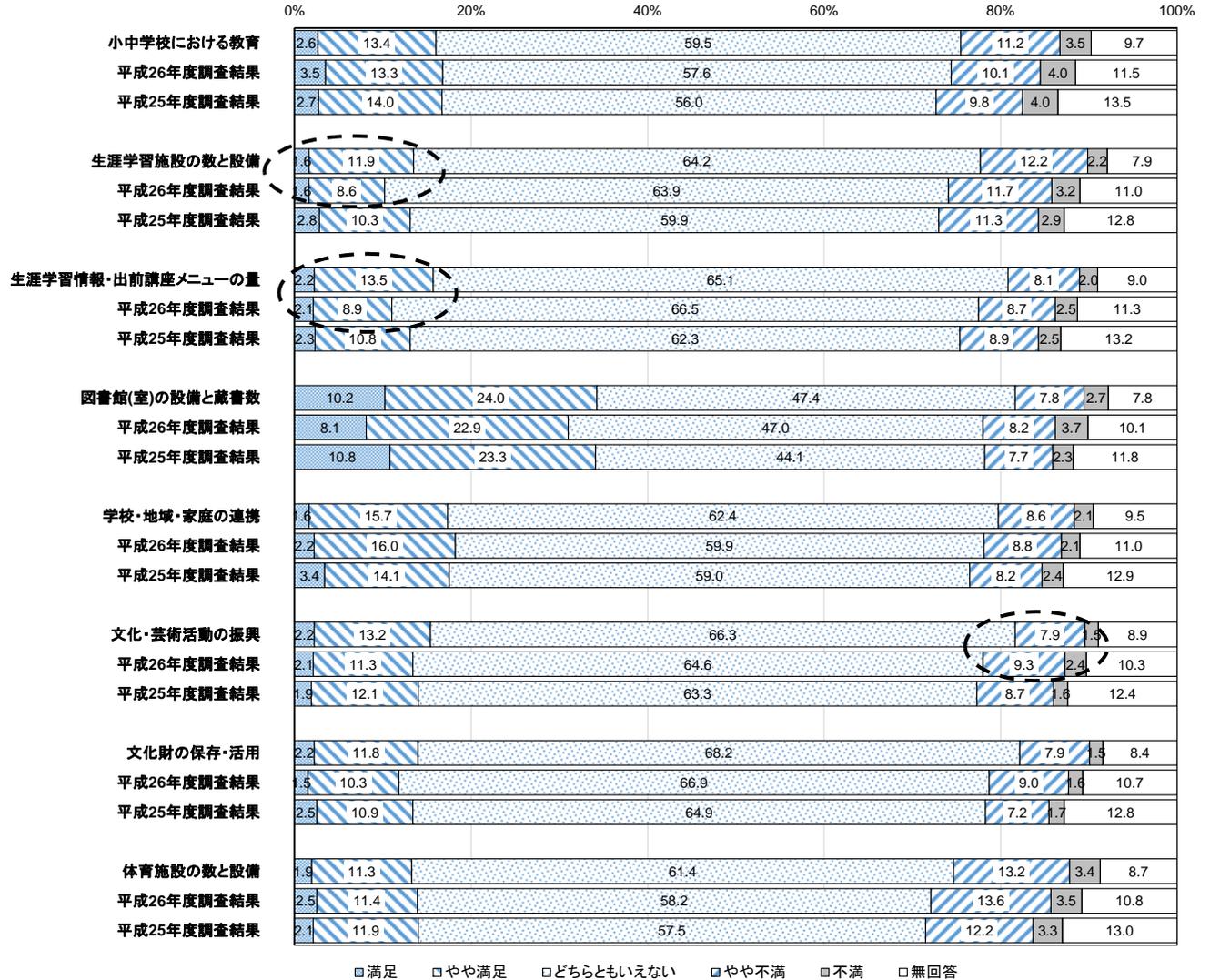
n=987(平成27年度)、n=1,451(平成26年度)、n=1,375(平成25年度)



(5) 教育・文化分野

教育・文化分野の満足度を前年度と比較すると、「生涯学習施設の数と設備」で3.3ポイント上昇し、「生涯学習情報・出前講座メニューの量」で4.7ポイント上昇しています。不満度を前年度と比較すると、「文化・芸術活動の振興」で2.3ポイント低下しています。

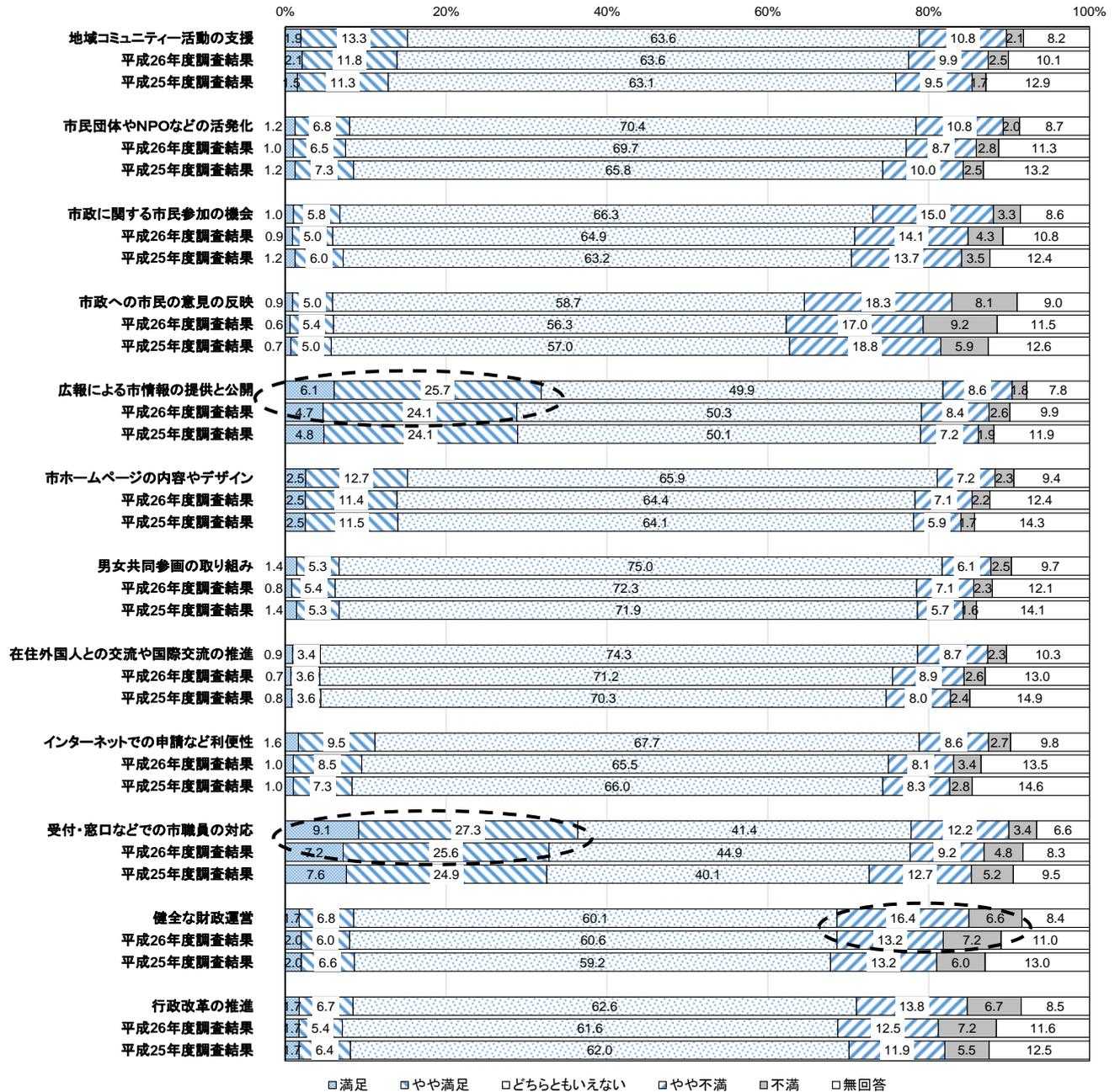
n=987(平成27年度)、n=1,451(平成26年度)、n=1,375(平成25年度)



(6) 住民参画分野

住民参画分野の満足度を前年度と比較すると、「広報による市情報の提供と公開」で3.0ポイント上昇し、「受付・窓口などでの市職員の対応」で3.6ポイント上昇しています。不満度を前年度と比較すると、「健全な財政運営」で2.6ポイント上昇しています。

n=987(平成27年度)、n=1,451(平成26年度)、n=1,375(平成25年度)

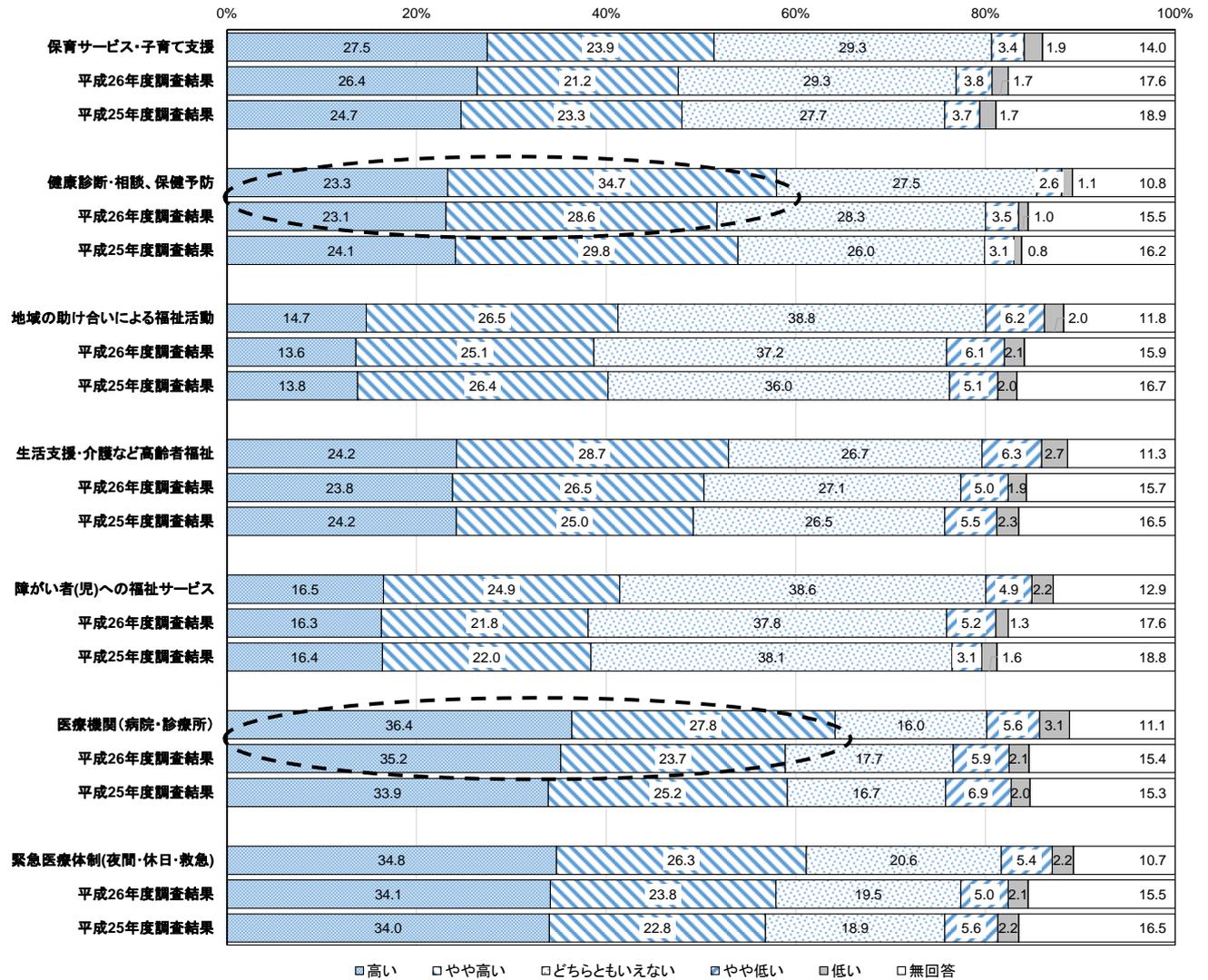


5 分野別施策重要度の経年比較について

(1) 健康福祉分野

健康福祉分野の重要度を前年度と比較すると、「健康診断・相談、保健予防」で6.3ポイント上昇し、「医療機関（病院・診療所）」で5.2ポイント上昇しています。

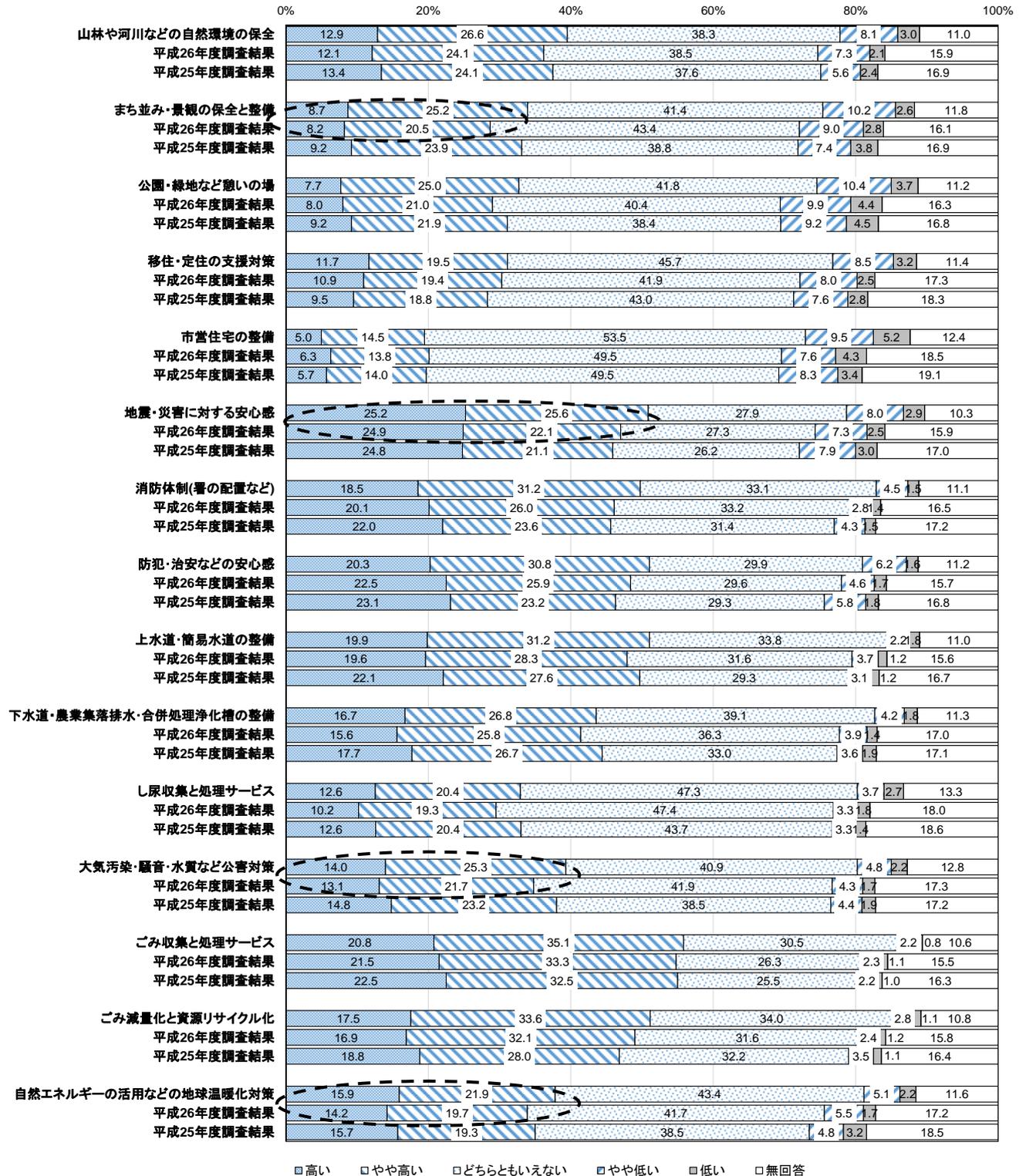
n=987(平成27年度)、n=1,451(平成26年度)、n=1,375(平成25年度)



(2) 生活環境分野

生活環境分野の重要度を前年度と比較すると、「まち並み・景観の保全と整備」で5.2ポイント、「大気汚染・騒音・水質など公害対策」で4.5ポイント、「地震・災害に対する安心感」「自然エネルギーの活用などの地球温暖化対策」で3.9ポイント上昇しています。

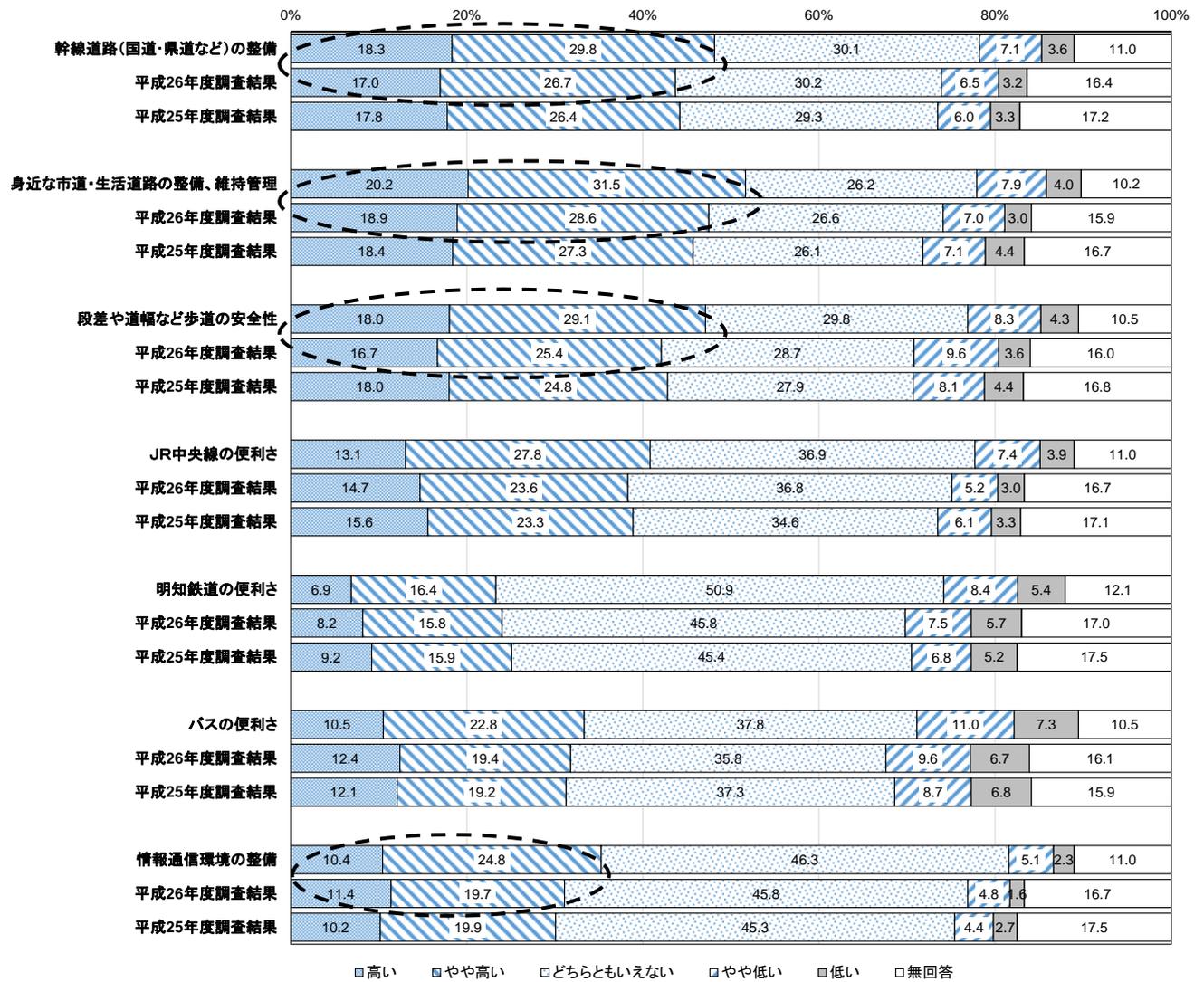
n=987(平成 27 年度)、n=1,451(平成 26 年度)、n=1,375(平成 25 年度)



(3) 都市・交流基盤分野

都市・交流基盤分野の重要度を前年度と比較すると、「幹線道路（国道・県道など）の整備」4.4ポイント、「身近な市道・生活道路の整備、維持管理」「情報通信環境の整備」で4.2ポイント、「段差や道幅など歩道の安全性」で5.0ポイント上昇しています。

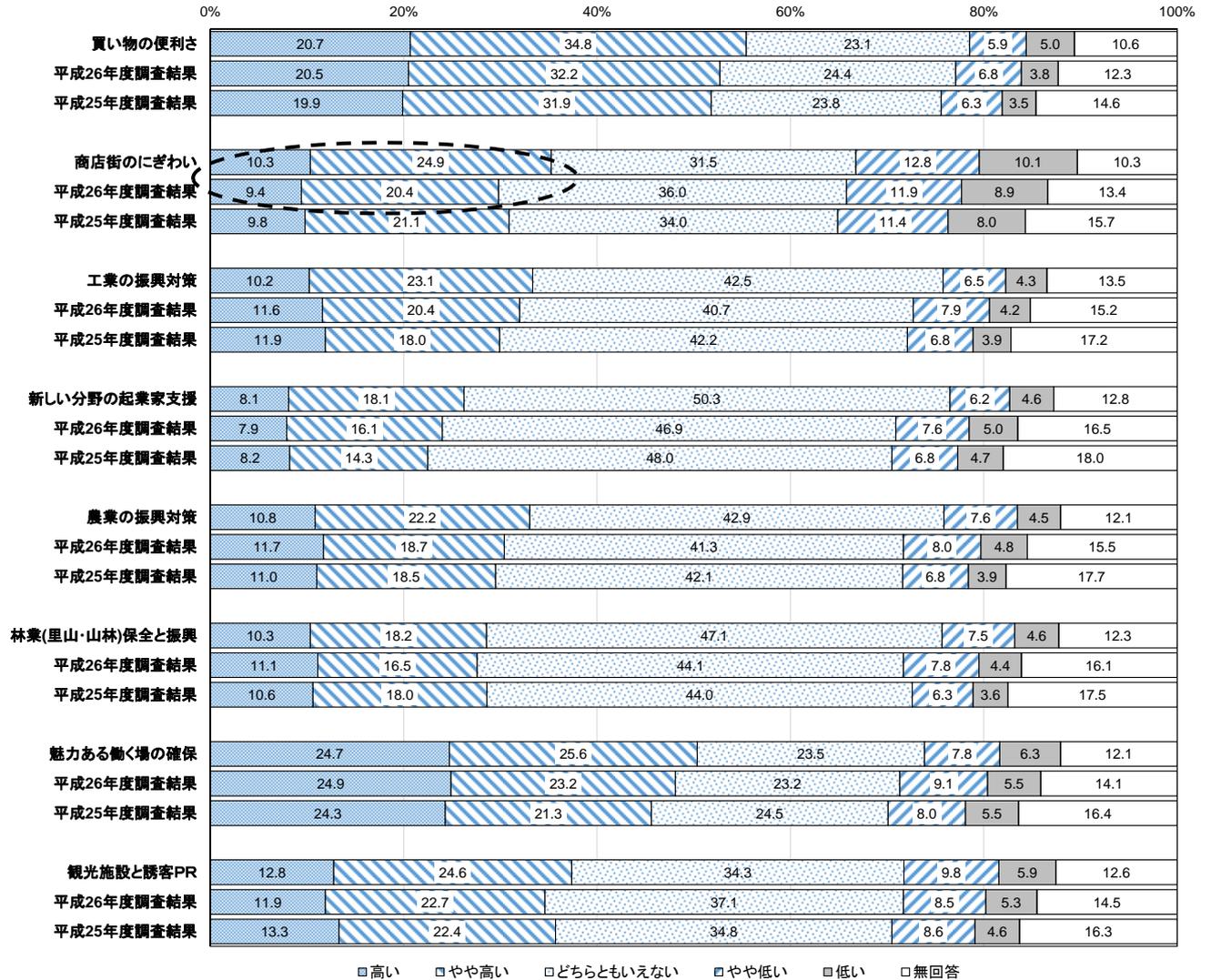
n=987(平成27年度)、n=1,451(平成26年度)、n=1,375(平成25年度)



(4) 産業振興分野

産業振興分野の重要度を前年度と比較すると、「商店街のにぎわい」で5.5ポイント上昇しています。

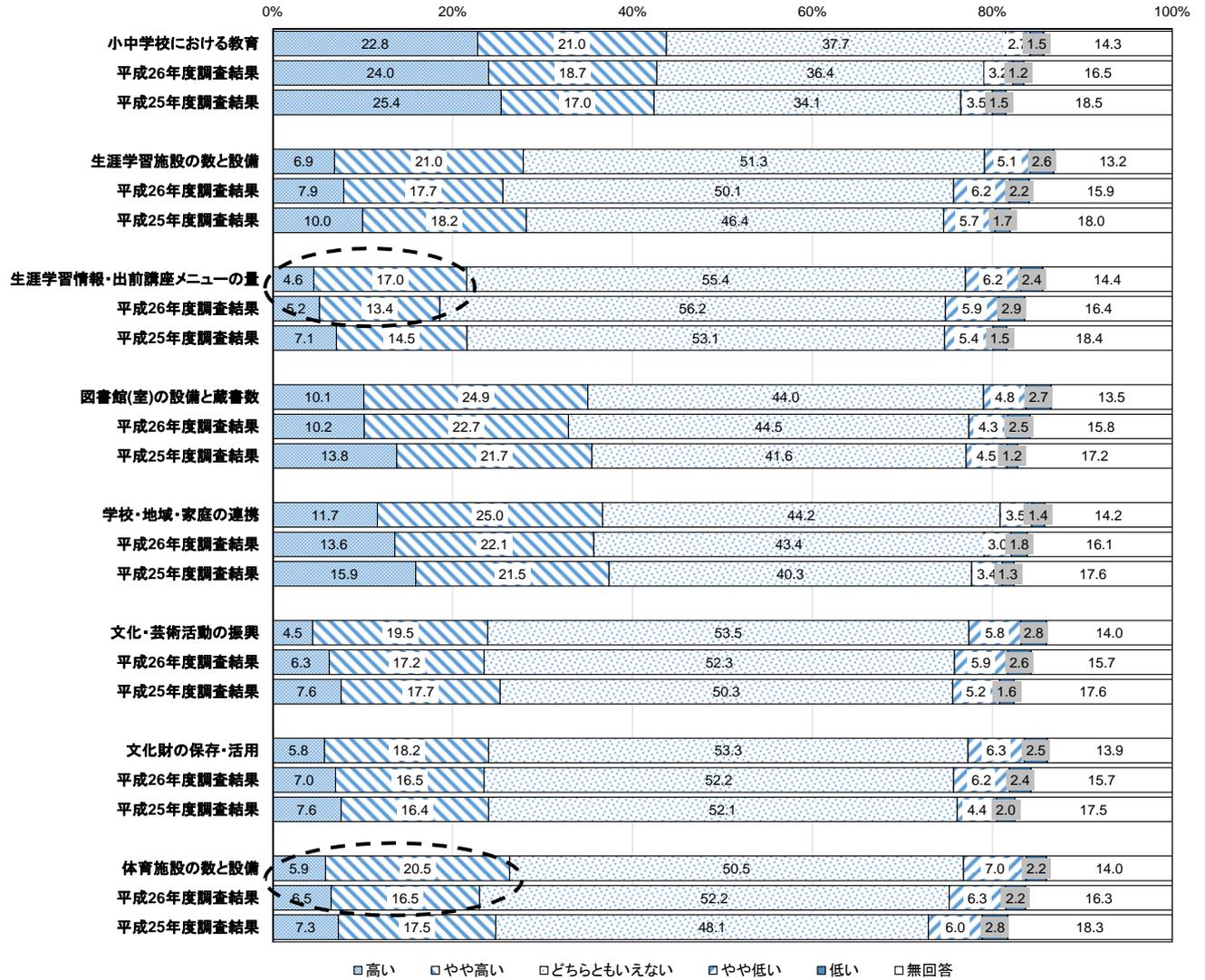
n=987(平成27年度)、n=1,451(平成26年度)、n=1,375(平成25年度)



(5) 教育・文化分野

教育・文化分野の重要度を前年度と比較すると、「生涯学習情報・出前講座メニューの量」で3.0ポイント、「体育施設の数と設備」で3.3ポイント上昇しています。

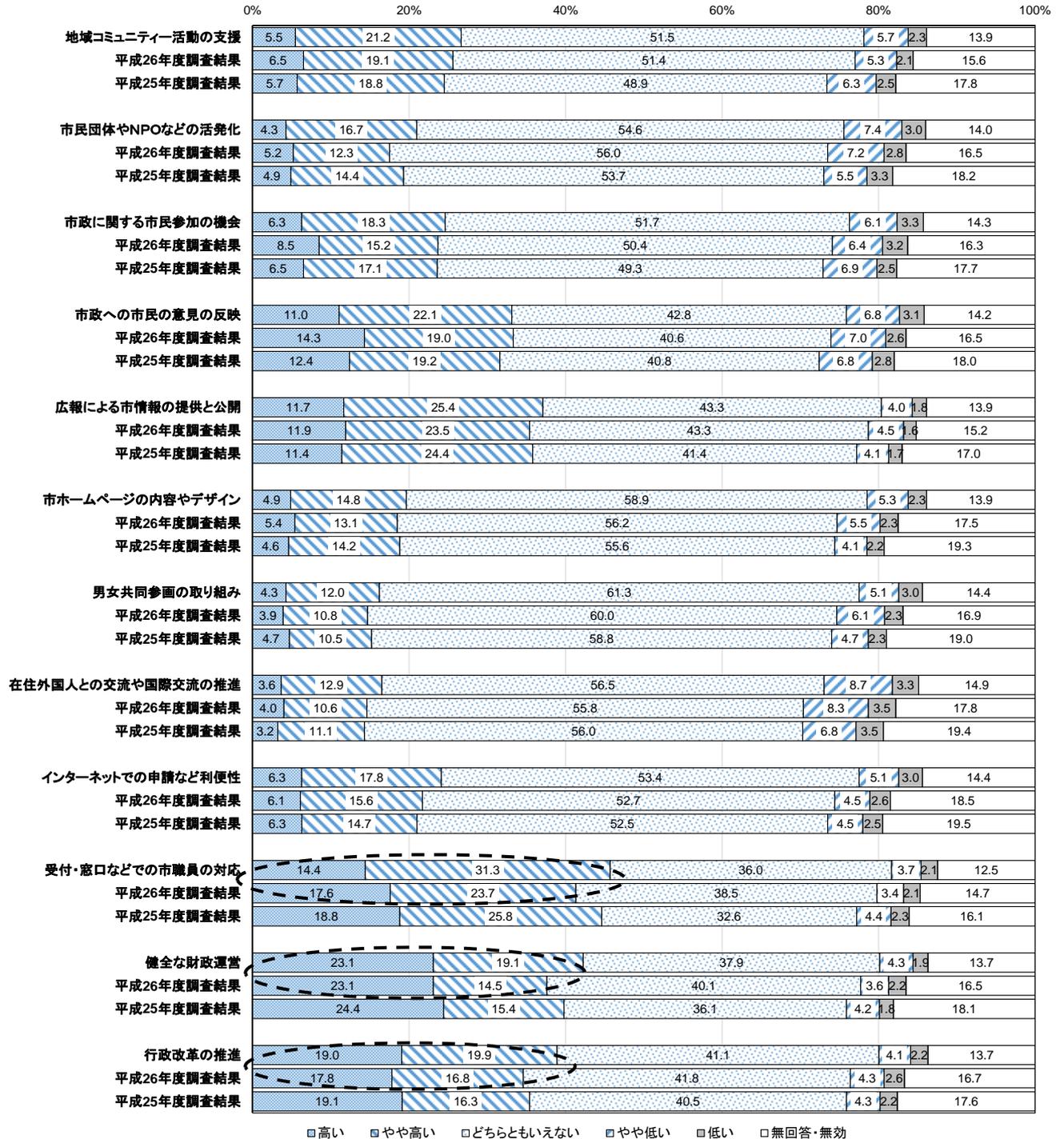
n=987(平成27年度)、n=1,451(平成26年度)、n=1,375(平成25年度)



(6) 住民参画分野

住民参画分野の重要度を前年度と比較すると、「受付・窓口などでの市職員の対応」で4.4ポイント、「健全な財政運営」で4.6ポイント、「行政改革の推進」で4.3ポイント上昇しています。

n=987(平成27年度)、n=1,451(平成26年度)、n=1,375(平成25年度)



6 求められるまちづくりの方向性について

(1) 満足度・不満度・重要度の上位10項目

満足度の高い施策では、「生活環境」の分野が上位5項目のうち4項目を占めています。一方、不満度の高い施策では、「産業振興」、「都市・交流基盤」の分野で上位10項目中8項目を占めており、にぎわいや働く場、交通の利便性向上が求められていると考えられます。

重要度の高い施策では、「健康福祉」の分野が上位10項目のうち5項目を占めており、健康に関する関心が高まっていると考えられます。

◇満足度の高い施策

順位	施策名	今回	前回(平成26年度)
1	ごみ収集と処理サービス	54.6【↑】	54.1 (1)
2	上水道・簡易水道の整備	51.2【↑】	48.8 (2)
3	健康診断・相談、保健予防	38.9【↑】	37.7 (4)
4	ごみ減量化と資源リサイクル化	38.9【↓】	39.4 (3)
5	下水道・農業集落排水・合併処理浄化槽の整備	38.0【↑】	35.7 (5)
6	受付・窓口などでの市職員の対応	36.4【↑】	32.8 (7)
7	図書館(室)の設備と蔵書数	34.2【↑】	31.0 (8)
8	広報による市情報の提供と公開	31.8【↑】	28.8 (10)
9	買い物の便利さ	31.2【↓】	34.2 (6)
10	し尿収集と処理サービス	30.5【↑】	28.4 (11)

◇不満度の高い施策

順位	施策名	今回	前回(平成26年度)
1	商店街のにぎわい	60.1【↑】	54.2 (1)
2	魅力ある働く場の確保	49.7【↓】	49.8 (2)
3	バスの便利さ	44.0【↑】	41.1 (3)
4	身近な市道・生活道路の整備、維持管理	41.9【↑】	39.5 (5)
5	段差や道幅など歩道の安全性	40.9【↑】	40.1 (4)
6	買い物の便利さ	39.6【↑】	34.4 (6)
7	観光施設と誘客PR	37.1【↑】	33.4 (7)
8	医療機関(病院・診療所)	36.5【↑】	32.0 (9)
9	地震・災害に対する安心感	33.9【↑】	32.8 (8)
10	幹線道路(国道・県道など)の整備	32.9【↑】	30.6 (10)

◇重要度の高い施策

順位	施策名	今回	前回(平成26年度)
1	医療機関(病院・診療所)	64.1【↑】	58.9 (1)
2	緊急医療体制(夜間・休日・救急)	61.1【↑】	57.9 (2)
3	健康診断・相談、保健予防	58.0【↑】	51.7 (5)
4	ごみ収集と処理サービス	55.8【↑】	54.8 (3)
5	買い物の便利さ	55.4【↑】	52.7 (4)
6	生活支援・介護など高齢者福祉	52.9【↑】	50.3 (6)
7	身近な市道・生活道路の整備、維持管理	51.7【↑】	47.5 (12)
8	保育サービス・子育て支援	51.4【↑】	47.6 (11)
9	ごみ減量化と資源リサイクル化	51.2【↑】	49.0 (7)
10	防犯・治安などの安心感	51.1【↑】	48.4 (8)
10	上水道・簡易水道の整備	51.1【↑】	47.9 (10)

※今回調査結果の【 】内は、前回調査時からのポイントの上下を指す。

※前回調査結果の()内は、前回順位を指す。

※同率順位が2番目以上ある場合は、10項目を超える場合あり。(以下同様)

(2) 年齢別の上位10項目

【20歳代】

20歳代の満足度の高い施策は、「ごみ収集と処理サービス」「図書館(室)の設備と蔵書数」「まち並み・景観の保全と整備」、不満度の高い施策は、「商店街のにぎわい」「魅力ある働く場の確保」「買い物の便利さ」、重要度の高い施策は、「医療機関(病院・診療所)」「緊急医療体制(夜間・休日・救急)」「魅力ある働く場の確保」となっています。(n=63)

◇満足度の高い施策

順位	施策名	今回	前回(平成26年度)
1	ごみ収集と処理サービス	46.0【↑】	37.1(3)
2	図書館(室)の設備と蔵書数	44.4【↑】	35.0(4)
3	まち並み・景観の保全と整備	42.9【↑】	12.4(28)
3	上水道・簡易水道の整備	42.9【↑】	37.1(2)
5	買い物の便利さ	39.7【↓】	40.2(1)
6	下水道・農業集落排水・合併処理浄化槽の整備	38.1【↑】	29.9(6)
7	ごみ減量化と資源リサイクル化	31.7【↑】	29.9(6)
8	山林や河川などの自然環境の保全	30.2【↑】	15.5(22)
8	防犯・治安などの安心感	30.2【↑】	28.9(8)
8	し尿収集と処理サービス	30.2【↑】	17.5(19)
8	文化・芸術活動の振興	30.2【↑】	11.3(33)
8	文化財の保存・活用	30.2【↑】	12.3(31)

◇不満度の高い施策

順位	施策名	今回	前回(平成26年度)
1	商店街のにぎわい	61.9【↑】	56.7(1)
2	魅力ある働く場の確保	49.2【↓】	50.5(2)
3	買い物の便利さ	46.0【↑】	42.3(5)
4	地震・災害に対する安心感	44.4【↑】	38.2(8)
5	バスの便利さ	42.9【↓】	47.4(3)
6	段差や道幅など歩道の安全性	39.7【↓】	46.4(4)
7	J R 中央線の便利さ	38.1【↓】	42.3(5)
8	医療機関(病院・診療所)	34.9【↑】	29.0(14)
9	観光施設と誘客 P R	34.9【↑】	25.0(11)
10	明知鉄道の便利さ	34.9【↓】	39.2(7)

◇重要度の高い施策

順位	施策名	今回	前回(平成26年度)
1	医療機関(病院・診療所)	82.5【↑】	78.4(2)
2	緊急医療体制(夜間・休日・救急)	74.6【↑】	73.2(3)
2	魅力ある働く場の確保	74.6【↑】	72.2(4)
4	防犯・治安などの安心感	71.4【↑】	58.8(14)
4	買い物の便利さ	71.4【↓】	80.5(1)
6	地震・災害に対する安心感	69.8【↑】	67.0(7)
7	保育サービス・子育て支援	68.3【↑】	68.0(5)
7	J R 中央線の便利さ	68.3【↑】	68.0(5)
9	身近な市道・生活道路の整備、維持管理	66.7【↑】	61.8(9)
10	幹線道路(国道・県道など)の整備	65.1【↑】	61.8(9)

【30 歳代】

30 歳代の満足度の高い施策は、「図書館（室）の設備と蔵書数」「ごみ収集と処理サービス」「上水道・簡易水道の整備」、不満度の高い施策は、「商店街のにぎわい」「魅力ある働く場の確保」「買い物の便利さ」、重要度の高い施策は、「医療機関（病院・診療所）」「保育サービス・子育て支援」「買い物の便利さ」になっています。（n=92）

◇満足度の高い施策

順位	施策名	今回	前回（平成26年度）
1	図書館(室)の設備と蔵書数	47.8 【↑】	41.1 (1)
2	ごみ収集と処理サービス	40.2 【↓】	41.0 (2)
3	上水道・簡易水道の整備	38.0 【↑】	37.8 (3)
4	消防体制(署の配置など)	35.9 【↑】	25.0 (10)
5	健康診断・相談、保健予防	33.7 【↑】	22.4 (13)
5	ごみ減量化と資源リサイクル化	33.7 【↑】	28.8 (6)
7	買い物の便利さ	30.4 【↓】	30.8 (4)
7	広報による市情報の提供と公開	30.4 【↑】	23.7 (11)
7	医療機関（病院・診療所）	30.4 【↑】	21.2 (15)
10	まち並み・景観の保全と整備	29.3 【↑】	22.5 (12)
10	防犯・治安などの安心感	29.3 【↑】	28.9 (5)
10	受付・窓口などでの市職員の対応	29.3 【↑】	27.0 (7)

◇不満度の高い施策

順位	施策名	今回	前回（平成26年度）
1	商店街のにぎわい	56.5 【↑】	54.5 (1)
2	魅力ある働く場の確保	51.1 【↑】	46.2 (2)
3	買い物の便利さ	46.7 【↑】	38.4 (7)
4	公園・緑地など憩いの場	45.7 【↑】	32.6 (11)
4	バスの便利さ	45.7 【↑】	35.9 (9)
6	医療機関（病院・診療所）	41.3 【↓】	41.7 (3)
7	J R 中央線の便利さ	40.2 【↑】	37.8 (8)
8	地震・災害に対する安心感	38.0 【↑】	32.7 (10)
8	段差や道幅など歩道の安全性	38.0 【↓】	40.3 (5)
10	緊急医療体制(夜間・休日・救急)	34.8 【↓】	41.0 (4)

◇重要度の高い施策

順位	施策名	今回	前回（平成26年度）
1	医療機関（病院・診療所）	79.3 【↑】	73.0 (1)
2	保育サービス・子育て支援	75.0 【↑】	64.7 (3)
2	買い物の便利さ	75.0 【↑】	60.3 (5)
4	緊急医療体制(夜間・休日・救急)	70.7 【↓】	71.0 (2)
5	健康診断・相談、保健予防	62.0 【↑】	53.8 (9)
6	地震・災害に対する安心感	59.8 【↑】	59.6 (6)
7	防犯・治安などの安心感	58.7 【↑】	55.8 (7)
8	魅力ある働く場の確保	55.4 【↓】	63.5 (4)
8	小中学校における教育	55.4 【↑】	55.1 (8)
10	生活支援・介護など高齢者福祉	54.3 【↑】	52.5 (11)
10	ごみ収集と処理サービス	54.3 【↑】	46.7 (15)
10	身近な市道・生活道路の整備、維持管理	54.3 【↑】	53.8 (9)

【40 歳代】

40 歳代の満足度の高い施策は、「ごみ収集と処理サービス」「上水道・簡易水道の整備」「図書館(室)の設備と蔵書数」、不満度の高い施設は、「商店街のにぎわい」「バスの便利さ」「魅力ある働く場の確保」、重要度の高い施策は、「医療機関(病院・診療所)」「緊急医療体制(夜間・休日・救急)」「保育サービス・子育て支援」となっています。(n=133)

◇満足度の高い施策

順位	施策名	今回	前回(平成26年度)
1	ごみ収集と処理サービス	48.9【↑】	48.1(1)
2	上水道・簡易水道の整備	42.9【↑】	41.8(3)
3	図書館(室)の設備と蔵書数	42.1【↓】	45.3(2)
4	ごみ減量化と資源リサイクル化	34.6【↑】	33.5(5)
5	健康診断・相談、保健予防	33.8【↓】	35.3(4)
6	消防体制(署の配置など)	32.3【↓】	32.9(6)
7	買い物の便利さ	30.8【↑】	30.0(8)
8	広報による市情報の提供と公開	29.3【↑】	28.8(12)
9	受付・窓口などでの市職員の対応	29.3【↓】	31.8(7)
10	下水道・農業集落排水・合併処理浄化槽の整備	28.6【↑】	27.7(13)
10	幹線道路(国道・県道など)の整備	28.6【↑】	22.3(19)

◇不満度の高い施策

順位	施策名	今回	前回(平成26年度)
1	商店街のにぎわい	65.4【↑】	58.8(1)
2	バスの便利さ	54.1【↑】	44.1(4)
3	魅力ある働く場の確保	51.9【↓】	52.9(2)
4	段差や道幅など歩道の安全性	48.9【↑】	40.0(7)
5	身近な市道・生活道路の整備、維持管理	46.6【↑】	43.0(5)
6	買い物の便利さ	45.1【↑】	36.4(8)
6	医療機関(病院・診療所)	45.1【↑】	44.7(3)
8	J R 中央線の便利さ	42.1【↑】	34.7(10)
9	緊急医療体制(夜間・休日・救急)	38.3【↓】	40.6(6)
10	観光施設と誘客 P R	36.8【↑】	35.3(9)

◇重要度の高い施策

順位	施策名	今回	前回(平成26年度)
1	医療機関(病院・診療所)	76.7【↑】	72.3(1)
2	緊急医療体制(夜間・休日・救急)	72.9【↑】	69.4(2)
3	保育サービス・子育て支援	68.4【↑】	67.1(3)
4	買い物の便利さ	67.7【↑】	55.3(14)
5	魅力ある働く場の確保	67.7【↑】	61.2(5)
6	生活支援・介護など高齢者福祉	66.9【↑】	60.6(7)
7	地震・災害に対する安心感	66.9【↑】	61.1(6)
8	健康診断・相談、保健予防	66.2【↑】	58.2(10)
9	小中学校における教育	63.2【↑】	59.4(9)
10	防犯・治安などの安心感	61.7【↓】	62.3(4)

【50 歳代】

50 歳代の満足度の高い施策は、「ごみの収集と処理サービス」「上水道・簡易水道の整備」「ごみ減量化と資源リサイクル化」、不満度の高い施策は、「商店街のにぎわい」「魅力ある働く場の確保」「バスの便利さ」、重要度の高い施策は、「緊急医療体制（夜間・休日・救急）」「医療機関（病院・診療所）」「健康診断・相談、保健予防」となっています。（n=147）

◇満足度の高い施策

順位	施策名	今回	前回（平成26年度）
1	ごみ収集と処理サービス	46.9【↑】	45.4（1）
2	上水道・簡易水道の整備	44.9【↑】	35.2（2）
3	ごみ減量化と資源リサイクル化	36.7【↑】	30.3（3）
4	健康診断・相談、保健予防	34.0【↑】	23.5（8）
5	広報による市情報の提供と公開	32.0【↑】	24.7（7）
6	下水道・農業集落排水・合併処理浄化槽の整備	31.3【↑】	25.2（6）
7	受付・窓口などでの市職員の対応	31.3【↑】	18.9（9）
8	図書館(室)の設備と蔵書数	29.9【↑】	26.1（5）
9	消防体制(署の配置など)	29.3【↑】	17.2（12）
10	買い物の便利さ	27.2【↓】	30.2（4）

◇不満度の高い施策

順位	施策名	今回	前回（平成26年度）
1	商店街のにぎわい	68.0【↑】	60.1（1）
2	魅力ある働く場の確保	55.8【↓】	58.8（2）
3	バスの便利さ	51.0【↑】	50.8（3）
4	身近な市道・生活道路の整備、維持管理	46.9【↓】	48.4（4）
5	段差や道幅など歩道の安全性	44.9【↓】	45.4（6）
6	医療機関（病院・診療所）	43.5【↓】	47.1（5）
7	工業の振興対策	42.9【↑】	37.4（11）
8	買い物の便利さ	42.2【↑】	36.6（13）
9	観光施設と誘客 P R	41.5【↑】	38.2（10）
10	幹線道路（国道・県道など）の整備	40.1【↑】	37.4（11）

◇重要度の高い施策

順位	施策名	今回	前回（平成26年度）
1	緊急医療体制(夜間・休日・救急)	67.3【↓】	70.2（2）
2	医療機関（病院・診療所）	66.7【↓】	70.6（1）
3	健康診断・相談、保健予防	63.3【↑】	60.2（6）
4	身近な市道・生活道路の整備、維持管理	62.6【↑】	55.1（12）
5	生活支援・介護など高齢者福祉	61.2【↓】	62.6（4）
6	ごみ減量化と資源リサイクル化	59.9【↑】	57.1（10）
7	防犯・治安などの安心感	59.2【↓】	59.6（7）
7	ごみ収集と処理サービス	59.2【↓】	59.6（7）
9	幹線道路（国道・県道など）の整備	57.1【↑】	49.2（16）
9	買い物の便利さ	57.1【↓】	62.3（5）

【60 歳代】

60 歳代の満足度の高い施策は、「ごみ収集と処理サービス」「上水道・簡易水道の整備」「下水道・農業集落排水・合併処理浄化槽の整備」、不満度の高い施策は、「商店街のにぎわい」「魅力ある働く場の確保」「身近な市道・生活道路の整備、維持管理」、重要度の高い施策は、「医療機関（病院・診療所）」「緊急医療体制（夜間・休日・救急）」「健康診断・相談、保健予防」となっています。

◇満足度の高い施策

順位	施策名	今回	前回（平成26年度）
1	ごみ収集と処理サービス	59.5 【↓】	63.3 （1）
2	上水道・簡易水道の整備	57.3 【↑】	56.2 （2）
3	下水道・農業集落排水・合併処理浄化槽の整備	44.3 【↑】	40.4 （5）
4	健康診断・相談、保健予防	41.2 【↓】	42.6 （4）
5	ごみ減量化と資源リサイクル化	40.1 【↓】	43.8 （3）
5	受付・窓口などでの市職員の対応	40.1 【↑】	36.6 （6）
7	し尿収集と処理サービス	34.4 【↑】	31.9 （8）
8	広報による市情報の提供と公開	31.7 【↑】	31.2 （9）
9	図書館(室)の設備と蔵書数	30.2 【↑】	24.0 （15）
10	買い物の便利さ	29.0 【↓】	36.3 （7）

◇不満度の高い施策

順位	施策名	今回	前回（平成26年度）
1	商店街のにぎわい	58.8 【↑】	56.7 （1）
2	魅力ある働く場の確保	52.7 【↓】	54.5 （2）
3	身近な市道・生活道路の整備、維持管理	47.7 【↑】	41.0 （5）
4	段差や道幅など歩道の安全性	45.8 【↑】	42.2 （4）
5	バスの便利さ	45.4 【↑】	44.5 （3）
6	医療機関（病院・診療所）	43.5 【↑】	32.8 （12）
7	買い物の便利さ	39.3 【↑】	36.0 （9）
8	地震・災害に対する安心感	39.3 【↑】	36.0 （9）
9	観光施設と誘客 P R	38.5 【↑】	36.6 （7）
10	工業の振興対策	36.6 【↑】	35.9 （10）

◇重要度の高い施策

順位	施策名	今回	前回（平成26年度）
1	医療機関（病院・診療所）	66.4 【↑】	61.5 （2）
2	緊急医療体制(夜間・休日・救急)	63.7 【↑】	61.5 （2）
3	健康診断・相談、保健予防	59.9 【↑】	56.1 （4）
4	ごみ収集と処理サービス	58.0 【↓】	62.1 （1）
5	上水道・簡易水道の整備	57.6 【↑】	54.3 （7）
6	生活支援・介護など高齢者福祉	56.9 【↑】	55.6 （6）
6	ごみ減量化と資源リサイクル化	56.9 【↑】	56.1 （4）
6	身近な市道・生活道路の整備、維持管理	56.9 【↓】	50.1 （13）
9	魅力ある働く場の確保	54.6 【↑】	50.9 （11）
10	保育サービス・子育て支援	54.2 【↑】	50.2 （12）

【70歳以上】

70歳以上の満足度の高い施策は、「ごみ収集と処理サービス」「上水道・簡易水道の整備」「健康診断・相談、保健予防」、不満度の高い施策は、「商店街のにぎわい」「魅力ある働く場の確保」「農業の振興対策」、重要度の高い施策は、「ごみ収集と処理サービス」「健康診断・相談、保健予防」「医療機関（病院・診療所）」となっています。(n=283)

◇満足度の高い施策

順位	施策名	今回	前回（平成26年度）
1	ごみ収集と処理サービス	64.3【→】	64.3（1）
2	上水道・簡易水道の整備	59.4【↓】	61.0（2）
3	健康診断・相談、保健予防	48.4【↓】	50.0（3）
4	ごみ減量化と資源リサイクル化	44.5【↓】	49.8（4）
5	下水道・農業集落排水・合併処理浄化槽の整備	44.2【↓】	45.5（6）
6	受付・窓口などでの市職員の対応	44.2【↑】	43.7（7）
7	医療機関（病院・診療所）	42.8【↓】	46.5（5）
8	し尿収集と処理サービス	40.3【↓】	41.4（8）
9	緊急医療体制(夜間・休日・救急)	36.0【↓】	38.2（9）
10	広報による市情報の提供と公開	35.3【↑】	33.4（12）

◇不満度の高い施策

順位	施策名	今回	前回（平成26年度）
1	商店街のにぎわい	56.5【↑】	48.7（1）
2	魅力ある働く場の確保	43.8【↑】	42.9（2）
3	農業の振興対策	37.8【↑】	32.7（6）
4	身近な市道・生活道路の整備、維持管理	37.5【↑】	33.7（5）
5	観光施設と誘客PR	36.7【↑】	30.5（9）
6	林業(里山・山林)保全と振興	36.0【↑】	31.2（7）
7	バスの利便さ	33.9【→】	33.9（4）
8	買い物の利便さ	32.9【↑】	30.8（8）
9	段差や道幅など歩道の安全性	32.9【↓】	35.2（3）
10	工業の振興対策	30.7【↑】	28.3（10）

◇重要度の高い施策

順位	施策名	今回	前回（平成26年度）
1	ごみ収集と処理サービス	52.7【↑】	50.7（1）
2	健康診断・相談、保健予防	48.8【↑】	40.7（4）
3	医療機関（病院・診療所）	47.0【↑】	38.5（5）
4	上水道・簡易水道の整備	45.9【↓】	46.2（2）
5	緊急医療体制(夜間・休日・救急)	44.9【↑】	38.5（5）
6	受付・窓口などでの市職員の対応	43.1【↑】	38.5（5）
7	ごみ減量化と資源リサイクル化	42.4【↓】	43.0（3）
8	買い物の利便さ	42.0【↑】	38.4（9）
9	下水道・農業集落排水・合併処理浄化槽の整備	41.0【↑】	38.5（5）
10	消防体制(署の配置など)	38.5【↑】	31.6（14）

(3) 居住地別の上位10項目

【大井町】

大井町の満足度の高い施策は、「ごみ収集と処理サービス」「図書館(室)の設備と蔵書数」「上水道・簡易水道の整備」、不満度の高い施策は、「商店街のにぎわい」「魅力ある働く場の確保」「バスの便利さ」、重要度の高い施策は、「医療機関(病院・診療所)」「緊急医療体制(夜間・休日・救急)」「ごみ収集と処理サービス」となっています。(n=209)

◇満足度の高い施策

順位	施策名	今回	前回(平成26年度)
1	ごみ収集と処理サービス	50.2【↓】	55.1(1)
2	図書館(室)の設備と蔵書数	49.3【↑】	45.9(5)
3	上水道・簡易水道の整備	48.3【↓】	48.0(4)
4	ごみ減量化と資源リサイクル化	42.1【↓】	48.7(3)
5	買い物の便利さ	41.6【↓】	51.0(2)
6	健康診断・相談、保健予防	38.8【↓】	39.7(6)
7	受付・窓口などでの市職員の対応	38.8【↑】	37.4(7)
8	下水道・農業集落排水・合併処理浄化槽の整備	33.0【↓】	35.2(8)
9	消防体制(署の配置など)	31.6【↑】	30.8(11)
10	医療機関(病院・診療所)	30.1【↓】	30.9(10)
10	広報による市情報の提供と公開	30.1【↓】	31.2(9)

◇不満度の高い施策

順位	施策名	今回	前回(平成26年度)
1	商店街のにぎわい	63.2【↑】	54.8(1)
2	魅力ある働く場の確保	44.0【↓】	46.2(2)
3	バスの便利さ	39.2【↑】	33.9(6)
4	観光施設と誘客PR	38.3【↑】	35.6(4)
5	段差や道幅など歩道の安全性	35.4【↓】	39.7(3)
6	医療機関(病院・診療所)	34.9【↑】	28.7(8)
7	身近な市道・生活道路の整備、維持管理	33.0【↓】	34.6(5)
8	工業の振興対策	30.1【↑】	25.6(10)
9	JR中央線の便利さ	27.8【↑】	27.0(9)
10	緊急医療体制(夜間・休日・救急)	27.3【↑】	23.7(13)
10	地震・災害に対する安心感	27.3【↓】	29.8(7)

◇重要度の高い施策

順位	施策名	今回	前回(平成26年度)
1	医療機関(病院・診療所)	64.1【↑】	63.7(1)
2	緊急医療体制(夜間・休日・救急)	60.3【↓】	61.3(3)
3	ごみ収集と処理サービス	59.3【↓】	62.6(2)
4	健康診断・相談、保健予防	58.4【↑】	58.3(5)
5	ごみ減量化と資源リサイクル化	57.4【↑】	57.2(6)
5	買い物の便利さ	57.4【↓】	58.6(4)
7	防犯・治安などの安心感	53.6【↑】	53.4(7)
8	地震・災害に対する安心感	53.1【↑】	52.1(10)
9	身近な市道・生活道路の整備、維持管理	51.2【↓】	51.4(12)
10	生活支援・介護など高齢者福祉	50.7【↓】	53.4(7)
10	消防体制(署の配置など)	50.7【→】	50.7(14)
10	上水道・簡易水道の整備	50.7【↓】	51.0(13)
10	魅力ある働く場の確保	50.7【↓】	53.1(9)

【長島町】

長島町の満足度の高い施策は、「ごみ収集と処理サービス」「買い物の便利さ」「上水道・簡易水道の整備」、不満度の高い施策は、「商店街のにぎわい」「魅力ある働く場の確保」「段差や道幅など歩道の安全性」、重要度の高い施策は、「健康診断・相談、保健予防」「医療機関（病院・診療所）」「緊急医療体制（夜間・休日・救急）」となっています。（n=178）

◇満足度の高い施策

順位	施策名	今回	前回（平成26年度）
1	ごみ収集と処理サービス	59.6【↑】	54.9（1）
2	買い物の便利さ	56.7【↑】	53.1（2）
3	上水道・簡易水道の整備	52.8【↑】	46.9（3）
4	ごみ減量化と資源リサイクル化	48.3【↑】	42.5（5）
4	図書館(室)の設備と蔵書数	48.3【↑】	43.8（4）
6	受付・窓口などでの市職員の対応	41.6【↑】	34.1（7）
7	健康診断・相談、保健予防	40.4【↑】	36.3（6）
8	消防体制(署の配置など)	38.8【↑】	28.4（11）
9	下水道・農業集落排水・合併処理浄化槽の整備	38.2【↑】	31.4（8）
10	広報による市情報の提供と公開	35.4【↑】	30.1（10）

◇不満度の高い施策

順位	施策名	今回	前回（平成26年度）
1	商店街のにぎわい	51.1【↓】	51.8（1）
2	魅力ある働く場の確保	44.4【↑】	38.0（3）
3	段差や道幅など歩道の安全性	39.3【↓】	40.3（2）
4	医療機関（病院・診療所）	37.6【↑】	34.9（5）
5	バスの便利さ	36.5【↓】	37.2（4）
6	観光施設と誘客P R	36.0【↑】	30.5（9）
7	身近な市道・生活道路の整備、維持管理	35.4【↑】	32.3（7）
8	地震・災害に対する安心感	34.3【↓】	34.9（5）
9	J R中央線の便利さ	25.8【↓】	26.1（10）
10	工業の振興対策	24.2【↑】	23.9（12）

◇重要度の高い施策

順位	施策名	今回	前回（平成26年度）
1	健康診断・相談、保健予防	68.0【↑】	51.8（9）
2	医療機関（病院・診療所）	67.4【↑】	63.7（1）
3	緊急医療体制(夜間・休日・救急)	64.6【↑】	62.5（2）
4	ごみ収集と処理サービス	62.9【↑】	60.2（4）
5	買い物の便利さ	62.4【↑】	61.0（3）
6	ごみ減量化と資源リサイクル化	59.6【↑】	57.6（5）
7	防犯・治安などの安心感	59.0【↑】	54.4（6）
8	保育サービス・子育て支援	58.4【↑】	48.6（10）
9	生活支援・介護など高齢者福祉	56.2【↑】	52.6（7）
9	消防体制(署の配置など)	56.2【↑】	48.6（10）

【東野】

東野の満足度の高い施策は、「ごみ収集と処理サービス」「下水道・農業集落排水・合併処理浄化槽の整備」「上水道・簡易水道の整備」、不満度の高い施策は、「魅力ある働く場の確保」「段差や道幅など歩道の安全性」「農業の振興対策」「バスの便利さ」「商店街のにぎわい」、重要度の高い施策は、「緊急医療体制（夜間・休日・救急）」「医療機関（病院・診療所）」「買い物物の便利さ」となっています。

◇満足度の高い施策

順位	施策名	今回	前回（平成26年度）
1	ごみ収集と処理サービス	60.6【↑】	40.7（6）
2	下水道・農業集落排水・合併処理浄化槽の整備	54.5【↑】	40.8（4）
3	上水道・簡易水道の整備	48.5【↓】	51.9（1）
4	買い物物の便利さ	42.4【↓】	49.9（2）
4	図書館(室)の設備と蔵書数	42.4【↑】	40.7（6）
6	健康診断・相談、保健予防	36.4【↑】	29.6（9）
7	消防体制(署の配置など)	33.3【↑】	27.8（10）
8	し尿収集と処理サービス	30.3【↑】	27.8（10）
8	ごみ減量化と資源リサイクル化	30.3【↓】	44.4（3）
10	幹線道路（国道・県道など）の整備	27.3【↑】	22.3（20）
10	小中学校における教育	27.3【↓】	27.8（10）

◇不満度の高い施策

順位	施策名	今回	前回（平成26年度）
1	魅力ある働く場の確保	54.5【↑】	42.6（1）
2	段差や道幅など歩道の安全性	48.5【↑】	31.5（7）
3	農業の振興対策	45.5【↑】	40.7（3）
3	バスの便利さ	45.5【↑】	42.6（1）
3	商店街のにぎわい	45.5【↑】	37.1（4）
6	買い物物の便利さ	39.4【↑】	22.3（13）
6	身近な市道・生活道路の整備、維持管理	39.4【↑】	24.1（12）
6	健全な財政運営	39.4【↑】	16.7（21）
9	地震・災害に対する安心感	36.4【↓】	37.0（5）
9	J R 中央線の便利さ	36.4【↑】	20.4（14）
9	行政改革の推進	36.4【↑】	9.3（40）
9	市政への市民の意見の反映	36.4【↑】	9.3（40）

◇重要度の高い施策

順位	施策名	今回	前回（平成26年度）
1	緊急医療体制(夜間・休日・救急)	78.8【↑】	44.5（3）
2	医療機関（病院・診療所）	75.8【↑】	44.5（3）
3	買い物物の便利さ	72.7【↑】	50.0（1）
4	ごみ収集と処理サービス	66.7【↑】	40.8（7）
5	保育サービス・子育て支援	63.6【↑】	37.0（13）
6	健康診断・相談、保健予防	63.6【↑】	37.0（13）
7	身近な市道・生活道路の整備、維持管理	57.6【↑】	24.1（38）
8	魅力ある働く場の確保	57.6【↑】	37.0（13）
9	地震・災害に対する安心感	57.6【↑】	37.1（12）
10	小中学校における教育	57.6【↑】	44.4（5）

【三郷町】

三郷町の満足度の高い施策は、「ごみ収集と処理サービス」「ごみ減量化と資源リサイクル化」「図書館（室）の設備と蔵書数」、不満度の高い施策は、「商店街のにぎわい」「買い物の便利さ」「段差や道幅など歩道の安全性」、重要度の高い施策は、「医療機関（病院・診療所）」「緊急医療体制（夜間・休日・救急）」「防犯・治安などの安心感」となっています。（n=54）

◇満足度の高い施策

順位	施策名	今回	前回（平成26年度）
1	ごみ収集と処理サービス	50.0 【↓】	56.2 （1）
2	ごみ減量化と資源リサイクル化	42.6 【↑】	39.7 （5）
2	図書館（室）の設備と蔵書数	42.6 【↑】	42.5 （3）
4	健康診断・相談、保健予防	40.7 【↓】	41.1 （4）
5	し尿収集と処理サービス	37.0 【↑】	26.0 （15）
5	広報による市情報の提供と公開	37.0 【↑】	35.6 （7）
5	受付・窓口などでの市職員の対応	37.0 【↓】	38.4 （6）
8	上水道・簡易水道の整備	35.2 【↓】	49.4 （2）
9	地域の助け合いによる福祉活動	31.5 【↑】	12.3 （36）
9	防犯・治安などの安心感	31.5 【↑】	23.3 （18）

◇不満度の高い施策

順位	施策名	今回	前回（平成26年度）
1	商店街のにぎわい	55.6 【↑】	48.0 （3）
2	買い物の便利さ	53.7 【↑】	43.8 （4）
3	段差や道幅など歩道の安全性	50.0 【↑】	31.5 （9）
4	魅力ある働く場の確保	46.3 【↓】	53.4 （2）
4	バスの便利さ	46.3 【↓】	53.5 （1）
6	身近な市道・生活道路の整備、維持管理	42.6 【↑】	41.1 （5）
7	地震・災害に対する安心感	38.9 【↑】	34.2 （7）
8	林業（里山・山林）保全と振興	37.0 【↑】	31.5 （9）
9	医療機関（病院・診療所）	35.2 【↑】	32.9 （8）
9	J R中央線の便利さ	35.2 【↑】	28.8 （12）

◇重要度の高い施策

順位	施策名	今回	前回（平成26年度）
1	医療機関（病院・診療所）	72.2 【↑】	57.5 （4）
2	緊急医療体制（夜間・休日・救急）	68.5 【↑】	57.5 （4）
3	防犯・治安などの安心感	64.8 【↑】	52.1 （10）
4	地震・災害に対する安心感	63.0 【↑】	56.1 （9）
5	健康診断・相談、保健予防	61.1 【↑】	57.6 （3）
5	生活支援・介護など高齢者福祉	61.1 【↑】	50.6 （12）
7	ごみ減量化と資源リサイクル化	57.4 【↑】	46.6 （18）
7	受付・窓口などでの市職員の対応	57.4 【↑】	47.9 （15）
9	消防体制（署の配置など）	55.6 【↑】	46.6 （18）
9	段差や道幅など歩道の安全性	55.6 【↑】	42.4 （24）

【武並町】

武並町の満足度の高い施策は、「ごみ収集と処理サービス」「上水道・簡易水道の整備」「ごみ減量化と資源リサイクル化」、不満度の高い施策は、「買い物の便利さ」「商店街のにぎわい」「医療機関（病院・診療所）」、重要度の高い施策は、「健康診断・相談、保健予防」「身近な市道・生活道路の整備、維持管理」「保育サービス・子育て支援」となっています。（n=67）

◇満足度の高い施策

順位	施策名	今回	前回（平成26年度）
1	ごみ収集と処理サービス	47.8 【↓】	51.0 （1）
2	上水道・簡易水道の整備	44.8 【↑】	38.1 （3）
3	ごみ減量化と資源リサイクル化	43.3 【↑】	30.4 （7）
4	下水道・農業集落排水・合併処理浄化槽の整備	38.8 【↑】	30.4 （7）
5	健康診断・相談、保健予防	37.3 【↓】	39.1 （2）
6	図書館(室)の設備と蔵書数	34.3 【↓】	34.8 （4）
6	広報による市情報の提供と公開	34.3 【↑】	32.6 （5）
8	受付・窓口などでの市職員の対応	32.8 【↑】	31.6 （6）
9	地域の助け合いによる福祉活動	25.4 【↓】	27.2 （11）
10	し尿収集と処理サービス	23.9 【↑】	21.7 （17）
10	大気汚染・騒音・水質など公害対策	23.9 【↑】	15.2 （30）
10	J R中央線の便利さ	23.9 【↓】	27.2 （11）

◇不満度の高い施策

順位	施策名	今回	前回（平成26年度）
1	買い物の便利さ	59.7 【↑】	56.6 （1）
1	商店街のにぎわい	59.7 【↑】	54.4 （2）
3	医療機関（病院・診療所）	55.2 【↑】	35.9 （9）
4	身近な市道・生活道路の整備、維持管理	52.2 【↑】	39.1 （5）
5	バスの便利さ	44.8 【↓】	45.7 （4）
6	地震・災害に対する安心感	40.3 【↑】	34.8 （11）
7	段差や道幅など歩道の安全性	38.8 【↓】	39.1 （5）
8	魅力ある働く場の確保	37.3 【↓】	48.9 （3）
9	緊急医療体制(夜間・休日・救急)	34.3 【↓】	39.1 （5）
10	農業の振興対策	32.8 【↓】	35.9 （9）

◇重要度の高い施策

順位	施策名	今回	前回（平成26年度）
1	健康診断・相談、保健予防	73.1 【↑】	64.1 （3）
2	身近な市道・生活道路の整備、維持管理	68.7 【↑】	54.3 （9）
3	保育サービス・子育て支援	64.2 【↑】	59.8 （4）
4	生活支援・介護など高齢者福祉	62.7 【↑】	56.4 （7）
4	医療機関（病院・診療所）	62.7 【↓】	66.3 （2）
6	買い物の便利さ	61.2 【↑】	56.6 （6）
7	緊急医療体制(夜間・休日・救急)	59.7 【↓】	69.5 （1）
7	段差や道幅など歩道の安全性	59.7 【↑】	45.7 （17）
9	ごみ減量化と資源リサイクル化	58.2 【↑】	45.6 （18）
10	ごみ収集と処理サービス	56.7 【↑】	54.4 （8）

【笠置町】

笠置町の満足度の高い施策は、「上水道・簡易水道の整備」「ごみ収集と処理サービス」「健康診断・相談、保健予防」「ごみ減量化と資源リサイクル化」、不満度の高い施策は、「商店街のにぎわい」「買い物の便利さ」「バスの便利さ」「段差や道幅など歩道の安全性」「地震・災害に対する安心感」「農業の振興対策」、重要度の高い施策は、「医療機関（病院・診療所）」「健康診断・相談、保健予防」「生活支援・介護など高齢者福祉」となっています。（n=21）

◇満足度の高い施策

順位	施策名	今回	前回（平成26年度）
1	上水道・簡易水道の整備	57.1【↑】	56.9（1）
1	ごみ収集と処理サービス	57.1【↑】	52.3（2）
3	健康診断・相談、保健予防	52.4【↑】	27.3（9）
3	ごみ減量化と資源リサイクル化	52.4【↑】	31.8（5）
5	医療機関（病院・診療所）	47.6【↑】	27.3（9）
5	下水道・農業集落排水・合併処理浄化槽の整備	47.6【↑】	43.2（3）
5	し尿収集と処理サービス	47.6【↑】	31.8（5）
8	J R 中央線の便利さ	42.9【↑】	18.2（20）
8	広報による市情報の提供と公開	42.9【↑】	31.8（5）
8	受付・窓口などでの市職員の対応	42.9【↑】	34.1（4）

◇不満度の高い施策

順位	施策名	今回	前回（平成26年度）
1	商店街のにぎわい	57.1【↑】	36.3（10）
2	買い物の便利さ	47.6【↑】	45.5（3）
3	バスの便利さ	42.9【↓】	43.1（5）
3	段差や道幅など歩道の安全性	42.9【↑】	40.9（7）
3	地震・災害に対する安心感	42.9【↓】	47.7（2）
3	農業の振興対策	42.9【↑】	34.1（11）
7	体育施設の数と設備	38.1【↑】	9.1（48）
7	工業の振興対策	38.1【↑】	22.7（23）
7	行政改革の推進	38.1【↑】	22.7（23）
10	身近な市道・生活道路の整備、維持管理	33.3【↓】	49.9（1）
10	魅力ある働く場の確保	33.3【↓】	43.1（5）
10	移住・定住の支援対策	33.3【↑】	31.8（13）

◇重要度の高い施策

順位	施策名	今回	前回（平成26年度）
1	医療機関（病院・診療所）	61.9【↑】	49.9（10）
2	健康診断・相談、保健予防	57.1【↑】	38.6（24）
3	生活支援・介護など高齢者福祉	57.1【↑】	52.3（6）
4	緊急医療体制（夜間・休日・救急）	57.1【↓】	59.1（1）
5	防犯・治安などの安心感	52.4【↑】	47.8（12）
6	山林や河川などの自然環境の保全	47.6【↑】	31.8（36）
7	地震・災害に対する安心感	47.6【↓】	50.1（8）
8	段差や道幅など歩道の安全性	47.6【↑】	40.9（22）
9	買い物の便利さ	47.6【↑】	34.1（31）
10	地域の助け合いによる福祉活動	42.9【↓】	43.2（18）
10	消防体制（署の配置など）	42.9【↓】	54.5（4）
10	上水道・簡易水道の整備	42.9【↓】	49.9（10）
10	J R 中央線の便利さ	42.9【↓】	43.2（18）
10	農業の振興対策	42.9【↑】	36.4（26）
10	健全な財政運営	42.9【↓】	45.4（16）
10	行政改革の推進	42.9【↓】	50.0（9）

【中野方町】

中野方町の満足度の高い施策は、「ごみ収集と処理サービス」「上水道・簡易水道の整備」「受付・窓口などでの市職員の対応」、不満度の高い施策は、「買い物の便利さ」「魅力ある働く場の確保」「バスの便利さ」、重要度の高い施策は、「医療機関（病院・診療所）」「ごみ収集と処理サービス」「緊急医療体制（夜間・休日・救急）」となっています。（n=37）

◇満足度の高い施策

順位	施策名	今回	前回（平成26年度）
1	ごみ収集と処理サービス	62.2【↑】	61.1（1）
2	上水道・簡易水道の整備	51.4【↑】	44.4（2）
3	受付・窓口などでの市職員の対応	48.6【↑】	27.7（10）
4	健康診断・相談、保健予防	45.9【↑】	37.0（6）
5	地域の助け合いによる福祉活動	40.5【↓】	42.6（3）
6	ごみ減量化と資源リサイクル化	40.5【↑】	33.3（8）
7	下水道・農業集落排水・合併処理浄化槽の整備	37.8【↑】	27.8（11）
8	広報による市情報の提供と公開	35.1【↑】	26.0（13）
9	保育サービス・子育て支援	32.4【↑】	20.4（16）
10	医療機関（病院・診療所）	32.4【↓】	40.8（4）

◇不満度の高い施策

順位	施策名	今回	前回（平成26年度）
1	買い物の便利さ	54.1【↑】	40.7（5）
1	魅力ある働く場の確保	54.1【↓】	57.4（1）
3	バスの便利さ	45.9【↑】	42.5（4）
4	消防体制（署の配置など）	43.2【↑】	20.4（19）
4	段差や道幅など歩道の安全性	43.2【↑】	42.6（3）
6	商店街のにぎわい	40.5【↓】	46.3（2）
7	身近な市道・生活道路の整備、維持管理	37.8【↑】	35.2（8）
8	工業の振興対策	35.1【↓】	38.9（6）
9	緊急医療体制（夜間・休日・救急）	32.4【↑】	27.8（13）
9	幹線道路（国道・県道など）の整備	32.4【↑】	27.8（13）
9	林業（里山・山林）保全と振興	32.4【↑】	31.5（10）
9	農業の振興対策	32.4【↓】	35.2（8）

◇重要度の高い施策

順位	施策名	今回	前回（平成26年度）
1	医療機関（病院・診療所）	64.9【↑】	61.1（1）
2	ごみ収集と処理サービス	62.2【↑】	51.8（4）
3	緊急医療体制（夜間・休日・救急）	59.5【↑】	57.4（2）
3	ごみ減量化と資源リサイクル化	59.5【↑】	42.6（13）
5	下水道・農業集落排水・合併処理浄化槽の整備	56.8【↑】	35.2（26）
6	地域の助け合いによる福祉活動	51.4【↑】	44.4（10）
6	生活支援・介護など高齢者福祉	51.4【↑】	48.1（7）
8	保育サービス・子育て支援	48.6【↓】	53.7（3）
8	健康診断・相談、保健予防	48.6【↓】	50.0（5）
8	上水道・簡易水道の整備	48.6【↑】	40.8（18）

【飯地町】

飯地町の満足度の高い施策は、「上水道・簡易水道の整備」「健康診断・相談、保健予防」「ごみ収集と処理サービス」、不満度の高い施策は、「幹線道路（国道・県道など）の整備」「身近な市道・生活道路の整備、維持管理」「買い物の便利さ」、重要度の高い施策は、「身近な市道・生活道路の整備、維持管理」「幹線道路（国道・県道など）の整備」「医療機関（病院・診療所）」「緊急医療体制（夜間・休日・救急）」となっています。（n=30）

◇満足度の高い施策

順位	施策名	今回	前回（平成26年度）
1	上水道・簡易水道の整備	53.3【↓】	61.9（2）
2	健康診断・相談、保健予防	46.7【↓】	47.6（6）
3	ごみ収集と処理サービス	43.3【↓】	71.4（1）
4	医療機関（病院・診療所）	40.0【↓】	47.7（5）
4	下水道・農業集落排水・合併処理浄化槽の整備	40.0【↓】	52.4（4）
4	し尿収集と処理サービス	40.0【↓】	42.9（7）
4	広報による市情報の提供と公開	40.0【↑】	28.5（13）
4	受付・窓口などでの市職員の対応	40.0【↑】	30.9（12）
9	大気汚染・騒音・水質など公害対策	33.3【↑】	31.0（10）
9	ごみ減量化と資源リサイクル化	33.3【↓】	57.2（3）

◇不満度の高い施策

順位	施策名	今回	前回（平成26年度）
1	幹線道路（国道・県道など）の整備	76.7【↑】	69.0（1）
2	身近な市道・生活道路の整備、維持管理	73.3【↑】	52.3（4）
3	買い物の便利さ	60.0【↑】	54.8（3）
4	バスの便利さ	56.7【↑】	47.6（6）
5	段差や道幅など歩道の安全性	53.3【↑】	35.7（11）
6	消防体制(署の配置など)	50.0【↑】	40.5（7）
6	観光施設と誘客PR	50.0【↑】	38.1（8）
6	商店街のにぎわい	50.0【↓】	52.3（4）
9	魅力ある働く場の確保	46.7【↓】	57.1（2）
10	移住・定住の支援対策	43.3【↑】	35.7（11）

◇重要度の高い施策

順位	施策名	今回	前回（平成26年度）
1	身近な市道・生活道路の整備、維持管理	73.3【↑】	52.4（1）
1	幹線道路（国道・県道など）の整備	73.3【↑】	50.0（3）
3	医療機関（病院・診療所）	70.0【↑】	52.3（2）
3	緊急医療体制(夜間・休日・救急)	70.0【↑】	50.0（3）
5	買い物の便利さ	66.7【↑】	42.9（12）
5	消防体制(署の配置など)	66.7【↑】	50.0（3）
7	生活支援・介護など高齢者福祉	63.3【↑】	45.2（9）
8	健康診断・相談、保健予防	60.0【↑】	47.7（7）
8	移住・定住の支援対策	60.0【↑】	40.5（13）
10	ごみ収集と処理サービス	56.7【↑】	50.0（3）
10	ごみ減量化と資源リサイクル化	56.7【↑】	47.7（7）
10	魅力ある働く場の確保	56.7【↑】	38.1（17）

【岩村町】

岩村町の満足度の高い施策は、「上水道・簡易水道の整備」「ごみ収集と処理サービス」「下水道・農業集落排水・合併処理浄化槽の整備」、不満度の高い施策は、「商店街のにぎわい」「魅力ある働く場の確保」「バスの便利さ」、重要度の高い施策は、「医療機関（病院・診療所）」「買い物の便利さ」「緊急医療体制（夜間・休日・救急）」となっています。（n=94）

◇満足度の高い施策

順位	施策名	今回	前回（平成26年度）
1	上水道・簡易水道の整備	64.9【↑】	59.4（1）
2	ごみ収集と処理サービス	62.8【↑】	53.8（2）
3	下水道・農業集落排水・合併処理浄化槽の整備	51.1【↑】	42.7（4）
4	消防体制(署の配置など)	46.8【↑】	30.1（9）
5	まち並み・景観の保全と整備	37.2【↑】	31.5（7）
6	買い物の便利さ	36.2【↓】	44.1（3）
7	健康診断・相談、保健予防	35.1【↓】	37.8（5）
7	大気汚染・騒音・水質など公害対策	35.1【↑】	23.1（14）
7	ごみ減量化と資源リサイクル化	35.1【↑】	30.8（8）
10	幹線道路（国道・県道など）の整備	34.0【↑】	23.1（14）
10	防犯・治安などの安心感	34.0【↑】	33.6（6）

◇不満度の高い施策

順位	施策名	今回	前回（平成26年度）
1	商店街のにぎわい	60.6【↑】	53.1（1）
2	魅力ある働く場の確保	56.4【↑】	47.6（2）
3	バスの便利さ	51.1【↑】	38.5（5）
4	明知鉄道の便利さ	46.8【↑】	35.0（8）
5	医療機関（病院・診療所）	43.6【↑】	41.2（4）
5	身近な市道・生活道路の整備、維持管理	43.6【↑】	42.7（3）
7	公園・緑地など憩いの場	41.5【↑】	35.0（8）
8	健全な財政運営	38.3【↑】	24.5（16）
9	買い物の便利さ	37.2【↑】	23.1（19）
10	林業(里山・山林)保全と振興	36.2【↑】	23.8（17）

◇重要度の高い施策

順位	施策名	今回	前回（平成26年度）
1	医療機関（病院・診療所）	66.0【↑】	62.2（1）
2	買い物の便利さ	63.8【↑】	56.6（4）
3	緊急医療体制(夜間・休日・救急)	61.7【↑】	60.1（2）
4	魅力ある働く場の確保	57.4【↑】	47.5（13）
5	上水道・簡易水道の整備	54.3【↓】	57.3（3）
5	健康診断・相談、保健予防	54.3【↑】	53.2（6）
7	地震・災害に対する安心感	52.1【↑】	49.0（11）
7	健全な財政運営	52.1【↑】	39.2（23）
7	身近な市道・生活道路の整備、維持管理	52.1【↑】	44.8（15）
7	防犯・治安などの安心感	51.1【↓】	53.1（7）

【山岡町】

山岡町の満足度の高い施策は、「ごみ収集と処理サービス」「上水道・簡易水道の整備」「広報による市情報の提供と公開」、不満度の高い施策は、「商店街のにぎわい」「魅力ある働く場の確保」「買い物の便利さ」、重要度の高い施策は、「医療機関（病院・診療所）」「緊急医療体制（夜間・休日・救急）」「上水道・簡易水道の整備」「魅力ある働く場の確保」となっています。（n=81）

◇満足度の高い施策

順位	施策名	今回	前回（平成26年度）
1	ごみ収集と処理サービス	64.2【↑】	54.9（1）
2	上水道・簡易水道の整備	40.7【↓】	46.1（2）
3	広報による市情報の提供と公開	37.0【↑】	35.6（4）
4	し尿収集と処理サービス	34.6【↑】	29.6（6）
5	受付・窓口などでの市職員の対応	32.1【↑】	28.7（7）
6	健康診断・相談、保健予防	29.6【↓】	34.8（5）
7	医療機関（病院・診療所）	28.4【↑】	21.8（13）
8	消防体制(署の配置など)	24.7【↓】	25.2（9）
8	下水道・農業集落排水・合併処理浄化槽の整備	24.7【↓】	27.8（8）
10	地域の助け合いによる福祉活動	23.5【↑】	17.4（19）
10	生活支援・介護など高齢者福祉	23.5【↑】	20.8（15）

◇不満度の高い施策

順位	施策名	今回	前回（平成26年度）
1	商店街のにぎわい	72.8【↑】	65.3（2）
2	魅力ある働く場の確保	70.4【↑】	69.5（1）
3	買い物の便利さ	66.7【↑】	61.0（3）
4	工業の振興対策	58.0【↑】	52.2（5）
5	幹線道路（国道・県道など）の整備	55.6【↑】	37.3（15）
6	バスの便利さ	54.3【↓】	54.8（4）
7	身近な市道・生活道路の整備、維持管理	53.1【↑】	48.7（7）
8	段差や道幅など歩道の安全性	48.1【↓】	49.5（6）
8	農業の振興対策	48.1【↑】	41.7（12）
10	J R 中央線の便利さ	44.4【↓】	46.1（8）

◇重要度の高い施策

順位	施策名	今回	前回（平成26年度）
1	医療機関（病院・診療所）	67.9【↑】	61.6（1）
2	緊急医療体制(夜間・休日・救急)	59.3【↑】	54.8（2）
3	上水道・簡易水道の整備	54.3【↑】	41.7（13）
3	魅力ある働く場の確保	54.3【↑】	50.5（5）
5	ごみ収集と処理サービス	53.1【↓】	54.8（2）
5	買い物の便利さ	53.1【↑】	47.8（8）
7	地震・災害に対する安心感	51.9【↑】	39.1（16）
7	幹線道路（国道・県道など）の整備	51.9【↑】	45.2（10）
9	健康診断・相談、保健予防	50.6【↓】	52.2（4）
9	防犯・治安などの安心感	50.6【↑】	39.2（14）

【明智町】

明智町の満足度の高い施策は、「上水道・簡易水道の整備」「ごみ収集と処理サービス」「健康診断・相談、保健予防」、不満度の高い施策は、「商店街のにぎわい」「観光施設と誘客PR」「魅力ある働く場の確保」、重要度の高い施策は、「医療機関（病院・診療所）」「生活支援・介護など高齢者福祉」「緊急医療体制（夜間・休日・救急）」となっています。（n=112）

◇満足度の高い施策

順位	施策名	今回	前回（平成26年度）
1	上水道・簡易水道の整備	58.0【↑】	47.4（2）
2	ごみ収集と処理サービス	49.1【↓】	54.4（1）
3	健康診断・相談、保健予防	40.2【↓】	40.8（3）
4	下水道・農業集落排水・合併処理浄化槽の整備	38.4【↑】	34.4（5）
4	受付・窓口などでの市職員の対応	38.4【↑】	31.4（8）
6	し尿収集と処理サービス	32.1【↓】	34.9（4）
6	ごみ減量化と資源リサイクル化	32.1【↓】	33.1（6）
8	消防体制（署の配置など）	29.5【↑】	27.2（11）
9	医療機関（病院・診療所）	27.7【↓】	28.4（10）
9	広報による市情報の提供と公開	27.7【↑】	24.8（13）

◇不満度の高い施策

順位	施策名	今回	前回（平成26年度）
1	商店街のにぎわい	80.4【↑】	64.5（1）
2	観光施設と誘客PR	66.1【↑】	39.6（6）
3	魅力ある働く場の確保	57.1【↑】	54.4（2）
4	段差や道幅など歩道の安全性	49.1【↑】	47.9（3）
5	買い物の便利さ	45.5【↑】	33.7（9）
5	身近な市道・生活道路の整備、維持管理	45.5【↑】	43.8（5）
7	幹線道路（国道・県道など）の整備	43.8【↓】	46.8（4）
8	新しい分野の起業家支援	40.2【↑】	26.1（21）
9	公園・緑地など憩いの場	39.3【↑】	33.7（9）
9	工業の振興対策	39.3【↑】	32.0（12）
9	医療機関（病院・診療所）	39.3【↑】	30.8（14）
9	バスの便利さ	39.3【↑】	34.3（8）
9	移住・定住の支援対策	39.3【↑】	30.8（14）

◇重要度の高い施策

順位	施策名	今回	前回（平成26年度）
1	医療機関（病院・診療所）	52.7【↑】	51.5（3）
2	生活支援・介護など高齢者福祉	51.8【↑】	50.2（4）
3	緊急医療体制（夜間・休日・救急）	50.9【↓】	52.0（2）
4	上水道・簡易水道の整備	50.0【↑】	45.6（10）
5	ごみ収集と処理サービス	49.1【↓】	54.4（1）
6	保育サービス・子育て支援	47.3【↑】	45.0（11）
6	健康診断・相談、保健予防	47.3【↓】	49.1（5）
8	ごみ減量化と資源リサイクル化	44.6【↓】	46.7（9）
9	障がい者（児）への福祉サービス	43.8【↑】	42.0（17）
10	地震・災害に対する安心感	42.9【↓】	44.4（12）
10	魅力ある働く場の確保	42.9【↓】	43.8（13）
10	受付・窓口などでの市職員の対応	42.9【↑】	38.5（20）

【串原】

串原の満足度の高い施策は、「上水道・簡易水道の整備」「下水道・農業集落排水・合併処理浄化槽の整備」「し尿収集と処理サービス」、不満度の高い施策は、「幹線道路（国道・県道など）の整備」「バスの便利さ」「身近な市道・生活道路の整備、維持管理」、重要度の高い施策は、「身近な市道・生活道路の整備、維持管理」「緊急医療体制（夜間・休日・救急）」「医療機関（病院・診療所）」「地震・災害に対する安心感」「魅力ある働く場の確保」となっています。（n=29）

◇満足度の高い施策

順位	施策名	今回	前回（平成26年度）
1	上水道・簡易水道の整備	65.5【↑】	46.2（2）
2	下水道・農業集落排水・合併処理浄化槽の整備	55.2【↑】	44.3（3）
2	し尿収集と処理サービス	55.2【↑】	42.3（4）
4	ごみ収集と処理サービス	51.7【↑】	50.0（1）
5	情報通信環境の整備	41.4【↑】	23.1（11）
5	ごみ減量化と資源リサイクル化	41.4【↑】	32.7（5）
7	受付・窓口などでの市職員の対応	37.9【↑】	32.7（5）
7	大気汚染・騒音・水質など公害対策	37.9【↑】	27.0（9）
9	健康診断・相談、保健予防	34.5【↑】	32.7（5）
10	移住・定住の支援対策	24.1【↑】	17.3（18）
10	防犯・治安などの安心感	24.1【↑】	15.4（21）
10	小中学校における教育	24.1【↑】	21.1（14）
10	生活支援・介護など高齢者福祉	24.1【↑】	23.1（11）
10	広報による市情報の提供と公開	24.1【↑】	19.2（15）

◇不満度の高い施策

順位	施策名	今回	前回（平成26年度）
1	幹線道路（国道・県道など）の整備	69.0【↑】	59.6（1）
2	バスの便利さ	65.5【↑】	55.8（2）
3	身近な市道・生活道路の整備、維持管理	58.6【↑】	51.9（5）
4	医療機関（病院・診療所）	51.7【↑】	34.7（10）
4	買い物の便利さ	51.7【↓】	53.9（4）
4	商店街のにぎわい	51.7【↑】	40.4（7）
4	農業の振興対策	51.7【↑】	42.3（6）
8	魅力ある働く場の確保	48.3【↓】	55.8（2）
9	J R 中央線の便利さ	44.8【↑】	30.8（15）
10	段差や道幅など歩道の安全性	41.4【↑】	34.7（10）
10	林業（里山・山林）保全と振興	41.4【↑】	38.5（9）

◇重要度の高い施策

順位	施策名	今回	前回（平成26年度）
1	身近な市道・生活道路の整備、維持管理	75.9【↑】	40.4（2）
2	緊急医療体制（夜間・休日・救急）	69.0【↑】	36.6（7）
3	医療機関（病院・診療所）	62.1【↑】	46.1（1）
3	地震・災害に対する安心感	62.1【↑】	36.6（7）
3	魅力ある働く場の確保	62.1【↑】	40.4（2）
6	買い物の便利さ	58.6【↑】	36.5（10）
6	林業（里山・山林）保全と振興	58.6【↑】	30.8（19）
6	幹線道路（国道・県道など）の整備	58.6【↑】	32.7（16）
9	保育サービス・子育て支援	55.2【↑】	30.8（19）
9	生活支援・介護など高齢者福祉	55.2【↑】	40.4（2）
9	バスの便利さ	55.2【↑】	23.1（34）
9	農業の振興対策	55.2【↑】	32.7（16）
9	健全な財政運営	55.2【↑】	28.8（25）

【上矢作町】

上矢作町の満足度の高い施策は、「緊急医療体制（夜間・休日・救急）」「医療機関（病院・診療所）」「ごみ収集と処理サービス」、不満度の高い施策は、「魅力ある働く場の確保」「商店街のにぎわい」「買い物の便利さ」、重要度の高い施策は、「緊急医療体制（夜間・休日・救急）」「下水道・農業集落排水・合併処理浄化槽の整備」「医療機関（病院・診療所）」となっています。（n=37）

◇満足度の高い施策

順位	施策名	今回	前回（平成26年度）
1	緊急医療体制(夜間・休日・救急)	56.8【↑】	51.4（3）
2	医療機関（病院・診療所）	54.1【↑】	51.4（3）
2	ごみ収集と処理サービス	54.1【↓】	58.3（1）
4	上水道・簡易水道の整備	51.4【↓】	56.9（2）
5	下水道・農業集落排水・合併処理浄化槽の整備	48.6【↑】	47.2（5）
6	健康診断・相談、保健予防	45.9【↑】	43.0（7）
7	ごみ減量化と資源リサイクル化	35.1【↓】	43.1（6）
8	地域の助け合いによる福祉活動	32.4【↑】	27.8（11）
8	生活支援・介護など高齢者福祉	32.4【↑】	27.8（11）
10	し尿収集と処理サービス	29.7【↓】	40.2（8）

◇不満度の高い施策

順位	施策名	今回	前回（平成26年度）
1	魅力ある働く場の確保	62.2【↓】	66.7（2）
2	商店街のにぎわい	56.8【↓】	73.6（1）
3	買い物の便利さ	54.1【↑】	52.8（4）
4	農業の振興対策	45.9【↓】	47.2（6）
5	バスの便利さ	43.2【↓】	48.5（5）
5	林業(里山・山林)保全と振興	43.2【↓】	45.8（8）
5	工業の振興対策	43.2【↓】	54.2（3）
8	身近な市道・生活道路の整備、維持管理	37.8【↓】	41.6（10）
8	幹線道路（国道・県道など）の整備	37.8【↓】	38.9（13）
8	観光施設と誘客PR	37.8【↓】	47.2（6）
8	新しい分野の起業家支援	37.8【↓】	44.4（9）

◇重要度の高い施策

順位	施策名	今回	前回（平成26年度）
1	緊急医療体制(夜間・休日・救急)	56.8【↓】	63.9（1）
2	下水道・農業集落排水・合併処理浄化槽の整備	54.1【↑】	41.7（15）
3	医療機関（病院・診療所）	51.4【↓】	58.3（2）
4	健康診断・相談、保健予防	48.6【↓】	51.4（5）
4	地域の助け合いによる福祉活動	48.6【↑】	38.9（20）
4	生活支援・介護など高齢者福祉	48.6【↑】	45.9（8）
4	障がい者(児)への福祉サービス	48.6【↑】	31.9（33）
4	幹線道路（国道・県道など）の整備	48.6【↑】	45.8（9）
9	消防体制(署の配置など)	45.9【↑】	44.5（10）
9	上水道・簡易水道の整備	45.9【↑】	44.4（11）
9	ごみ収集と処理サービス	45.9【↓】	48.6（6）
9	魅力ある働く場の確保	45.9【↓】	52.8（3）

(4) 全施策マトリックス図

全57施策について、満足度、重要度ともに5段階評価での回答を得ました。下記の方法で回答を点数化し、施策の評価を行いました。

[評価手順]

ア. 5段階の評価点を次表のように設定しました。

①満足度

① 満足度	
満足	+2 点
やや満足	+1 点
どちらともいえない	0 点
やや不満	-1 点
不満	-2 点
回答なし	0 点

②重要度

② 重要度	
高い	+2 点
やや高い	+1 点
どちらともいえない	0 点
やや低い	-1 点
低い	-2 点
回答なし	0 点

イ. 評価指数を次の式により算出しました。

(満足度)

評価指数 = (2点) × 「満足」の回答者数の割合 + (1点) × 「やや満足」の回答者数の割合 + (-1点) × 「やや不満」の回答者数の割合 + (-2点) × 「不満」の回答者数の割合

(重要度)

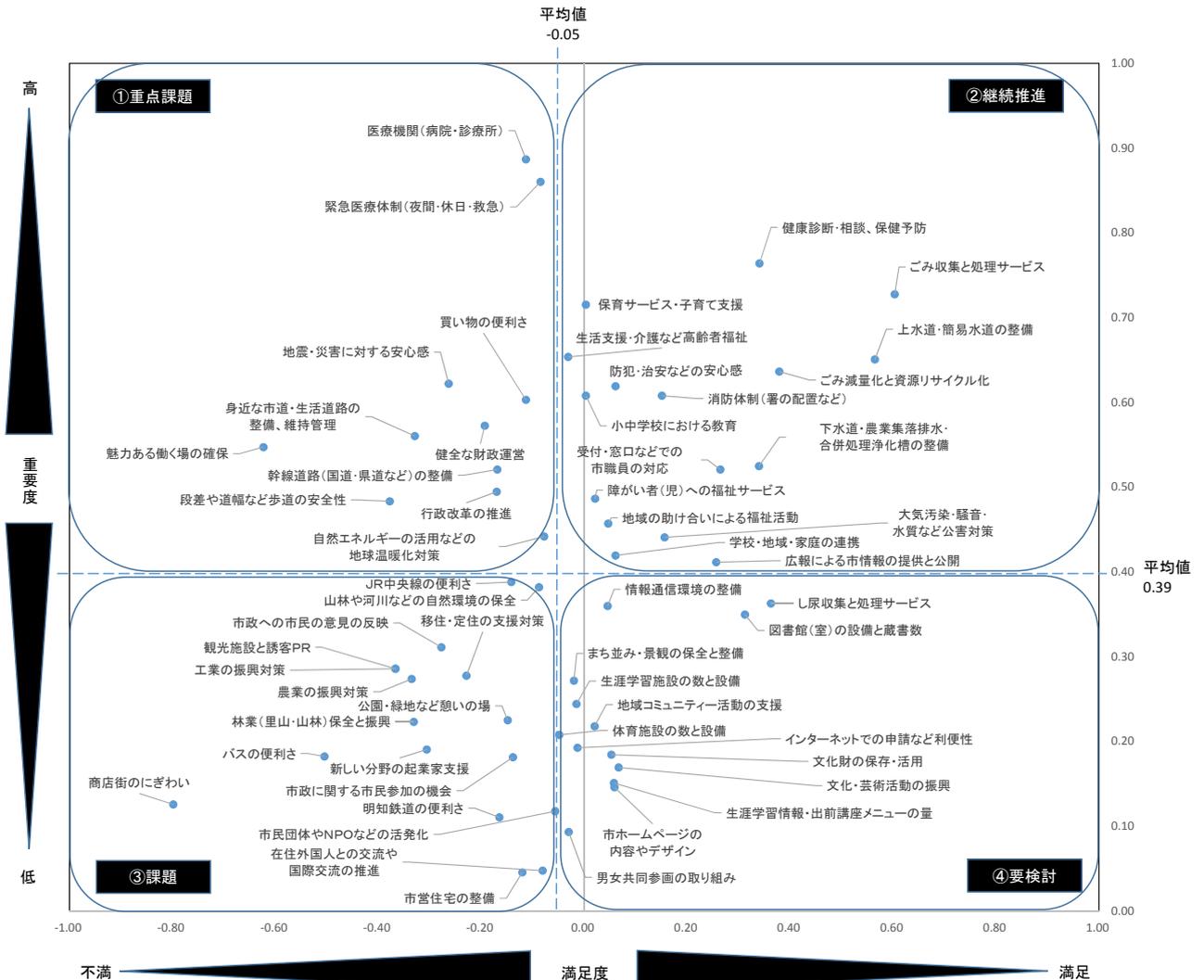
評価指数 = (2点) × 「高い」の回答者数の割合 + (1点) × 「やや高い」の回答者数の割合 + (-1点) × 「やや低い」の回答者数の割合 + (-2点) × 「低い」の回答者数の割合

ウ. 全57施策の満足度及び重要度を指数化し、分布させた2軸のマトリックスを用いました。満足度指数及び重要度指数の平均値で区分される「①重点課題」「②継続推進」「③課題」「④ 要検討」の4領域のどこに分布しているかで、各施策の評価を行いました。

区分	満足度指数	重要度指数	施策評価の目安
① 重点課題	平均未満	平均以上	最も課題のある施策であり、重点的に推進する
② 継続推進	平均以上	平均以上	継続的に市民の満足度を得られるよう施策を推進する
③ 課題	平均未満	平均未満	課題のある施策であり、必要性を検証し施策を推進する
④ 要検討	平均以上	平均未満	一定の成果が得られており、継続の必要性を検証する

全57施策の満足度指数の平均は「-0.05」、重要度指数の平均は「0.39」で、各区分に該当する施策は次のとおりです。

重要度が高く、満足度の低い『重点課題』に該当したのは、健康福祉分野の「緊急医療体制（夜間・休日・救急）」「医療機関（病院・診療所）」、生活環境分野の「地震・災害に対する安心感」「自然エネルギーなどの地球温暖化対策」、都市・交流基盤分野の「幹線道路（国道・県道など）の整備」「身近な市道・生活道路の整備、維持管理」「段差や道幅など歩道の安全性」、産業振興分野の「買い物の便利さ」「魅力ある働く場の確保」、住民参画分野の「健全な財政運営」「行政改革の推進」の11項目です。これらのうち、健康福祉分野の「医療機関（病院・診療所）」及び産業振興分野の「買い物の便利さ」を除き、全て前回調査時の『重点課題』10項目にあった施策であり、満足度の向上につながるよう、今後も重点的な取り組みの推進が求められています。



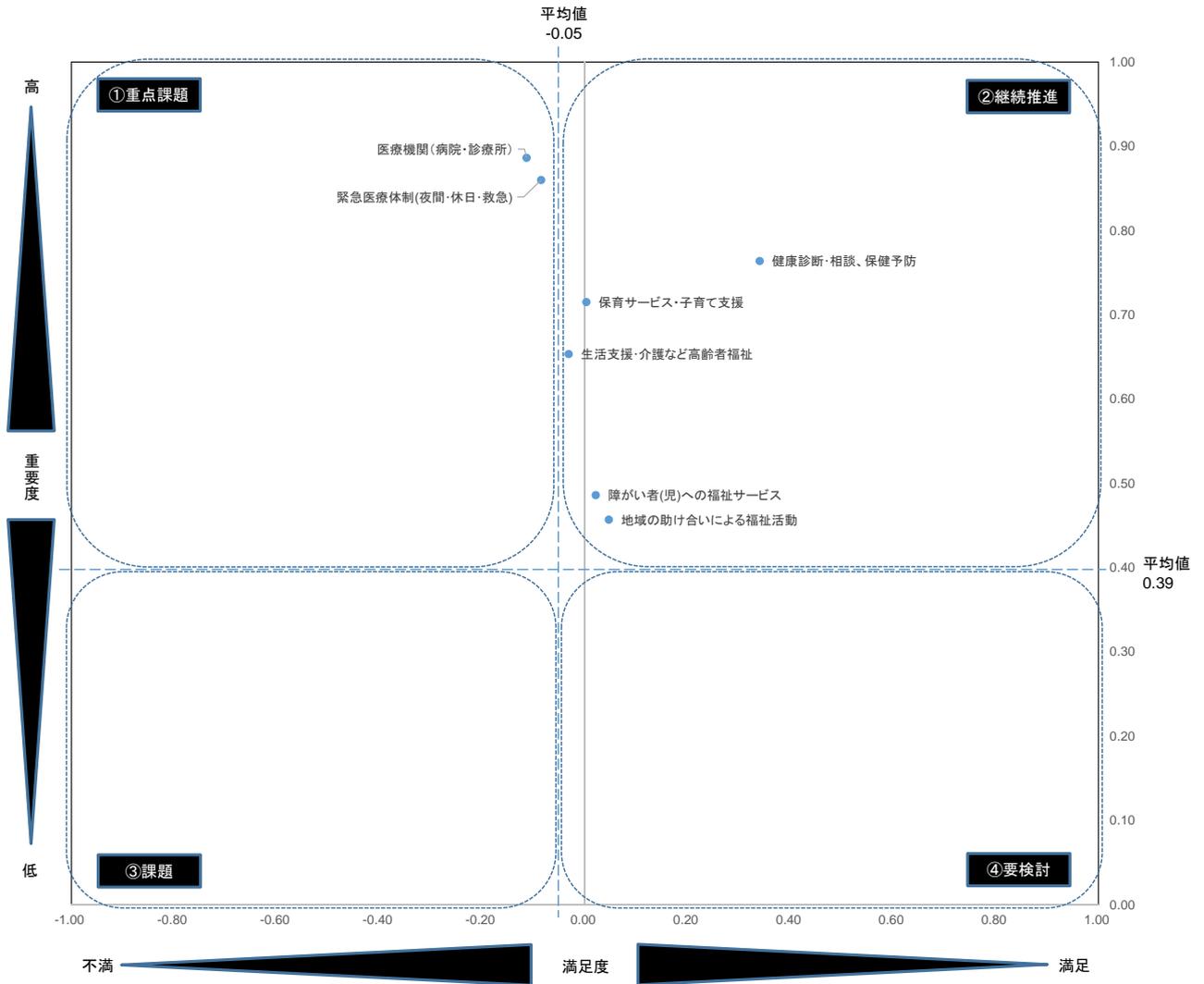
区分	①重点課題	②継続推進	③課題	④要検討
項目数(57)	11	16	17	13

(5) 分野別施策マトリックス図

平均値は、全57施設の満足度指数、及び重要度指数の平均です。

① 分野別施策の評価（健康福祉）

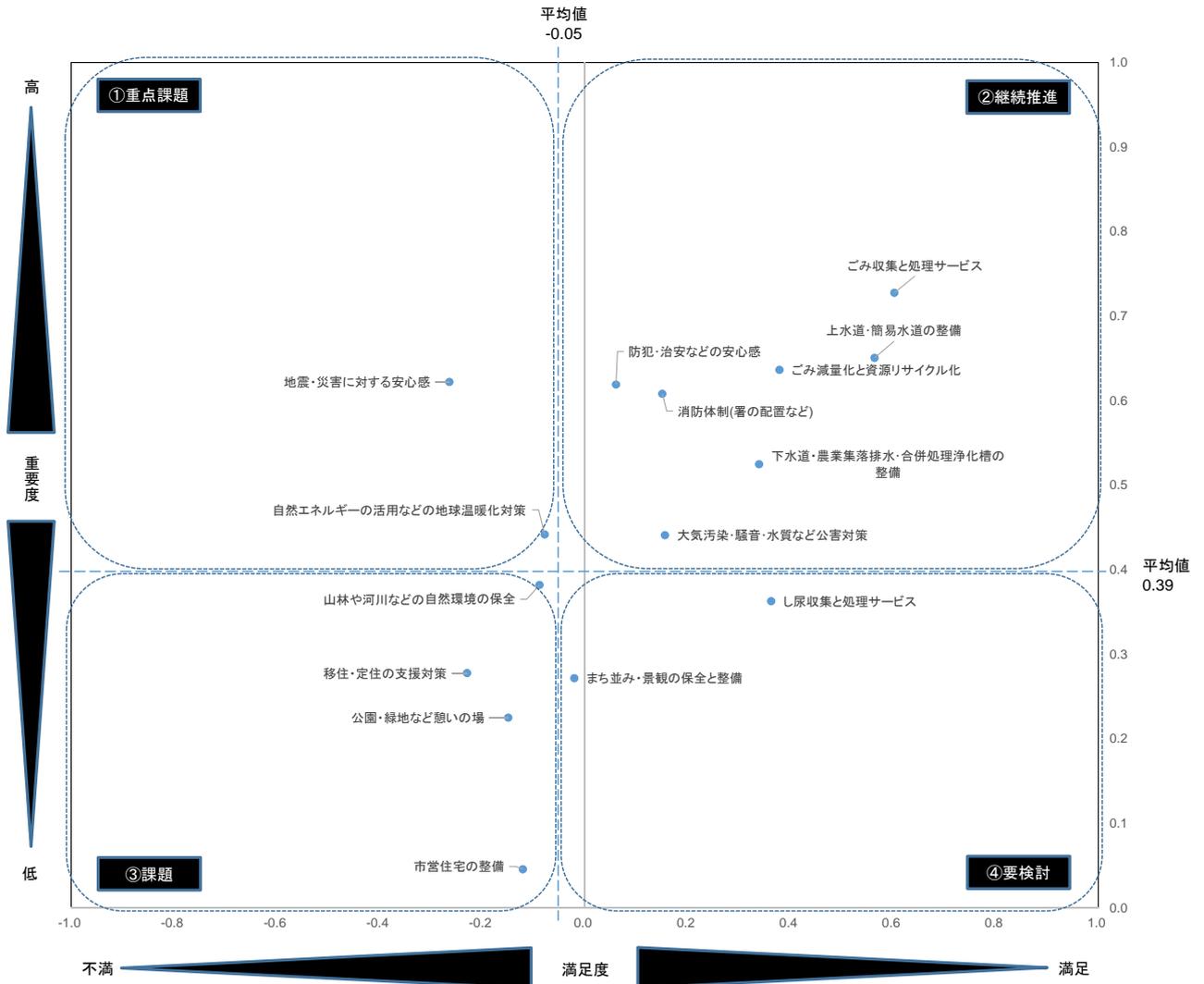
重要度が高く、満足度が低い『重要課題』に該当したのは、「医療機関（病院・診療所）」「緊急医療体制（夜間・休日・救急）」となっています。



区分	①重点課題	②継続推進	③課題	④要検討
項目数(7)	2	5	0	0

② 分野別施策の評価（生活環境）

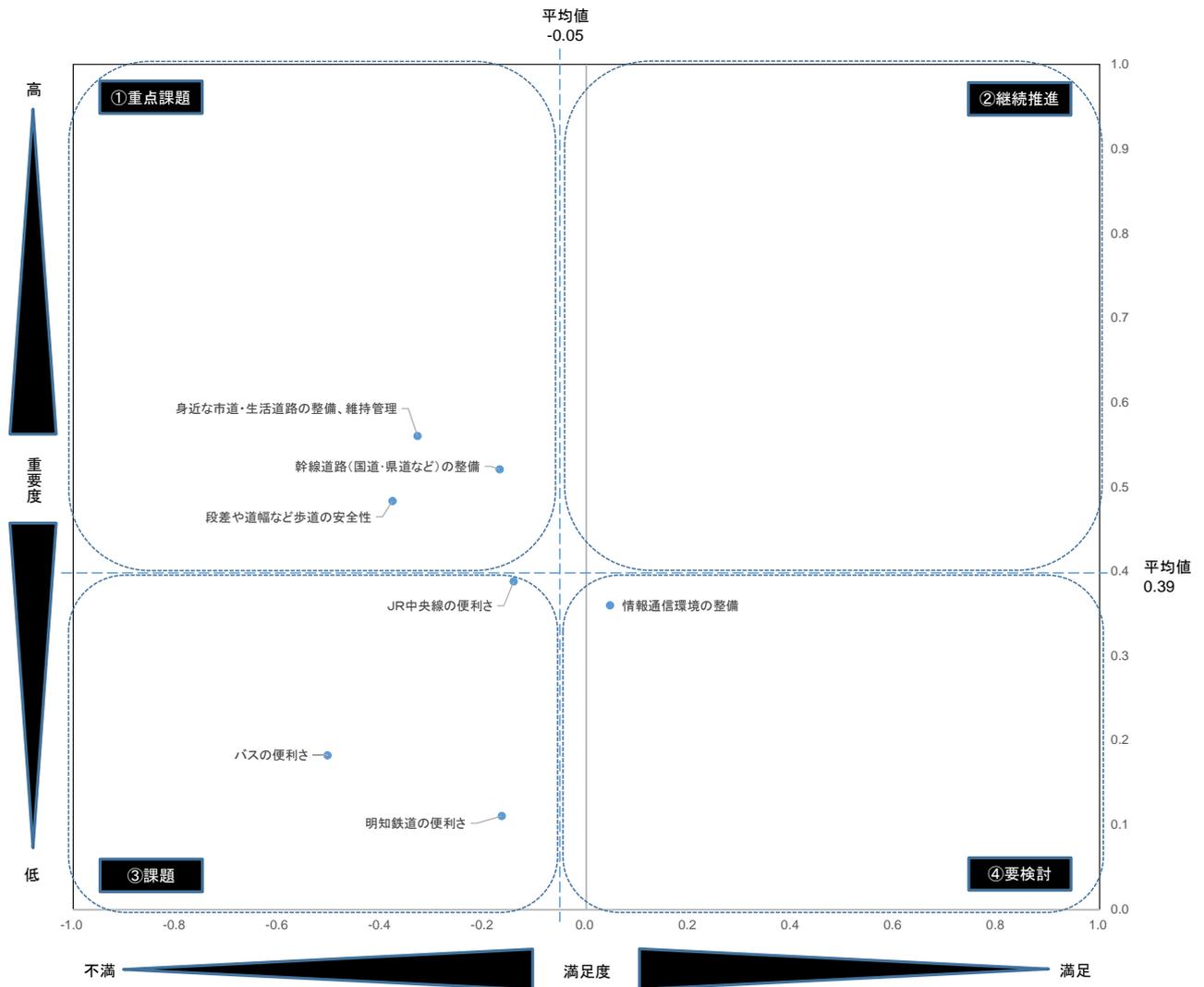
重要度が高く、満足度の低い『重点課題』に該当したのは、「地震・災害に対する安心感」「自然エネルギーの活用などの地球温暖化対策」となっています。



区分	①重点課題	②継続推進	③課題	④要検討
項目数 (15)	2	7	4	2

③ 分野別施策の評価（都市・交流基盤）

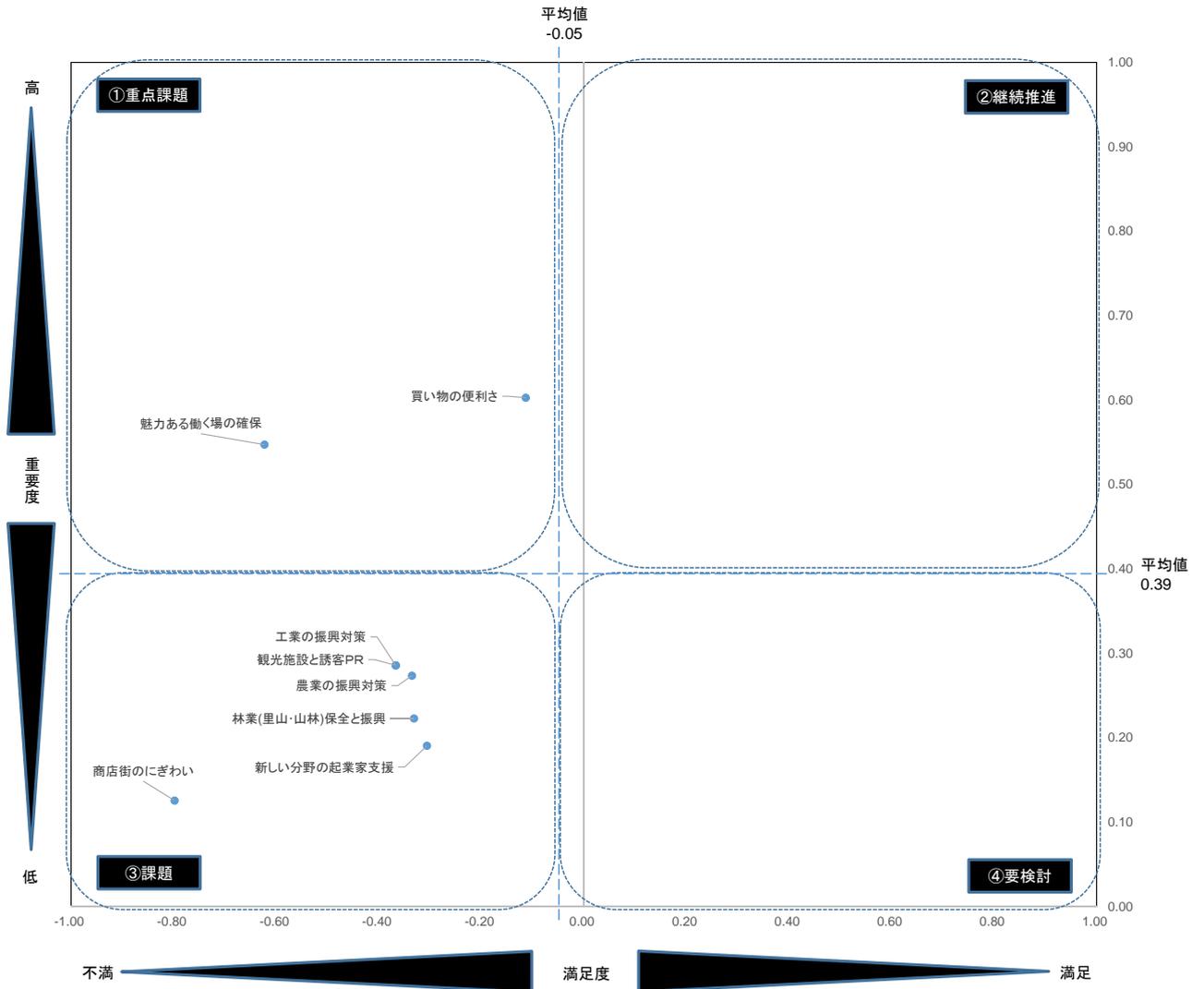
重要度が高く、満足度の低い『重要課題』に該当したのは、「身近な市道・生活道路の整備、維持管理」「幹線道路（国道・県道など）の整備」「段差や道幅など歩道の安全性」となっています。



区分	①重要課題	②継続推進	③課題	④要検討
項目数 (7)	3	0	3	1

④ 分野別施策の評価（産業振興）

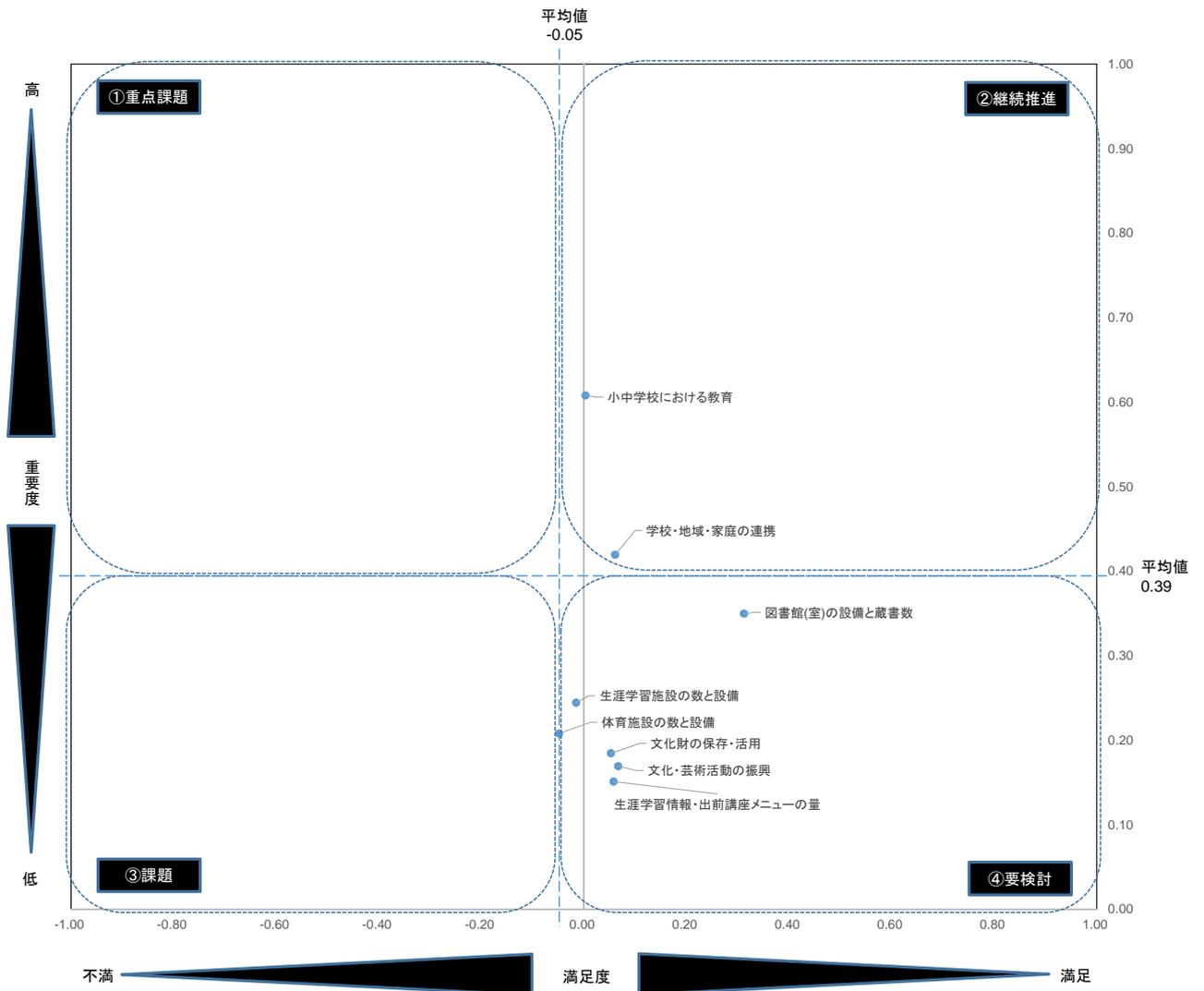
重要度が高く、満足度の低い『重要課題』に該当したのは、「買い物の便利さ」「魅力ある職場の確保」となっています。



区分	①重点課題	②継続推進	③課題	④要検討
項目数(8)	2	0	6	0

⑤ 分野別施策の評価（教育・文化）

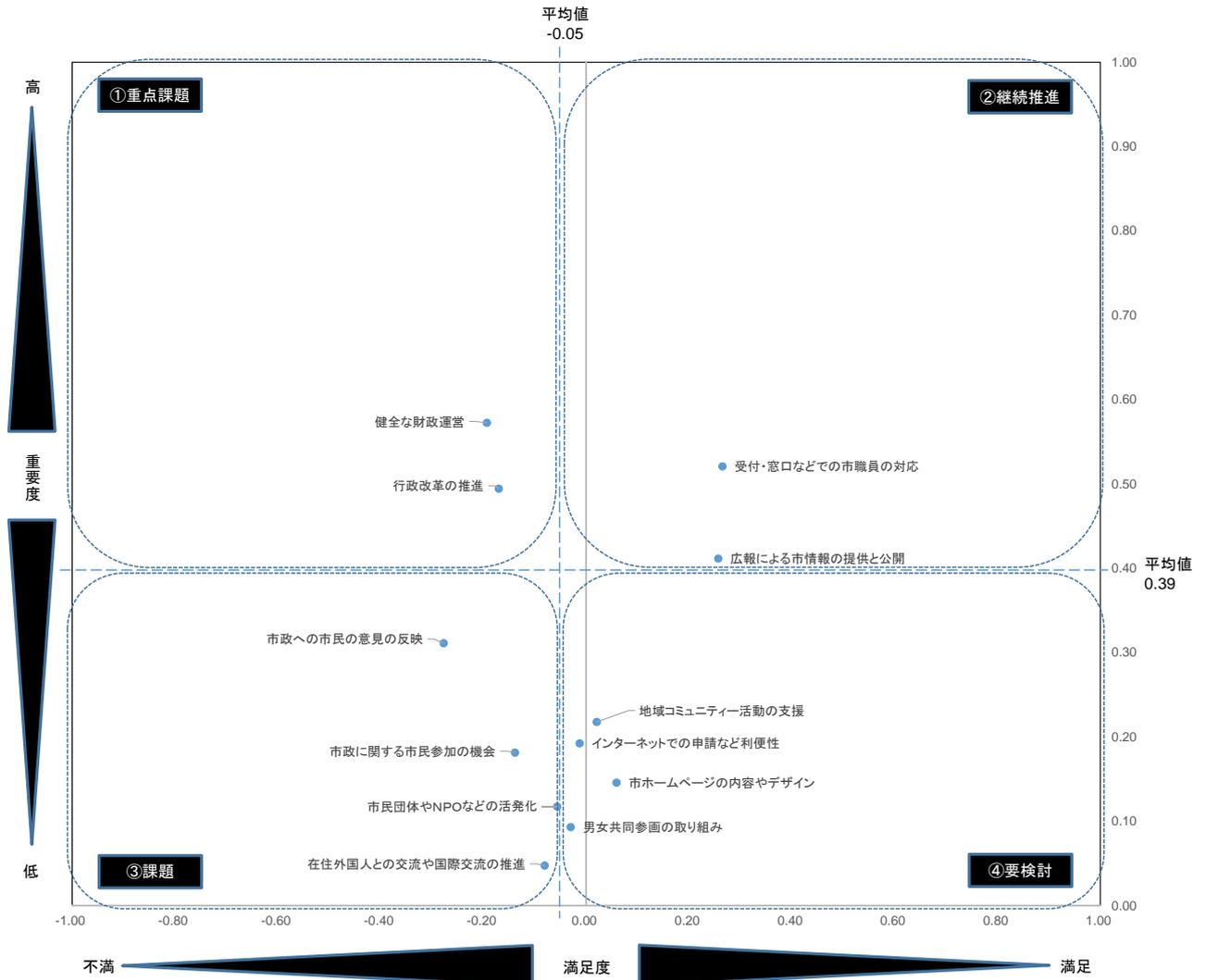
重要度が高く、満足が低い『重要課題』に該当した施策はありません。



区分	①重点課題	②継続推進	③課題	④要検討
項目数(8)	0	2	0	6

⑥ 分野別施策の評価（住民参画）

重要度が高く、満足度が低い『重要課題』に該当したのは、「健全な財政運営」「行政改革の推進」となっています。



区分	①重点課題	②継続推進	③課題	④要検討
項目数（12）	2	2	4	4

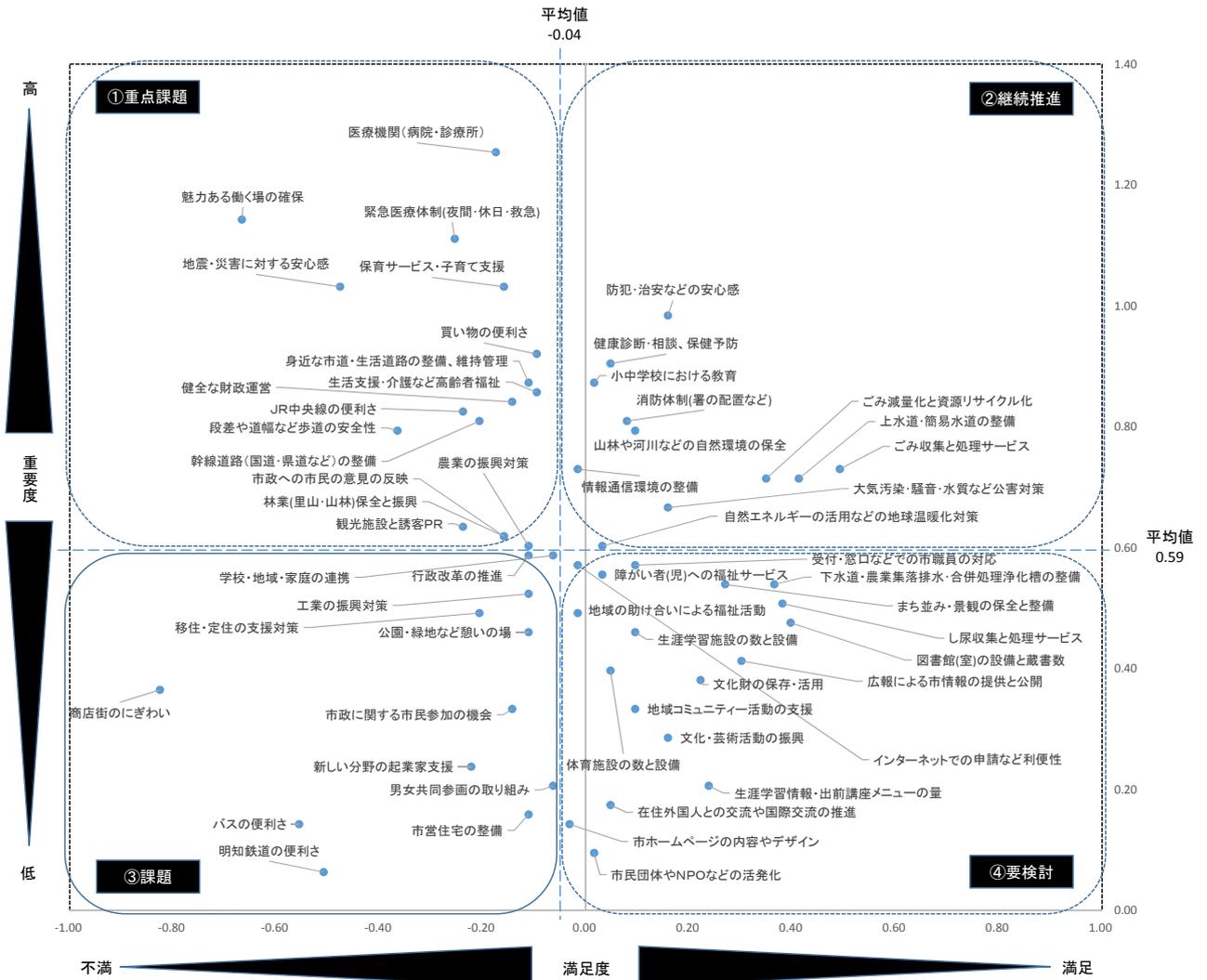
(6) 年齢別施策マトリックス図

【20 歳代】

全57施設の満足度指数の平均は「-0.04」、重要度指数の平均は「0.59」です。

全体では、『重要課題』に該当せず、20歳代では『重要課題』に該当するものは、「保育サービス・子育て支援」「生活支援・介護など高齢者福祉」「JR中央線の便利さ」「市政への市民の意見の反映」「林業(里山・山林)保全と振興」「農業の振興対策」「観光施設と誘客PR」でした。

また、全体では『重点課題』に該当し、20歳代では『重点課題』に該当しなかったものは、「行政改革の推進」「自然エネルギーの活用などの地球温暖化対策」でした。



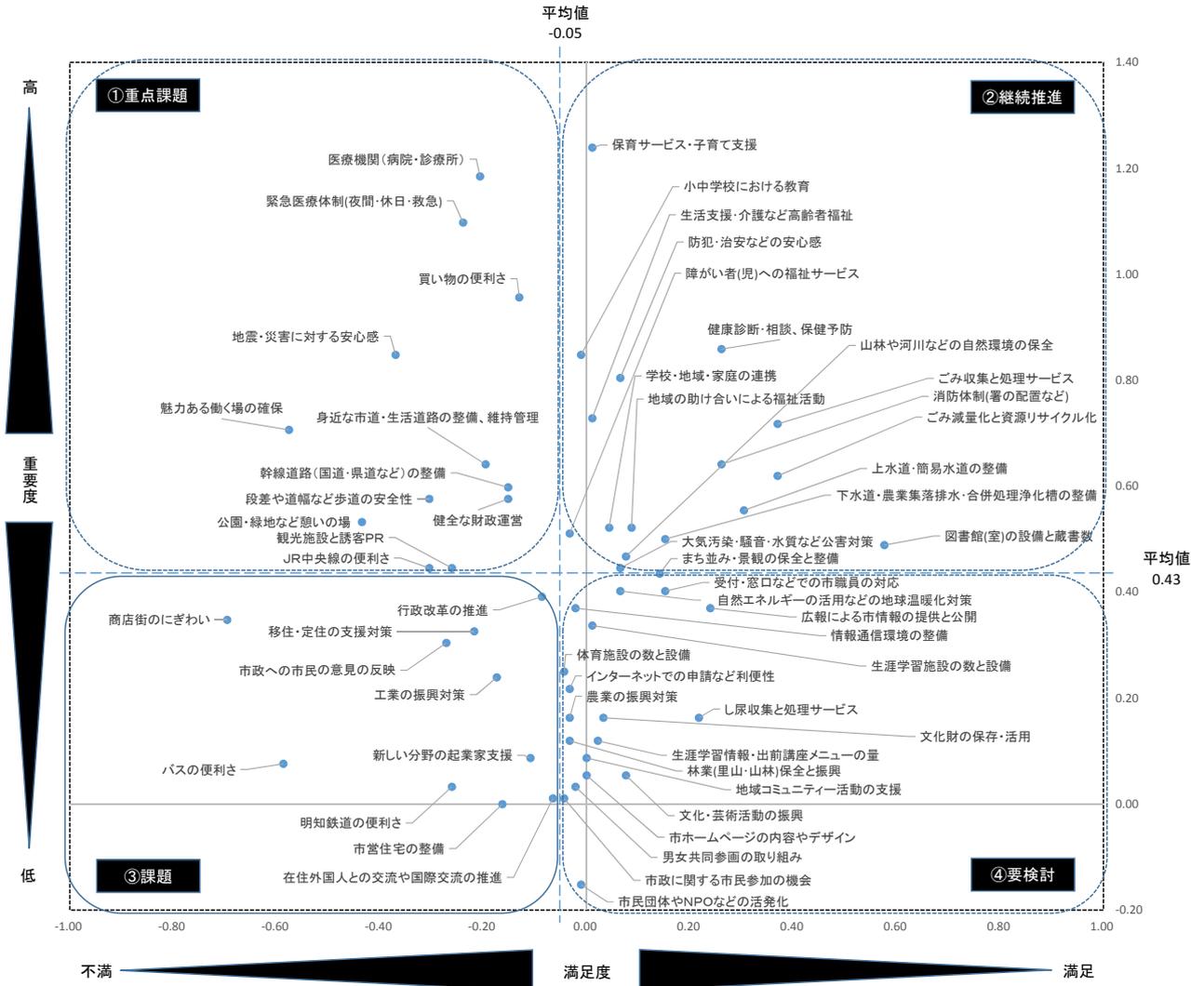
区分	①重点課題	②継続推進	③課題	④要検討
項目数(57)	16	11	12	18

【30 歳代】

全 57 施設の満足度指数の平均は「 - 0.05」、重要度指数の平均は「0.43」です。

全体では、『重要課題』に該当せず、30 歳代では『重要課題』に該当するものは、「公園・緑地など憩いの場」「JR 中央線の便利さ」「観光施設と誘客 PR」でした。

また、全体では『重点課題』に該当し、30 歳代では『重点課題』に該当しなかったものは、「行政改革の推進」「自然エネルギーの活用などの地球温暖化対策」でした。



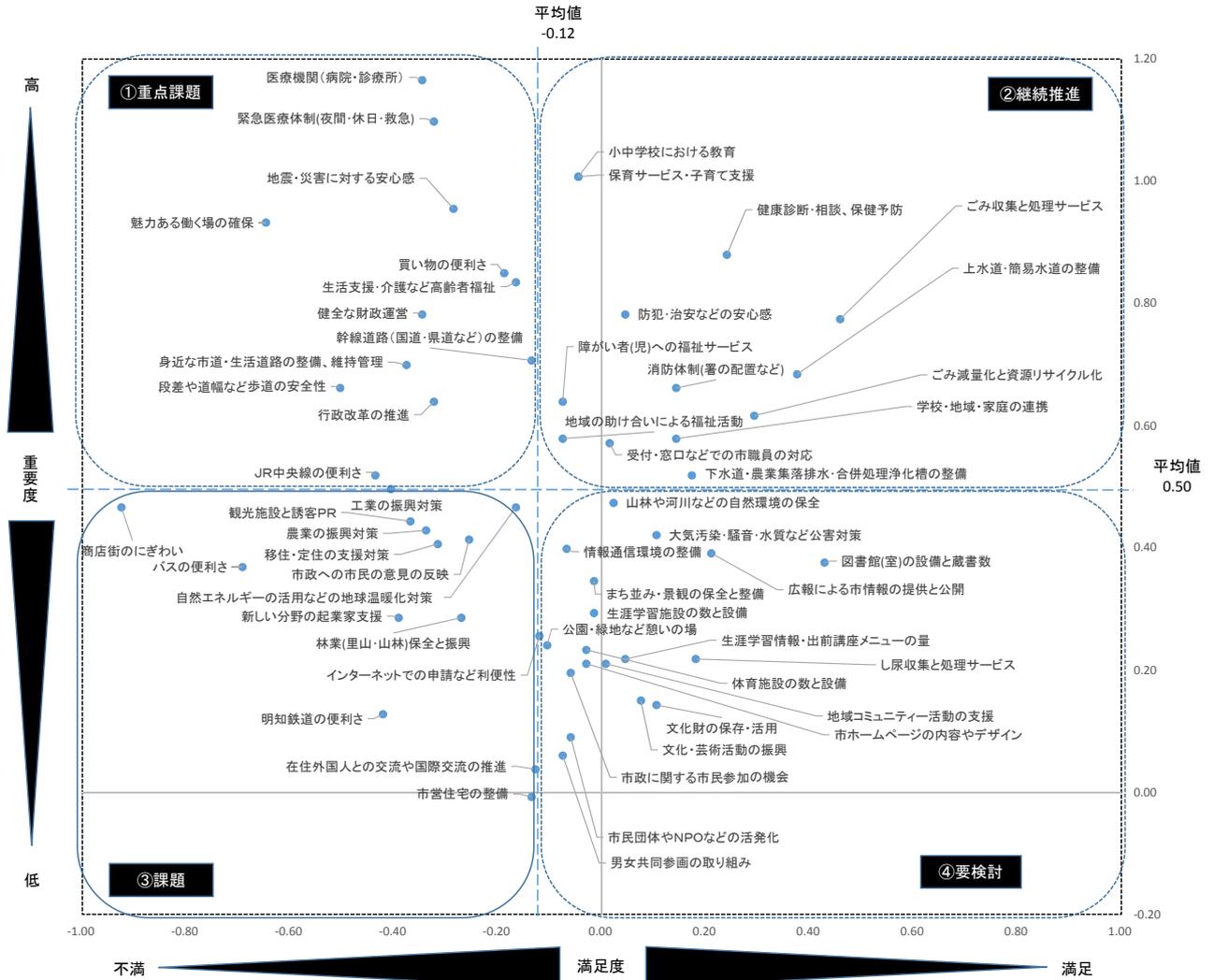
区分	①重点課題	②継続推進	③課題	④要検討
項目数 (57)	12	17	10	18

【40 歳代】

全 57 施設の満足度指数の平均は「 - 0.12」、重要度指数の平均は「0.50」です。

全体では、『重要課題』に該当せず、40 歳代では『重要課題』に該当するものは、「生活支援・介護など高齢者福祉」「JR 中央線の便利さ」でした。

また、全体では『重点課題』に該当し、40 歳代では『重点課題』に該当しなかったものは、「自然エネルギーの活用などの地球温暖化対策」でした。



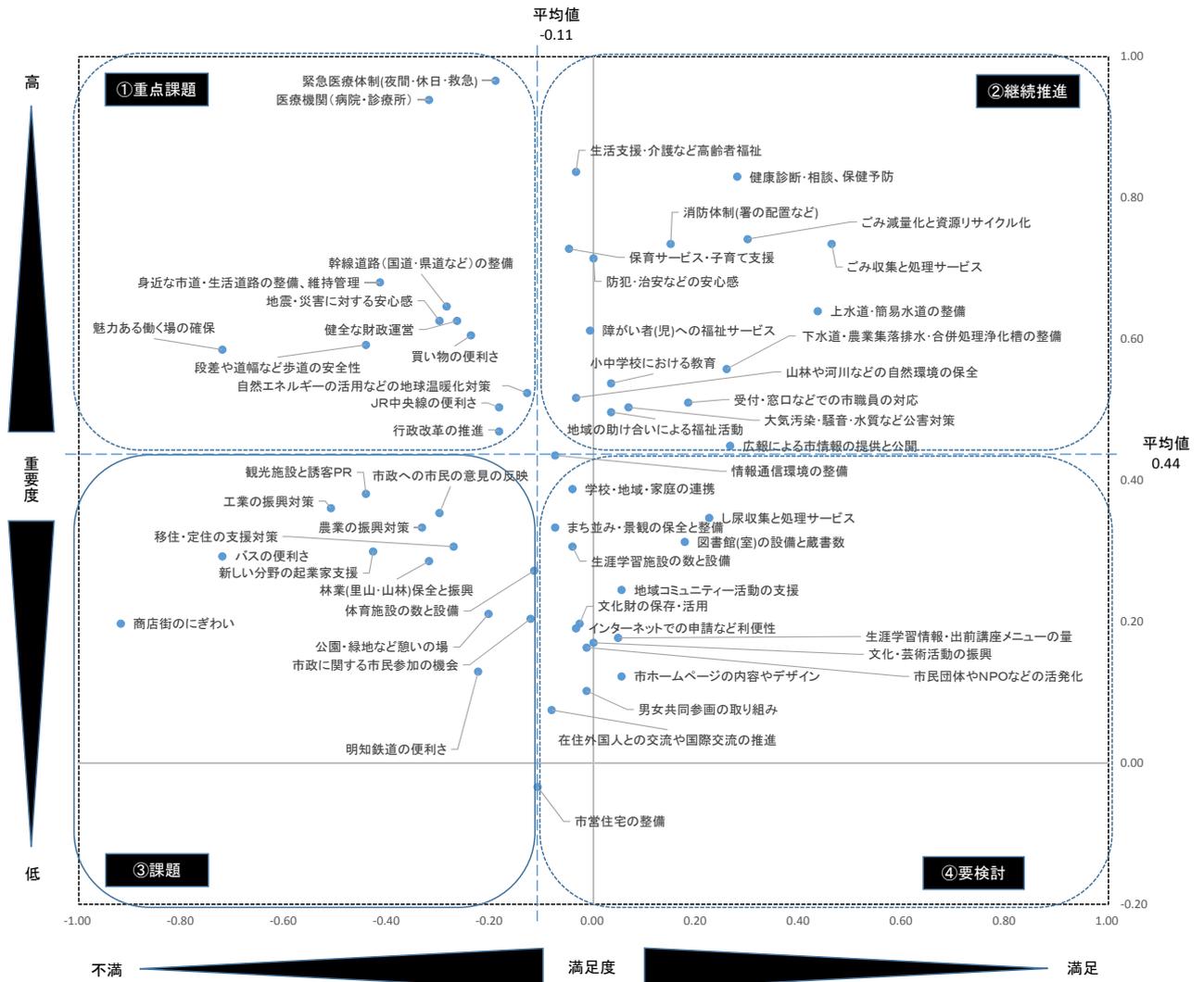
区分	①重点課題	②継続推進	③課題	④要検討
項目数 (57)	12	13	14	18

【50 歳代】

全 57 施設の満足度指数の平均は「-0.11」、重要度指数の平均は「0.44」です。

全体では、『重要課題』に該当せず、50 歳代では『重要課題』に該当するものは、「JR 中央線の便利さ」でした。

また、全体では『重点課題』に該当し、50 歳代では『重点課題』に該当しなかったものは、特にありませんでした。



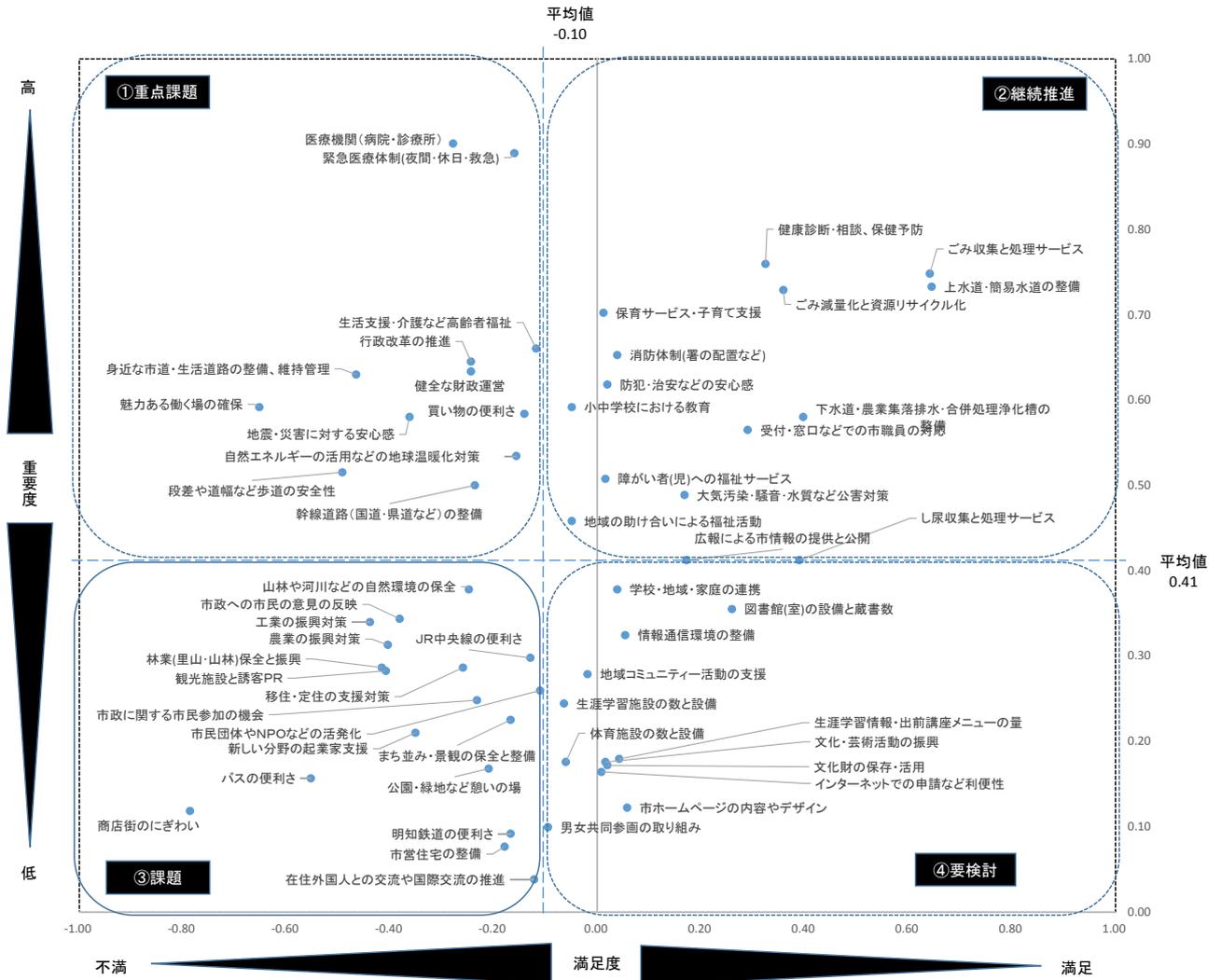
区分	①重点課題	②継続推進	③課題	④要検討
項目数(57)	12	16	13	16

【60 歳代】

全 57 施設の満足度指数の平均は「 - 0.10」、重要度指数の平均は「0.41」です。

全体では、『重要課題』に該当せず、60 歳代では『重要課題』に該当するものは、「生活支援・介護など高齢者福祉」でした。

また、全体では『重点課題』に該当し、60 歳代では『重点課題』に該当しなかったものは、特にありませんでした。



区分	①重点課題	②継続推進	③課題	④要検討
項目数(57)	12	15	18	12

【70歳以上】

全57施設の満足度指数の平均は「-0.05」、重要度指数の平均は「0.26」です。

全体では、『重要課題』に該当せず、70歳以上では『重要課題』に該当するものは、特にありませんでした。

また、全体では『重点課題』に該当し、70歳以上では『重点課題』に該当しなかったものは、「医療機関（病院・診療所）」「緊急医療体制（夜間・休日・救急）」「魅力ある働く場の確保」「段差や道幅など歩道の安全性」でした。



区分	①重点課題	②継続推進	③課題	④要検討
項目数 (57)	7	20	22	8

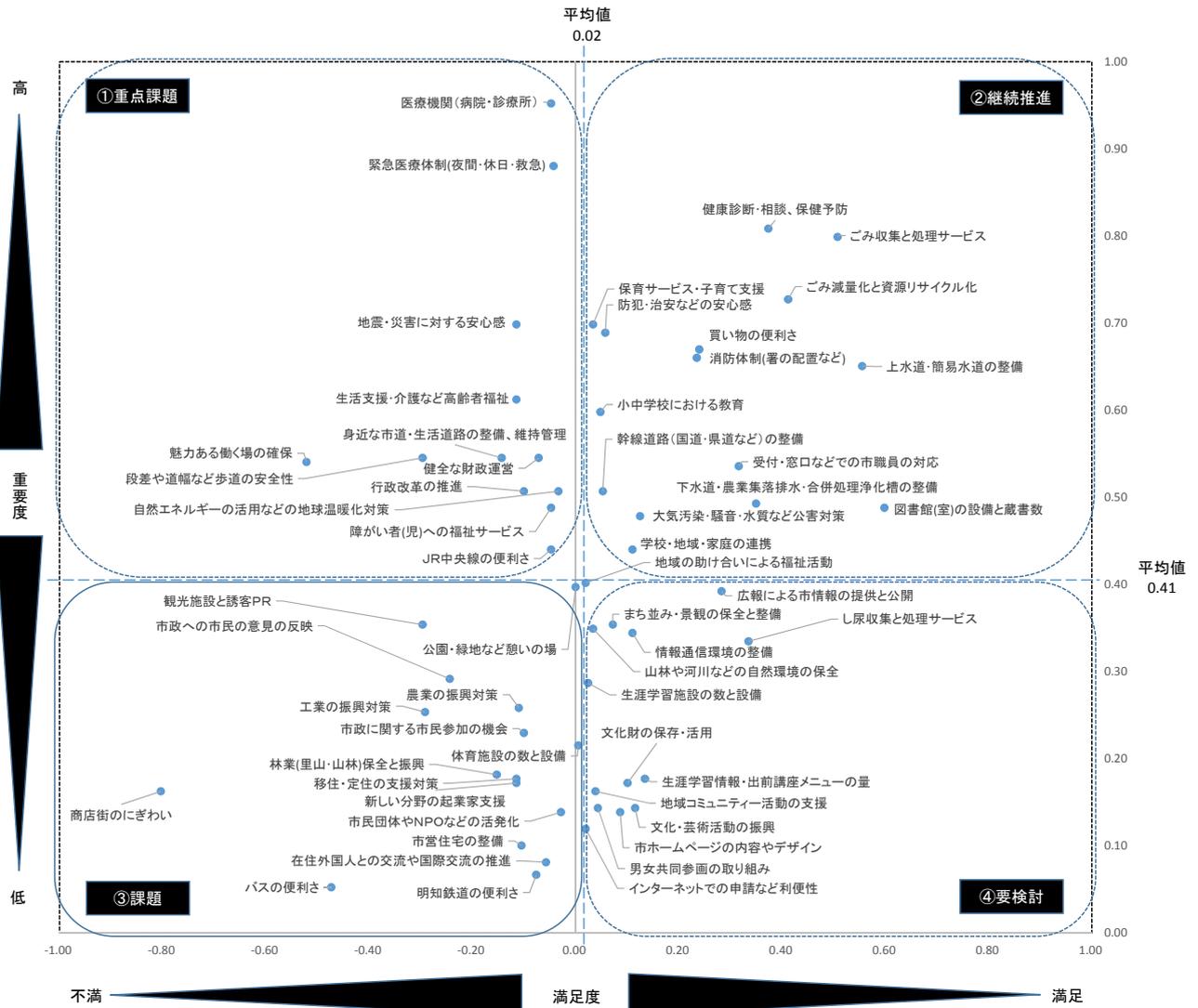
(7) 居住地別施策マトリックス図

【大井町】

全57施設の満足度指数の平均は「0.02」、重要度指数の平均は「0.41」です。

全体では、『重要課題』に該当せず、大井町では『重要課題』に該当するものは、「生活支援・介護など高齢者福祉」「障がい者(児)への福祉サービス」「JR中央線の便利さ」でした。

また、全体では『重点課題』に該当し、大井町では『重点課題』に該当しなかったものは、「買い物の便利さ」「幹線道路(国道・県道など)の整備」でした。



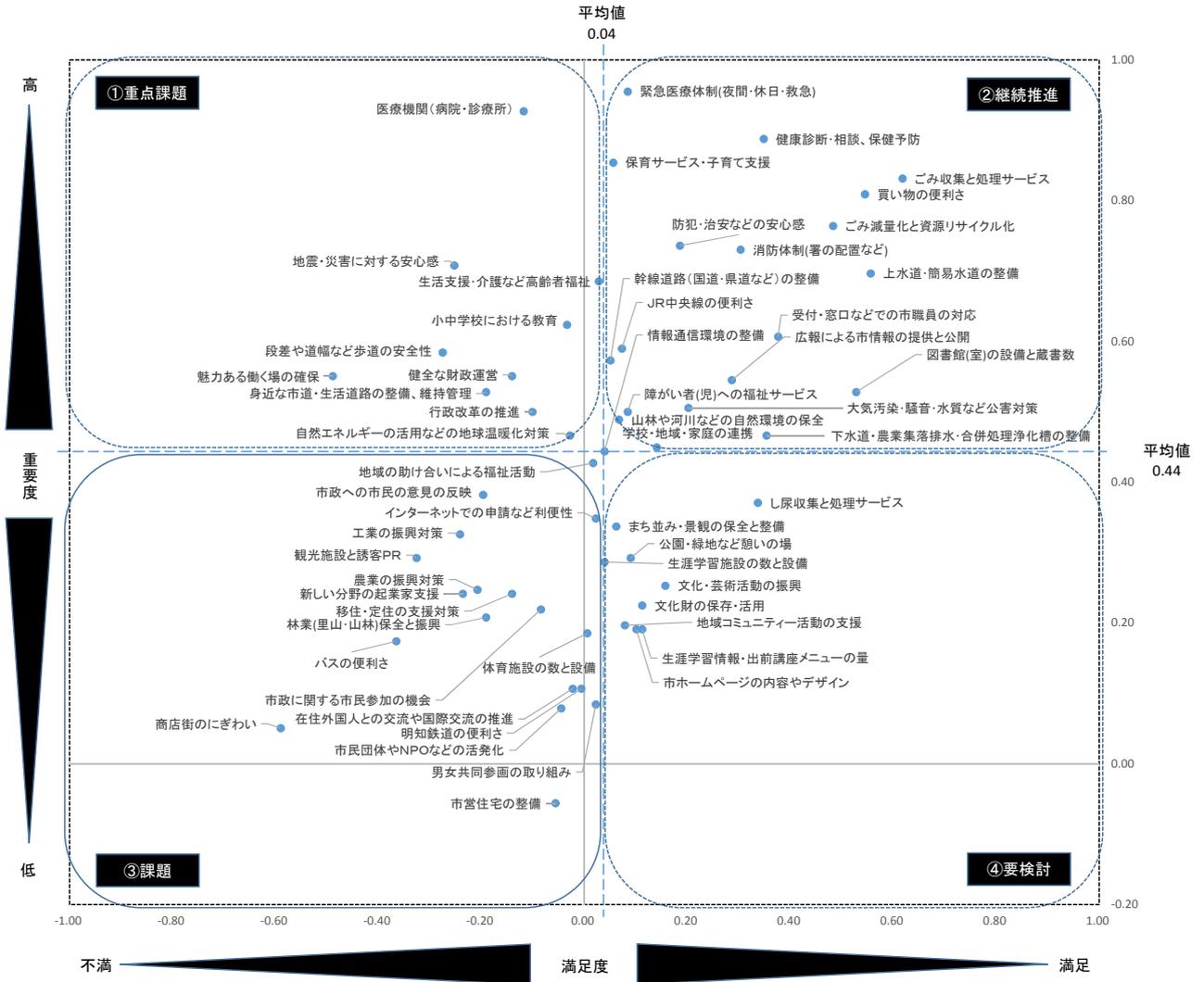
区分	①重点課題	②継続推進	③課題	④要検討
項目数(57)	12	16	16	13

【長島町】

全57施設の満足度指数の平均は「0.04」、重要度指数の平均は「0.44」です。

全体では、『重要課題』に該当せず、長島町では『重要課題』に該当するものは、「生活支援・介護など高齢者福祉」「小中学校における教育」でした。

また、全体では『重点課題』に該当し、長島町では『重点課題』に該当しなかったものは、「緊急医療体制（夜間・休日・救急）」「買い物の便利さ」「幹線道路（国道・県道など）の整備」でした。



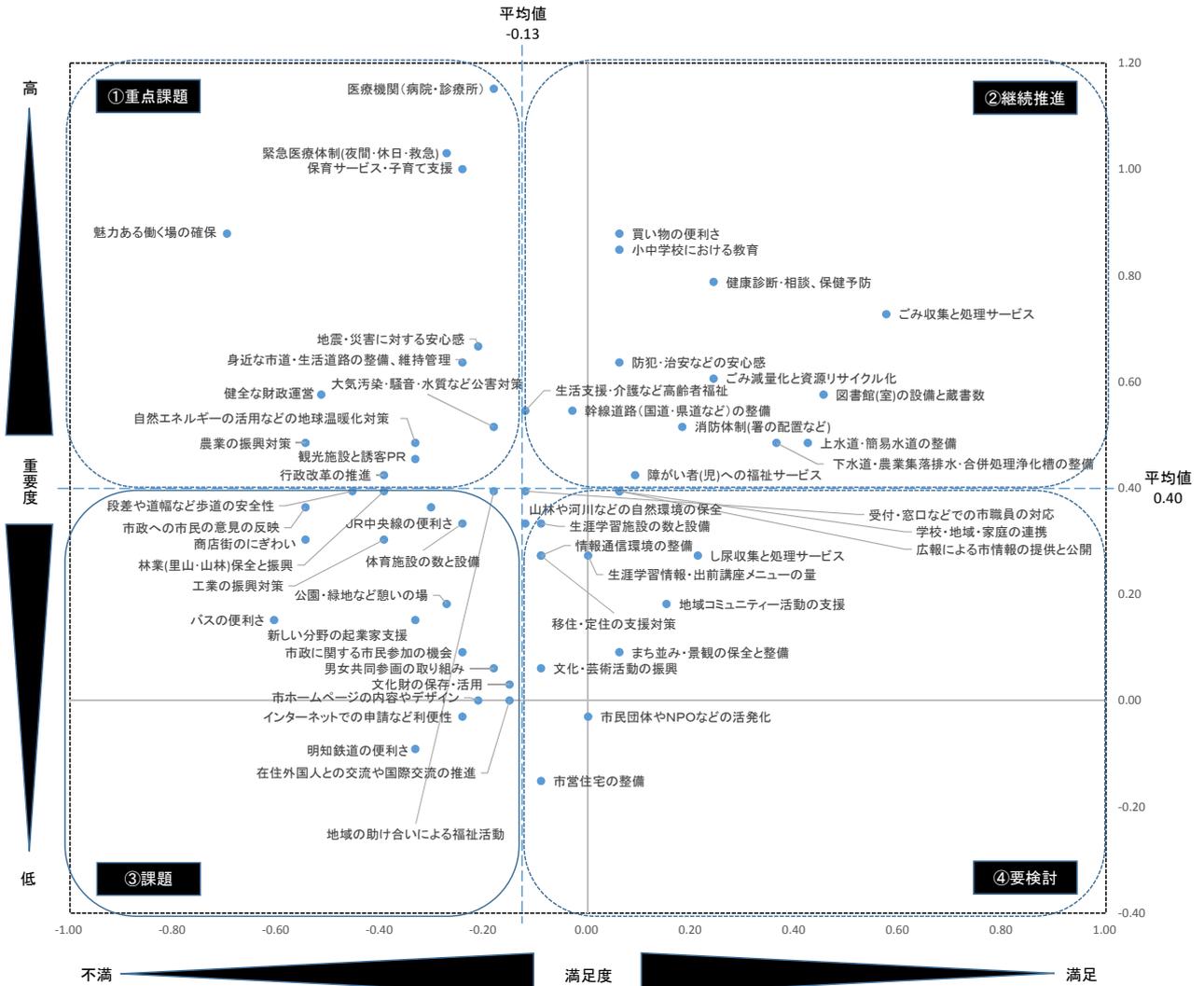
区分	①重点課題	②継続推進	③課題	④要検討
項目数(57)	10	20	18	9

【東野】

全57施設の満足度指数の平均は「-0.13」、重要度指数の平均は「0.40」です。

全体では、『重要課題』に該当せず、東野では『重要課題』に該当するものは、「保育サービス・子育て支援」「大気汚染・騒音・水質など公害対策」「農業の振興対策」「観光施設と誘客PR」でした。

また、全体では『重点課題』に該当し、東野では『重点課題』に該当しなかったものは、「買い物の便利さ」「幹線道路（国道・県道など）の整備」「段差や道幅など歩道の安全性」でした。



区分	①重点課題	②継続推進	③課題	④要検討
項目数 (57)	12	13	18	14

【三郷町】

全57施設の満足度指数の平均は「-0.02」、重要度指数の平均は「0.42」です。

全体では、『重要課題』に該当せず、三郷町では『重要課題』に該当するものは、「障がい者（児）への福祉サービス」「観光施設と誘客PR」でした。

また、全体では『重点課題』に該当し、三郷町では『重点課題』に該当しなかったものは、「身近な市道・生活道路の整備、維持管理」でした。



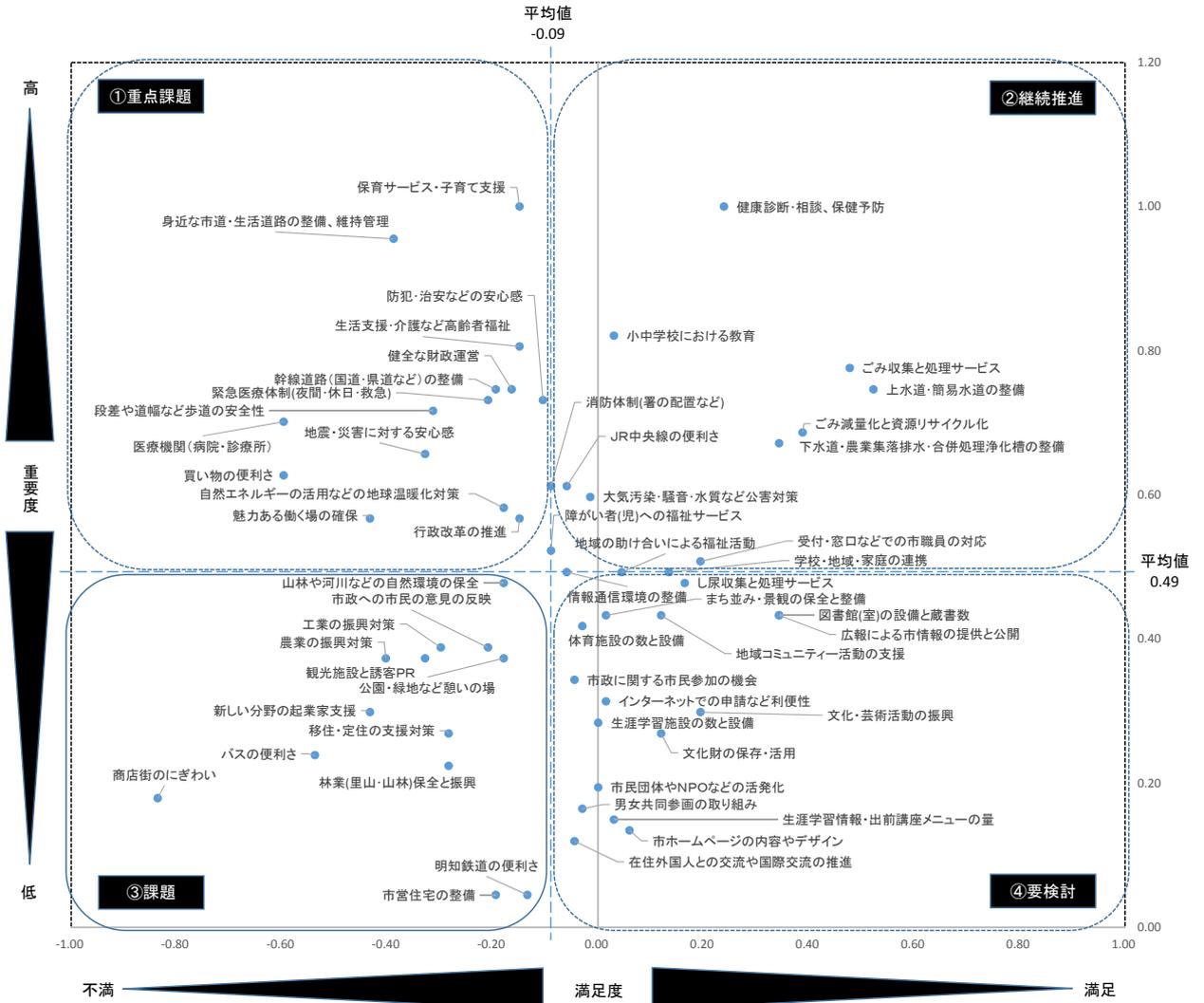
区分	①重点課題	②継続推進	③課題	④要検討
項目数(57)	12	12	17	16

【武並町】

全57施設の満足度指数の平均は「-0.09」、重要度指数の平均は「0.49」です。

全体では、『重要課題』に該当せず、武並町では『重要課題』に該当するものは、「保育サービス・子育て支援」「防犯・治安などの安心感」「生活支援・介護など高齢者福祉」でした。

また、全体では『重点課題』に該当し、武並町では『重点課題』に該当しなかったものは、特にありませんでした。



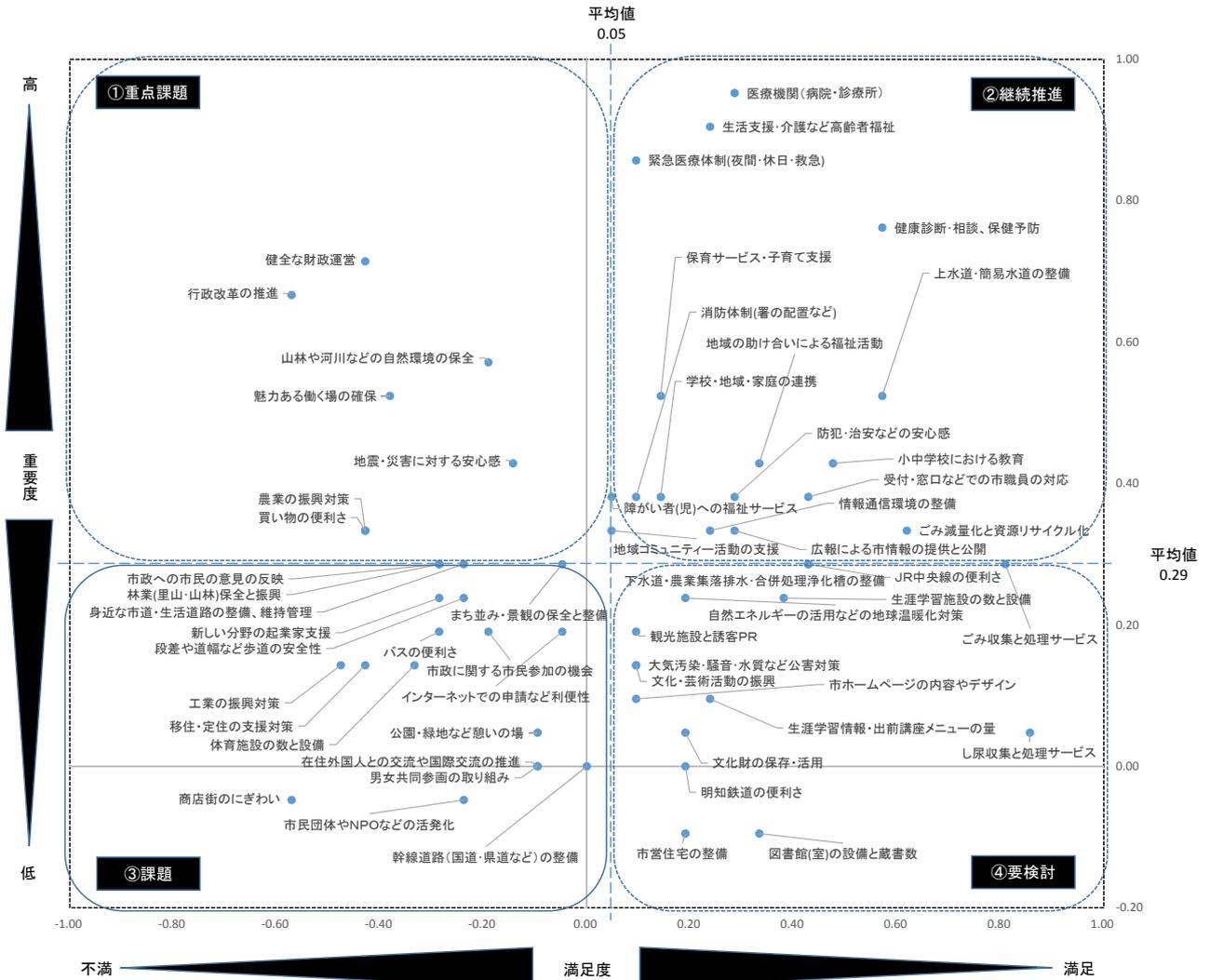
区分	①重点課題	②継続推進	③課題	④要検討
項目数(57)	14	13	13	17

【笠置町】

全57施設の満足度指数の平均は「0.05」、重要度指数の平均は「0.29」です。

全体では、『重要課題』に該当せず、武並町では『重要課題』に該当するものは、「山林や河川などの自然環境の保全」「農業の振興対策」でした。

また、全体では『重点課題』に該当し、武並町では『重点課題』に該当しなかったものは、「医療機関（病院・診療所）」「緊急医療体制（夜間・休日・救急）」「身近な市道・生活道路の整備、維持管理」「段差や道幅など歩道の安全性」「幹線道路（国道・県道など）の整備」「自然エネルギーの活用などの地球温暖化対策」でした。



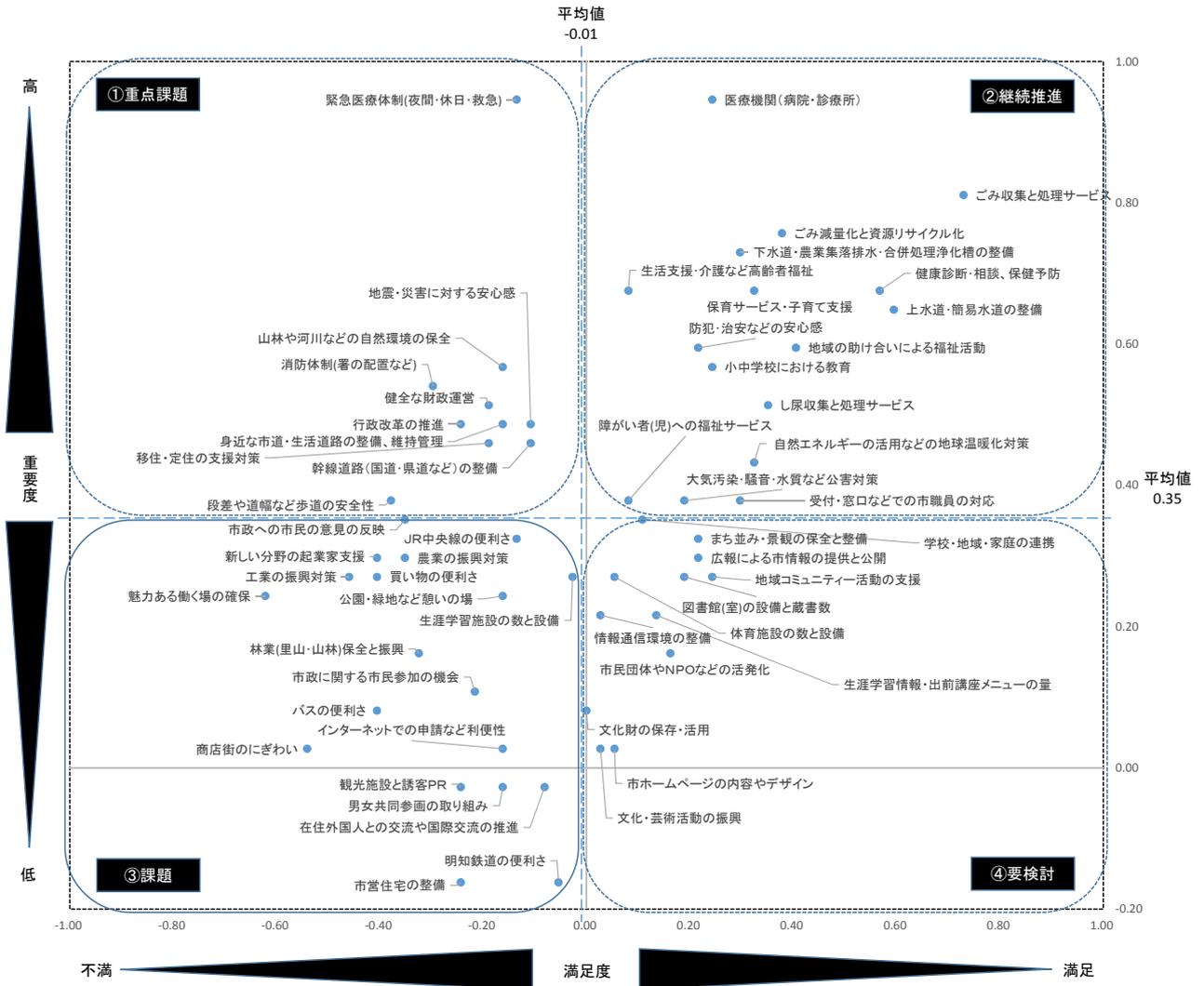
区分	①重点課題	②継続推進	③課題	④要検討
項目数(57)	7	17	18	15

【中野方町】

全57施設の満足度指数の平均は「-0.01」、重要度指数の平均は「0.35」です。

全体では、『重要課題』に該当せず、中野方町では『重要課題』に該当するものは、「山林や河川などの自然環境の保全」「消防体制(署の配置など)」「移住・定住の支援対策」でした。

また、全体では『重点課題』に該当し、中野方町では『重点課題』に該当しなかったものは、「医療機関(病院・診療所)」「自然エネルギーの活用などの地球温暖化対策」「買い物の便利さ」「魅力ある働く場の確保」でした。



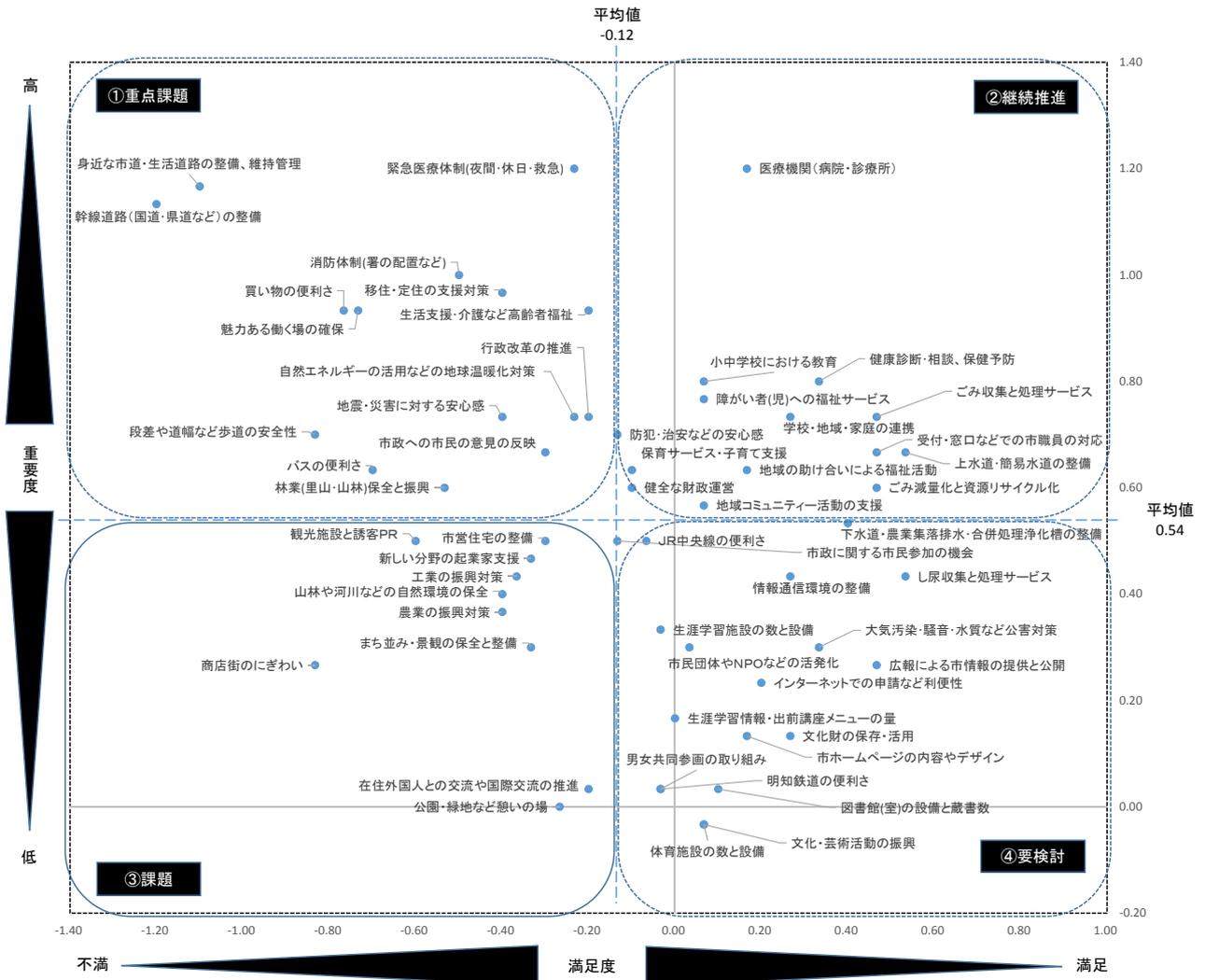
区分	①重点課題	②継続推進	③課題	④要検討
項目数(57)	10	16	19	12

【飯地町】

全57施設の満足度指数の平均は「-0.12」、重要度指数の平均は「0.54」です。

全体では、『重要課題』に該当せず、飯地町では『重要課題』に該当するものは、「消防体制（署の配置など）」「移住・定住の支援対策」「生活支援・介護など高齢者福祉」「市政への市民の意見の反映」「バスの便利さ」「林業（里山・山林）保全と振興」でした。

また、全体では『重点課題』に該当し、飯地町では『重点課題』に該当しなかったものは、「医療機関（病院・診療所）」「健全な財政運営」でした。



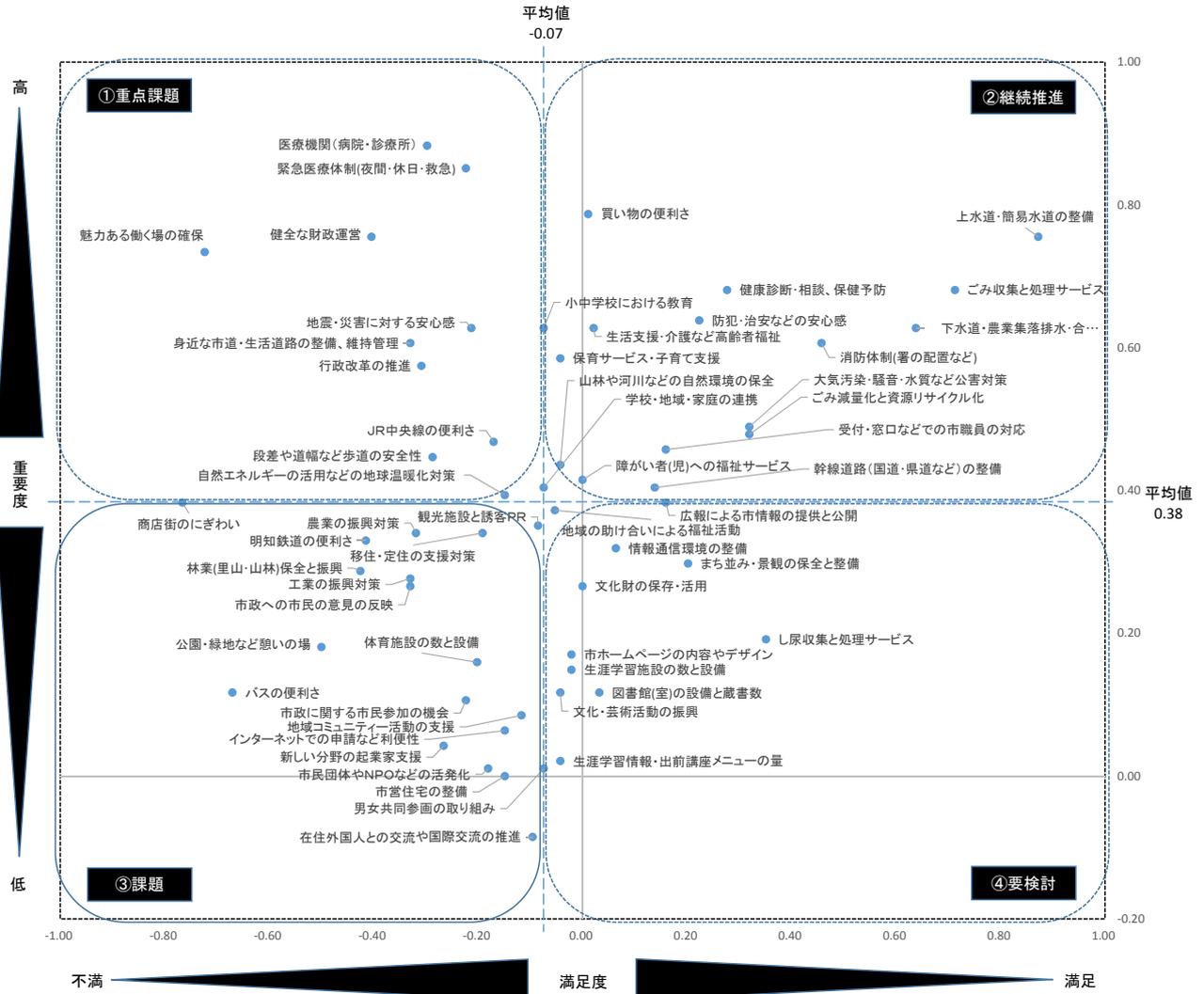
区分	①重点課題	②継続推進	③課題	④要検討
項目数(57)	15	14	10	18

【岩村町】

全57施設の満足度指数の平均は「-0.07」、重要度指数の平均は「0.38」です。

全体では、『重要課題』に該当せず、岩村町では『重要課題』に該当するものは、「JR中央線の便利さ」でした。

また、全体では『重点課題』に該当し、岩村町では『重点課題』に該当しなかったものは、「買い物の便利さ」「幹線道路（国道・県道など）の整備」でした。



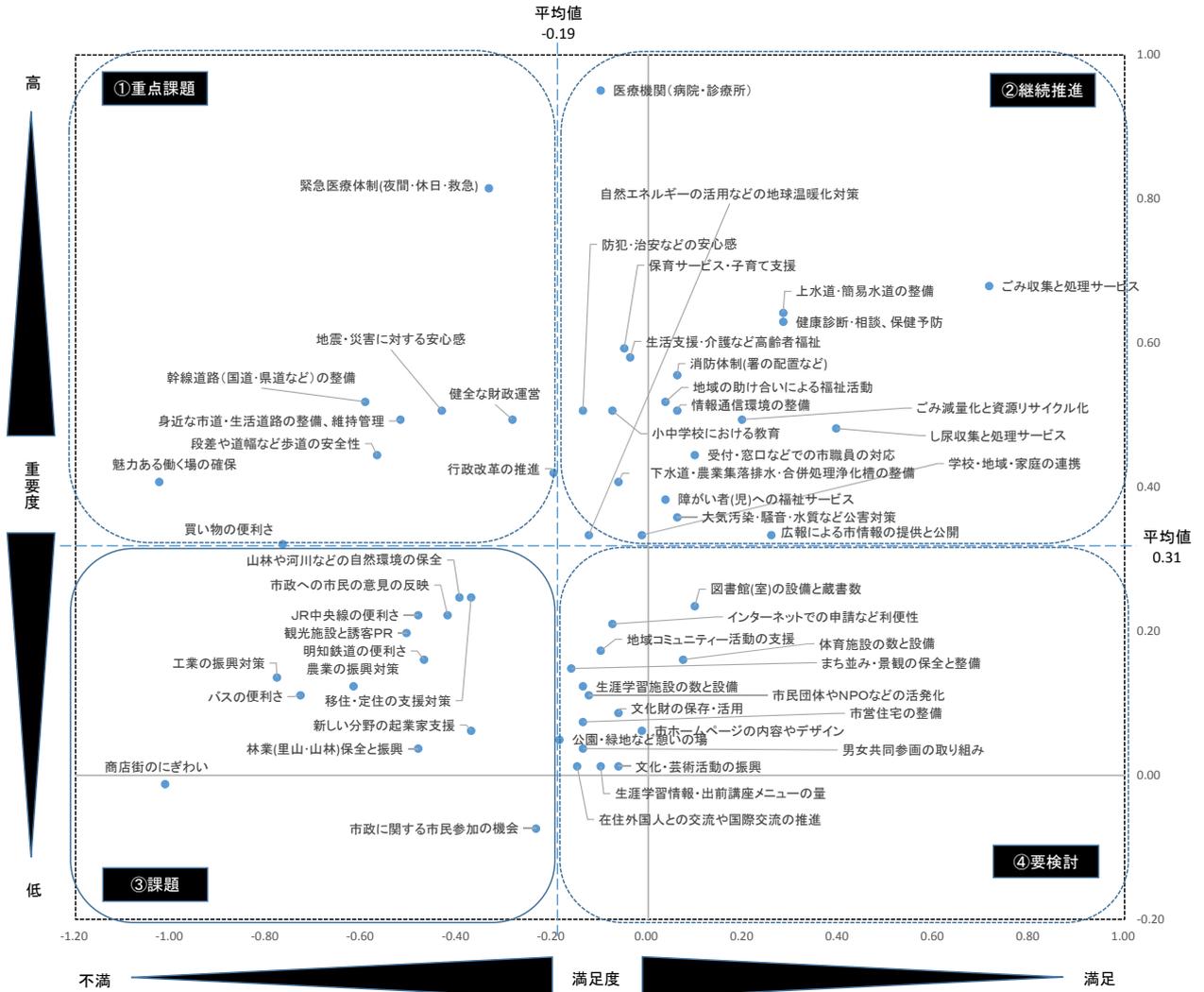
区分	①重点課題	②継続推進	③課題	④要検討
項目数(57)	10	17	19	11

【山岡町】

全57施設の満足度指数の平均は「-0.19」、重要度指数の平均は「0.31」です。

全体では、『重要課題』に該当せず、山岡町では『重要課題』に該当するものは、特にありませんでした。

また、全体では『重点課題』に該当し、山岡町では『重点課題』に該当しなかったものは、「医療機関（病院・診療所）」「自然エネルギーの活用などの地球温暖化対策」でした。



区分	①重点課題	②継続推進	③課題	④要検討
項目数(57)	9	20	13	15

【明智町】

全57施設の満足度指数の平均は「-0.15」、重要度指数の平均は「0.28」です。

全体では、『重要課題』に該当せず、明智町では『重要課題』に該当するものは、特にありませんでした。

また、全体では『重点課題』に該当し、明智町では『重点課題』に該当しなかったものは、「医療機関（病院・診療所）」「行政改革の推進」「段差や道幅など歩道の安全性」「自然エネルギーの活用などの地球温暖化対策」でした。



区分	①重点課題	②継続推進	③課題	④要検討
項目数(57)	7	19	16	15

【串原】

全57施設の満足度指数の平均は「-0.11」、重要度指数の平均は「0.54」です。

全体では、『重要課題』に該当せず、明智町では『重要課題』に該当するものは、「保育サービス・子育て支援」「林業（里山・山林）保全と振興」「農業の振興」「山林や河川などの自然環境の保全」「バスの便利さ」「消防体制（署の配置など）」でした。

また、全体では『重点課題』に該当し、明智町では『重点課題』に該当しなかったものは、「自然エネルギーの活用などの地球温暖化対策」でした。



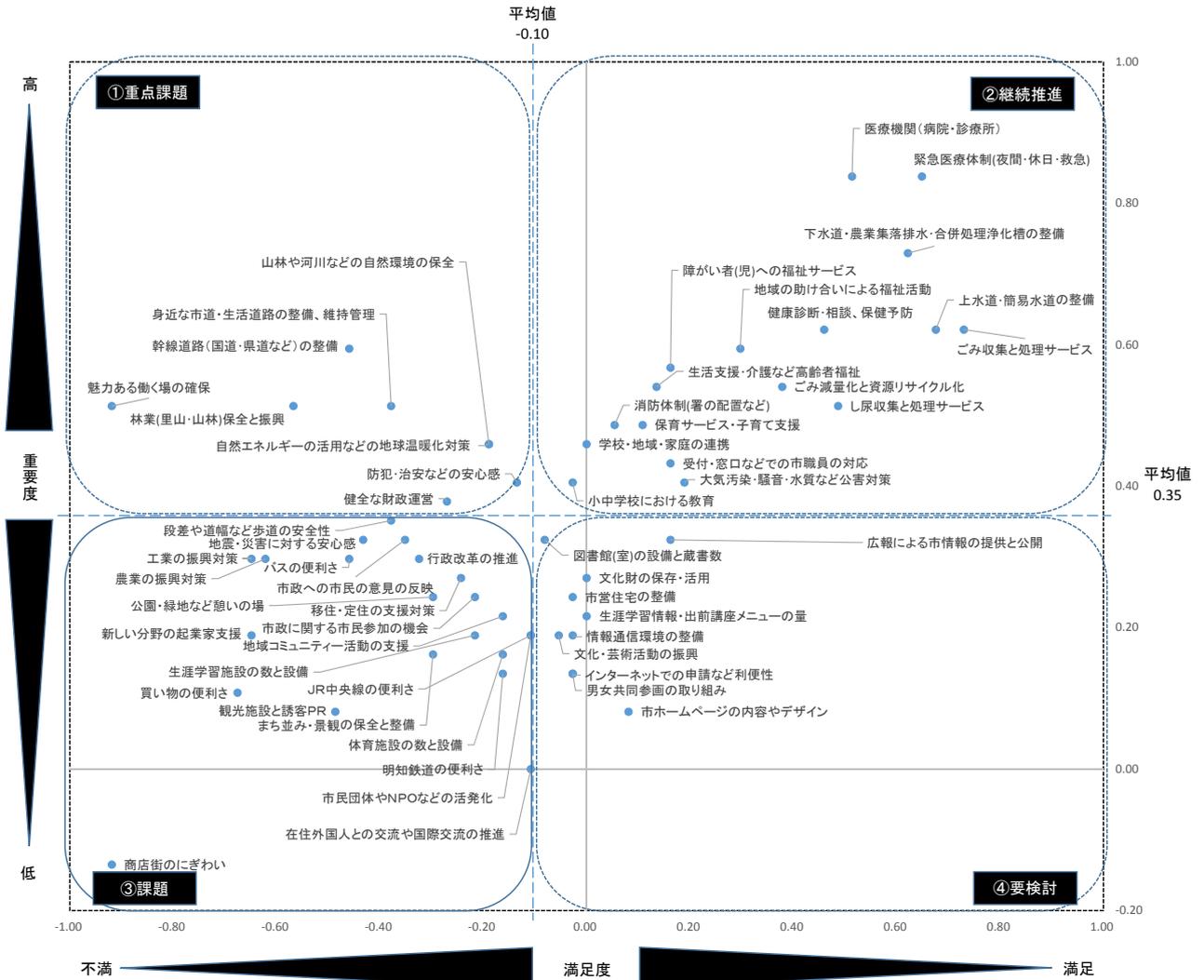
区分	①重点課題	②継続推進	③課題	④要検討
項目数(57)	16	14	10	17

【上矢作町】

全57施設の満足度指数の平均は「-0.10」、重要度指数の平均は「0.35」です。

全体では、『重要課題』に該当せず、上矢作町では『重要課題』に該当するものは、「山林や河川などの自然環境の保全」「林業（里山・山林）保全と振興」「防犯・治安などの安心感」でした。

また、全体では『重点課題』に該当し、上矢作町では『重点課題』に該当しなかったものは、「医療機関（病院・診療所）」「緊急医療体制（夜間・休日・救急）」「段差や道幅など歩道の安全性」「地震・災害に対する安心感」「行政改革の推進」「買い物の便利さ」でした。



区分	①重点課題	②継続推進	③課題	④要検討
項目数(57)	8	17	22	10

(8) 個別施策の満足度・不満度・重要度

年齢 個別施策の満足度

分野	NO	施策	全体	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
健康福祉	1	保育サービス・子育て支援	16.9	6.3	28.3	18.8	13.6	16.8	16.6
	2	健康診断・相談、保健予防	38.9	17.5	33.7	33.8	34.0	41.2	48.4
	3	地域の助け合いによる福祉活動	20.2	12.7	16.3	12.8	16.3	16.4	31.8
	4	生活支援・介護など高齢者福祉	21.2	12.7	14.1	12.0	22.4	23.3	26.9
	5	障がい者(児)への福祉サービス	15.4	12.7	6.5	12.0	12.2	17.2	20.5
	6	医療機関(病院・診療所)	29.1	25.4	30.4	21.8	20.4	23.3	42.8
	7	緊急医療体制(夜間・休日・救急)	24.5	12.7	19.6	14.3	21.8	23.3	36.0
生活環境	8	山林や河川などの自然環境の保全	18.7	30.2	27.2	19.5	19.0	13.7	18.0
	9	まち並み・景観の保全と整備	22.3	42.9	29.3	23.3	19.0	15.3	23.3
	10	公園・緑地など憩いの場	18.2	23.8	20.7	19.5	15.0	14.1	21.6
	11	移住・定住の支援対策	8.4	9.5	14.1	9.8	8.2	8.0	6.4
	12	市営住宅の整備	8.0	7.9	8.7	8.3	8.2	5.7	9.5
	13	地震・災害に対する安心感	13.8	9.5	10.9	15.0	9.5	9.5	20.8
	14	消防体制(署の配置など)	30.3	25.4	35.9	32.3	29.3	27.1	32.5
	15	防犯・治安などの安心感	25.2	30.2	29.3	26.3	21.8	23.3	26.1
	16	上水道・簡易水道の整備	51.2	42.9	38.0	42.9	44.9	57.3	59.4
	17	下水道・農業集落排水・合併処理浄化槽の整備	38.0	38.1	28.3	28.6	31.3	44.3	44.2
	18	し尿収集と処理サービス	30.5	30.2	22.8	21.1	19.7	34.4	40.3
	19	大気汚染・騒音・水質など公害対策	24.2	25.4	19.6	21.8	18.4	26.3	28.3
	20	ごみ収集と処理サービス	54.6	46.0	40.2	48.9	46.9	59.5	64.3
	21	ごみ減量化と資源リサイクル化	38.9	31.7	33.7	34.6	36.7	40.1	44.5
	22	自然エネルギーの活用などの地球温暖化対策	10.3	15.9	15.2	9.8	6.8	7.3	12.4
都市・交流基盤	23	幹線道路(国道・県道など)の整備	23.0	22.2	28.3	28.6	21.1	17.9	24.7
	24	身近な市道・生活道路の整備、維持管理	18.4	23.8	22.8	21.1	15.6	14.1	20.1
	25	段差や道幅など歩道の安全性	12.7	14.3	15.2	12.8	10.9	9.2	15.5
	26	J R中央線の利便さ	20.7	22.2	18.5	11.3	21.1	18.7	27.2
	27	明知鉄道の利便さ	11.6	3.2	7.6	7.5	5.4	9.2	22.3
	28	バスの利便さ	9.1	3.2	5.4	6.8	4.8	6.5	17.7
	29	情報通信環境の整備	19.3	19.0	15.2	15.8	12.9	21.4	24.0
産業振興	30	買い物の利便さ	31.2	39.7	30.4	30.8	27.2	29.0	34.3
	31	商店街のにぎわい	3.7	4.8	5.4	2.3	2.7	2.3	5.7
	32	工業の振興対策	5.6	12.7	4.3	5.3	4.1	3.8	6.7
	33	新しい分野の起業家支援	2.6	4.8	4.3	1.5	2.0	0.8	4.2
	34	農業の振興対策	5.7	12.7	6.5	3.0	4.8	5.0	6.4
	35	林業(里山・山林)保全と振興	4.2	7.9	7.6	3.0	4.1	3.8	3.2
	36	魅力ある働く場の確保	5.3	4.8	4.3	6.8	4.8	5.0	5.3
	37	観光施設と誘客PR	8.7	15.9	9.8	9.0	8.8	7.3	8.1
教育・文化	38	小中学校における教育	16.0	19.0	14.1	23.3	14.3	13.0	16.6
	39	生涯学習施設の数と設備	13.5	19.0	13.0	15.8	10.2	11.8	14.8
	40	生涯学習情報・出前講座メニューの量	15.7	25.4	12.0	18.0	12.9	16.0	15.2
	41	図書館(室)の設備と蔵書数	34.2	44.4	47.8	42.1	29.9	30.2	30.7
	42	学校・地域・家庭の連携	17.3	14.3	19.6	21.8	11.6	15.3	20.5
	43	文化・芸術活動の振興	15.4	30.2	10.9	17.3	10.9	11.1	19.4
	44	文化財の保存・活用	14.0	30.2	12.0	16.5	10.9	11.8	13.8
	45	体育施設の数と設備	13.3	22.2	18.5	18.8	13.6	9.2	11.0
住民参画	46	地域コミュニティ活動の支援	15.2	19.0	14.1	12.0	10.9	16.8	17.0
	47	市民団体やNPOなどの活発化	8.0	11.1	6.5	9.0	6.1	8.4	8.1
	48	市政に関する市民参加の機会	6.8	9.5	5.4	11.3	2.0	5.0	8.8
	49	市政への市民の意見の反映	5.9	11.1	2.2	8.3	2.7	5.7	6.7
	50	広報による市情報の提供と公開	31.8	27.0	30.4	29.3	32.0	31.7	35.3
	51	市ホームページの内容やデザイン	15.2	11.1	13.0	19.5	11.6	14.1	17.7
	52	男女共同参画の取り組み	6.7	9.5	3.3	7.5	4.8	5.0	9.5
	53	在住外国人との交流や国際交流の推進	4.4	12.7	2.2	6.0	2.7	1.5	6.0
	54	インターネットでの申請など利便性	11.1	14.3	16.3	10.5	10.2	10.7	10.2
	55	受付・窓口などでの市職員の対応	36.4	25.4	29.3	29.3	31.3	40.1	44.2
	56	健全な財政運営	8.5	12.7	5.4	9.0	6.8	5.3	12.4
	57	行政改革の推進	8.4	9.5	5.4	4.5	6.1	6.9	13.8

居住地 個別施策の満足度

分野	NO	施策	全体	大井町	長島町	東野	三郷町	武並町	笠置町	中野方町	飯地町	岩村町	山岡町	明智町	串原	上矢作町
健康福祉	1	保育サービス・子育て支援	16.9	14.8	21.9	12.1	16.7	14.9	23.8	32.4	13.3	14.9	14.8	17.9	6.9	13.5
	2	健康診断・相談、保健予防	38.9	38.8	40.4	36.4	40.7	37.3	52.4	45.9	46.7	35.1	29.6	40.2	34.5	45.9
	3	地域の助け合いによる福祉活動	20.2	16.3	17.4	6.1	31.5	25.4	38.1	40.5	23.3	16.0	23.5	14.3	17.2	32.4
	4	生活支援・介護など高齢者福祉	21.2	15.8	20.8	12.1	27.8	17.9	38.1	24.3	23.3	21.3	23.5	23.2	24.1	32.4
	5	障がい者(児)への福祉サービス	15.4	12.4	15.2	15.2	9.3	16.4	19.0	10.8	26.7	17.0	14.8	17.0	17.2	27.0
	6	医療機関(病院・診療所)	29.1	30.1	30.3	24.2	24.1	16.4	47.6	32.4	40.0	27.7	28.4	27.7	10.3	54.1
	7	緊急医療体制(夜間・休日・救急)	24.5	21.5	33.7	18.2	24.1	17.9	38.1	24.3	16.7	20.2	13.6	25.0	17.2	56.8
生活環境	8	山林や河川などの自然環境の保全	18.7	17.2	20.8	18.2	24.1	16.4	23.8	16.2	10.0	24.5	14.8	17.9	20.7	18.9
	9	まち並み・景観の保全と整備	22.3	28.2	25.8	18.2	27.8	22.4	23.8	16.2	6.7	37.2	17.3	8.9	13.8	8.1
	10	公園・緑地など憩いの場	18.2	24.4	28.7	18.2	22.2	20.9	9.5	10.8	13.3	8.5	14.8	10.7	10.3	2.7
	11	移住・定住の支援対策	8.4	9.1	10.1	6.1	5.6	6.0	0.0	5.4	13.3	12.8	6.2	5.4	24.1	2.7
	12	市営住宅の整備	8.0	6.2	9.6	9.1	7.4	6.0	14.3	5.4	10.0	8.5	7.4	8.9	10.3	8.1
	13	地震・災害に対する安心感	13.8	17.7	13.5	15.2	5.6	14.9	23.8	16.2	6.7	20.2	8.6	13.4	10.3	0.0
	14	消防体制(署の配置など)	30.3	31.6	38.8	33.3	25.9	20.9	28.6	16.2	13.3	46.8	24.7	29.5	17.2	18.9
	15	防犯・治安などの安心感	25.2	24.4	31.5	24.2	31.5	20.9	38.1	27.0	13.3	34.0	17.3	24.1	24.1	2.7
	16	上水道・簡易水道の整備	51.2	48.3	52.8	48.5	35.2	44.8	57.1	51.4	53.3	64.9	40.7	58.0	65.5	51.4
	17	下水道・農業集落排水・合併処理浄化槽の整備	38.0	33.0	38.2	54.5	22.2	38.8	47.6	37.8	40.0	51.1	24.7	38.4	55.2	48.6
	18	し尿収集と処理サービス	30.5	25.4	29.2	30.3	37.0	23.9	47.6	29.7	40.0	26.6	34.6	32.1	55.2	29.7
	19	大気汚染・騒音・水質など公害対策	24.2	20.1	27.5	9.1	20.4	23.9	19.0	27.0	33.3	35.1	18.5	24.1	37.9	21.6
	20	ごみ収集と処理サービス	54.6	50.2	59.6	60.6	50.0	47.8	57.1	62.2	43.3	62.8	64.2	49.1	51.7	54.1
	21	ごみ減量化と資源リサイクル化	38.9	42.1	48.3	30.3	42.6	43.3	52.4	40.5	33.3	35.1	22.2	32.1	41.4	35.1
22	自然エネルギーの活用などの地球温暖化対策	10.3	12.0	11.2	3.0	13.0	4.5	19.0	24.3	10.0	10.6	8.6	8.0	6.9	5.4	
都市・交流基盤	23	幹線道路(国道・県道など)の整備	23.0	29.7	30.9	27.3	24.1	14.9	28.6	24.3	0.0	34.0	12.3	14.3	3.4	10.8
	24	身近な市道・生活道路の整備、維持管理	18.4	23.4	21.3	24.2	18.5	13.4	19.0	24.3	3.3	19.1	16.0	11.6	13.8	16.2
	25	段差や道幅など歩道の安全性	12.7	13.9	16.3	9.1	16.7	13.4	28.6	16.2	3.3	12.8	8.6	7.1	10.3	8.1
	26	J R 中央線の利便さ	20.7	22.0	31.5	15.2	13.0	23.9	42.9	16.2	20.0	22.3	14.8	11.6	10.3	10.8
	27	明知鉄道の利便さ	11.6	11.0	15.2	6.1	1.9	4.5	19.0	5.4	10.0	18.1	9.9	17.0	6.9	8.1
	28	バスの利便さ	9.1	6.7	9.6	0.0	7.4	6.0	33.3	16.2	6.7	4.3	6.2	19.6	6.9	8.1
	29	情報通信環境の整備	19.3	17.2	22.5	12.1	11.1	19.4	33.3	13.5	23.3	19.1	22.2	16.1	41.4	13.5
	30	買い物の利便さ	31.2	41.6	56.7	42.4	20.4	16.4	19.0	13.5	13.3	36.2	12.3	19.6	6.9	8.1
	31	商店街のにぎわい	3.7	4.8	4.5	3.0	1.9	1.5	4.8	2.7	0.0	5.3	4.9	0.9	6.9	5.4
産業振興	32	工業の振興対策	5.6	7.2	5.6	3.0	9.3	7.5	0.0	2.7	3.3	5.3	1.2	8.9	0.0	2.7
	33	新しい分野の起業家支援	2.6	5.7	2.2	3.0	3.7	0.0	4.8	0.0	3.3	2.1	0.0	2.7	0.0	0.0
	34	農業の振興対策	5.7	8.1	4.5	6.1	13.0	3.0	9.5	2.7	6.7	5.3	3.7	4.5	6.9	0.0
	35	林業(里山・山林)保全と振興	4.2	4.8	4.5	3.0	5.6	3.0	0.0	10.8	3.3	3.2	2.5	1.8	6.9	8.1
	36	魅力ある働く場の確保	5.3	6.7	4.5	3.0	7.4	7.5	4.8	2.7	3.3	3.2	6.2	5.4	6.9	2.7
	37	観光施設と誘客 P R	8.7	12.4	8.4	9.1	11.1	3.0	19.0	8.1	3.3	16.0	3.7	2.7	10.3	5.4
教育・文化	38	小中学校における教育	16.0	16.3	14.0	27.3	16.7	16.4	38.1	24.3	20.0	14.9	14.8	9.8	24.1	8.1
	39	生涯学習施設の数と設備	13.5	14.8	17.4	12.1	14.8	16.4	33.3	13.5	10.0	10.6	8.6	8.0	13.8	8.1
	40	生涯学習情報・出前講座メニューの量	15.7	20.6	20.2	18.2	13.0	14.9	28.6	24.3	10.0	8.5	9.9	9.8	13.8	8.1
	41	図書館(室)の設備と蔵書数	34.2	49.3	48.3	42.4	42.6	34.3	38.1	21.6	16.7	22.3	21.0	17.0	17.2	16.2
	42	学校・地域・家庭の連携	17.3	19.1	20.2	21.2	9.3	19.4	28.6	13.5	30.0	11.7	16.0	14.3	17.2	10.8
	43	文化・芸術活動の振興	15.4	17.7	20.8	9.1	18.5	20.9	19.0	5.4	16.7	11.7	8.6	10.7	20.7	10.8
	44	文化財の保存・活用	14.0	15.8	18.0	3.0	14.8	16.4	19.0	5.4	26.7	14.9	7.4	8.9	17.2	10.8
	45	体育施設の数と設備	13.3	17.2	17.4	6.1	13.0	11.9	4.8	13.5	13.3	6.4	18.5	10.7	6.9	2.7
住民参画	46	地域コミュニティ活動の支援	15.2	12.0	19.1	21.2	20.4	17.9	19.0	29.7	30.0	12.8	11.1	8.9	13.8	5.4
	47	市民団体や N P O などの活発化	8.0	6.7	8.4	6.1	7.4	6.0	4.8	18.9	20.0	5.3	12.3	2.7	20.7	2.7
	48	市政に関する市民参加の機会	6.8	7.7	10.1	6.1	5.6	10.4	4.8	2.7	6.7	6.4	2.5	5.4	6.9	2.7
	49	市政への市民の意見の反映	5.9	7.2	7.9	0.0	7.4	6.0	9.5	2.7	6.7	7.4	1.2	1.8	20.7	0.0
	50	広報による市情報の提供と公開	31.8	30.1	35.4	24.2	37.0	34.3	42.9	35.1	40.0	25.5	37.0	27.7	24.1	27.0
	51	市ホームページの内容やデザイン	15.2	17.2	20.2	0.0	20.4	16.4	28.6	18.9	13.3	11.7	8.6	12.5	13.8	8.1
	52	男女共同参画の取り組み	6.7	10.5	9.6	0.0	9.3	4.5	4.8	0.0	6.7	7.4	1.2	5.4	6.9	0.0
	53	在住外国人との交流や国際交流の推進	4.4	5.7	6.7	3.0	5.6	1.5	4.8	5.4	0.0	3.2	1.2	2.7	6.9	5.4
	54	インターネットでの申請など利便性	11.1	10.5	13.5	0.0	18.5	10.4	14.3	8.1	23.3	8.5	8.6	8.9	17.2	10.8
	55	受付・窓口などで市職員の対応	36.4	38.8	41.6	24.2	37.0	32.8	42.9	48.6	40.0	28.7	32.1	38.4	37.9	21.6
	56	健全な財政運営	8.5	12.4	8.4	6.1	5.6	7.5	0.0	13.5	6.7	8.5	6.2	8.0	6.9	5.4
	57	行政改革の推進	8.4	10.0	9.6	6.1	9.3	9.0	0.0	10.8	3.3	6.4	9.9	8.0	10.3	2.7

年齢 個別施策の不満足

分野	NO	施策	全体	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
健康福祉	1	保育サービス・子育て支援	16.0	17.5	25.0	21.1	16.3	14.5	11.3
	2	健康診断・相談、保健予防	10.9	9.5	14.1	14.3	10.2	13.0	7.1
	3	地域の助け合いによる福祉活動	15.8	12.7	7.6	18.0	12.2	21.4	14.8
	4	生活支援・介護など高齢者福祉	23.5	22.2	16.3	24.8	23.8	30.2	19.4
	5	障がい者(児)への福祉サービス	13.4	7.9	9.8	18.8	12.2	14.5	12.7
	6	医療機関(病院・診療所)	36.5	34.9	41.3	45.1	43.5	43.5	21.9
	7	緊急医療体制(夜間・休日・救急)	30.1	33.3	34.8	38.3	35.4	34.0	18.0
生活環境	8	山林や河川などの自然環境の保全	23.7	19.0	16.3	16.5	21.8	29.8	25.8
	9	まち並み・景観の保全と整備	23.3	19.0	19.6	23.3	24.5	26.0	22.3
	10	公園・緑地など憩いの場	28.3	28.6	45.7	27.1	29.3	30.5	20.8
	11	移住・定住の支援対策	26.5	20.6	31.5	33.1	29.3	29.4	19.1
	12	市営住宅の整備	17.2	14.3	19.6	18.0	16.3	20.6	14.5
	13	地震・災害に対する安心感	33.9	44.4	38.0	35.3	32.0	39.3	26.5
	14	消防体制(署の配置など)	16.9	12.7	15.2	18.0	15.6	22.5	13.8
	15	防犯・治安などの安心感	19.9	17.5	21.7	22.6	19.7	20.2	18.4
	16	上水道・簡易水道の整備	8.3	4.8	10.9	13.5	10.9	8.8	3.9
	17	下水道・農業集落排水・合併処理浄化槽の整備	11.4	6.3	12.0	14.3	11.6	11.5	11.0
	18	し尿収集と処理サービス	4.4	3.2	5.4	6.0	4.1	5.0	2.8
	19	大気汚染・騒音・水質など公害対策	11.4	12.7	16.3	12.8	10.9	11.5	9.5
	20	ごみ収集と処理サービス	8.4	7.9	12.0	14.3	8.8	9.2	3.5
	21	ごみ減量化と資源リサイクル化	9.4	7.9	8.7	12.8	10.9	11.1	6.0
	22	自然エネルギーの活用などの地球温暖化対策	16.9	15.9	8.7	23.3	16.3	18.7	15.9
都市・交流基盤	23	幹線道路(国道・県道など)の整備	32.9	33.3	33.7	36.1	40.1	31.7	29.0
	24	身近な市道・生活道路の整備、維持管理	41.9	31.7	33.7	46.6	46.9	47.7	37.5
	25	段差や道幅など歩道の安全性	40.9	39.7	38.0	48.9	44.9	45.8	32.9
	26	J R中央線の便利さ	30.3	38.1	40.2	42.1	30.6	27.5	22.6
	27	明知鉄道の便利さ	23.7	34.9	27.2	34.6	22.4	22.5	16.6
	28	バスの便利さ	44.0	42.9	45.7	54.1	51.0	45.4	33.9
	29	情報通信環境の整備	14.2	20.6	14.1	19.5	17.7	13.0	9.2
産業振興	30	買い物の便利さ	39.6	46.0	46.7	45.1	42.2	39.3	32.9
	31	商店街のにぎわい	60.1	61.9	56.5	65.4	68.0	58.8	56.5
	32	工業の振興対策	32.6	17.5	18.5	36.1	42.9	36.6	30.7
	33	新しい分野の起業家支援	24.6	17.5	14.1	27.8	34.0	26.3	22.3
	34	農業の振興対策	30.3	17.5	9.8	29.3	30.6	33.6	37.8
	35	林業(里山・山林)保全と振興	28.2	15.9	10.9	21.1	27.2	33.2	36.0
	36	魅力ある働く場の確保	49.7	49.2	51.1	51.9	55.8	52.7	43.8
37	観光施設と誘客P R	37.1	34.9	31.5	36.8	41.5	38.5	36.7	
教育・文化	38	小中学校における教育	14.8	15.9	17.4	25.6	9.5	15.6	11.0
	39	生涯学習施設の数と設備	14.4	12.7	13.0	16.5	12.9	16.0	13.8
	40	生涯学習情報・出前講座メニューの量	10.1	4.8	12.0	11.3	8.2	11.1	10.2
	41	図書館(室)の設備と蔵書数	10.5	14.3	9.8	13.5	14.3	8.8	8.5
	42	学校・地域・家庭の連携	10.7	15.9	14.1	10.5	11.6	10.7	8.5
	43	文化・芸術活動の振興	9.4	14.3	5.4	9.8	10.9	8.4	9.9
	44	文化財の保存・活用	9.4	7.9	9.8	8.3	12.9	9.9	8.1
45	体育施設の数と設備	16.6	17.5	20.7	19.5	21.8	14.1	13.4	
住民参画	46	地域コミュニティ活動の支援	13.0	7.9	12.0	12.8	5.4	17.2	14.5
	47	市民団体やN P Oなどの活性化	12.9	7.9	7.6	12.0	8.2	17.2	14.8
	48	市政に関する市民参加の機会	18.3	19.0	9.8	14.3	12.2	24.4	20.8
	49	市政への市民の意見の反映	26.4	19.0	25.0	27.1	24.5	33.6	23.3
	50	広報による市情報の提供と公開	10.4	6.3	10.9	12.0	8.2	14.9	7.4
	51	市ホームページの内容やデザイン	9.5	12.7	12.0	18.8	6.8	8.0	6.7
	52	男女共同参画の取り組み	8.6	11.1	6.5	12.0	5.4	11.8	6.0
	53	在住外国人との交流や国際交流の推進	11.0	7.9	7.6	15.8	8.8	11.8	11.3
	54	インターネットでの申請など利便性	11.3	15.9	17.4	18.0	12.2	8.0	8.1
	55	受付・窓口などでの市職員の対応	15.6	14.3	18.5	26.3	17.0	15.6	9.5
	56	健全な財政運営	23.0	22.2	18.5	30.8	25.9	25.6	17.7
	57	行政改革の推進	20.5	12.7	10.9	26.3	19.7	25.2	19.1

居住地 個別施策の不満足

分野	NO	施策	全体	大井町	長島町	東野	三郷町	武並町	笠置町	中野方町	飯地町	岩村町	山岡町	明智町	串原	上矢作町	
健康福祉	1	保育サービス・子育て支援	16.0	12.0	17.4	33.3	9.3	20.9	14.3	5.4	20.0	17.0	18.5	17.0	27.6	5.4	
	2	健康診断・相談、保健予防	10.9	10.0	12.4	15.2	11.1	14.9	4.8	0.0	13.3	11.7	9.9	9.8	17.2	8.1	
	3	地域の助け合いによる福祉活動	15.8	14.8	15.2	18.2	13.0	17.9	9.5	5.4	10.0	22.3	21.0	18.8	13.8	5.4	
	4	生活支援・介護など高齢者福祉	23.5	24.9	21.9	21.2	22.2	28.4	19.0	18.9	33.3	18.1	24.7	25.0	31.0	18.9	
	5	障がい者(児)への福祉サービス	13.4	14.8	11.2	6.1	11.1	20.9	19.0	8.1	20.0	12.8	12.3	13.4	13.8	13.5	
	6	医療機関(病院・診療所)	36.5	34.9	37.6	30.3	35.2	55.2	19.0	16.2	26.7	43.6	37.0	39.3	51.7	16.2	
	7	緊急医療体制(夜間・休日・救急)	30.1	27.3	23.6	33.3	31.5	34.3	23.8	32.4	36.7	33.0	38.3	34.8	37.9	16.2	
生活環境	8	山林や河川などの自然環境の保全	23.7	15.3	15.2	27.3	24.1	26.9	28.6	27.0	40.0	27.7	42.0	22.3	27.6	35.1	
	9	まち並み・景観の保全と整備	23.3	21.5	22.5	12.1	16.7	17.9	23.8	5.4	33.3	19.1	30.9	36.6	24.1	29.7	
	10	公園・緑地など憩いの場	28.3	24.9	19.7	30.3	27.8	29.9	23.8	21.6	33.3	41.5	27.2	39.3	31.0	27.0	
	11	移住・定住の支援対策	26.5	18.7	21.3	15.2	25.9	28.4	33.3	24.3	43.3	26.6	37.0	39.3	31.0	24.3	
	12	市営住宅の整備	17.2	14.8	15.2	18.2	5.6	17.9	4.8	24.3	30.0	20.2	19.8	25.9	17.2	8.1	
	13	地震・災害に対する安心感	33.9	27.3	34.3	36.4	38.9	40.3	42.9	21.6	40.0	35.1	39.5	36.6	31.0	32.4	
	14	消防体制(署の配置など)	16.9	11.0	12.9	12.1	5.6	25.4	19.0	43.2	50.0	9.6	19.8	15.2	31.0	24.3	
	15	防犯・治安などの安心感	19.9	20.1	14.6	18.2	20.4	29.9	19.0	13.5	26.7	16.0	28.4	18.8	27.6	16.2	
	16	上水道・簡易水道の整備	8.3	6.2	9.0	6.1	11.1	6.0	19.0	8.1	13.3	6.4	17.3	5.4	3.4	8.1	
	17	下水道・農業集落排水・合併処理浄化槽の整備	11.4	6.2	9.0	15.2	20.4	13.4	19.0	16.2	10.0	6.4	25.9	12.5	3.4	8.1	
	18	し尿収集と処理サービス	4.4	3.3	2.8	6.1	7.4	7.5	0.0	5.4	0.0	3.2	7.4	7.1	3.4	0.0	
	19	大気汚染・騒音・水質など公害対策	11.4	12.4	9.6	21.2	5.6	19.4	14.3	16.2	6.7	6.4	16.0	9.8	6.9	8.1	
	20	ごみ収集と処理サービス	8.4	11.0	10.1	9.1	7.4	6.0	0.0	8.1	16.7	10.6	6.2	4.5	3.4	2.7	
	21	ごみ減量化と資源リサイクル化	9.4	9.1	9.6	12.1	5.6	7.5	4.8	10.8	3.3	10.6	7.4	12.5	10.3	10.8	
	22	自然エネルギーの活用などの地球温暖化対策	16.9	14.8	14.6	33.3	14.8	19.4	14.3	2.7	26.7	20.2	18.5	17.9	13.8	18.9	
	都市・交流基盤	23	幹線道路(国道・県道など)の整備	32.9	23.4	23.6	27.3	27.8	31.3	28.6	32.4	76.7	20.2	55.6	43.8	69.0	37.8
		24	身近な市道・生活道路の整備、維持管理	41.9	33.0	35.4	39.4	42.6	52.2	33.3	37.8	73.3	43.6	53.1	45.5	58.6	37.8
		25	段差や道幅など歩道の安全性	40.9	35.4	39.3	48.5	50.0	38.8	42.9	43.2	53.3	33.0	48.1	49.1	41.4	32.4
		26	J R中央線の利便さ	30.3	27.8	25.8	36.4	35.2	28.4	14.3	24.3	23.3	30.9	44.4	36.6	44.8	18.9
		27	明知鉄道の利便さ	23.7	14.8	16.3	33.3	9.3	13.4	9.5	10.8	13.3	46.8	42.0	36.6	37.9	21.6
		28	バスの利便さ	44.0	39.2	36.5	45.5	46.3	44.8	42.9	45.9	56.7	51.1	54.3	39.3	65.5	43.2
		29	情報通信環境の整備	14.2	7.7	16.3	21.2	9.3	20.9	19.0	13.5	0.0	13.8	14.8	25.9	6.9	10.8
30		買い物の利便さ	39.6	24.9	18.5	39.4	53.7	59.7	47.6	54.1	60.0	37.2	66.7	45.5	51.7	54.1	
31		商店街のにぎわい	60.1	63.2	51.1	45.5	55.6	59.7	57.1	40.5	50.0	60.6	72.8	80.4	51.7	56.8	
産業振興	32	工業の振興対策	32.6	30.1	24.2	33.3	18.5	26.9	38.1	35.1	26.7	31.9	58.0	39.3	37.9	43.2	
	33	新しい分野の起業家支援	24.6	16.7	20.2	24.2	22.2	29.9	23.8	29.7	26.7	19.1	28.4	40.2	27.6	37.8	
	34	農業の振興対策	30.3	17.2	20.8	45.5	29.6	32.8	42.9	32.4	33.3	29.8	48.1	37.5	51.7	45.9	
	35	林業(里山・山林)保全と振興	28.2	16.7	19.7	33.3	37.0	22.4	28.6	32.4	36.7	36.2	37.0	35.7	41.4	43.2	
	36	魅力ある働く場の確保	49.7	44.0	44.4	54.5	46.3	37.3	33.3	54.1	46.7	56.4	70.4	57.1	48.3	62.2	
	37	観光施設と誘客P R	37.1	38.3	36.0	33.3	27.8	28.4	9.5	24.3	50.0	22.3	39.5	66.1	34.5	37.8	
教育・文化	38	小中学校における教育	14.8	12.9	15.7	18.2	14.8	11.9	0.0	5.4	13.3	20.2	17.3	19.6	13.8	10.8	
	39	生涯学習施設の数と設備	14.4	13.4	13.5	18.2	13.0	13.4	4.8	16.2	16.7	11.7	18.5	16.1	10.3	24.3	
	40	生涯学習情報・出前講座メニューの量	10.1	9.1	10.1	12.1	5.6	10.4	9.5	10.8	10.0	12.8	16.0	8.9	6.9	8.1	
	41	図書館(室)の設備と蔵書数	10.5	5.3	7.9	6.1	1.9	9.0	9.5	8.1	10.0	19.1	12.3	17.9	17.2	24.3	
	42	学校・地域・家庭の連携	10.7	9.1	6.7	15.2	13.0	7.5	14.3	5.4	6.7	17.0	11.1	16.1	13.8	10.8	
	43	文化・芸術活動の振興	9.4	8.1	7.9	18.2	5.6	3.0	9.5	5.4	10.0	13.8	9.9	11.6	10.3	16.2	
	44	文化財の保存・活用	9.4	6.7	7.9	18.2	3.7	7.5	4.8	8.1	6.7	13.8	12.3	15.2	3.4	10.8	
	45	体育施設の数と設備	16.6	18.7	15.7	24.2	22.2	14.9	38.1	8.1	3.3	22.3	8.6	17.9	6.9	13.5	
住民参画	46	地域コミュニティ活動の支援	13.0	10.0	12.9	9.1	5.6	7.5	14.3	10.8	16.7	19.1	18.5	17.0	10.3	16.2	
	47	市民団体やN P Oなどの活発化	12.9	11.5	11.8	6.1	3.7	6.0	23.8	8.1	16.7	18.1	21.0	17.0	10.3	13.5	
	48	市政に関する市民参加の機会	18.3	17.2	15.2	24.2	13.0	13.4	19.0	21.6	20.0	23.4	22.2	18.8	20.7	24.3	
	49	市政への市民の意見の反映	26.4	26.3	21.9	36.4	13.0	20.9	28.6	29.7	26.7	31.9	33.3	30.4	27.6	27.0	
	50	広報による市情報の提供と公開	10.4	10.0	9.6	18.2	5.6	7.5	19.0	13.5	6.7	12.8	14.8	8.9	6.9	10.8	
	51	市ホームページの内容やデザイン	9.5	9.6	10.1	15.2	5.6	9.0	19.0	10.8	6.7	13.8	8.6	6.3	10.3	2.7	
	52	男女共同参画の取り組み	8.6	7.2	7.9	12.1	0.0	6.0	9.5	13.5	6.7	12.8	11.1	14.3	3.4	2.7	
	53	在住外国人との交流や国際交流の推進	11.0	12.0	9.0	18.2	1.9	4.5	14.3	8.1	13.3	10.6	13.6	16.1	13.8	13.5	
	54	インターネットでの申請など利便性	11.3	9.6	10.7	24.2	1.9	6.0	14.3	18.9	6.7	19.1	13.6	9.8	13.8	10.8	
	55	受付・窓口などでの市職員の対応	15.6	16.3	11.8	27.3	7.4	16.4	14.3	21.6	10.0	18.1	21.0	17.0	13.8	10.8	
	56	健全な財政運営	23.0	19.1	19.7	39.4	13.0	17.9	28.6	27.0	13.3	38.3	24.7	21.4	31.0	29.7	
	57	行政改革の推進	20.5	18.7	16.3	36.4	11.1	16.4	38.1	24.3	16.7	28.7	22.2	17.9	24.1	29.7	

年齢 個別施策の重要度

分野	NO	施策	全体	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
健康福祉	1	保育サービス・子育て支援	51.4	68.3	75.0	68.4	55.1	54.2	28.3
	2	健康診断・相談、保健予防	58.0	60.3	62.0	66.2	63.3	59.9	48.8
	3	地域の助け合いによる福祉活動	41.2	44.4	42.4	49.6	44.9	42.7	33.9
	4	生活支援・介護など高齢者福祉	52.9	63.5	54.3	66.9	61.2	56.9	36.4
	5	障がい者(児)への福祉サービス	41.4	47.6	41.3	54.1	49.7	42.0	30.0
	6	医療機関(病院・診療所)	64.1	82.5	79.3	76.7	66.7	66.4	47.0
	7	緊急医療体制(夜間・休日・救急)	61.1	74.6	70.7	72.9	67.3	63.7	44.9
生活環境	8	山林や河川などの自然環境の保全	39.5	61.9	41.3	45.1	46.9	40.1	27.9
	9	まち並み・景観の保全と整備	33.9	50.8	40.2	39.8	38.8	32.8	24.4
	10	公園・緑地など憩いの場	32.7	52.4	52.2	36.1	34.0	30.5	22.6
	11	移住・定住の支援対策	31.1	42.9	39.1	38.3	36.7	32.1	19.1
	12	市営住宅の整備	19.5	30.2	23.9	20.3	19.0	20.6	14.8
	13	地震・災害に対する安心感	50.9	69.8	59.8	66.9	53.1	50.0	36.7
	14	消防体制(署の配置など)	49.7	63.5	53.3	54.9	54.4	53.1	38.5
	15	防犯・治安などの安心感	51.1	71.4	58.7	61.7	59.2	51.5	35.3
	16	上水道・簡易水道の整備	51.1	58.7	44.6	52.6	50.3	57.6	45.9
	17	下水道・農業集落排水・合併処理浄化槽の整備	43.6	49.2	38.0	44.4	45.6	46.2	41.0
	18	し尿収集と処理サービス	32.9	41.3	22.8	26.3	33.3	35.9	35.3
	19	大気汚染・騒音・水質など公害対策	39.3	54.0	39.1	41.4	46.3	40.5	31.4
	20	ごみ収集と処理サービス	55.8	58.7	54.3	56.4	59.2	58.0	52.7
	21	ごみ減量化と資源リサイクル化	51.2	60.3	48.9	48.1	59.9	56.9	42.4
	22	自然エネルギーの活用などの地球温暖化対策	37.8	54.0	39.1	40.6	42.9	42.0	26.9
都市・交流基盤	23	幹線道路(国道・県道など)の整備	48.1	65.1	51.1	59.4	57.1	46.2	36.0
	24	身近な市道・生活道路の整備、維持管理	51.7	66.7	54.3	55.6	62.6	56.9	36.0
	25	段差や道幅など歩道の安全性	47.1	63.5	50.0	55.6	56.5	50.4	31.8
	26	J R中央線の便利さ	40.8	68.3	47.8	44.4	48.3	37.4	31.1
	27	明知鉄道の便利さ	23.3	23.8	22.8	24.1	25.9	22.9	22.6
	28	バスの便利さ	33.3	34.9	30.4	41.4	40.8	34.0	26.5
	29	情報通信環境の整備	35.3	54.0	38.0	37.6	46.9	34.0	25.1
産業振興	30	買い物の便利さ	55.4	71.4	75.0	67.7	57.1	52.7	42.0
	31	商店街のにぎわい	35.3	50.8	47.8	47.4	39.5	33.6	21.9
	32	工業の振興対策	33.3	46.0	23.9	43.6	43.5	35.5	21.9
	33	新しい分野の起業家支援	26.2	30.2	21.7	30.1	35.4	27.9	19.1
	34	農業の振興対策	33.0	47.6	22.8	39.8	37.4	34.4	26.9
	35	林業(里山・山林)保全と振興	28.6	47.6	18.5	30.8	34.7	30.9	21.9
	36	魅力ある働く場の確保	50.4	74.6	55.4	67.7	55.8	54.6	29.3
	37	観光施設と誘客P R	37.4	55.6	39.1	46.6	45.6	37.8	24.7
教育・文化	38	小中学校における教育	43.8	60.3	55.4	63.2	39.5	46.6	27.6
	39	生涯学習施設の数と設備	27.9	39.7	32.6	32.3	29.9	29.0	20.1
	40	生涯学習情報・出前講座メニューの量	21.6	25.4	22.8	28.6	22.4	23.3	15.5
	41	図書館(室)の設備と蔵書数	35.1	44.4	46.7	38.3	36.1	34.0	29.0
	42	学校・地域・家庭の連携	36.7	47.6	44.6	42.9	36.1	35.5	31.1
	43	文化・芸術活動の振興	23.9	34.9	16.3	25.6	24.5	22.5	24.7
	44	文化財の保存・活用	24.0	39.7	23.9	24.1	28.6	23.7	19.1
	45	体育施設の数と設備	26.3	38.1	34.8	28.6	32.7	24.8	18.7
住民参画	46	地域コミュニティ活動の支援	26.6	34.9	20.7	24.8	27.2	32.4	22.6
	47	市民団体やN P Oなどの活性化	21.0	22.2	8.7	18.8	20.4	32.1	16.3
	48	市政に関する市民参加の機会	24.6	36.5	16.3	26.3	23.1	29.0	21.2
	49	市政への市民の意見の反映	33.1	46.0	34.8	40.6	34.0	37.8	22.3
	50	広報による市情報の提供と公開	37.1	33.3	37.0	36.1	37.4	40.8	35.7
	51	市ホームページの内容やデザイン	19.7	22.2	16.3	30.8	16.3	17.2	19.4
	52	男女共同参画の取り組み	16.2	22.2	13.0	18.0	15.6	16.8	15.2
	53	在住外国人との交流や国際交流の推進	16.5	27.0	18.5	19.5	15.6	16.0	13.4
	54	インターネットでの申請など利便性	24.1	46.0	28.3	30.8	25.9	22.5	15.9
	55	受付・窓口などでの市職員の対応	45.7	46.0	43.5	49.6	45.6	48.5	43.1
	56	健全な財政運営	42.2	52.4	42.4	52.6	46.3	46.6	30.0
	57	行政改革の推進	38.9	44.4	31.5	45.9	39.5	46.2	30.7

居住地 個別施策の重要度

分野	NO	施策	全体	大井町	長島町	東野	三郷町	武並町	笠置町	中野方町	飯地町	岩村町	山岡町	明智町	串原	上矢作町
健康福祉	1	保育サービス・子育て支援	51.4	49.8	58.4	63.6	51.9	64.2	38.1	48.6	46.7	50.0	44.4	47.3	55.2	40.5
	2	健康診断・相談、保健予防	58.0	58.4	68.0	63.6	61.1	73.1	57.1	48.6	60.0	54.3	50.6	47.3	51.7	48.6
	3	地域の助け合いによる福祉活動	41.2	37.3	39.3	36.4	50.0	46.3	42.9	51.4	43.3	38.3	45.7	38.4	44.8	48.6
	4	生活支援・介護など高齢者福祉	52.9	50.7	56.2	42.4	61.1	62.7	57.1	51.4	63.3	50.0	46.9	51.8	55.2	48.6
	5	障がい者(児)への福祉サービス	41.4	40.2	46.1	39.4	46.3	43.3	38.1	29.7	50.0	38.3	34.6	43.8	34.5	48.6
	6	医療機関(病院・診療所)	64.1	64.1	67.4	75.8	72.2	62.7	61.9	64.9	70.0	66.0	67.9	52.7	62.1	51.4
	7	緊急医療体制(夜間・休日・救急)	61.1	60.3	64.6	78.8	68.5	59.7	57.1	59.5	70.0	61.7	59.3	50.9	69.0	56.8
生活環境	8	山林や河川などの自然環境の保全	39.5	33.5	46.6	33.3	38.9	44.8	47.6	45.9	40.0	41.5	42.0	28.6	48.3	43.2
	9	まち並み・景観の保全と整備	33.9	37.3	40.4	15.2	31.5	38.8	33.3	29.7	33.3	38.3	29.6	26.8	31.0	24.3
	10	公園・緑地など憩いの場	32.7	40.2	38.2	24.2	27.8	43.3	23.8	32.4	26.7	29.8	25.9	25.9	20.7	27.0
	11	移住・定住の支援対策	31.1	23.9	29.8	27.3	37.0	34.3	23.8	35.1	60.0	36.2	29.6	32.1	48.3	21.6
	12	市営住宅の整備	19.5	20.1	16.9	6.1	20.4	22.4	9.5	21.6	36.7	18.1	21.0	18.8	24.1	24.3
	13	地震・災害に対する安心感	50.9	53.1	54.5	57.6	63.0	52.2	47.6	35.1	43.3	52.1	51.9	42.9	62.1	35.1
	14	消防体制(署の配置など)	49.7	50.7	56.2	45.5	55.6	50.7	42.9	45.9	66.7	50.0	46.9	38.4	51.7	45.9
	15	防犯・治安などの安心感	51.1	53.6	59.0	51.5	64.8	55.2	52.4	43.2	40.0	51.1	50.6	41.1	41.4	32.4
	16	上水道・簡易水道の整備	51.1	50.7	55.6	48.5	40.7	52.2	42.9	48.6	50.0	54.3	54.3	50.0	51.7	45.9
	17	下水道・農業集落排水・合併処理浄化槽の整備	43.6	37.3	42.1	48.5	42.6	55.2	38.1	56.8	43.3	46.8	40.7	42.0	48.3	54.1
	18	し尿収集と処理サービス	32.9	30.1	35.4	30.3	31.5	43.3	23.8	37.8	40.0	21.3	35.8	33.0	41.4	37.8
	19	大気汚染・騒音・水質など公害対策	39.3	40.2	44.9	48.5	33.3	49.3	19.0	35.1	40.0	42.6	33.3	31.3	44.8	32.4
	20	ごみ収集と処理サービス	55.8	59.3	62.9	66.7	53.7	56.7	38.1	62.2	56.7	50.0	53.1	49.1	51.7	45.9
	21	ごみ減量化と資源リサイクル化	51.2	57.4	59.6	54.5	57.4	58.2	38.1	59.5	56.7	38.3	35.8	44.6	44.8	40.5
22	自然エネルギーの活用などの地球温暖化対策	37.8	41.1	42.1	42.4	37.0	43.3	33.3	29.7	53.3	37.2	32.1	26.8	37.9	32.4	
都市・交流基盤	23	幹線道路(国道・県道など)の整備	48.1	47.8	51.7	48.5	44.4	53.7	33.3	45.9	73.3	40.4	51.9	40.2	58.6	48.6
	24	身近な市道・生活道路の整備、維持管理	51.7	51.2	51.7	57.6	48.1	68.7	38.1	45.9	73.3	52.1	49.4	41.1	75.9	40.5
	25	段差や道幅など歩道の安全性	47.1	50.2	51.7	45.5	55.6	59.7	47.6	43.2	50.0	40.4	44.4	36.6	44.8	35.1
	26	J R中央線の便利さ	40.8	44.0	50.6	39.4	46.3	53.7	42.9	35.1	33.3	46.8	34.6	27.7	13.8	21.6
	27	明知鉄道の便利さ	23.3	21.1	20.8	27.3	14.8	16.4	14.3	10.8	16.7	40.4	27.2	31.3	24.1	18.9
	28	バスの便利さ	33.3	28.2	29.2	30.3	48.1	37.3	38.1	35.1	53.3	29.8	29.6	36.6	55.2	29.7
	29	情報通信環境の整備	35.3	31.6	42.1	30.3	29.6	43.3	38.1	27.0	36.7	34.0	44.4	30.4	44.8	18.9
産業振興	30	買い物の便利さ	55.4	57.4	62.4	72.7	51.9	61.2	47.6	40.5	66.7	63.8	53.1	41.1	58.6	32.4
	31	商店街のにぎわい	35.3	38.3	30.9	36.4	44.4	31.3	14.3	29.7	36.7	45.7	38.3	38.4	20.7	21.6
	32	工業の振興対策	33.3	30.1	33.7	30.3	27.8	38.8	33.3	32.4	30.0	35.1	38.3	33.9	41.4	35.1
	33	新しい分野の起業家支援	26.2	23.0	27.0	27.3	31.5	29.9	28.6	32.4	33.3	20.2	24.7	26.8	34.5	27.0
	34	農業の振興対策	33.0	27.8	28.7	42.4	35.2	38.8	42.9	35.1	33.3	37.2	38.3	28.6	55.2	32.4
	35	林業(里山・山林)保全と振興	28.6	22.5	27.5	36.4	29.6	25.4	28.6	29.7	46.7	36.2	24.7	19.6	58.6	43.2
	36	魅力ある働く場の確保	50.4	50.7	51.1	57.6	51.9	47.8	38.1	40.5	56.7	57.4	54.3	42.9	62.1	45.9
教育・文化	37	観光施設と誘客PR	37.4	40.2	38.2	39.4	46.3	34.3	28.6	27.0	43.3	41.5	34.6	32.1	48.3	27.0
	38	小中学校における教育	43.8	43.5	43.8	57.6	42.6	52.2	38.1	40.5	53.3	47.9	43.2	38.4	48.3	27.0
	39	生涯学習施設の数と設備	27.9	29.7	31.5	33.3	27.8	31.3	23.8	32.4	33.3	22.3	22.2	20.5	34.5	29.7
	40	生涯学習情報・出前講座メニューの量	21.6	22.0	27.5	24.2	18.5	23.9	19.0	27.0	16.7	17.0	17.3	17.9	24.1	21.6
	41	図書館(室)の設備と蔵書数	35.1	41.6	46.1	51.5	33.3	44.8	14.3	29.7	16.7	24.5	28.4	24.1	31.0	29.7
	42	学校・地域・家庭の連携	36.7	37.3	37.1	36.4	27.8	43.3	33.3	27.0	50.0	41.5	34.6	33.0	37.9	37.8
	43	文化・芸術活動の振興	23.9	22.5	30.9	15.2	29.6	32.8	23.8	13.5	13.3	21.3	16.0	20.5	41.4	24.3
	44	文化財の保存・活用	24.0	23.0	28.1	9.1	29.6	28.4	23.8	16.2	26.7	27.7	21.0	18.8	24.1	27.0
	45	体育施設の数と設備	26.3	26.3	32.0	27.3	29.6	37.3	28.6	24.3	6.7	25.5	18.5	24.1	24.1	21.6
住民参画	46	地域コミュニティ活動の支援	26.6	21.1	29.2	24.2	31.5	40.3	38.1	32.4	43.3	21.3	25.9	19.6	37.9	21.6
	47	市民団体やNPOなどの活性化	21.0	20.1	21.9	9.1	20.4	20.9	14.3	21.6	33.3	16.0	28.4	17.0	41.4	21.6
	48	市政に関する市民参加の機会	24.6	27.3	25.8	18.2	27.8	29.9	23.8	18.9	40.0	25.5	17.3	17.0	27.6	27.0
	49	市政への市民の意見の反映	33.1	32.1	38.2	36.4	35.2	37.3	23.8	32.4	46.7	30.9	30.9	25.9	37.9	29.7
	50	広報による市情報の提供と公開	37.1	34.9	46.1	39.4	46.3	41.8	38.1	29.7	23.3	30.9	35.8	35.7	34.5	29.7
	51	市ホームページの内容やデザイン	19.7	20.1	25.3	12.1	24.1	19.4	33.3	13.5	16.7	21.3	12.3	17.9	20.7	8.1
	52	男女共同参画の取り組み	16.2	17.2	18.0	12.1	27.8	19.4	9.5	13.5	13.3	18.1	11.1	13.4	17.2	8.1
	53	在住外国人との交流や国際交流の推進	16.5	17.2	23.6	15.2	16.7	23.9	23.8	10.8	10.0	11.7	11.1	13.4	17.2	8.1
	54	インターネットでの申請など利便性	24.1	20.1	34.3	12.1	29.6	37.3	23.8	16.2	30.0	20.2	22.2	17.9	24.1	13.5
	55	受付・窓口などでの市職員への対応	45.7	48.8	50.0	42.4	57.4	47.8	38.1	37.8	46.7	42.6	40.7	42.9	48.3	32.4
	56	健全な財政運営	42.2	40.2	42.1	45.5	44.4	52.2	42.9	40.5	40.0	52.1	42.0	32.1	55.2	32.4
	57	行政改革の推進	38.9	37.8	38.8	39.4	38.9	49.3	42.9	40.5	46.7	45.7	38.3	27.7	48.3	32.4

(9) 個別施策の満足度指数・重要度指数

年齢 個別施設の満足度指数

分野	NO	施策	全体	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
健康福祉	1	保育サービス・子育て支援	0.3	-15.9	1.1	-4.5	-4.8	1.1	7.8
	2	健康診断・相談、保健予防	34.0	4.8	26.1	24.1	27.9	32.4	53.0
	3	地域の助け合いによる福祉活動	4.7	-1.6	8.7	-7.5	3.4	-5.0	19.1
	4	生活支援・介護など高齢者福祉	-3.1	-9.5	1.1	-16.5	-3.4	-11.8	10.2
	5	障がい者(児)への福祉サービス	2.1	3.2	-3.3	-7.5	-0.7	1.5	9.9
	6	医療機関(病院・診療所)	-11.3	-17.5	-20.7	-34.6	-32.0	-27.9	28.6
	7	緊急医療体制(夜間・休日・救急)	-8.5	-25.4	-23.9	-32.3	-19.0	-16.0	23.0
生活環境	8	山林や河川などの自然環境の保全	-8.8	9.5	7.6	2.3	-3.4	-24.8	-11.0
	9	まち並み・景観の保全と整備	-2.0	27.0	14.1	-1.5	-7.5	-16.8	2.5
	10	公園・緑地など憩いの場	-14.9	-11.1	-43.5	-10.5	-20.4	-21.0	0.0
	11	移住・定住の支援対策	-22.9	-20.6	-21.7	-31.6	-27.2	-26.0	-14.5
	12	市営住宅の整備	-12.1	-11.1	-16.3	-13.5	-10.9	-17.9	-6.0
	13	地震・災害に対する安心感	-26.3	-47.6	-37.0	-28.6	-29.9	-36.3	-7.8
	14	消防体制(署の配置など)	15.1	7.9	26.1	14.3	15.0	3.8	23.7
	15	防犯・治安などの安心感	6.1	15.9	6.5	4.5	0.0	1.9	11.7
	16	上水道・簡易水道の整備	56.4	41.3	30.4	37.6	43.5	64.5	77.7
	17	下水道・農業集落排水・合併処理浄化槽の整備	33.9	36.5	15.2	17.3	25.9	39.7	47.7
	18	し尿収集と処理サービス	36.3	38.1	21.7	18.0	22.4	38.9	55.1
	19	大気汚染・騒音・水質など公害対策	15.6	15.9	6.5	10.5	6.8	16.8	24.7
	20	ごみ収集と処理サービス	60.3	49.2	37.0	45.9	46.3	64.1	82.3
	21	ごみ減量化と資源リサイクル化	37.9	34.9	37.0	29.3	29.9	35.9	49.1
	22	自然エネルギーの活用などの地球温暖化対策	-7.8	3.2	6.5	-16.5	-12.9	-15.6	-1.8
都市・交流基盤	23	幹線道路(国道・県道など)の整備	-16.9	-20.6	-15.2	-13.5	-28.6	-23.7	-6.7
	24	身近な市道・生活道路の整備、維持管理	-32.9	-11.1	-19.6	-37.6	-41.5	-46.6	-24.0
	25	段差や道幅など歩道の安全性	-37.8	-36.5	-30.4	-50.4	-44.2	-49.2	-22.3
	26	J R 中央線の利便さ	-14.2	-23.8	-30.4	-43.6	-18.4	-13.0	7.8
	27	明知鉄道の利便さ	-16.5	-50.8	-26.1	-42.1	-22.4	-16.8	9.9
	28	バスの利便さ	-50.5	-55.6	-58.7	-69.2	-72.1	-55.3	-21.9
	29	情報通信環境の整備	4.6	-1.6	-2.2	-6.8	-7.5	5.3	19.8
産業振興	30	買い物の利便さ	-11.3	-9.5	-13.0	-18.8	-23.8	-14.1	1.1
	31	商店街のにぎわい	-79.8	-82.5	-69.6	-92.5	-91.8	-78.6	-72.8
	32	工業の振興対策	-36.7	-11.1	-17.4	-40.6	-51.0	-43.9	-33.9
	33	新しい分野の起業家支援	-30.6	-22.2	-10.9	-39.1	-42.9	-35.1	-25.1
	34	農業の振興対策	-33.5	-11.1	-3.3	-33.8	-33.3	-40.5	-42.8
	35	林業(里山・山林)保全と振興	-33.1	-15.9	-3.3	-27.1	-32.0	-41.6	-42.8
	36	魅力ある働く場の確保	-62.3	-66.7	-57.6	-64.7	-72.1	-65.3	-55.8
37	観光施設と誘客 P R	-36.7	-23.8	-26.1	-36.8	-44.2	-40.8	-36.0	
教育・文化	38	小中学校における教育	0.3	1.6	-1.1	-4.5	3.4	-5.0	6.0
	39	生涯学習施設の数と設備	-1.5	9.5	1.1	-1.5	-4.1	-6.5	1.1
	40	生涯学習情報・出前講座メニューの量	5.8	23.8	2.2	4.5	4.8	4.2	6.4
	41	図書館(室)の設備と蔵書数	31.2	39.7	57.6	42.9	17.7	26.0	27.9
	42	学校・地域・家庭の連携	6.1	-6.3	4.3	14.3	-4.1	3.8	13.1
	43	文化・芸術活動の振興	6.7	15.9	7.6	7.5	0.0	1.5	12.4
	44	文化財の保存・活用	5.3	22.2	3.3	10.5	-2.7	1.9	7.1
	45	体育施設の数と設備	-4.9	4.8	-4.3	-3.0	-11.6	-6.1	-2.8
住民参画	46	地域コミュニティー活動の支援	2.0	9.5	0.0	0.8	5.4	-1.9	3.9
	47	市民団体や N P O などの活発化	-5.7	1.6	-1.1	-6.0	-1.4	-11.1	-6.0
	48	市政に関する市民参加の機会	-13.9	-14.3	-4.3	-6.0	-12.2	-23.3	-13.1
	49	市政への市民の意見の反映	-27.8	-15.9	-27.2	-25.6	-29.9	-38.2	-21.6
	50	広報による市情報の提供と公開	25.6	30.2	23.9	21.1	26.5	17.2	36.0
	51	市ホームページの内容やデザイン	5.9	-3.2	0.0	-3.0	5.4	5.7	14.1
	52	男女共同参画の取り組み	-3.0	-6.3	-2.2	-7.5	-1.4	-9.5	4.6
	53	在住外国人との交流や国際交流の推進	-8.1	4.8	-6.5	-12.8	-8.2	-12.2	-5.7
	54	インターネットでの申請など利便性	-1.3	-1.6	-3.3	-12.0	-3.4	0.8	3.5
	55	受付・窓口などで市職員の対応	26.4	9.5	15.2	1.5	18.4	29.0	47.3
	56	健全な財政運営	-19.4	-14.3	-15.2	-34.6	-26.5	-24.4	-6.7
	57	行政改革の推進	-17.0	-11.1	-8.7	-32.3	-18.4	-24.4	-6.7

居住地 個別施策の満足度指数

分野	NO	施策	全体	大井町	長島町	東野	三郷町	武並町	笠置町	中野方町	飯地町	岩村町	山岡町	明智町	串原	上矢作町
健康福祉	1	保育サービス・子育て支援	0.3	3.3	5.6	-24.2	9.3	-14.9	14.3	32.4	-10.0	-4.3	-4.9	-0.9	-24.1	10.8
	2	健康診断・相談、保健予防	34.0	37.3	34.8	24.2	29.6	23.9	57.1	56.8	33.3	27.7	28.4	36.6	17.2	45.9
	3	地域の助け合いによる福祉活動	4.7	1.9	1.7	-18.2	20.4	4.5	33.3	40.5	16.7	-5.3	3.7	-6.3	6.9	29.7
	4	生活支援・介護など高齢者福祉	-3.1	-11.5	2.8	-12.1	-1.9	-14.9	23.8	8.1	-20.0	2.1	-3.7	-0.9	-3.4	13.5
	5	障がい者(児)への福祉サービス	2.1	-4.8	8.4	9.1	-7.4	-9.0	4.8	8.1	6.7	0.0	3.7	6.3	3.4	16.2
	6	医療機関(病院・診療所)	-11.3	-4.8	-11.8	-18.2	-18.5	-59.7	28.6	24.3	16.7	-29.8	-9.9	-10.7	-62.1	51.4
	7	緊急医療体制(夜間・休日・救急)	-8.5	-4.3	8.4	-27.3	-7.4	-20.9	9.5	-13.5	-23.3	-22.3	-33.3	-16.1	-34.5	64.9
生活環境	8	山林や河川などの自然環境の保全	-8.8	3.3	6.7	-12.1	-5.6	-17.9	-19.0	-16.2	-40.0	-4.3	-39.5	-15.2	-13.8	-18.9
	9	まち並み・景観の保全と整備	-2.0	7.2	6.2	6.1	9.3	1.5	-4.8	21.6	-33.3	20.2	-16.0	-35.7	-17.2	-29.7
	10	公園・緑地など憩いの場	-14.9	0.0	9.0	-27.3	-9.3	-17.9	-9.5	-16.2	-26.7	-50.0	-18.5	-37.5	-20.7	-29.7
	11	移住・定住の支援対策	-22.9	-11.5	-14.0	-9.1	-27.8	-28.4	-42.9	-18.9	-40.0	-19.1	-37.0	-46.4	-6.9	-24.3
	12	市営住宅の整備	-12.1	-10.5	-5.6	-9.1	-1.9	-19.4	19.0	-24.3	-30.0	-14.9	-13.6	-25.9	-3.4	-2.7
	13	地震・災害に対する安心感	-26.3	-11.5	-25.3	-21.2	-40.7	-32.8	-14.3	-10.8	-40.0	-21.3	-43.2	-34.8	-34.5	-43.2
	14	消防体制(署の配置など)	15.1	23.4	30.3	18.2	24.1	-9.0	9.5	-29.7	-50.0	45.7	6.2	14.3	-20.7	5.4
	15	防犯・治安などの安心感	6.1	5.7	18.5	6.1	11.1	-10.4	28.6	21.6	-13.3	22.3	-13.6	2.7	-10.3	-13.5
	16	上水道・簡易水道の整備	56.4	55.5	55.6	42.4	29.6	52.2	57.1	59.5	53.3	87.2	28.4	64.3	79.3	67.6
	17	下水道・農業集落排水・合併処理浄化槽の整備	33.9	34.9	35.4	36.4	1.9	34.3	42.9	29.7	40.0	63.8	-6.2	28.6	69.0	62.2
	18	し尿収集と処理サービス	36.3	33.5	33.7	21.2	40.7	16.4	85.7	35.1	53.3	35.1	39.5	32.1	72.4	48.6
	19	大気汚染・騒音・水質など公害対策	15.6	12.4	20.2	-18.2	20.4	-1.5	9.5	18.9	33.3	31.9	6.2	15.2	41.4	18.9
	20	ごみ収集と処理サービス	60.3	50.7	61.8	57.6	66.7	47.8	81.0	73.0	46.7	71.3	71.6	54.5	75.9	73.0
	21	ごみ減量化と資源リサイクル	37.9	41.1	48.3	24.2	50.0	38.8	61.9	37.8	46.7	31.9	19.8	25.0	48.3	37.8
22	自然エネルギーの活用などの地球温暖化対策	-7.8	-3.3	-2.8	-33.3	-3.7	-17.9	19.0	32.4	-23.3	-14.9	-12.3	-12.5	-6.9	-18.9	
都市・交流基盤	23	幹線道路(国道・県道など)の整備	-16.9	5.3	5.1	-3.0	-9.3	-19.4	0.0	-10.8	-120.0	13.8	-59.3	-39.3	-103.4	-45.9
	24	身近な市道・生活道路の整備、維持管理	-32.9	-14.4	-19.1	-24.2	-38.9	-38.8	-23.8	-16.2	-110.0	-33.0	-51.9	-46.4	-69.0	-37.8
	25	段差や道幅など歩道の安全性	-37.8	-29.7	-27.5	-45.5	-44.4	-31.3	-23.8	-37.8	-83.3	-28.7	-56.8	-52.7	-37.9	-37.8
	26	J R中央線の利便性	-14.2	-4.8	7.3	-30.3	-27.8	-6.0	42.9	-13.5	-6.7	-17.0	-48.1	-37.5	-51.7	-10.8
	27	明知鉄道の利便性	-16.5	-7.7	-0.6	-33.3	-9.3	-13.4	19.0	-5.4	-3.3	-41.5	-46.9	-25.0	-31.0	-16.2
	28	バスの利便性	-50.5	-47.4	-36.5	-60.6	-64.8	-53.7	-28.6	-40.5	-70.0	-67.0	-72.8	-31.3	-79.3	-45.9
	29	情報通信環境の整備	4.6	11.0	3.9	-9.1	-3.7	-6.0	23.8	2.7	26.7	6.4	6.2	-10.7	37.9	-2.7
産業振興	30	買い物の利便性	-11.3	23.9	54.5	6.1	-50.0	-59.7	-42.9	-40.5	-76.7	1.1	-76.5	-35.7	-69.0	-67.6
	31	商店街のにぎわい	-79.8	-80.4	-59.0	-54.5	-83.3	-83.6	-57.1	-54.1	-83.3	-76.6	-101.2	-117.9	-62.1	-91.9
	32	工業の振興対策	-36.7	-29.2	-24.2	-39.4	-14.8	-29.9	-47.6	-45.9	-36.7	-33.0	-77.8	-40.2	-55.2	-64.9
	33	新しい分野の起業家支援	-30.6	-11.5	-23.6	-33.3	-20.4	-43.3	-28.6	-40.5	-33.3	-26.6	-37.0	-54.5	-48.3	-64.9
	34	農業の振興対策	-33.5	-11.0	-20.8	-54.5	-24.1	-40.3	-42.9	-35.1	-40.0	-31.9	-61.7	-49.1	-69.0	-62.2
	35	林業(里山・山林)保全と振興	-33.1	-15.3	-19.1	-39.4	-44.4	-28.4	-28.6	-32.4	-53.3	-42.6	-48.1	-50.0	-48.3	-56.8
	36	魅力ある働く場の確保	-62.3	-52.2	-48.9	-69.7	-57.4	-43.3	-38.1	-62.2	-73.3	-72.3	-102.5	-69.6	-69.0	-91.9
37	観光施設と誘客 P R	-36.7	-29.7	-32.6	-33.3	-18.5	-32.8	9.5	-24.3	-60.0	-8.5	-50.6	-88.4	-27.6	-48.6	
教育・文化	38	小中学校における教育	0.3	4.8	-3.4	6.1	1.9	3.0	47.6	24.3	6.7	-7.4	-7.4	-14.3	10.3	-2.7
	39	生涯学習施設の数と設備	-1.5	2.4	3.9	-9.1	0.0	0.0	38.1	-2.7	-3.3	-2.1	-13.6	-8.9	3.4	-21.6
	40	生涯学習情報・出前講座メニューの量	5.8	13.4	11.2	0.0	9.3	3.0	23.8	13.5	0.0	-4.3	-9.9	0.9	6.9	0.0
	41	図書館(室)の設備と蔵書数	31.2	59.8	52.8	45.5	51.9	34.3	33.3	18.9	10.0	3.2	9.9	-0.9	-3.4	-8.1
	42	学校・地域・家庭の連携	6.1	11.0	14.0	6.1	-9.3	13.4	14.3	10.8	26.7	-7.4	-1.2	-3.6	6.9	0.0
	43	文化・芸術活動の振興	6.7	11.5	15.7	-9.1	18.5	19.4	9.5	2.7	6.7	-4.3	-6.2	0.0	3.4	-5.4
	44	文化財の保存・活用	5.3	10.0	11.2	-15.2	14.8	11.9	19.0	0.0	26.7	0.0	-6.2	-8.0	10.3	0.0
	45	体育施設の数と設備	-4.9	0.5	0.6	-24.2	-11.1	-3.0	-33.3	5.4	6.7	-20.2	7.4	-11.6	0.0	-16.2
住民参画	46	地域コミュニティ活動の支援	2.0	3.8	7.9	15.2	14.8	11.9	4.8	24.3	6.7	-11.7	-9.9	-10.7	6.9	-16.2
	47	市民団体やN P Oなどの活発化	-5.7	-2.9	-4.5	0.0	0.0	0.0	-23.8	16.2	3.3	-18.1	-12.3	-15.2	10.3	-10.8
	48	市政に関する市民参加の機会	-13.9	-10.0	-8.4	-24.2	-9.3	-4.5	-19.0	-21.6	-13.3	-22.3	-23.5	-14.3	-17.2	-21.6
	49	市政への市民の意見の反映	-27.8	-24.4	-19.7	-54.5	-9.3	-20.9	-28.6	-35.1	-30.0	-33.0	-42.0	-34.8	-20.7	-35.1
	50	広報による市情報の提供と公開	25.6	28.2	28.7	6.1	35.2	34.3	28.6	21.6	46.7	16.0	25.9	20.5	17.2	16.2
	51	市ホームページの内容やデザイン	5.9	8.6	10.1	-21.2	16.7	6.0	9.5	5.4	16.7	-2.1	-1.2	6.3	3.4	8.1
	52	男女共同参画の取り組み	-3.0	4.3	2.2	-18.2	9.3	-3.0	-9.5	-16.2	-3.3	-7.4	-13.6	-10.7	0.0	-2.7
	53	在住外国人との交流や国際交流の推進	-8.1	-5.7	-2.2	-15.2	3.7	-4.5	-9.5	-8.1	-20.0	-9.6	-14.8	-17.0	-10.3	-10.8
	54	インターネットでの申請など利便性	-1.3	1.9	2.2	-24.2	20.4	1.5	-4.8	-16.2	20.0	-14.9	-7.4	-2.7	0.0	-2.7
	55	受付・窓口などでの市職員の対応	26.4	31.6	37.6	-12.1	40.7	19.4	42.9	29.7	46.7	16.0	9.9	24.1	24.1	16.2
	56	健全な財政運営	-19.4	-7.2	-14.0	-51.5	-9.3	-16.4	-42.9	-18.9	-10.0	-40.4	-28.4	-17.0	-31.0	-27.0
	57	行政改革の推進	-17.0	-10.0	-10.1	-39.4	-5.6	-14.9	-57.1	-24.3	-20.0	-30.9	-19.8	-12.5	-17.2	-32.4

年齢 個別施策の重要度指数

分野	NO	施策	全体	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
健康福祉	1	保育サービス・子育て支援	71.5	103.2	123.9	100.8	72.8	70.2	35.7
	2	健康診断・相談、保健予防	76.4	90.5	85.9	88.0	83.0	76.0	63.3
	3	地域の助け合いによる福祉活動	45.7	49.2	52.2	57.9	49.7	45.8	36.0
	4	生活支援・介護など高齢者福祉	65.3	85.7	72.8	83.5	83.7	66.0	41.0
	5	障がい者(児)への福祉サービス	48.6	55.6	51.1	63.9	61.2	50.8	31.4
	6	医療機関(病院・診療所)	88.7	125.4	118.5	116.5	93.9	90.1	55.5
	7	緊急医療体制(夜間・休日・救急)	86.0	111.1	109.8	109.8	96.6	88.9	55.1
生活環境	8	山林や河川などの自然環境の保全	38.2	79.4	46.7	47.4	51.7	37.8	16.3
	9	まち並み・景観の保全と整備	27.2	54.0	43.5	34.6	33.3	22.5	13.8
	10	公園・緑地など憩いの場	22.5	46.0	53.3	24.1	21.1	16.8	13.1
	11	移住・定住の支援対策	27.8	49.2	32.6	40.6	30.6	28.6	13.4
	12	市営住宅の整備	4.6	15.9	0.0	-0.8	-3.4	7.6	7.4
	13	地震・災害に対する安心感	62.2	103.2	84.8	95.5	62.6	58.0	35.0
	14	消防体制(署の配置など)	60.8	81.0	64.1	66.2	73.5	65.3	43.1
	15	防犯・治安などの安心感	61.9	98.4	80.4	78.2	71.4	61.8	36.4
	16	上水道・簡易水道の整備	65.0	71.4	55.4	68.4	63.9	73.3	59.4
	17	下水道・農業集落排水・合併処理浄化槽の整備	52.5	54.0	50.0	51.9	55.8	58.0	47.3
	18	し尿収集と処理サービス	36.3	50.8	16.3	21.8	34.7	41.2	43.5
	19	大気汚染・騒音・水質など公害対策	44.1	66.7	44.6	42.1	50.3	48.9	33.2
	20	ごみ収集と処理サービス	72.7	73.0	71.7	77.4	73.5	74.8	70.0
	21	ごみ減量化と資源リサイクル化	63.6	71.4	62.0	61.7	74.1	72.9	50.5
	22	自然エネルギーの活用などの地球温暖化対策	44.2	60.3	40.2	46.6	52.4	53.4	29.0
都市・交流基盤	23	幹線道路(国道・県道など)の整備	52.1	81.0	59.8	70.7	64.6	50.0	30.7
	24	身近な市道・生活道路の整備、維持管理	56.0	87.3	64.1	69.9	68.0	63.0	28.3
	25	段差や道幅など歩道の安全性	48.3	79.4	57.6	66.2	59.2	51.5	22.6
	26	J R中央線の利便さ	38.8	82.5	44.6	51.9	50.3	29.8	24.4
	27	明知鉄道の利便さ	11.0	6.3	3.3	12.8	12.9	9.2	14.8
	28	バスの利便さ	18.2	14.3	7.6	36.8	29.3	15.6	11.0
	29	情報通信環境の整備	36.0	73.0	37.0	39.8	43.5	32.4	25.8
産業振興	30	買い物の利便さ	60.3	92.1	95.7	85.0	60.5	58.4	32.2
	31	商店街のにぎわい	12.6	36.5	34.8	46.6	19.7	11.8	-19.1
	32	工業の振興対策	28.6	52.4	23.9	49.6	36.1	34.0	6.4
	33	新しい分野の起業家支援	19.0	23.8	8.7	28.6	29.9	21.0	9.2
	34	農業の振興対策	27.4	60.3	16.3	42.9	33.3	31.3	9.5
	35	林業(里山・山林)保全と振興	22.3	61.9	12.0	28.6	28.6	28.6	5.3
	36	魅力ある働く場の確保	54.7	114.3	70.7	93.2	58.5	59.2	13.8
37	観光施設と誘客PR	28.6	63.5	44.6	44.4	38.1	28.2	4.9	
教育・文化	38	小中学校における教育	60.8	87.3	84.8	100.8	53.7	59.2	34.6
	39	生涯学習施設の数と設備	24.4	46.0	33.7	29.3	30.6	24.4	11.7
	40	生涯学習情報・出前講座メニューの量	15.1	20.6	12.0	21.8	17.7	17.9	8.1
	41	図書館(室)の設備と蔵書数	35.0	47.6	48.9	37.6	31.3	35.5	28.6
	42	学校・地域・家庭の連携	41.9	58.7	52.2	57.9	38.8	37.8	33.9
	43	文化・芸術活動の振興	16.9	28.6	5.4	15.0	17.0	17.6	18.7
	44	文化財の保存・活用	18.4	38.1	16.3	14.3	19.7	17.2	17.7
45	体育施設の数と設備	20.8	39.7	25.0	23.3	27.2	17.6	14.1	
住民参画	46	地域コミュニティ活動の支援	21.8	33.3	8.7	21.1	24.5	27.9	17.3
	47	市民団体やNPOなどの活性化	11.8	9.5	-15.2	9.0	16.3	26.0	7.1
	48	市政に関する市民参加の機会	18.1	33.3	1.1	19.5	20.4	24.8	13.4
	49	市政への市民の意見の反映	31.1	61.9	30.4	41.4	35.4	34.4	15.2
	50	広報による市情報の提供と公開	41.1	41.3	37.0	39.1	44.9	41.2	42.4
	51	市ホームページの内容やデザイン	14.6	14.3	5.4	21.1	12.2	12.2	18.4
	52	男女共同参画の取り組み	9.3	20.6	3.3	6.0	10.2	9.9	10.2
	53	在住外国人との交流や国際交流の推進	4.8	17.5	1.1	3.8	7.5	3.8	3.2
	54	インターネットでの申請など利便性	19.3	57.1	21.7	25.6	19.0	16.4	11.0
	55	受付・窓口などでの市職員の対応	52.1	57.1	40.2	57.1	51.0	56.5	50.2
	56	健全な財政運営	57.2	84.1	57.6	78.2	62.6	63.4	34.3
	57	行政改革の推進	49.4	58.7	39.1	63.9	46.9	64.5	32.5

居住地 個別施策の重要度指数

分野	NO	施策	全体	大井町	長島町	東野	三郷町	武並町	笠置町	中野方町	飯地町	岩村町	山岡町	明智町	串原	上矢作町
健康福祉	1	保育サービス・子育て支援	71.5	69.9	85.4	100.0	74.1	100.0	52.4	67.6	63.3	58.5	59.3	60.7	82.8	48.6
	2	健康診断・相談、保健予防	76.4	80.9	88.8	78.8	81.5	100.0	76.2	67.6	80.0	68.1	63.0	57.1	79.3	62.2
	3	地域の助け合いによる福祉活動	45.7	40.2	42.7	39.4	57.4	49.3	42.9	59.5	63.3	37.2	51.9	42.0	58.6	59.5
	4	生活支援・介護など高齢者福祉	65.3	61.2	68.5	54.5	64.8	80.6	90.5	67.6	93.3	62.8	58.0	59.8	79.3	54.1
	5	障がい者(児)への福祉サービス	48.6	48.8	50.0	42.4	48.1	52.2	38.1	37.8	76.7	41.5	38.3	53.6	58.6	56.8
	6	医療機関(病院・診療所)	88.7	95.2	92.7	115.2	94.4	70.1	95.2	94.6	120.0	88.3	95.1	58.0	86.2	83.8
	7	緊急医療体制(夜間・休日・救急)	86.0	88.0	95.5	103.0	92.6	73.1	85.7	94.6	120.0	85.1	81.5	58.0	106.9	83.8
	8	山林や河川などの自然環境の保全	38.2	34.9	48.9	33.3	22.2	47.8	57.1	56.8	40.0	43.6	24.7	17.9	58.6	45.9
生活環境	9	まち並み・景観の保全と整備	27.2	35.4	33.7	9.1	22.2	43.3	28.6	32.4	30.0	29.8	14.8	7.1	27.6	16.2
	10	公園・緑地など憩いの場	22.5	39.7	29.2	18.2	24.1	37.3	4.8	24.3	0.0	18.1	4.9	0.9	6.9	24.3
	11	移住・定住の支援対策	27.8	17.7	24.2	27.3	25.9	26.9	14.3	45.9	96.7	34.0	24.7	19.6	69.0	27.0
	12	市営住宅の整備	4.6	10.0	-5.6	-15.2	3.7	4.5	-9.5	-16.2	50.0	0.0	7.4	3.6	31.0	24.3
	13	地震・災害に対する安心感	62.2	69.9	70.8	66.7	75.9	65.7	42.9	48.6	73.3	62.8	50.6	45.5	79.3	32.4
	14	消防体制(署の配置など)	60.8	66.0	73.0	51.5	66.7	61.2	38.1	54.1	100.0	60.6	55.6	41.1	55.2	48.6
	15	防犯・治安などの安心感	61.9	68.9	73.6	63.6	74.1	73.1	38.1	59.5	70.0	63.8	50.6	40.2	48.3	40.5
	16	上水道・簡易水道の整備	65.0	65.1	69.7	48.5	38.9	74.6	52.4	64.9	66.7	75.5	64.2	61.6	82.8	62.2
	17	下水道・農業集落排水・合併処理浄化槽の整備	52.5	49.3	46.6	48.5	44.4	67.2	28.6	73.0	53.3	62.8	40.7	48.2	82.8	73.0
	18	し尿収集と処理サービス	36.3	33.5	37.1	27.3	33.3	47.8	4.8	51.4	43.3	19.1	48.1	32.1	62.1	51.4
	19	大気汚染・騒音・水質など公害対策	44.1	47.8	50.6	51.5	38.9	59.7	14.3	37.8	30.0	48.9	35.8	27.7	62.1	40.5
	20	ごみ収集と処理サービス	72.7	79.9	83.1	72.7	74.1	77.6	28.6	81.1	73.3	68.1	67.9	57.1	75.9	62.2
	21	ごみ減量化と資源リサイクル	63.6	72.7	76.4	60.6	68.5	68.7	33.3	75.7	60.0	47.9	49.4	51.8	69.0	54.1
	22	自然エネルギーの活用などの地球温暖化対策	44.2	50.7	46.6	48.5	44.4	58.2	23.8	43.2	73.3	39.4	33.3	24.1	51.7	45.9
都市・交流基盤	23	幹線道路(国道・県道など)の整備	52.1	50.7	57.3	54.5	48.1	74.6	0.0	45.9	113.3	40.4	51.9	30.4	82.8	59.5
	24	身近な市道・生活道路の整備・維持管理	56.0	54.5	52.8	63.6	33.3	95.5	28.6	48.6	116.7	60.6	49.4	31.3	113.8	51.4
	25	段差や道幅など歩道の安全性	48.3	54.5	58.4	39.4	48.1	71.6	23.8	37.8	70.0	44.7	44.4	23.2	55.2	35.1
	26	J R中央線の利便性	38.8	44.0	59.0	36.4	40.7	61.2	28.6	32.4	50.0	46.8	22.2	11.6	-13.8	18.9
	27	明知鉄道の利便性	11.0	6.7	10.7	-9.1	7.4	4.5	0.0	-16.2	3.3	33.0	16.0	23.2	10.3	13.5
	28	バスの利便性	18.2	5.3	17.4	15.2	38.9	23.9	19.0	8.1	63.3	11.7	11.1	20.5	62.1	29.7
	29	情報通信環境の整備	36.0	34.4	44.4	27.3	25.9	49.3	33.3	21.6	43.3	31.9	50.6	20.5	65.5	18.9
	30	買い物の利便性	60.3	67.0	80.9	87.9	50.0	62.7	33.3	27.0	93.3	78.7	32.1	36.6	82.8	10.8
	31	商店街のいきわい	12.6	16.3	5.1	30.3	22.2	17.9	-4.8	2.7	26.7	38.3	-1.2	6.3	6.9	-13.5
産業振興	32	工業の振興対策	28.6	25.4	32.6	30.3	27.8	38.8	14.3	27.0	43.3	27.7	13.6	27.7	51.7	29.7
	33	新しい分野の起業家支援	19.0	17.2	24.2	15.2	24.1	29.9	23.8	29.7	46.7	4.3	6.2	14.3	31.0	18.9
	34	農業の振興対策	27.4	25.8	24.7	48.5	22.2	37.3	33.3	29.7	36.7	34.0	12.3	15.2	69.0	29.7
	35	林業(里山・山林)保全と振興	22.3	18.2	20.8	39.4	16.7	22.4	28.6	16.2	60.0	28.7	3.7	5.4	75.9	51.4
	36	魅力ある働く場の確保	54.7	54.1	55.1	87.9	51.9	56.7	52.4	24.3	93.3	73.4	40.7	33.0	96.6	51.4
	37	観光施設と誘客 P R	28.6	35.4	29.2	45.5	46.3	37.3	19.0	-2.7	50.0	35.1	19.8	5.4	51.7	8.1
	38	小中学校における教育	60.8	59.8	62.4	84.8	59.3	82.1	42.9	56.8	80.0	62.8	50.6	51.8	75.9	40.5
教育・文化	39	生涯学習施設の数と設備	24.4	28.7	28.7	33.3	29.6	28.4	23.8	27.0	33.3	14.9	12.3	16.1	34.5	18.9
	40	生涯学習情報・出前講座メニューの量	15.1	17.7	19.1	27.3	16.7	14.9	9.5	21.6	16.7	2.1	1.2	13.4	31.0	21.6
	41	図書館(室)の設備と蔵書数	35.0	48.8	52.8	57.6	40.7	43.3	-9.5	27.0	3.3	11.7	23.5	17.9	27.6	32.4
	42	学校・地域・家庭の連携	41.9	44.0	44.9	39.4	31.5	49.3	38.1	35.1	73.3	40.4	33.3	35.7	44.8	45.9
	43	文化・芸術活動の振興	16.9	14.4	25.3	6.1	27.8	29.9	14.3	2.7	-3.3	11.7	1.2	17.9	44.8	18.9
	44	文化財の保存・活用	18.4	17.2	22.5	3.0	31.5	26.9	4.8	8.1	13.3	26.6	8.6	9.8	27.6	27.0
	45	体育施設の数と設備	20.8	21.5	18.5	33.3	29.6	41.8	14.3	27.0	-3.3	16.0	16.0	19.6	13.8	16.2
	46	地域コミュニティ活動の支援	21.8	16.3	19.7	18.2	35.2	43.3	33.3	27.0	56.7	8.5	17.3	12.5	48.3	21.6
	47	市民団体や N P O などの活発化	11.8	13.9	7.9	-3.0	18.5	19.4	-4.8	16.2	30.0	1.1	11.1	7.1	41.4	18.9
住民参画	48	市政に関する市民参加の機会	18.1	23.0	21.9	9.1	25.9	34.3	19.0	10.8	50.0	10.6	-7.4	6.3	31.0	24.3
	49	市政への市民の意見の反映	31.1	29.2	38.2	36.4	35.2	38.8	28.6	35.1	66.7	26.6	22.2	14.3	37.9	32.4
	50	広報による市情報の提供と公開	41.1	39.2	54.5	39.4	59.3	43.3	33.3	29.7	26.7	38.3	33.3	33.9	48.3	32.4
	51	市ホームページの内容やデザイン	14.6	13.9	19.1	0.0	27.8	13.4	9.5	2.7	13.3	17.0	6.2	15.2	27.6	8.1
	52	男女共同参画の取り組み	9.3	14.4	8.4	6.1	33.3	16.4	0.0	-2.7	3.3	1.1	3.7	0.9	20.7	13.5
	53	在住外国人との交流や国際交流の推進	4.8	8.1	10.7	0.0	9.3	11.9	0.0	-2.7	3.3	-8.5	1.2	0.0	17.2	0.0
	54	インターネットでの申請など利便性	19.3	12.0	34.8	-3.0	33.3	31.3	19.0	2.7	23.3	6.4	21.0	12.5	34.5	13.5
	55	受付・窓口などでの市職員への対応	52.1	53.6	60.7	39.4	72.2	50.7	38.1	37.8	66.7	45.7	44.4	48.2	58.6	43.2
	56	健全な財政運営	57.2	54.5	55.1	57.6	59.3	74.6	71.4	51.4	60.0	75.5	49.4	40.2	96.6	37.8
	57	行政改革の推進	49.4	50.7	50.0	42.4	50.0	56.7	66.7	48.6	73.3	57.4	42.0	33.9	79.3	29.7

7 個別の施策について

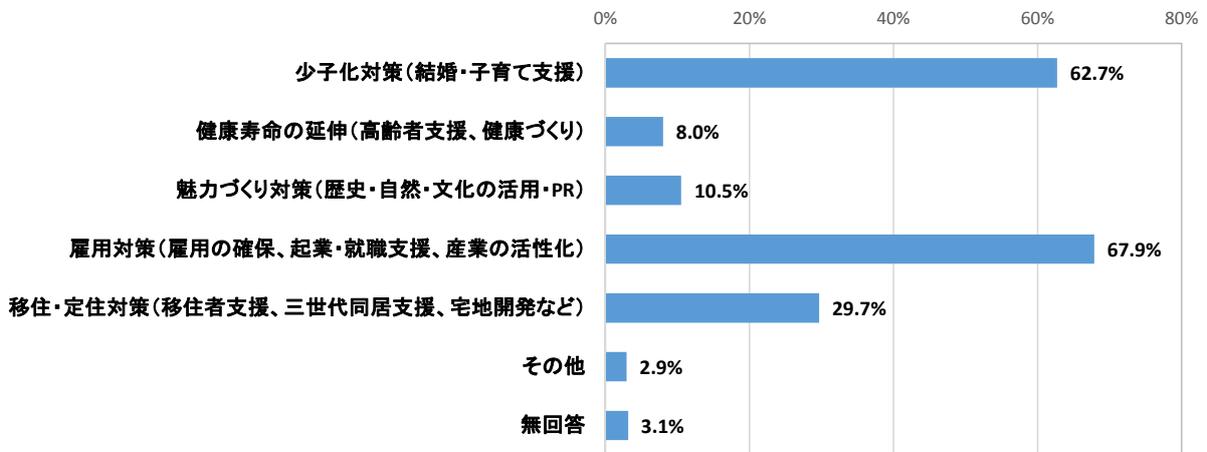
(1) 人口減少対策について

問 10 恵那市の人口減少を食い止めるためには、特に何が重要だと思いますか？
(複数回答：2つまで)

「雇用対策（雇用の確保、起業・就職支援、産業の活性化）が 67.9%と最も多く、次いで「少子化対策（結婚・子育て支援）が 62.7%、「移住・定住対策（移住者支援、三世代同居支援、宅地開発など）」が 29.7%の順となっています。

性別でみると、男性・女性ともに「雇用対策（雇用の確保・起業・就職支援、産業の活性化）、「少子化対策（結婚・子育て支援）」の割合が高くなっています。

居住地別でみると、東野・笠置町で「少子化対策（結婚・子育て支援）が約 8 割、串原で「雇用対策（雇用の確保・起業・就職支援、産業の活性化）」が約 8 割と、他の地区に比べ高くなっています。



		少子化対策 (結婚・子育て 支援)	健康寿命の延伸 (高齢者支援、 健康づくり)	魅力づくり対策 (歴史・自然・ 文化の活用・PR)	雇用対策 (雇用の確保、 起業・就職支援、 産業の活性化)	移住・定住対策 (移住者支援、 三世代同居支援、 宅地開発など)	その他	無回答
全体 (n=987)		62.7%	8.0%	10.5%	67.9%	29.7%	2.9%	3.1%
性 別	男性 (n=443)	62.3%	6.3%	11.3%	71.8%	31.2%	2.7%	1.6%
	女性 (n=538)	63.4%	9.5%	10.0%	65.2%	28.6%	3.2%	3.9%
年 齢 別	20～29歳 (n=63)	77.8%	4.8%	17.5%	76.2%	14.3%	1.6%	1.6%
	30～39歳 (n=92)	73.9%	2.2%	17.4%	62.0%	37.0%	2.2%	0.0%
	40～49歳 (n=133)	62.4%	12.8%	10.5%	69.9%	27.1%	3.8%	0.8%
	50～59歳 (n=147)	53.7%	6.8%	16.3%	69.4%	33.3%	4.1%	0.0%
	60～69歳 (n=262)	60.3%	6.5%	8.0%	72.1%	31.7%	2.7%	2.7%
	70歳以上 (n=283)	62.9%	10.6%	6.4%	63.3%	28.3%	2.8%	7.1%
居 住 地 別	大井町 (n=209)	66.0%	7.2%	12.0%	72.2%	21.5%	2.9%	2.9%
	長島町 (n=178)	65.7%	12.4%	12.4%	68.5%	25.3%	2.8%	1.1%
	東野 (n=33)	81.8%	0.0%	18.2%	57.6%	24.2%	3.0%	0.0%
	三郷町 (n=54)	66.7%	9.3%	9.3%	66.7%	33.3%	0.0%	1.9%
	武並町 (n=68)	67.6%	4.4%	8.8%	66.2%	27.9%	2.9%	2.9%
	笠置町 (n=21)	81.0%	28.6%	0.0%	42.9%	23.8%	0.0%	9.5%
	中野方町 (n=37)	62.2%	2.7%	10.8%	73.0%	35.1%	5.4%	0.0%
	飯地町 (n=30)	43.3%	6.7%	13.3%	43.3%	53.3%	6.7%	10.0%
	岩村町 (n=94)	53.2%	6.4%	11.7%	74.5%	35.1%	4.3%	3.2%
	山岡町 (n=81)	64.2%	4.9%	6.2%	74.1%	28.4%	6.2%	2.5%
	明智町 (n=112)	60.7%	8.0%	8.9%	62.5%	39.3%	0.9%	2.7%
	串原 (n=29)	48.3%	6.9%	6.9%	79.3%	44.8%	0.0%	3.4%
	上矢作町 (n=37)	45.9%	8.1%	8.1%	64.9%	29.7%	2.7%	10.8%

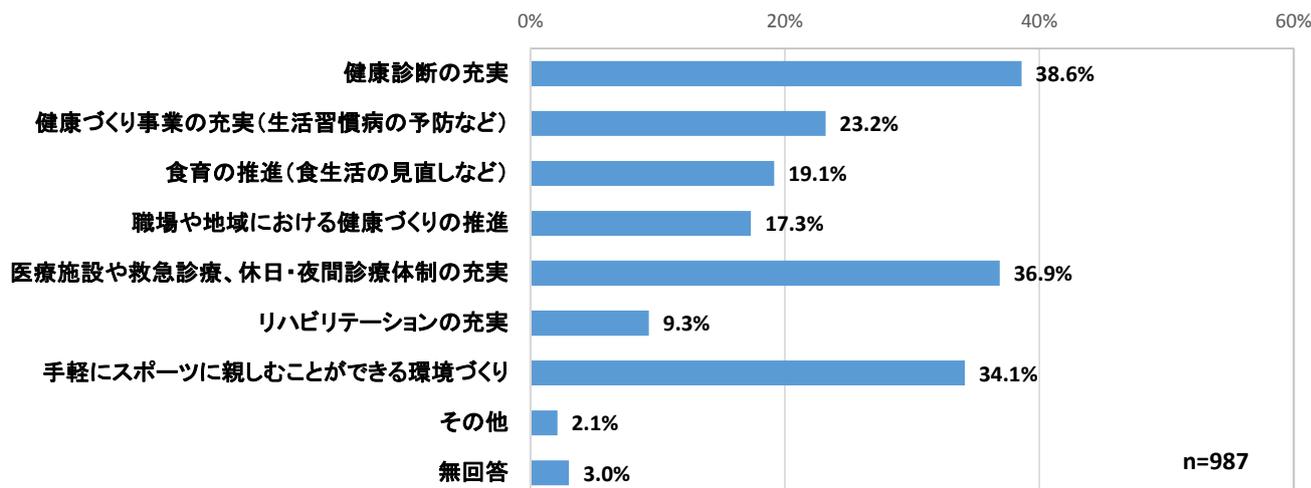
(2) 健康づくりについて

問 11 健康づくりを充実するためには、特に何が重要だと思いますか？（複数回答：2 つ）

「健康診断の充実」が 38.6%と最も高く、次いで「医療施設や救急診療、休日・夜間診療体制の充実」が 36.9%、「手軽にスポーツに親しむことができる環境づくり」が 34.1%の順となっています。

年齢別でみると、30 歳代・40 歳代で「手軽にスポーツに親しむことができる環境づくり」の割合が、他の年代に比べ高くなっています。

居住地別でみると、中野方町で「健康診断の充実」が 59.5%、東野・武並町・飯地町・岩村町・串原で「医療施設や救急診療、休日・夜間診療体制の充実」が 45%以上と、他の地区に比べ高くなっています。



	健康診断の充実	健康づくり事業の充実(生活習慣病の予防など)	食育の推進(食生活の見直しなど)	職場や地域における健康づくりの推進	医療施設や救急診療、休日・夜間診療体制の充実	リハビリテーションの充実	手軽にスポーツに親しむことができる環境づくり	その他	無回答
全体 (n=987)	38.6%	23.2%	19.1%	17.3%	36.9%	9.3%	34.1%	2.1%	3.0%
性別									
男性 (n=443)	40.9%	24.4%	17.6%	19.2%	36.1%	8.1%	33.2%	2.5%	1.4%
女性 (n=538)	37.0%	22.5%	20.6%	16.0%	37.5%	10.0%	35.3%	1.9%	3.9%
年齢別									
20~29歳 (n=63)	42.9%	15.9%	15.9%	22.2%	46.0%	6.3%	36.5%	3.2%	0.0%
30~39歳 (n=92)	52.2%	8.7%	16.3%	15.2%	41.3%	4.3%	46.7%	1.1%	1.1%
40~49歳 (n=133)	36.8%	14.3%	19.5%	23.3%	34.6%	4.5%	46.6%	3.0%	0.0%
50~59歳 (n=147)	34.7%	24.5%	21.8%	17.7%	44.9%	10.2%	29.3%	0.7%	1.4%
60~69歳 (n=262)	39.3%	27.9%	20.6%	17.9%	35.9%	8.4%	31.3%	1.9%	2.7%
70歳以上 (n=283)	36.4%	29.0%	17.3%	13.8%	31.4%	14.1%	29.0%	2.8%	6.4%
居住地別									
大井町 (n=209)	36.4%	20.6%	16.7%	16.3%	34.0%	11.0%	40.2%	3.3%	4.3%
長島町 (n=178)	38.2%	23.0%	18.0%	21.9%	36.0%	6.7%	39.9%	1.7%	1.1%
東野 (n=33)	39.4%	24.2%	24.2%	18.2%	51.5%	6.1%	15.2%	3.0%	0.0%
三郷町 (n=54)	42.6%	24.1%	25.9%	16.7%	40.7%	5.6%	24.1%	0.0%	1.9%
武並町 (n=68)	39.7%	25.0%	19.1%	16.2%	47.1%	7.4%	27.9%	2.9%	1.5%
笠置町 (n=21)	47.6%	23.8%	9.5%	19.0%	33.3%	9.5%	42.9%	4.8%	0.0%
中野方町 (n=37)	59.5%	24.3%	27.0%	21.6%	16.2%	2.7%	27.0%	2.7%	0.0%
飯地町 (n=30)	26.7%	26.7%	30.0%	13.3%	46.7%	6.7%	16.7%	0.0%	10.0%
岩村町 (n=94)	28.7%	22.3%	14.9%	14.9%	47.9%	19.1%	42.6%	1.1%	1.1%
山岡町 (n=81)	40.7%	29.6%	14.8%	22.2%	23.5%	8.6%	32.1%	4.9%	3.7%
明智町 (n=112)	40.2%	23.2%	19.6%	15.2%	38.4%	9.8%	31.3%	0.9%	1.8%
串原 (n=29)	48.3%	20.7%	20.7%	10.3%	48.3%	17.2%	27.6%	0.0%	0.0%
上矢作町 (n=37)	37.8%	18.9%	29.7%	10.8%	27.0%	2.7%	27.0%	0.0%	16.2%

(3) 子育てについて

問 12 安心して子どもを産み育てるためには、特に何が重要だと思いますか？

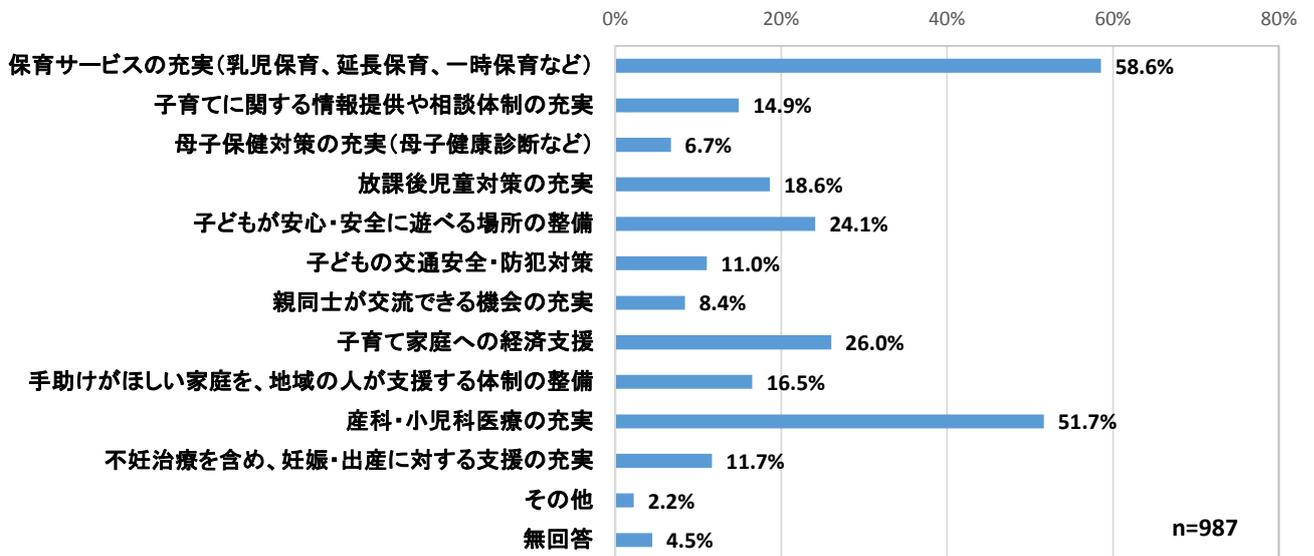
(複数回答：3つまで)

「保育サービスの充実（乳児保育、延長保育、一時保育など）」が 58.6%と最も高く、次いで「産科・小児科医療の充実」が 51.7%、「子育て家庭への経済支援」が 26.0%の順となっています。

性別でみると、男女共に「保育サービスの充実（乳児保育、延長保育、一時保育など）」の割合が高くなっています。

年齢別でみると、すべての年代において「保育サービスの充実（乳児保育、延長保育、一時保育など）」の割合が高くなっています。

居住地別でみると、串原以外の地区で「保育サービスの充実（乳児保育、延長保育、一時保育など）」の割合が最も多く、串原で「産科・小児科医療の充実」が 62.1%と、最も高くなっています。



	保育サービスの充実(乳児保育、延長保育、一時保育など)	子育てに関する情報提供や相談体制の充実	母子保健対策の充実(母子健康診断など)	放課後児童対策の充実	子どもが安心・安全に遊べる場所の整備	子どもの交通安全・防犯対策	親同士が交流できる機会の充実	子育て家庭への経済支援	手助けがほしい家庭を、地域の人が支援する体制の整備	産科・小児科医療の充実	不妊治療を含め、妊娠・出産に対する支援の充実	その他	無回答
全体 (n=987)	58.6%	14.9%	6.7%	18.6%	24.1%	11.0%	8.4%	26.0%	16.5%	51.7%	11.7%	2.2%	4.5%
性別													
男性 (n=443)	60.9%	15.6%	7.9%	15.1%	23.7%	9.5%	9.9%	30.7%	15.8%	45.8%	12.2%	2.7%	2.7%
女性 (n=538)	56.9%	14.5%	5.8%	21.7%	24.3%	12.3%	7.2%	22.5%	17.3%	56.9%	11.3%	1.9%	5.2%
年齢別													
20～29歳 (n=63)	63.5%	15.9%	12.7%	17.5%	20.6%	11.1%	14.3%	42.9%	7.9%	44.4%	14.3%	1.6%	3.2%
30～39歳 (n=92)	58.7%	8.7%	4.3%	16.3%	37.0%	14.1%	5.4%	43.5%	10.9%	56.5%	9.8%	5.4%	0.0%
40～49歳 (n=133)	59.4%	11.3%	7.5%	25.6%	24.1%	9.8%	5.3%	31.6%	10.5%	56.4%	14.3%	2.3%	1.5%
50～59歳 (n=147)	59.2%	18.4%	7.5%	21.8%	21.8%	12.2%	6.1%	20.4%	14.3%	59.2%	12.2%	2.0%	2.0%
60～69歳 (n=262)	64.5%	17.9%	4.2%	19.1%	20.2%	9.9%	7.3%	25.2%	22.5%	54.6%	11.8%	1.5%	3.4%
70歳以上 (n=283)	52.3%	13.4%	7.8%	14.5%	26.1%	11.3%	11.7%	18.0%	18.4%	44.2%	10.2%	2.1%	8.5%
居住地別													
大井町 (n=209)	58.4%	14.8%	3.8%	20.1%	24.4%	13.4%	6.7%	26.3%	13.9%	53.6%	14.4%	3.3%	4.3%
長島町 (n=178)	57.3%	16.3%	6.7%	18.5%	30.9%	10.7%	6.7%	24.2%	16.9%	53.4%	9.0%	1.7%	2.8%
東野 (n=33)	54.5%	15.2%	0.0%	27.3%	33.3%	18.2%	0.0%	36.4%	18.2%	48.5%	6.1%	6.1%	0.0%
三郷町 (n=54)	61.1%	14.8%	7.4%	14.8%	25.9%	11.1%	3.7%	24.1%	16.7%	50.0%	13.0%	1.9%	5.6%
武並町 (n=68)	55.9%	19.1%	10.3%	17.6%	17.6%	13.2%	7.4%	29.4%	14.7%	50.0%	7.4%	4.4%	4.4%
笠置町 (n=21)	47.6%	9.5%	9.5%	9.5%	23.8%	4.8%	9.5%	4.8%	28.6%	38.1%	19.0%	0.0%	19.0%
中野方町 (n=37)	64.9%	18.9%	5.4%	5.4%	27.0%	8.1%	2.7%	32.4%	13.5%	45.9%	18.9%	5.4%	5.4%
飯地町 (n=30)	50.0%	20.0%	3.3%	13.3%	16.7%	3.3%	10.0%	33.3%	23.3%	36.7%	16.7%	0.0%	10.0%
岩村町 (n=94)	66.0%	18.1%	4.3%	23.4%	23.4%	12.8%	11.7%	28.7%	12.8%	57.4%	11.7%	1.1%	1.1%
山岡町 (n=81)	65.4%	16.0%	11.1%	21.0%	6.2%	7.4%	11.1%	24.7%	13.6%	50.6%	18.5%	2.5%	4.9%
明智町 (n=112)	57.1%	10.7%	11.6%	13.4%	28.6%	8.9%	12.5%	25.9%	18.8%	50.0%	9.8%	0.9%	2.7%
串原 (n=29)	48.3%	10.3%	10.3%	20.7%	13.8%	17.2%	13.8%	34.5%	27.6%	62.1%	3.4%	0.0%	3.4%
上矢作町 (n=37)	56.8%	2.7%	2.7%	29.7%	24.3%	8.1%	16.2%	13.5%	24.3%	56.8%	2.7%	0.0%	10.8%

(4) 生活環境について

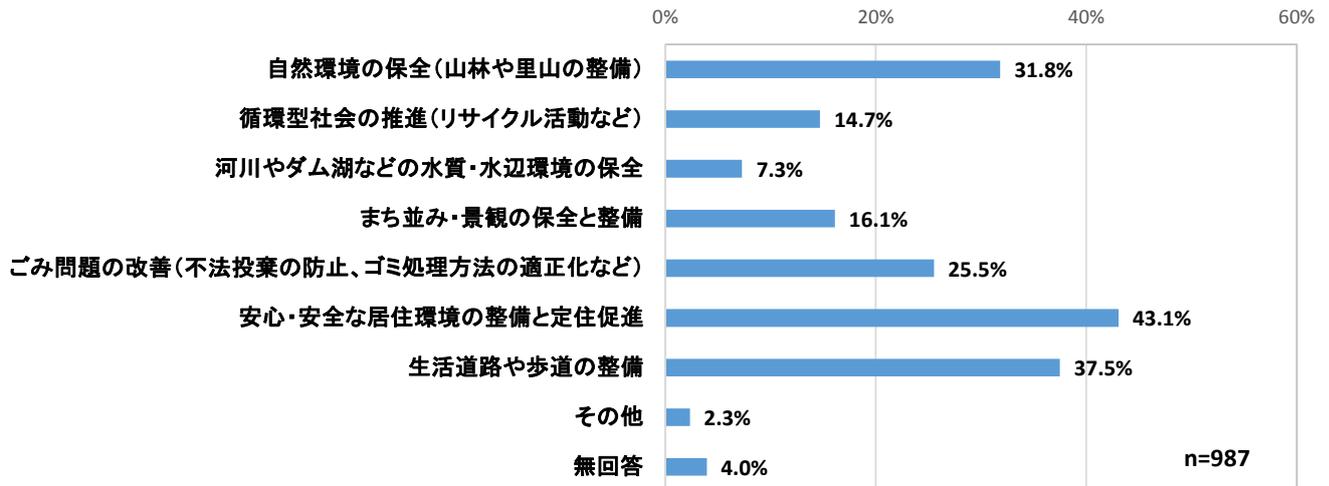
問 13 生活環境を快適にするためには、特に何が必要だと思いますか？

(複数回答：2つまで)

「安心・安全な居住環境の整備と定住促進」が43.1%と最も高く、次いで「生活道路や歩道の整備」が37.5%「自然環境の保全（山林や里山の整備）」が31.8%の順となっています。

性別でみると、男女ともに「安心・安全な居住環境の整備と定住促進」の割合が40%以上と、最も高くなっています。

居住別でみると、岩村町・串原・三郷町で「安心・安全な居住環境の整備と定住促進」が50%以上、笠置町・串原・上矢作町で「自然環境の保全（山林や里山の整備）」が50%以上、飯地町・串原で「生活道路や歩道の整備」が50%以上と、他の地区に比べ高くなっています。



	自然環境の保全 (山林や里山の 整備)	循環型社会の推進 (リサイクル活動 など)	河川やダム湖など の水質・水辺環境 の保全	まち並み・景観の 保全と整備	ごみ問題の改善 (不法投棄の防 止、ゴミ処理方法 の適正化など)	安心・安全な 居住環境の整備 と定住促進	生活道路や歩道 の整備	その他	無回答
全体 (n=987)	31.8%	14.7%	7.3%	16.1%	25.5%	43.1%	37.5%	2.3%	4.0%
性別									
男性 (n=443)	33.2%	12.9%	8.4%	19.9%	23.0%	44.0%	36.6%	1.8%	3.6%
女性 (n=538)	31.0%	16.4%	6.5%	13.2%	27.7%	42.6%	38.3%	2.8%	3.5%
年齢別									
20～29歳 (n=63)	20.6%	14.3%	7.9%	33.3%	28.6%	34.9%	38.1%	0.0%	1.6%
30～39歳 (n=92)	26.1%	10.9%	10.9%	20.7%	18.5%	39.1%	47.8%	2.2%	4.3%
40～49歳 (n=133)	19.5%	15.8%	5.3%	21.1%	30.1%	45.1%	41.4%	3.0%	2.3%
50～59歳 (n=147)	29.3%	15.6%	8.8%	16.3%	25.2%	44.2%	38.8%	2.0%	2.7%
60～69歳 (n=262)	38.2%	14.9%	6.5%	10.3%	24.8%	46.9%	39.3%	1.1%	1.9%
70歳以上 (n=283)	37.8%	14.8%	7.1%	13.4%	25.8%	41.3%	30.7%	3.9%	6.7%
居住地別									
大井町 (n=209)	19.6%	19.1%	6.7%	20.6%	34.4%	39.2%	34.9%	2.9%	3.8%
長島町 (n=178)	28.1%	18.5%	9.0%	20.2%	25.8%	43.3%	34.8%	1.1%	6.2%
東野 (n=33)	36.4%	33.3%	12.1%	15.2%	33.3%	30.3%	27.3%	0.0%	0.0%
三郷町 (n=54)	38.9%	9.3%	1.9%	13.0%	18.5%	50.0%	44.4%	1.9%	0.0%
武並町 (n=68)	30.9%	8.8%	8.8%	11.8%	26.5%	42.6%	41.2%	0.0%	7.4%
笠置町 (n=21)	57.1%	0.0%	14.3%	4.8%	14.3%	33.3%	38.1%	4.8%	9.5%
中野方町 (n=37)	48.6%	8.1%	13.5%	8.1%	27.0%	37.8%	37.8%	2.7%	0.0%
飯地町 (n=30)	40.0%	6.7%	3.3%	0.0%	20.0%	40.0%	56.7%	6.7%	6.7%
岩村町 (n=94)	28.7%	9.6%	9.6%	21.3%	21.3%	58.5%	33.0%	4.3%	0.0%
山岡町 (n=81)	37.0%	12.3%	11.1%	4.9%	30.9%	44.4%	33.3%	6.2%	3.7%
明智町 (n=112)	29.5%	17.0%	1.8%	25.0%	18.8%	37.5%	41.1%	0.9%	3.6%
串原 (n=29)	51.7%	10.3%	0.0%	3.4%	10.3%	58.6%	58.6%	0.0%	0.0%
上矢作町 (n=37)	54.1%	10.8%	2.7%	8.1%	18.9%	43.2%	35.1%	0.0%	5.4%

(5) 防災・消防について

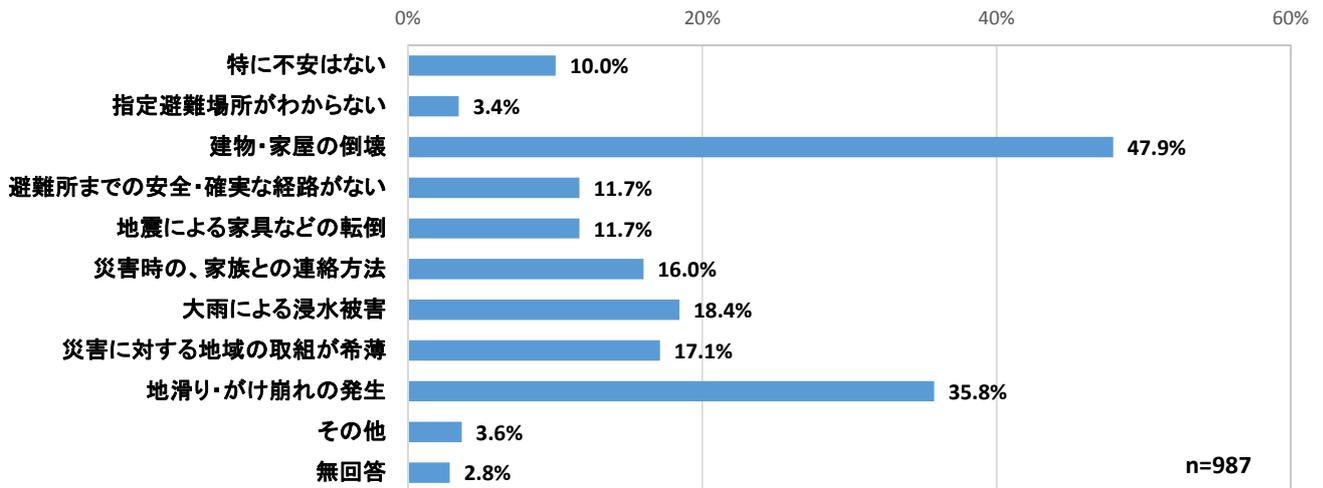
問 14 地震や大雨などの災害について、あなたが特に不安に感じることは何ですか？

(複数回答：2つまで)

「建物・家屋の倒壊」が47.9%と最も高く、次いで「地滑り・がけ崩れの発生」が35.8%、「大雨による浸水被害」が18.4%の順となっています。

性別でみると、男女ともに「建物・家屋の倒壊」が45%以上と、最も高い割合になっています。

居住地別でみると、長島町・東野・三郷町・武並町・岩村町で「建物・家屋の倒壊」が50%以上、串原・上矢作町で「地滑り・がけ崩れの発生」が60%以上と、高い割合になっています。

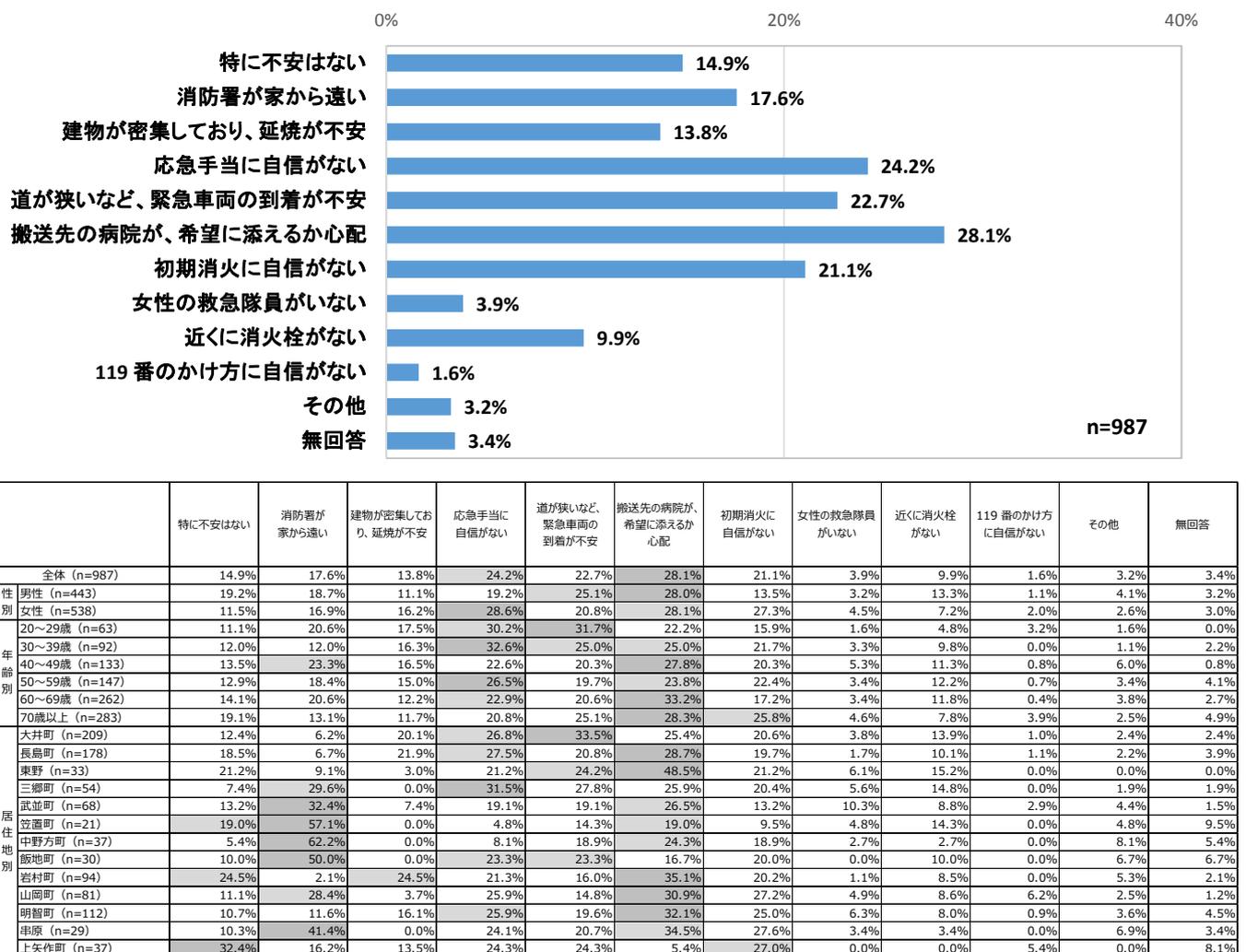


	特に不安はない	指定避難場所 がわからない	建物・家屋の 倒壊	避難所までの安全・確実な経路 がない	地震による家具 などの転倒	災害時の、家族 との連絡方法	大雨による 浸水被害	災害に対する地 域の取組が希薄	地滑り・がけ崩れ の発生	その他	無回答
全体 (n=987)	10.0%	3.4%	47.9%	11.7%	11.7%	16.0%	18.4%	17.1%	35.8%	3.6%	2.8%
性別											
男性 (n=443)	12.4%	2.9%	46.7%	12.2%	10.8%	12.9%	18.3%	19.0%	35.2%	3.8%	2.0%
女性 (n=538)	8.0%	3.7%	49.3%	11.3%	12.5%	18.8%	18.8%	15.6%	36.4%	3.5%	3.0%
年齢別											
20～29歳 (n=63)	4.8%	7.9%	46.0%	9.5%	17.5%	19.0%	14.3%	14.3%	39.7%	1.6%	4.8%
30～39歳 (n=92)	3.3%	4.3%	50.0%	8.7%	10.9%	30.4%	16.3%	13.0%	43.5%	5.4%	1.1%
40～49歳 (n=133)	7.5%	4.5%	51.1%	8.3%	8.3%	25.6%	14.3%	14.3%	42.1%	5.3%	0.8%
50～59歳 (n=147)	8.2%	0.7%	53.7%	8.8%	12.2%	16.3%	21.1%	12.2%	35.4%	3.4%	2.0%
60～69歳 (n=262)	6.5%	1.5%	51.9%	13.7%	9.5%	11.8%	19.5%	23.3%	37.4%	3.4%	1.5%
70歳以上 (n=283)	18.7%	4.9%	40.3%	14.5%	13.8%	10.2%	19.4%	16.6%	28.6%	3.2%	4.9%
居住地別											
大井町 (n=209)	12.4%	4.8%	45.5%	12.0%	14.4%	20.1%	20.1%	21.5%	20.1%	4.3%	1.9%
長島町 (n=178)	9.0%	4.5%	50.6%	7.3%	15.7%	16.9%	19.1%	16.9%	30.3%	5.1%	1.7%
東野 (n=33)	3.0%	3.0%	51.5%	15.2%	15.2%	21.2%	18.2%	18.2%	21.2%	0.0%	6.1%
三郷町 (n=54)	5.6%	3.7%	61.1%	11.1%	11.1%	11.1%	14.8%	16.7%	44.4%	1.9%	0.0%
武並町 (n=68)	5.9%	1.5%	50.0%	7.4%	14.7%	22.1%	11.8%	14.7%	42.6%	5.9%	4.4%
笠置町 (n=21)	23.8%	0.0%	47.6%	9.5%	0.0%	19.0%	4.8%	9.5%	42.9%	4.8%	4.8%
中野方町 (n=37)	10.8%	0.0%	32.4%	2.7%	5.4%	24.3%	40.5%	5.4%	45.9%	2.7%	2.7%
飯地町 (n=30)	16.7%	0.0%	46.7%	13.3%	3.3%	23.3%	6.7%	3.3%	50.0%	3.3%	3.3%
岩村町 (n=94)	11.7%	5.3%	52.1%	11.7%	11.7%	8.5%	19.1%	18.1%	28.7%	1.1%	6.4%
山岡町 (n=81)	13.6%	4.9%	45.7%	17.3%	11.1%	7.4%	16.0%	18.5%	42.0%	6.2%	0.0%
明智町 (n=112)	8.9%	1.8%	47.3%	14.3%	8.9%	14.3%	22.3%	21.4%	40.2%	1.8%	2.7%
串原 (n=29)	3.4%	0.0%	41.4%	20.7%	3.4%	10.3%	13.8%	10.3%	82.8%	0.0%	0.0%
上矢作町 (n=37)	2.7%	2.7%	43.2%	18.9%	2.7%	13.5%	16.2%	13.5%	67.6%	5.4%	5.4%

問 15 火災や救急について、あなたが特に不安に感じることは何ですか？

(複数回答：2つまで)

「搬送先の病院が、希望に添えるか心配」が 28.1%と最も高く、次いで「応急手当に自信がない」が 24.2%、「道が狭いなど、緊急車両の到着が不安」が 22.7%の順となっています。性別でみると、女性で「応急処置に自信がない」が 28.6%と、男性より高くなっています。年齢別でみると、40 歳代で「消防署が家から遠い」が 23.3%、70 歳以上で「初期消火に自信がない」が 25.8%と、他の年代に比べ高くなっています。居住地別でみると、笠置町・中野方町・飯地町で「消防署が家から遠い」が 50%以上、東野で「搬送先の病院が、希望に添えるか心配」が 48.5%以上と、他の地区に比べ高くなっています。



	特に不安はない	消防署が家から遠い	建物が密集しており、延焼が不安	応急手当に自信がない	道が狭いなど、緊急車両の到着が不安	搬送先の病院が、希望に添えるか心配	初期消火に自信がない	女性の救急隊員がいない	近くに消火栓がない	119 番のかけ方に自信がない	その他	無回答
全体 (n=987)	14.9%	17.6%	13.8%	24.2%	22.7%	28.1%	21.1%	3.9%	9.9%	1.6%	3.2%	3.4%
性別												
男性 (n=443)	19.2%	18.7%	11.1%	19.2%	25.1%	28.0%	13.5%	3.2%	13.3%	1.1%	4.1%	3.2%
女性 (n=538)	11.5%	16.9%	16.2%	28.6%	20.8%	28.1%	27.3%	4.5%	7.2%	2.0%	2.6%	3.0%
年齢別												
20~29歳 (n=63)	11.1%	20.6%	17.5%	30.2%	31.7%	22.2%	15.9%	1.6%	4.8%	3.2%	1.6%	0.0%
30~39歳 (n=92)	12.0%	12.0%	16.3%	32.6%	25.0%	25.0%	21.7%	3.3%	9.8%	0.0%	1.1%	2.2%
40~49歳 (n=133)	13.5%	23.3%	16.5%	22.6%	20.3%	27.8%	20.3%	5.3%	11.3%	0.8%	6.0%	0.8%
50~59歳 (n=147)	12.9%	18.4%	15.0%	26.5%	19.7%	23.8%	22.4%	3.4%	12.2%	0.7%	3.4%	4.1%
60~69歳 (n=262)	14.1%	20.6%	12.2%	22.9%	20.6%	33.2%	17.2%	3.4%	11.8%	0.4%	3.8%	2.7%
70歳以上 (n=283)	19.1%	13.1%	11.7%	20.8%	25.1%	28.3%	25.8%	4.6%	7.8%	3.9%	2.5%	4.9%
居住地別												
大井町 (n=209)	12.4%	6.2%	20.1%	26.8%	33.5%	25.4%	20.6%	3.8%	13.9%	1.0%	2.4%	2.4%
長島町 (n=178)	18.5%	6.7%	21.9%	27.5%	20.8%	28.7%	19.7%	1.7%	10.1%	1.1%	2.2%	3.9%
東野 (n=33)	21.2%	9.1%	3.0%	21.2%	24.2%	48.5%	21.2%	6.1%	15.2%	0.0%	0.0%	0.0%
三郷町 (n=54)	7.4%	29.6%	0.0%	31.5%	27.8%	25.9%	20.4%	5.6%	14.8%	0.0%	1.9%	1.9%
武並町 (n=68)	13.2%	32.4%	7.4%	19.1%	19.1%	26.5%	13.2%	10.3%	8.8%	2.9%	4.4%	1.5%
笠置町 (n=21)	19.0%	57.1%	0.0%	4.8%	14.3%	19.0%	9.5%	4.8%	14.3%	0.0%	4.8%	9.5%
中野方町 (n=37)	5.4%	62.2%	0.0%	8.1%	18.9%	24.3%	18.9%	2.7%	2.7%	0.0%	8.1%	5.4%
飯地町 (n=30)	10.0%	50.0%	0.0%	23.3%	23.3%	16.7%	20.0%	0.0%	10.0%	0.0%	6.7%	6.7%
岩村町 (n=94)	24.5%	2.1%	24.5%	21.3%	16.0%	35.1%	20.2%	1.1%	8.5%	0.0%	5.3%	2.1%
山岡町 (n=81)	11.1%	28.4%	3.7%	25.9%	14.8%	30.9%	27.2%	4.9%	8.6%	6.2%	2.5%	1.2%
明智町 (n=112)	10.7%	11.6%	16.1%	25.9%	19.6%	32.1%	25.0%	6.3%	8.0%	0.9%	3.6%	4.5%
串原 (n=29)	10.3%	41.4%	0.0%	24.1%	20.7%	34.5%	27.6%	3.4%	3.4%	0.0%	6.9%	3.4%
上矢作町 (n=37)	32.4%	16.2%	13.5%	24.3%	24.3%	5.4%	27.0%	0.0%	0.0%	5.4%	0.0%	8.1%

(6) 公共交通について

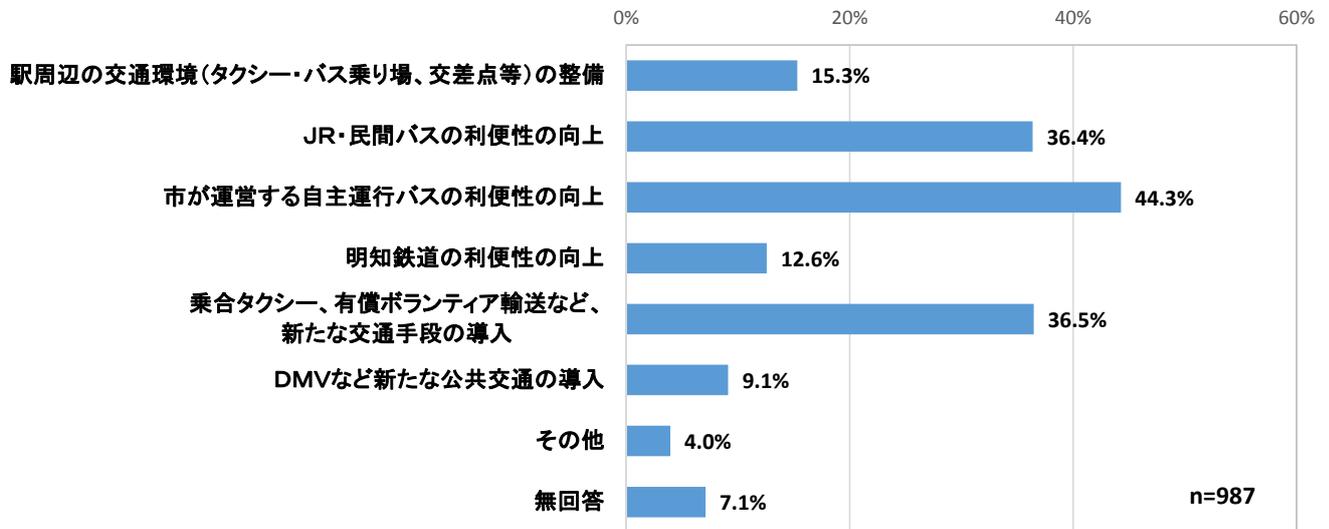
問 16 公共交通サービスの充実について、あなたが特に望むものは何ですか？

(複数回答：2つまで)

「市が運営する自主運行バスの利便性の向上」が 44.3%と最も高く、次いで「乗合タクシー、有償ボランティア輸送など、新たな交通手段の導入」が 36.5%、「JR・民間バスの利便性の向上」が 36.4%の順となっています。

年齢別でみると、20 歳代～40 歳代で「JR・民間バスの利便性の向上」が 49%以上、50 歳代～70 歳代以上で「市が運営する自主運行バスの利便性の向上」が 40%以上と高くなっています。

居住地別でみると、大井町・武並町では「JR・民間バスの利便性の向上」が 45%以上、飯地町・山岡町・串原・上矢作町で「市が運営する自主運行バスの利便性の向上」が 60%以上、笠置町・飯地町で「乗合タクシー、有償ボランティア輸送など、新たな交通手段の導入」が 60%以上と、他の地区に比べ高くなっています。



	駅周辺の交通環境 (タクシー・バス乗り場、交差点等)の整備	J R・民間バスの利便性の向上	市が運営する自主運行バスの利便性の向上	明知鉄道の利便性の向上	乗合タクシー、有償ボランティア輸送など、新たな交通手段の導入	DMVなど新たな公共交通の導入	その他	無回答
全体 (n=987)	15.3%	36.4%	44.3%	12.6%	36.5%	9.1%	4.0%	7.1%
性別								
男性 (n=443)	14.9%	33.6%	44.7%	13.8%	37.5%	9.9%	4.7%	5.4%
女性 (n=538)	15.6%	39.0%	44.1%	11.7%	35.9%	8.6%	3.3%	7.8%
年齢別								
20～29歳 (n=63)	25.4%	49.2%	30.2%	7.9%	20.6%	15.9%	6.3%	6.3%
30～39歳 (n=92)	30.4%	57.6%	27.2%	16.3%	14.1%	12.0%	6.5%	2.2%
40～49歳 (n=133)	14.3%	49.6%	39.8%	18.8%	28.6%	7.5%	3.8%	4.5%
50～59歳 (n=147)	17.7%	38.8%	42.9%	13.6%	36.7%	6.8%	2.7%	4.8%
60～69歳 (n=262)	10.3%	29.0%	53.4%	10.7%	46.2%	9.5%	3.1%	5.3%
70歳以上 (n=283)	12.0%	26.5%	48.1%	10.6%	42.0%	8.5%	4.2%	11.7%
居住地別								
大井町 (n=209)	21.1%	46.9%	40.2%	5.7%	32.1%	10.0%	4.3%	6.7%
長島町 (n=178)	23.0%	43.8%	38.2%	4.5%	34.8%	8.4%	2.8%	7.3%
東野 (n=33)	24.2%	42.4%	42.4%	21.2%	33.3%	9.1%	3.0%	3.0%
三郷町 (n=54)	7.4%	44.4%	44.4%	5.6%	46.3%	7.4%	5.6%	3.7%
武並町 (n=68)	20.6%	45.6%	36.8%	1.5%	32.4%	10.3%	5.9%	7.4%
笠置町 (n=21)	14.3%	33.3%	19.0%	0.0%	61.9%	9.5%	9.5%	9.5%
中野方町 (n=37)	13.5%	29.7%	45.9%	0.0%	35.1%	5.4%	5.4%	13.5%
飯地町 (n=30)	6.7%	23.3%	60.0%	3.3%	63.3%	6.7%	0.0%	6.7%
岩村町 (n=94)	7.4%	26.6%	44.7%	47.9%	23.4%	10.6%	2.1%	6.4%
山岡町 (n=81)	8.6%	23.5%	60.5%	13.6%	35.8%	13.6%	3.7%	3.7%
明智町 (n=112)	11.6%	29.5%	41.1%	27.7%	36.6%	8.9%	4.5%	7.1%
串原 (n=29)	3.4%	17.2%	75.9%	10.3%	58.6%	0.0%	6.9%	3.4%
上矢作町 (n=37)	5.4%	18.9%	62.2%	5.4%	45.9%	8.1%	2.7%	13.5%

(7) 産業振興について

問 17 「活力あるまち」にするためには、特に何が重要だと思いますか？

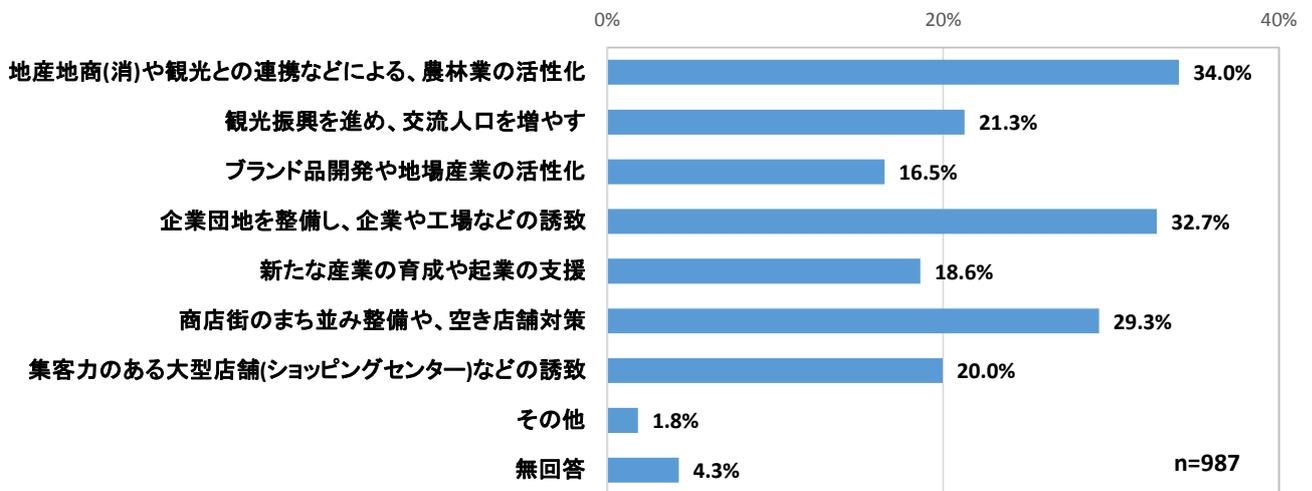
(複数回答：2つまで)

「地産地商（消）や観光との連携などによる、農林業の活性化」が 34.0%と最も高く、次いで「企業団地を整備し、企業や工場などの誘致」が 32.7%、「商店街のまち並み整備や、空き店舗対策」が 29.3%の順となっています。

性別でみると、男性で「企業団地を整備し、企業や工場などの誘致」が 36.3%と女性より高くなっています。

年齢別でみると、30歳代で「集客力のある大型店舗（ショッピングセンター）などの誘致」が 46.7%と、他の年代に比べ高くなっています。

居住地別でみると、串原で「地産地商や観光との連携などによる、農林業の活性化」が 58.6%、中野方町・山岡町・上矢作町で「企業団地を整備し、企業や工場などの誘致」が 40%以上と、他の地区と比べ高くなっています。



	地産地商(消)や観光との連携などによる、農林業の活性化	観光振興を進め、交流人口を増やす	ブランド品開発や地場産業の活性化	企業団地を整備し、企業や工場などの誘致	新たな産業の育成や起業の支援	商店街のまち並み整備や、空き店舗対策	集客力のある大型店舗(ショッピングセンター)などの誘致	その他	無回答	
全体 (n=987)	34.0%	21.3%	16.5%	32.7%	18.6%	29.3%	20.0%	1.8%	4.3%	
性別	男性 (n=443)	33.6%	19.6%	19.4%	36.3%	21.2%	26.2%	19.6%	1.8%	2.3%
	女性 (n=538)	34.8%	22.7%	14.3%	29.7%	16.7%	32.0%	20.4%	1.9%	5.2%
年齢別	20~29歳 (n=63)	36.5%	31.7%	11.1%	17.5%	15.9%	34.9%	28.6%	1.6%	0.0%
	30~39歳 (n=92)	34.8%	17.4%	21.7%	23.9%	14.1%	30.4%	46.7%	1.1%	1.1%
	40~49歳 (n=133)	30.8%	17.3%	21.1%	32.3%	18.0%	34.6%	30.1%	0.8%	0.0%
	50~59歳 (n=147)	29.3%	19.7%	16.3%	34.7%	18.4%	27.2%	29.3%	0.0%	2.7%
	60~69歳 (n=262)	40.1%	20.2%	20.2%	34.4%	20.2%	24.0%	10.3%	2.7%	4.6%
	70歳以上 (n=283)	32.5%	23.3%	10.6%	37.5%	19.8%	31.1%	8.8%	2.8%	7.8%
居住地別	大井町 (n=209)	31.1%	24.9%	16.3%	29.7%	13.9%	38.3%	21.1%	1.9%	2.9%
	長島町 (n=178)	35.4%	22.5%	10.1%	28.7%	14.6%	36.0%	24.2%	0.6%	6.2%
	東野 (n=33)	39.4%	12.1%	24.2%	27.3%	21.2%	30.3%	33.3%	0.0%	3.0%
	三郷町 (n=54)	37.0%	20.4%	22.2%	35.2%	16.7%	20.4%	20.4%	0.0%	1.9%
	武並町 (n=68)	25.0%	16.2%	20.6%	33.8%	19.1%	25.0%	32.4%	1.5%	2.9%
	笠置町 (n=21)	47.6%	19.0%	4.8%	23.8%	19.0%	14.3%	9.5%	9.5%	14.3%
	中野方町 (n=37)	35.1%	13.5%	24.3%	43.2%	13.5%	13.5%	21.6%	2.7%	2.7%
	飯地町 (n=30)	43.3%	16.7%	20.0%	26.7%	16.7%	10.0%	20.0%	6.7%	10.0%
	岩村町 (n=94)	42.6%	28.7%	16.0%	30.9%	16.0%	35.1%	14.9%	2.1%	1.1%
	山岡町 (n=81)	27.2%	13.6%	21.0%	44.4%	29.6%	14.8%	21.0%	4.9%	0.0%
	明智町 (n=112)	25.9%	21.4%	17.0%	37.5%	20.5%	37.5%	13.4%	0.9%	5.4%
	串原 (n=29)	58.6%	20.7%	20.7%	27.6%	34.5%	10.3%	3.4%	0.0%	6.9%
上矢作町 (n=37)	35.1%	27.0%	10.8%	40.5%	35.1%	10.8%	8.1%	0.0%	8.1%	

(8) 教育について

問 18 小中学校教育を充実するためには、特に何が重要だと思いますか？

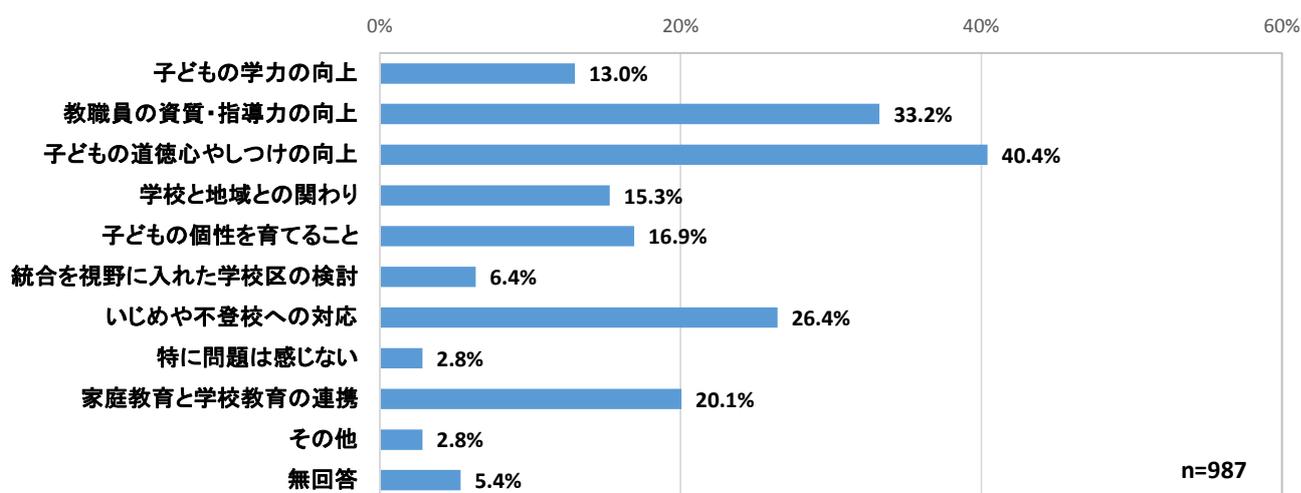
(複数回答：2つまで)

「子どもの道徳心やしつけの向上」が40.4%と最も高く、次いで「教職員の資質・指導力の向上」が33.2%、「いじめや不登校への対応」が26.4%の順となっています。

性別でみると、男女ともに「子どもの道徳心やしつけの向上」が約4割と、最も高くなっています。

年齢別でみると、50歳代で「教職員の資質・指導力の向上」が41.5%であり、他の年代に比べ高くなっています。

居住地別でみると、長島町・三郷町・武並町・中野方町・岩村町で「教職員の資質・指導力の向上」が35%以上と、他の地区に比べ高くなっています。



	子どもの学力の向上	教職員の資質・指導力の向上	子どもの道徳心やしつけの向上	学校と地域との関わり	子どもの個性を育てること	統合を視野に入れた学校区の検討	いじめや不登校への対応	特に問題は感じない	家庭教育と学校教育の連携	その他	無回答
全体 (n=987)	13.0%	33.2%	40.4%	15.3%	16.9%	6.4%	26.4%	2.8%	20.1%	2.8%	5.4%
性別											
男性 (n=443)	12.6%	34.3%	41.8%	17.6%	17.2%	7.9%	25.5%	3.4%	19.2%	2.9%	2.3%
女性 (n=538)	13.2%	32.5%	39.6%	13.6%	16.7%	5.2%	27.5%	2.4%	21.0%	2.8%	7.2%
年齢別											
20～29歳 (n=63)	25.4%	31.7%	34.9%	19.0%	22.2%	1.6%	28.6%	3.2%	14.3%	3.2%	1.6%
30～39歳 (n=92)	13.0%	37.0%	38.0%	16.3%	28.3%	4.3%	32.6%	3.3%	13.0%	1.1%	1.1%
40～49歳 (n=133)	15.8%	36.1%	41.4%	11.3%	19.5%	6.8%	26.3%	2.3%	19.5%	6.8%	0.8%
50～59歳 (n=147)	7.5%	41.5%	38.1%	10.9%	14.3%	10.9%	27.9%	2.7%	22.4%	2.0%	4.1%
60～69歳 (n=262)	11.8%	33.2%	40.5%	19.5%	16.4%	5.3%	26.7%	1.9%	21.0%	1.5%	5.3%
70歳以上 (n=283)	12.7%	27.2%	43.8%	14.8%	13.1%	6.4%	23.3%	3.9%	21.9%	3.2%	9.2%
居住地別											
大井町 (n=209)	12.0%	34.9%	47.8%	12.9%	18.2%	2.9%	25.8%	3.3%	21.1%	2.9%	3.8%
長島町 (n=178)	15.2%	39.3%	38.8%	11.2%	13.5%	4.5%	33.7%	1.7%	20.8%	3.9%	3.9%
東野 (n=33)	15.2%	24.2%	54.5%	21.2%	15.2%	6.1%	30.3%	0.0%	21.2%	0.0%	0.0%
三郷町 (n=54)	9.3%	35.2%	38.9%	20.4%	25.9%	5.6%	27.8%	1.9%	18.5%	1.9%	1.9%
武並町 (n=68)	14.7%	35.3%	38.2%	10.3%	19.1%	4.4%	26.5%	1.5%	19.1%	4.4%	4.4%
笠置町 (n=21)	9.5%	28.6%	47.6%	14.3%	9.5%	0.0%	23.8%	0.0%	28.6%	0.0%	14.3%
中野方町 (n=37)	10.8%	35.1%	29.7%	16.2%	16.2%	5.4%	27.0%	0.0%	21.6%	2.7%	8.1%
飯地町 (n=30)	3.3%	33.3%	46.7%	20.0%	10.0%	3.3%	13.3%	13.3%	20.0%	0.0%	13.3%
岩村町 (n=94)	17.0%	35.1%	34.0%	16.0%	17.0%	12.8%	22.3%	5.3%	12.8%	6.4%	3.2%
山岡町 (n=81)	16.0%	27.2%	34.6%	16.0%	18.5%	12.3%	27.2%	3.7%	18.5%	2.5%	3.7%
明智町 (n=112)	10.7%	28.6%	42.0%	17.9%	15.2%	7.1%	25.9%	2.7%	20.5%	0.9%	8.0%
串原 (n=29)	13.8%	24.1%	44.8%	27.6%	20.7%	10.3%	17.2%	3.4%	20.7%	0.0%	6.9%
上矢作町 (n=37)	10.8%	27.0%	27.0%	21.6%	18.9%	13.5%	21.6%	0.0%	27.0%	2.7%	10.8%

問 19 生涯学習を充実するためには、特に何が重要だと思いますか？

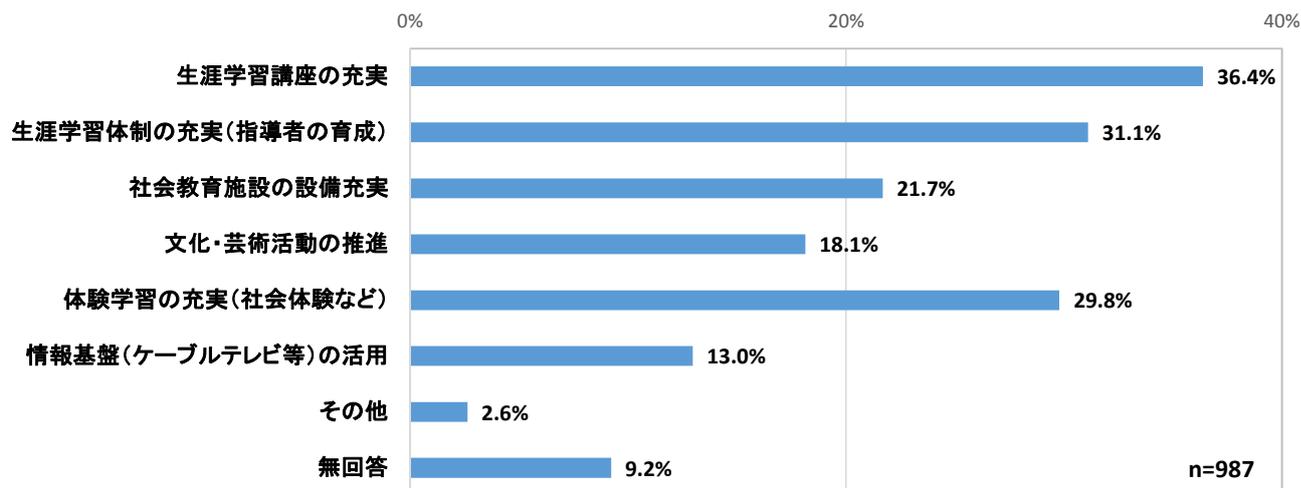
(複数回答：2つまで)

「生涯学習講座の充実」が36.4%と最も高く、次いで「生涯学習体制の充実（指導者の育成）」が31.1%、「体験学習の充実（社会体験など）」が29.8%の順となっています。

性別でみると、女性で「生涯学習講座の充実」が42.6%と、男性よりも高くなっています。

年齢別でみると、30歳代～40歳代で「体験学習の充実（社会体験など）」の割合が約4割と高くなっています。

居住地別でみると、明智町で「体験学習の充実（社会体験など）」が39.3%、東野・笠置町・山岡町で「生涯学習講座の充実」が40%以上と、他の地区に比べ高くなっています。



	生涯学習講座の充実	生涯学習体制の充実(指導者の育成)	社会教育施設の設備充実	文化・芸術活動の推進	体験学習の充実(社会体験など)	情報基盤(ケーブルテレビ等)の活用	その他	無回答	
全体 (n=987)	36.4%	31.1%	21.7%	18.1%	29.8%	13.0%	2.6%	9.2%	
性別	男性 (n=443)	29.1%	36.6%	23.9%	19.6%	30.5%	15.8%	2.5%	5.2%
	女性 (n=538)	42.6%	26.8%	20.1%	17.1%	29.6%	10.8%	2.8%	11.7%
年齢別	20～29歳 (n=63)	41.3%	22.2%	22.2%	22.2%	34.9%	6.3%	1.6%	7.9%
	30～39歳 (n=92)	32.6%	25.0%	22.8%	17.4%	48.9%	9.8%	2.2%	3.3%
	40～49歳 (n=133)	36.1%	27.1%	27.8%	17.3%	37.6%	12.8%	3.0%	4.5%
	50～59歳 (n=147)	39.5%	28.6%	20.4%	19.0%	26.5%	18.4%	0.7%	7.5%
	60～69歳 (n=262)	37.0%	34.7%	23.3%	17.9%	25.6%	14.5%	3.4%	6.5%
	70歳以上 (n=283)	35.3%	35.0%	18.0%	17.7%	24.7%	11.0%	3.2%	15.9%
居住地別	大井町 (n=209)	36.8%	29.7%	23.9%	19.1%	31.6%	9.1%	2.9%	8.1%
	長島町 (n=178)	39.9%	32.6%	24.2%	19.7%	30.9%	9.0%	2.2%	6.7%
	東野 (n=33)	42.4%	39.4%	18.2%	24.2%	33.3%	6.1%	0.0%	3.0%
	三郷町 (n=54)	38.9%	22.2%	29.6%	18.5%	25.9%	20.4%	0.0%	5.6%
	武並町 (n=68)	29.4%	23.5%	29.4%	19.1%	27.9%	10.3%	4.4%	10.3%
	笠置町 (n=21)	42.9%	28.6%	14.3%	14.3%	14.3%	14.3%	0.0%	23.8%
	中野方町 (n=37)	29.7%	24.3%	18.9%	16.2%	27.0%	21.6%	0.0%	16.2%
	飯地町 (n=30)	33.3%	33.3%	13.3%	26.7%	26.7%	16.7%	6.7%	10.0%
	岩村町 (n=94)	39.4%	35.1%	18.1%	20.2%	29.8%	17.0%	5.3%	5.3%
	山岡町 (n=81)	42.0%	30.9%	16.0%	11.1%	27.2%	19.8%	4.9%	4.9%
	明智町 (n=112)	32.1%	33.0%	18.8%	15.2%	39.3%	10.7%	0.9%	12.5%
	串原 (n=29)	24.1%	37.9%	27.6%	20.7%	13.8%	27.6%	0.0%	13.8%
	上矢作町 (n=37)	32.4%	37.8%	13.5%	10.8%	21.6%	10.8%	2.7%	21.6%

(9) 市民参加や市民協働について

問 20 各地域に地域自治区が設けられるなど、市民と行政の協働による地域づくりが進められつつあります。この市民と行政の新しい関係づくりは進んでいると思いますか？

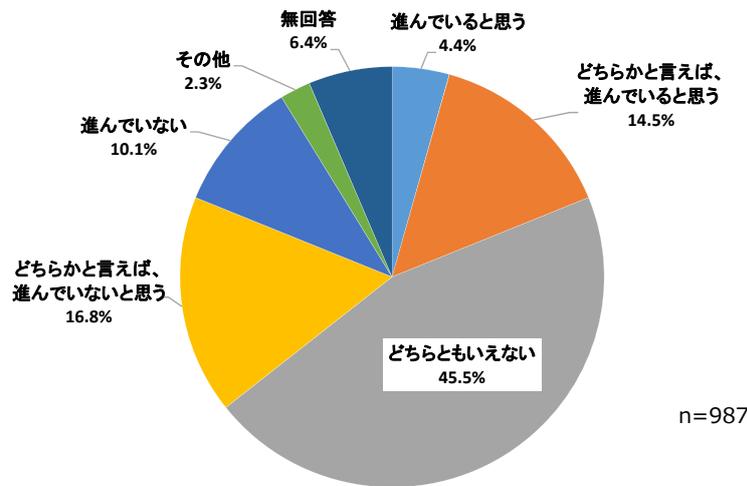
(単数回答)

「どちらともいえない」が45.5%と最も高く、次いで「どちらかと言えば、進んでいないと思う」が16.8%、「どちらかと言えば、進んでいると思う」が14.5%の順となっています。

性別でみると、男女ともに「どちらともいえない」の割合が高くなっています。

年齢別でみると、すべての年代で「どちらともいえない」の割合が高くなっています。

居住地別でみると、笠置町で「どちらかと言えば、進んでいないと思う」が28.6%、飯地町で「どちらかと言えば、進んでいると思う」が43.4%と、他の地区に比べ高くなっています。

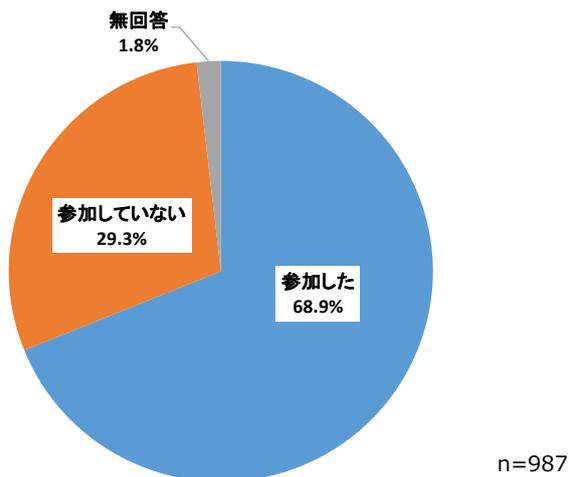


	進んでいると思う	どちらかと言えば、進んでいると思う	どちらともいえない	どちらかと言えば、進んでいないと思う	進んでいない	その他	無回答
全体 (n=987)	4.4%	14.5%	45.5%	16.8%	10.1%	2.3%	6.4%
性別							
男性 (n=443)	5.2%	15.1%	41.8%	20.5%	10.6%	2.7%	4.1%
女性 (n=538)	3.7%	13.9%	48.9%	13.9%	9.9%	1.9%	7.8%
年齢別							
20～29歳 (n=63)	4.8%	14.3%	46.0%	20.6%	9.5%	3.2%	1.6%
30～39歳 (n=92)	1.1%	9.8%	68.5%	13.0%	6.5%	0.0%	1.1%
40～49歳 (n=133)	3.0%	12.8%	51.1%	18.0%	9.8%	3.0%	2.3%
50～59歳 (n=147)	4.8%	12.2%	48.3%	16.3%	10.9%	2.7%	4.8%
60～69歳 (n=262)	3.1%	16.8%	42.0%	19.5%	12.2%	2.3%	4.2%
70歳以上 (n=283)	7.1%	15.9%	37.8%	14.1%	9.5%	2.1%	13.4%
居住地別							
大井町 (n=209)	3.8%	8.6%	54.5%	13.4%	10.0%	4.3%	5.3%
長島町 (n=178)	3.9%	15.7%	47.2%	19.1%	6.2%	1.7%	6.2%
東野 (n=33)	0.0%	9.1%	57.6%	18.2%	9.1%	0.0%	6.1%
三郷町 (n=54)	7.4%	22.2%	44.4%	14.8%	5.6%	0.0%	5.6%
武並町 (n=68)	5.9%	14.7%	45.6%	10.3%	14.7%	2.9%	4.4%
笠置町 (n=21)	4.8%	19.0%	19.0%	28.6%	23.8%	0.0%	4.8%
中野方町 (n=37)	8.1%	18.9%	45.9%	13.5%	5.4%	2.7%	5.4%
飯地町 (n=30)	0.0%	43.3%	23.3%	16.7%	3.3%	6.7%	6.7%
岩村町 (n=94)	8.5%	11.7%	43.6%	21.3%	12.8%	0.0%	2.1%
山岡町 (n=81)	3.7%	13.6%	44.4%	16.0%	12.3%	3.7%	6.2%
明智町 (n=112)	3.6%	12.5%	42.0%	16.1%	15.2%	0.9%	9.8%
串原 (n=29)	0.0%	27.6%	34.5%	24.1%	3.4%	0.0%	10.3%
上矢作町 (n=37)	2.7%	10.8%	35.1%	21.6%	10.8%	5.4%	13.5%

問 21 あなたは、過去1年間に地域のまちづくり活動やボランティア活動に参加しましたか？

【例：自治会行事、清掃活動、消防団、子育て支援、祭りのスタッフなど】 (単数回答)

「参加した」が68.9%と、「参加していない」の29.3%を上回っています。
 性別で見ると、男女ともに、「参加した」の割合が高くなっています。
 年齢別で見ると、20歳代のみ「参加していない」の割合が「参加した」の割合を上回っています。
 居住地別で見ると、すべての居住地で「参加した」の割合が高くなっています。



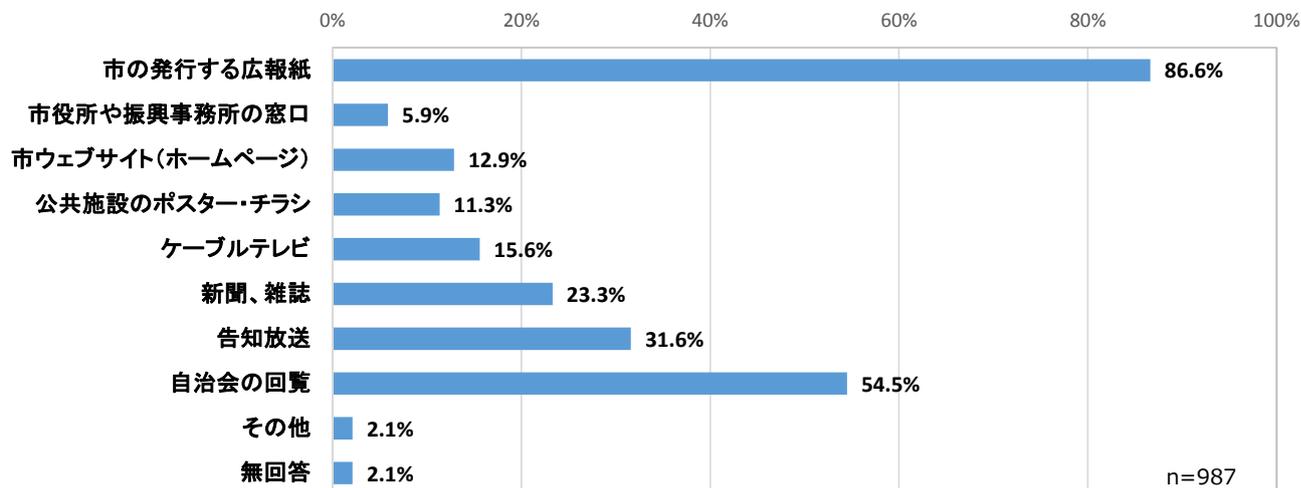
		参加した	参加していない	無回答
全体 (n=987)		68.9%	29.3%	1.8%
性別	男性 (n=443)	73.8%	25.1%	1.1%
	女性 (n=538)	65.4%	32.7%	1.9%
年齢別	20～29歳 (n=63)	34.9%	65.1%	0.0%
	30～39歳 (n=92)	50.0%	50.0%	0.0%
	40～49歳 (n=133)	63.2%	36.1%	0.8%
	50～59歳 (n=147)	77.6%	21.8%	0.7%
	60～69歳 (n=262)	78.6%	20.6%	0.8%
	70歳以上 (n=283)	72.8%	23.3%	3.9%
居住地別	大井町 (n=209)	61.7%	36.8%	1.4%
	長島町 (n=178)	68.0%	30.9%	1.1%
	東野 (n=33)	63.6%	36.4%	0.0%
	三郷町 (n=54)	75.9%	22.2%	1.9%
	武並町 (n=68)	76.5%	20.6%	1.5%
	笠置町 (n=21)	66.7%	33.3%	0.0%
	中野方町 (n=37)	78.4%	16.2%	5.4%
	飯地町 (n=30)	90.0%	3.3%	6.7%
	岩村町 (n=94)	67.0%	33.0%	0.0%
	山岡町 (n=81)	70.4%	29.6%	0.0%
	明智町 (n=112)	67.0%	29.5%	3.6%
	串原 (n=29)	75.9%	24.1%	0.0%
	上矢作町 (n=37)	73.0%	24.3%	2.7%

問 22 あなたは、どのような方法で市政の情報を入手していますか？

(複数回答：該当するものすべて)

「市の発行する広報紙」が 86.6%と最も高く、次いで「自治会の回覧」が 54.5%、「告知放送」が 31.6%の順となっています。

性別、年代別、居住地別のすべてで「市の発行する広報紙」の割合が最も高くなっており、次いで「自治会の回覧」の順となっています。



		市の発行する 広報紙	市役所や振興 事務所の窓口	市ウェブサイト (ホームページ)	公共施設の ポスター・チラシ	ケーブルテレビ	新聞、雑誌	告知放送	自治会の回覧	その他	無回答
全体 (n=987)		86.6%	5.9%	12.9%	11.3%	15.6%	23.3%	31.6%	54.5%	2.1%	2.1%
性別	男性 (n=443)	88.5%	8.1%	17.6%	9.5%	18.5%	23.3%	32.3%	52.6%	2.9%	0.7%
	女性 (n=538)	85.5%	4.1%	9.1%	12.8%	13.4%	23.4%	31.2%	56.3%	1.5%	2.8%
年齢別	20~29歳 (n=63)	68.3%	1.6%	19.0%	7.9%	11.1%	20.6%	12.7%	22.2%	6.3%	4.8%
	30~39歳 (n=92)	83.7%	5.4%	18.5%	10.9%	8.7%	6.5%	14.1%	34.8%	2.2%	0.0%
	40~49歳 (n=133)	80.5%	4.5%	20.3%	19.5%	14.3%	15.8%	33.8%	45.9%	3.0%	1.5%
	50~59歳 (n=147)	90.5%	1.4%	20.4%	8.8%	14.3%	16.3%	38.1%	60.5%	0.7%	2.0%
	60~69歳 (n=262)	92.0%	8.4%	9.9%	9.9%	19.1%	24.0%	37.8%	64.9%	1.1%	0.4%
	70歳以上 (n=283)	88.3%	7.4%	4.9%	11.3%	17.0%	36.0%	32.2%	60.4%	2.5%	3.5%
居住地別	大井町 (n=209)	84.7%	4.3%	17.7%	13.4%	6.2%	20.6%	22.5%	48.8%	3.3%	1.9%
	長島町 (n=178)	89.3%	1.1%	15.2%	10.7%	16.9%	23.6%	30.3%	52.8%	1.1%	1.7%
	東野 (n=33)	84.8%	15.2%	15.2%	15.2%	6.1%	18.2%	36.4%	51.5%	6.1%	3.0%
	三郷町 (n=54)	87.0%	16.7%	13.0%	9.3%	27.8%	24.1%	50.0%	75.9%	0.0%	0.0%
	武並町 (n=68)	85.3%	10.3%	10.3%	11.8%	19.1%	27.9%	29.4%	61.8%	1.5%	0.0%
	笠置町 (n=21)	95.2%	9.5%	14.3%	9.5%	28.6%	33.3%	28.6%	61.9%	0.0%	4.8%
	中野方町 (n=37)	86.5%	8.1%	13.5%	16.2%	21.6%	16.2%	40.5%	67.6%	0.0%	0.0%
	飯地町 (n=30)	86.7%	13.3%	10.0%	13.3%	23.3%	30.0%	46.7%	70.0%	6.7%	3.3%
	岩村町 (n=94)	89.4%	5.3%	8.5%	11.7%	14.9%	23.4%	36.2%	57.4%	1.1%	0.0%
	山岡町 (n=81)	86.4%	0.0%	8.6%	4.9%	18.5%	28.4%	30.9%	37.0%	3.7%	1.2%
	明智町 (n=112)	85.7%	6.3%	8.9%	9.8%	14.3%	21.4%	27.7%	53.6%	1.8%	5.4%
	串原 (n=29)	86.2%	10.3%	13.8%	20.7%	37.9%	24.1%	62.1%	65.5%	0.0%	0.0%
	上矢作町 (n=37)	83.8%	5.4%	8.1%	8.1%	8.1%	18.9%	21.6%	51.4%	2.7%	5.4%

問 23 市民の意見を市政に反映するために、特に何が必要だと思いますか？

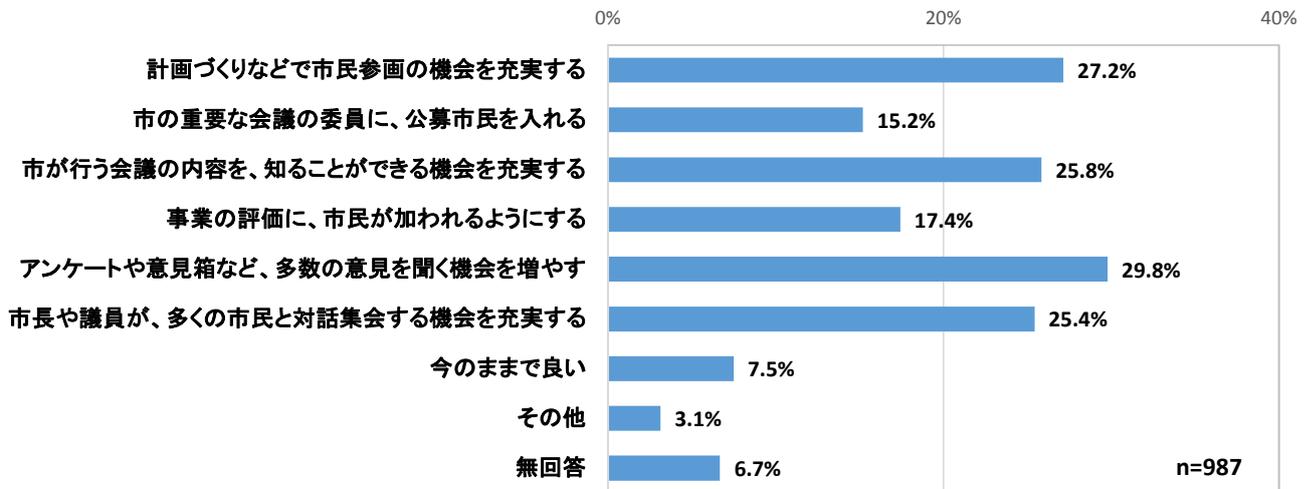
(複数回答：2つまで)

「アンケートや意見箱など、多数の意見を聞く機会を増やす」が29.8%と最も高く、次いで「計画づくりなどで市民参画の機会を充実する」が27.2%、「市が行う会議の内容を、知ることができる機会を充実する」が25.8%の順となっています。

性別でみると、男性で「市長や議員が、多くの市民と対話集会する機会を充実する」の割合が、高くなっています。

年齢別でみると、70歳以上で「市長や議員が、多くの市民と対話集会する機会を充実する」の割合が最も高くなっています。

居住地別でみると、東野・飯地町で「事業の評価に、市民が加わるようにする」の割合が高くなっています。



	計画づくりなどで市民参画の機会を充実する	市の重要な会議の委員に、公募市民を入れる	市が行う会議の内容を、知ることができる機会を充実する	事業の評価に、市民が加わるようにする	アンケートや意見箱など、多数の意見を聞く機会を増やす	市長や議員が、多くの市民と対話集会する機会を充実する	今のままで良い	その他	無回答
全体 (n=987)	27.2%	15.2%	25.8%	17.4%	29.8%	25.4%	7.5%	3.1%	6.7%
性別									
男性 (n=443)	31.4%	16.3%	26.2%	19.2%	26.2%	27.3%	7.0%	3.2%	4.1%
女性 (n=538)	23.8%	14.5%	25.7%	16.2%	33.1%	24.0%	8.0%	3.2%	8.2%
年齢別									
20～29歳 (n=63)	22.2%	14.3%	19.0%	22.2%	38.1%	9.5%	11.1%	6.3%	3.2%
30～39歳 (n=92)	20.7%	16.3%	34.8%	22.8%	33.7%	25.0%	4.3%	2.2%	2.2%
40～49歳 (n=133)	21.1%	17.3%	22.6%	19.5%	32.3%	23.3%	6.8%	6.8%	2.3%
50～59歳 (n=147)	27.9%	17.7%	27.2%	24.5%	24.5%	23.1%	7.5%	2.7%	5.4%
60～69歳 (n=262)	34.0%	12.2%	26.3%	16.8%	30.9%	28.2%	6.5%	2.7%	4.6%
70歳以上 (n=283)	27.2%	15.5%	24.4%	10.2%	27.6%	29.0%	9.2%	1.8%	12.7%
居住地別									
大井町 (n=209)	28.7%	16.7%	25.4%	16.7%	31.6%	26.3%	8.1%	3.8%	2.4%
長島町 (n=178)	27.0%	19.7%	28.1%	14.6%	31.5%	27.0%	3.9%	3.9%	6.2%
東野 (n=33)	39.4%	15.2%	33.3%	30.3%	30.3%	15.2%	3.0%	0.0%	6.1%
三郷町 (n=54)	20.4%	16.7%	31.5%	14.8%	33.3%	29.6%	3.7%	3.7%	0.0%
武並町 (n=68)	20.6%	17.6%	20.6%	16.2%	32.4%	25.0%	8.8%	4.4%	4.4%
笠置町 (n=21)	33.3%	14.3%	14.3%	4.8%	14.3%	47.6%	14.3%	4.8%	4.8%
中野方町 (n=37)	35.1%	8.1%	27.0%	13.5%	37.8%	21.6%	5.4%	0.0%	8.1%
飯地町 (n=30)	23.3%	6.7%	20.0%	30.0%	33.3%	20.0%	13.3%	0.0%	13.3%
岩村町 (n=94)	28.7%	11.7%	28.7%	25.5%	16.0%	25.5%	10.6%	3.2%	6.4%
山岡町 (n=81)	28.4%	14.8%	22.2%	14.8%	25.9%	25.9%	14.8%	2.5%	3.7%
明智町 (n=112)	22.3%	15.2%	24.1%	18.8%	33.9%	20.5%	6.3%	2.7%	13.4%
串原 (n=29)	34.5%	6.9%	31.0%	13.8%	37.9%	31.0%	6.9%	0.0%	10.3%
上矢作町 (n=37)	27.0%	5.4%	27.0%	13.5%	24.3%	24.3%	2.7%	5.4%	18.9%

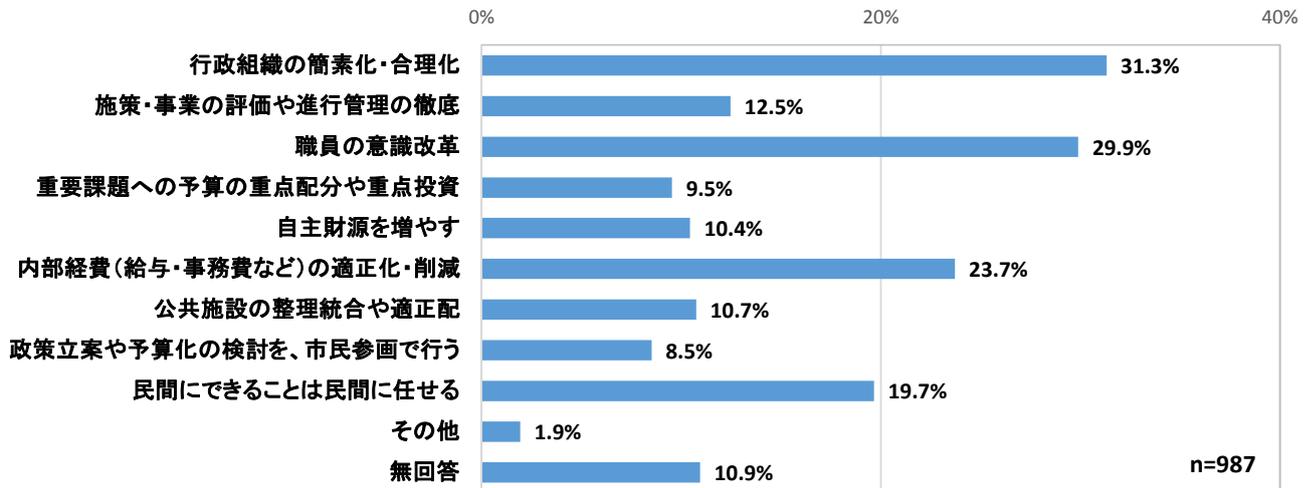
(10) 行財政運営について

問 24 健全で効率的な行財政運営を行うため、市は「行財政改革」に取り組んでいます。そのためには、特に何が重要だと思いませんか？ (複数回答：2つまで)

「行政組織の簡素化・合理化」が31.3%と最も高く、次いで「職員の意識改革」が29.9%、「内部経費（給与・事務費など）の適正化・削減」が23.7%の順となっています。

年齢別でみると、20歳代で「重要課題への予算の重点配分や重点投資」が、30歳代～40歳代で「民間にできることは民間に任せる」が、他の年代に比べ高くなっています。

居住地別でみると、東野で「民間にできることは民間に任せる」が27.3%、「内部経費（給与・事務費など）の適正化・削減」が30.3%と高くなっています。



	行政組織の簡素化・合理化	施策・事業の評価や進行管理の徹底	職員の意識改革	重要課題への予算の重点配分や重点投資	自主財源を増やす	内部経費（給与・事務費など）の適正化・削減	公共施設の整理統合や適正配	政策立案や予算化の検討を、市民参画で行う	民間にできることは民間に任せる	その他	無回答
全体 (n=987)	31.3%	12.5%	29.9%	9.5%	10.4%	23.7%	10.7%	8.5%	19.7%	1.9%	10.9%
性別											
男性 (n=443)	28.4%	14.9%	31.2%	12.6%	14.2%	23.3%	12.0%	10.4%	22.1%	2.5%	5.0%
女性 (n=538)	34.0%	10.4%	28.8%	7.1%	7.4%	24.3%	9.7%	7.1%	17.8%	1.5%	15.2%
年齢別											
20～29歳 (n=63)	41.3%	7.9%	14.3%	20.6%	12.7%	23.8%	7.9%	7.9%	14.3%	1.6%	6.3%
30～39歳 (n=92)	22.8%	3.3%	35.9%	13.0%	16.3%	37.0%	7.6%	6.5%	23.9%	0.0%	3.3%
40～49歳 (n=133)	27.1%	8.3%	36.8%	9.8%	16.5%	27.1%	17.3%	4.5%	24.1%	1.5%	3.8%
50～59歳 (n=147)	32.7%	18.4%	32.7%	10.2%	8.8%	24.5%	11.6%	6.8%	15.6%	0.7%	9.5%
60～69歳 (n=262)	34.7%	16.0%	33.2%	6.1%	8.4%	26.3%	9.9%	9.9%	19.5%	3.1%	7.3%
70歳以上 (n=283)	30.4%	12.4%	24.0%	8.5%	8.1%	15.5%	9.9%	11.0%	19.8%	2.5%	20.5%
居住地別											
大井町 (n=209)	30.1%	13.4%	30.6%	12.9%	8.1%	27.3%	11.0%	12.0%	22.0%	1.9%	4.8%
長島町 (n=178)	36.5%	12.4%	27.5%	9.0%	8.4%	27.5%	10.7%	7.9%	24.2%	1.7%	7.3%
東野 (n=33)	33.3%	6.1%	33.3%	15.2%	15.2%	30.3%	9.1%	9.1%	27.3%	0.0%	6.1%
三郷町 (n=54)	38.9%	16.7%	24.1%	5.6%	11.1%	22.2%	13.0%	7.4%	13.0%	1.9%	7.4%
武並町 (n=68)	20.6%	7.4%	26.5%	8.8%	11.8%	25.0%	2.9%	7.4%	22.1%	2.9%	19.1%
笠置町 (n=21)	38.1%	9.5%	28.6%	0.0%	19.0%	9.5%	14.3%	9.5%	14.3%	0.0%	23.8%
中野方町 (n=37)	32.4%	8.1%	32.4%	8.1%	5.4%	16.2%	16.2%	10.8%	24.3%	0.0%	16.2%
飯地町 (n=30)	23.3%	10.0%	36.7%	10.0%	6.7%	16.7%	13.3%	6.7%	23.3%	0.0%	20.0%
岩村町 (n=94)	35.1%	12.8%	38.3%	10.6%	12.8%	26.6%	9.6%	3.2%	14.9%	3.2%	3.2%
山岡町 (n=81)	28.4%	17.3%	29.6%	4.9%	11.1%	25.9%	12.3%	12.3%	18.5%	2.5%	11.1%
明智町 (n=112)	25.0%	12.5%	26.8%	9.8%	17.0%	16.1%	11.6%	6.3%	17.0%	0.9%	17.9%
串原 (n=29)	31.0%	13.8%	31.0%	10.3%	3.4%	27.6%	13.8%	6.9%	10.3%	6.9%	17.2%
上矢作町 (n=37)	40.5%	13.5%	27.0%	8.1%	8.1%	10.8%	8.1%	5.4%	8.1%	2.7%	27.0%

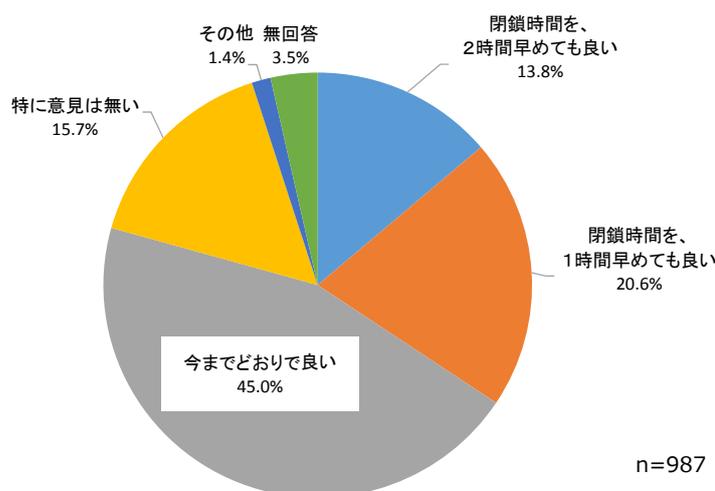
(11) 選挙での投票所の開所時間について

問 25 各選挙（衆議院・参議院・市議会議員等）における、投票日当日の投票所の開所時間についてお尋ねします。あなたは、お住まいの地域の投票所の閉鎖時間※を早めることについて、どのように考えますか？（単数回答）

「今までどおりが良い」が45.0%と最も高く、次いで「閉鎖時間を、1時間早めても良い」が20.6%、「特に意見は無い」が15.7%の順となっています。

性別・年齢別・居住地別のすべてにおいて、「今までどおりが良い」の割合が、最も高くなっています。

居住地別でみると、三郷町・飯地町・串原で「閉鎖時間を、2時間早めても良い」の割合が、20%以上と高くなっています。



		閉鎖時間を、 2時間早めても良い	閉鎖時間を、 1時間早めても良い	今までどおりが良い	特に意見は無い	その他	無回答
全体 (n=987)		13.8%	20.6%	45.0%	15.7%	1.4%	3.5%
性別	男性 (n=443)	17.6%	22.3%	44.9%	11.7%	1.4%	2.0%
	女性 (n=538)	10.8%	19.3%	45.2%	19.1%	1.5%	4.1%
年齢別	20～29歳 (n=63)	4.8%	19.0%	49.2%	22.2%	1.6%	3.2%
	30～39歳 (n=92)	12.0%	13.0%	41.3%	32.6%	1.1%	0.0%
	40～49歳 (n=133)	16.5%	16.5%	45.1%	18.0%	2.3%	1.5%
	50～59歳 (n=147)	19.7%	20.4%	41.5%	14.3%	2.0%	2.0%
	60～69歳 (n=262)	15.3%	25.6%	44.7%	13.0%	0.4%	1.1%
	70歳以上 (n=283)	10.6%	20.8%	48.1%	11.0%	1.8%	7.8%
居住地別	大井町 (n=209)	11.0%	20.6%	49.8%	16.3%	0.5%	1.9%
	長島町 (n=178)	14.0%	22.5%	42.1%	19.1%	0.6%	1.7%
	東野 (n=33)	6.1%	12.1%	57.6%	21.2%	0.0%	3.0%
	三郷町 (n=54)	20.4%	16.7%	50.0%	9.3%	3.7%	0.0%
	武並町 (n=68)	8.8%	27.9%	38.2%	17.6%	1.5%	4.4%
	笠置町 (n=21)	9.5%	0.0%	76.2%	0.0%	4.8%	9.5%
	中野方町 (n=37)	18.9%	24.3%	45.9%	10.8%	0.0%	0.0%
	飯地町 (n=30)	20.0%	23.3%	36.7%	6.7%	6.7%	6.7%
	岩村町 (n=94)	19.1%	21.3%	39.4%	18.1%	2.1%	0.0%
	山岡町 (n=81)	18.5%	18.5%	42.0%	16.0%	2.5%	2.5%
	明智町 (n=112)	11.6%	23.2%	38.4%	15.2%	0.9%	10.7%
	串原 (n=29)	20.7%	17.2%	37.9%	20.7%	0.0%	3.4%
	上矢作町 (n=37)	5.4%	16.2%	56.8%	10.8%	2.7%	8.1%

(12) 市議会活動について

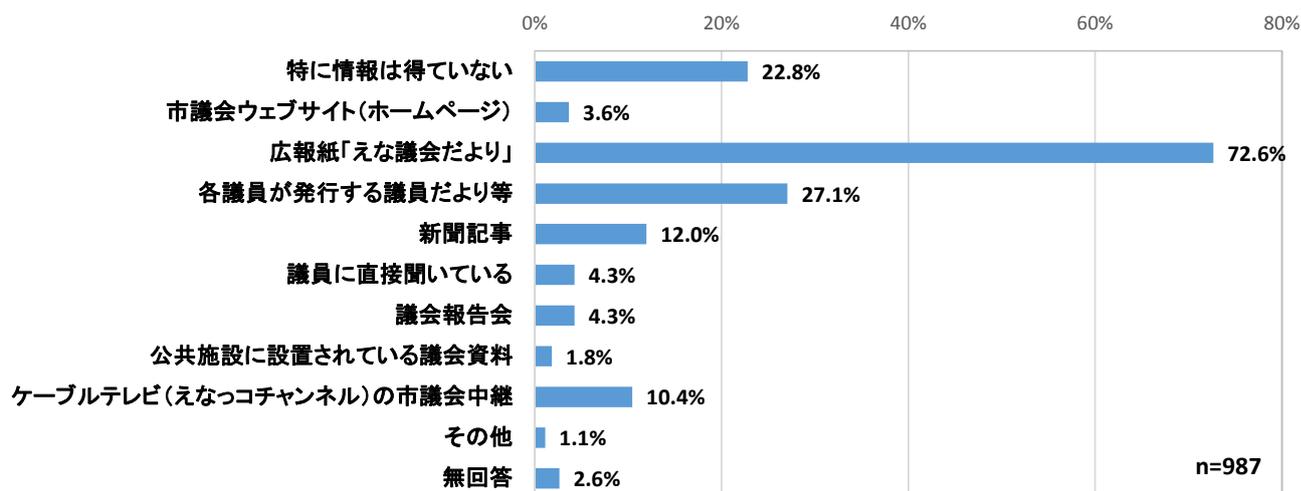
問 26 市議会の活動について、主にどこから情報を得ていますか？

(複数回答：該当するものすべて)

「広報紙『えな議会だより』」が 72.6%と最も高く、次いで「各議員が発行する議員だより等」が 27.1%、「特に情報は得ていない」が 22.8%の順になっています。

年齢別でみると、50 歳代以上で「各議員が発行する議員だより等」の割合が高くなっています。

居住地別でみると、飯地町・串原で「ケーブルテレビ（えなっコチャンネル）の市議会中継」の割合が高くなっています。

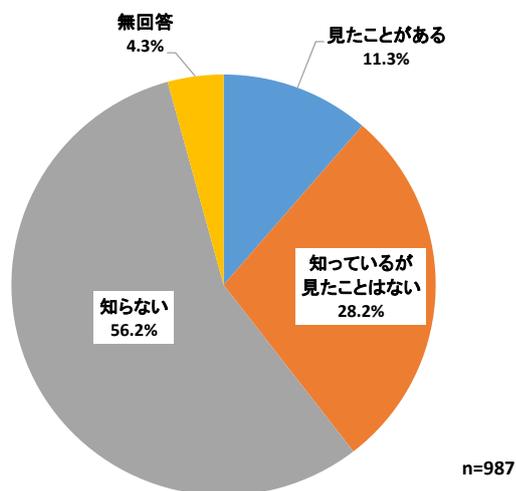


	特に情報は得ていない	市議会ウェブサイト(ホームページ)	広報紙「えな議会だより」	各議員が発行する議員だより等	新聞記事	議員に直接聞いている	議会報告会	公共施設に設置されている議会資料	ケーブルテレビ(えなっコチャンネル)の市議会中継	その他	無回答
全体 (n=987)	22.8%	3.6%	72.6%	27.1%	12.0%	4.3%	4.3%	1.8%	10.4%	1.1%	2.6%
性別											
男性 (n=443)	23.0%	5.6%	71.6%	29.1%	12.9%	5.6%	6.1%	2.0%	11.3%	1.6%	1.1%
女性 (n=538)	22.9%	2.0%	74.0%	25.5%	11.2%	3.2%	2.8%	1.7%	9.9%	0.7%	3.2%
年齢別											
20~29歳 (n=63)	54.0%	4.8%	41.3%	4.8%	3.2%	1.6%	0.0%	0.0%	1.6%	0.0%	0.0%
30~39歳 (n=92)	45.7%	0.0%	53.3%	5.4%	0.0%	1.1%	0.0%	0.0%	2.2%	1.1%	0.0%
40~49歳 (n=133)	27.1%	3.0%	66.2%	16.5%	6.8%	3.8%	0.8%	3.0%	7.5%	1.5%	0.0%
50~59歳 (n=147)	20.4%	5.4%	76.2%	25.9%	13.6%	4.8%	2.0%	0.7%	3.4%	1.4%	2.7%
60~69歳 (n=262)	14.5%	3.8%	82.4%	37.8%	13.4%	4.6%	5.7%	1.9%	16.0%	0.8%	1.1%
70歳以上 (n=283)	15.5%	3.5%	78.4%	35.0%	18.0%	5.7%	8.1%	2.5%	14.8%	1.4%	5.7%
居住地別											
大井町 (n=209)	25.4%	2.9%	72.7%	19.6%	13.4%	4.3%	3.3%	1.0%	3.8%	1.9%	1.4%
長島町 (n=178)	23.6%	5.1%	73.0%	19.1%	9.0%	1.7%	2.2%	1.1%	9.0%	0.0%	2.2%
東野 (n=33)	15.2%	6.1%	78.8%	33.3%	9.1%	12.1%	6.1%	3.0%	9.1%	3.0%	3.0%
三郷町 (n=54)	18.5%	3.7%	81.5%	11.1%	13.0%	3.7%	3.7%	3.7%	18.5%	1.9%	0.0%
武並町 (n=68)	26.5%	4.4%	67.6%	10.3%	11.8%	10.3%	4.4%	4.4%	14.7%	2.9%	2.9%
笠置町 (n=21)	19.0%	4.8%	76.2%	23.8%	14.3%	14.3%	0.0%	4.8%	19.0%	4.8%	0.0%
中野方町 (n=37)	24.3%	0.0%	73.0%	16.2%	10.8%	2.7%	10.8%	0.0%	13.5%	0.0%	2.7%
飯地町 (n=30)	20.0%	6.7%	70.0%	13.3%	10.0%	6.7%	3.3%	0.0%	26.7%	0.0%	6.7%
岩村町 (n=94)	25.5%	3.2%	64.9%	40.4%	13.8%	3.2%	4.3%	4.3%	10.6%	1.1%	1.1%
山岡町 (n=81)	29.6%	3.7%	70.4%	33.3%	11.1%	1.2%	3.7%	0.0%	7.4%	1.2%	1.2%
明智町 (n=112)	17.9%	2.7%	73.2%	44.6%	10.7%	3.6%	4.5%	0.9%	12.5%	0.0%	6.3%
串原 (n=29)	3.4%	6.9%	89.7%	79.3%	13.8%	3.4%	13.8%	6.9%	27.6%	0.0%	0.0%
上矢作町 (n=37)	21.6%	0.0%	73.0%	37.8%	18.9%	5.4%	8.1%	0.0%	2.7%	0.0%	5.4%

問 27 市議会では平成 24 年度より本会議の様子をインターネットによるライブ配信、録画配信を行っていますが、ご存知ですか？ (単数回答)

「知らない」が 56.2%と最も高く、次いで「知っているが見たことはない」が 28.2%、「見たことがある」が 11.3%となっています。

年齢別でみると、20 歳代～30 歳代の「知らない」の割合が約 8 割と高くなっています。居住地別でみると、すべての地域で「知らない」の割合が、最も高くなっています。



		見たことがある	知っているが見たことはない	知らない	無回答
全体 (n=987)		11.3%	28.2%	56.2%	4.3%
性別	男性 (n=443)	15.1%	30.5%	52.1%	2.3%
	女性 (n=538)	8.4%	26.4%	60.0%	5.2%
年齢別	20～29歳 (n=63)	4.8%	14.3%	79.4%	1.6%
	30～39歳 (n=92)	2.2%	12.0%	85.9%	0.0%
	40～49歳 (n=133)	11.3%	25.6%	63.2%	0.0%
	50～59歳 (n=147)	8.8%	29.9%	59.2%	2.0%
	60～69歳 (n=262)	16.8%	32.1%	48.1%	3.1%
	70歳以上 (n=283)	12.0%	33.6%	45.2%	9.2%
居住地別	大井町 (n=209)	9.1%	25.4%	64.6%	1.0%
	長島町 (n=178)	6.7%	28.7%	62.4%	2.2%
	東野 (n=33)	9.1%	39.4%	45.5%	6.1%
	三郷町 (n=54)	11.1%	35.2%	51.9%	1.9%
	武並町 (n=68)	8.8%	30.9%	54.4%	4.4%
	笠置町 (n=21)	14.3%	38.1%	47.6%	0.0%
	中野方町 (n=37)	8.1%	35.1%	51.4%	5.4%
	飯地町 (n=30)	13.3%	33.3%	43.3%	10.0%
	岩村町 (n=94)	13.8%	23.4%	58.5%	4.3%
	山岡町 (n=81)	16.0%	24.7%	53.1%	6.2%
	明智町 (n=112)	14.3%	22.3%	54.5%	8.9%
	串原 (n=29)	31.0%	31.0%	31.0%	6.9%
上矢作町 (n=37)	13.5%	32.4%	48.6%	5.4%	

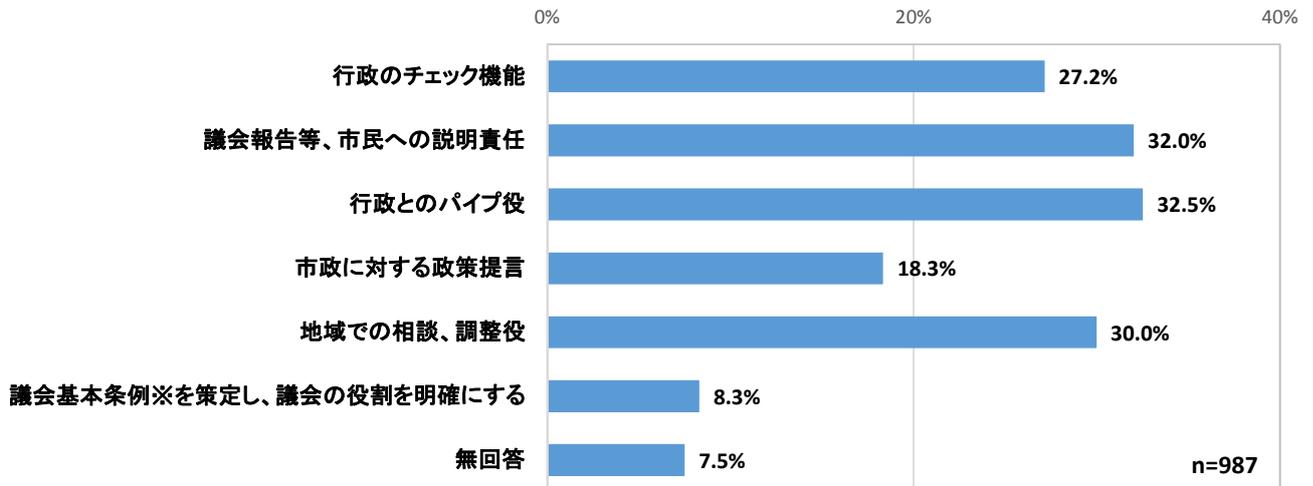
問 28 市議会・議員の活動に対して、特に期待することは何ですか？

(複数回答：2つまで)

「行政とのパイプ役」が32.5%と最も高く、次いで「議会報告等、市民への説明責任」が32.0%、「地域での相談、調整役」が30.0%の順となっています。

年齢別でみると20歳代で「議会報告等、市民への説明責任」が42.9%、40歳代で「地域での相談、調整役」が40.6%と高くなっています。

居住地別でみると、東野で「行政のチェック機能」が45.5%、岩村町で「議会報告等、市民への説明責任」が42.6%、串原で「行政とのパイプ役」が51.7%、飯地町で「地域での相談、調整役」が46.7%と、他の地区と比べ高くなっています。



		行政のチェック機能	議会報告等、市民への説明責任	行政とのパイプ役	市政に対する政策提言	地域での相談、調整役	議会基本条例を策定し、議会の役割を明確にする。	無回答
全体 (n=987)		27.2%	32.0%	32.5%	18.3%	30.0%	8.3%	7.5%
性別	男性 (n=443)	33.0%	31.8%	27.5%	24.4%	29.8%	8.8%	3.8%
	女性 (n=538)	22.7%	32.3%	36.8%	13.4%	30.5%	7.8%	9.9%
年齢別	20～29歳 (n=63)	31.7%	42.9%	20.6%	6.3%	25.4%	3.2%	4.8%
	30～39歳 (n=92)	32.6%	31.5%	27.2%	10.9%	30.4%	7.6%	4.3%
	40～49歳 (n=133)	18.8%	29.3%	36.1%	15.0%	40.6%	4.5%	3.8%
	50～59歳 (n=147)	32.7%	32.7%	35.4%	16.3%	32.7%	6.1%	6.1%
	60～69歳 (n=262)	31.3%	29.4%	34.7%	23.7%	29.4%	9.5%	4.2%
	70歳以上 (n=283)	21.9%	33.6%	32.2%	21.6%	25.8%	11.7%	13.1%
居住地別	大井町 (n=209)	28.7%	35.4%	33.0%	18.7%	28.2%	10.5%	4.3%
	長島町 (n=178)	26.4%	32.6%	30.9%	16.9%	29.2%	9.0%	6.7%
	東野 (n=33)	45.5%	30.3%	33.3%	24.2%	27.3%	9.1%	6.1%
	三郷町 (n=54)	24.1%	27.8%	35.2%	22.2%	35.2%	3.7%	3.7%
	武並町 (n=68)	22.1%	25.0%	27.9%	16.2%	39.7%	4.4%	11.8%
	笠置町 (n=21)	23.8%	38.1%	28.6%	9.5%	33.3%	9.5%	14.3%
	中野方町 (n=37)	35.1%	18.9%	37.8%	13.5%	27.0%	8.1%	13.5%
	飯地町 (n=30)	16.7%	13.3%	30.0%	23.3%	46.7%	6.7%	13.3%
	岩村町 (n=94)	24.5%	42.6%	29.8%	19.1%	29.8%	7.4%	4.3%
	山岡町 (n=81)	23.5%	37.0%	37.0%	18.5%	29.6%	3.7%	4.9%
	明智町 (n=112)	27.7%	33.9%	32.1%	14.3%	24.1%	10.7%	11.6%
	串原 (n=29)	27.6%	31.0%	51.7%	17.2%	27.6%	10.3%	3.4%
	上矢作町 (n=37)	35.1%	16.2%	27.0%	32.4%	32.4%	5.4%	10.8%

(13) 個人番号カードの活用について

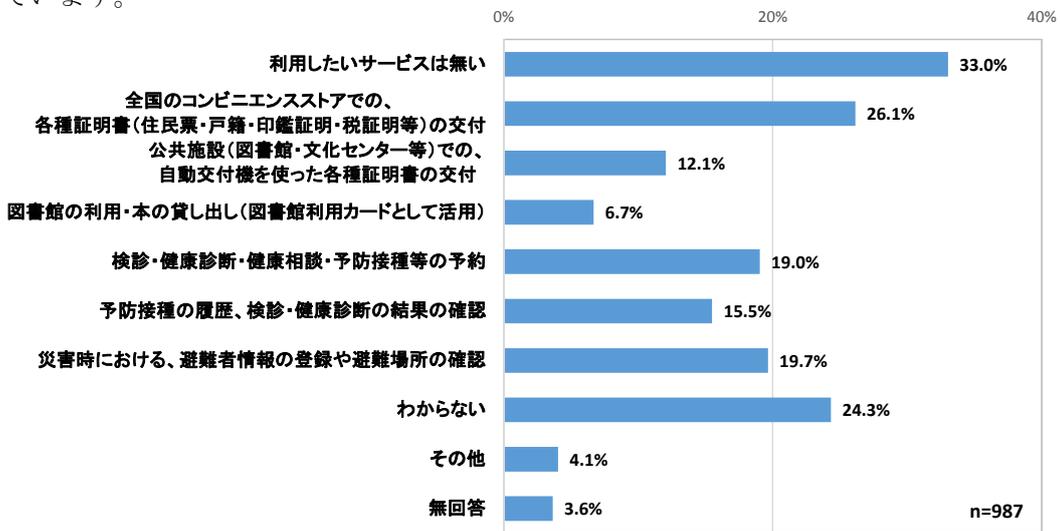
問 29 マイナンバー制度に伴い、平成 28 年 1 月から、顔写真付で身分証明書にも利用できる「個人番号カード」の申請・発行が可能となります。「個人番号カード」は IC チップを搭載しているため、様々な分野での活用が期待されています。この「個人番号カード」を活用して、利用したい行政サービスは何ですか？（複数回答：該当するものすべて）

「利用したいサービスは無い」が 33.0%と最も高く、次いで「全国のコンビニエンスストアでの、各種証明書（住民票・戸籍・印鑑証明・税証明等）の交付」が 26.1%、「わからない」が 24.3%の順となっています。

性別でみると、女性で「わからない」が 27.9%と、男性に比べ高くなっています。

年齢別でみると 20 歳代～40 歳代で「全国のコンビニエンスストアで各種証明書（住民票・戸籍・印鑑証明・税証明等）の交付」が、30 歳代で「予防接種の履歴、検診・健康診断の結果の確認」が、他の年代と比べ高くなっています。

居住地別でみると武並町・上矢作町で「利用したいサービスは無い」が 40%以上と高くなっています。

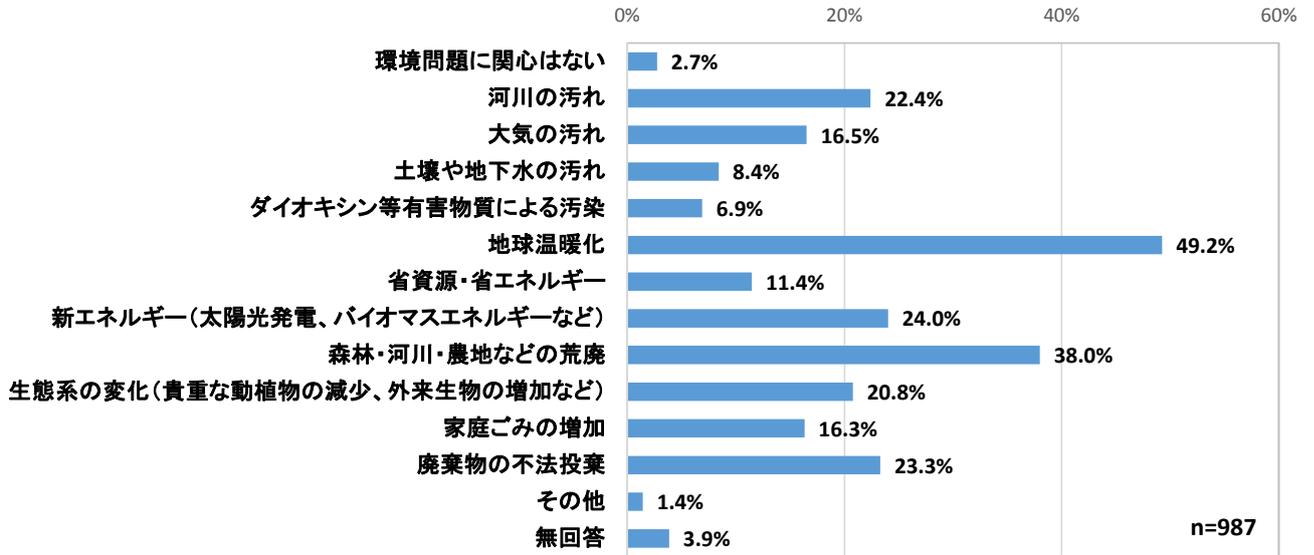


	利用したいサービスは無い	全国のコンビニエンスストアでの、各種証明書（住民票・戸籍・印鑑証明）の交付	公共施設（図書館・文化センター等）での、自動交付機を使った各種証明書の交付	図書館の利用・本の貸し出し（図書館利用カードとして活用）	検診・健康診断・健康相談・予防接種等の予約	予防接種の履歴、検診・健康診断の結果の確認	災害時における、避難者情報の登録や避難場所の確認	わからない	その他	無回答
全体 (n=987)	33.0%	26.1%	12.1%	6.7%	19.0%	15.5%	19.7%	24.3%	4.1%	3.6%
性別										
男性 (n=443)	32.1%	33.0%	14.9%	7.2%	20.8%	15.6%	21.0%	20.1%	3.8%	2.5%
女性 (n=538)	34.2%	20.8%	9.9%	6.3%	17.7%	15.4%	18.6%	27.9%	4.3%	3.9%
年齢別										
20～29歳 (n=63)	27.0%	38.1%	7.9%	11.1%	11.1%	7.9%	20.6%	23.8%	1.6%	1.6%
30～39歳 (n=92)	29.3%	40.2%	18.5%	9.8%	29.3%	32.6%	26.1%	17.4%	4.3%	0.0%
40～49歳 (n=133)	30.1%	33.8%	15.0%	7.5%	15.8%	18.8%	24.1%	19.5%	3.8%	0.0%
50～59歳 (n=147)	28.6%	27.2%	19.0%	7.5%	15.0%	8.2%	19.7%	25.2%	4.1%	2.0%
60～69歳 (n=262)	34.4%	24.8%	10.3%	5.0%	17.2%	13.0%	17.2%	24.0%	5.3%	1.9%
70歳以上 (n=283)	38.2%	16.6%	7.8%	5.3%	23.0%	16.3%	18.0%	29.0%	3.5%	8.5%
居住地別										
大井町 (n=209)	30.6%	27.8%	12.4%	10.5%	17.2%	11.5%	23.4%	27.8%	4.3%	2.9%
長島町 (n=178)	29.8%	28.7%	18.5%	9.0%	22.5%	24.7%	26.4%	19.7%	3.9%	1.1%
東野 (n=33)	24.2%	27.3%	15.2%	3.0%	24.2%	21.2%	21.2%	18.2%	3.0%	3.0%
三郷町 (n=54)	33.3%	24.1%	9.3%	5.6%	18.5%	14.8%	16.7%	29.6%	0.0%	1.9%
武並町 (n=68)	42.6%	23.5%	10.3%	8.8%	25.0%	19.1%	13.2%	19.1%	8.8%	1.5%
笠置町 (n=21)	38.1%	33.3%	14.3%	9.5%	19.0%	14.3%	19.0%	14.3%	0.0%	0.0%
中野方町 (n=37)	32.4%	32.4%	16.2%	2.7%	21.6%	16.2%	8.1%	21.6%	2.7%	2.7%
飯地町 (n=30)	23.3%	26.7%	6.7%	0.0%	16.7%	23.3%	23.3%	6.7%	10.0%	10.0%
岩村町 (n=94)	39.4%	26.6%	12.8%	5.3%	13.8%	10.6%	21.3%	23.4%	2.1%	3.2%
山岡町 (n=81)	29.6%	19.8%	4.9%	4.9%	14.8%	8.6%	9.9%	35.8%	7.4%	1.2%
明智町 (n=112)	33.0%	24.1%	8.0%	3.6%	20.5%	15.2%	17.0%	25.9%	1.8%	10.7%
甲原 (n=29)	37.9%	27.6%	6.9%	3.4%	20.7%	13.8%	20.7%	27.6%	6.9%	0.0%
上矢作町 (n=37)	45.9%	21.6%	13.5%	2.7%	16.2%	8.1%	16.2%	21.6%	0.0%	8.1%

(14) 環境問題・環境対策について

問 30 環境問題について、特に興味を持っているものは何ですか？（複数回答：3つまで）

「地球温暖化」が 49.2%と最も高く、次いで「森林・河川・農地などの荒廃」が 38.0%、「新エネルギー（太陽光発電、バイオマスエネルギーなど）」が 24.0%となっています。
 年齢別でみると、すべての年代で「地球温暖化」の割合が高くなっています。
 地域別でみると、串原で「省資源・省エネルギー」が 24.1%、岩村町で「生態系の変化（貴重な動植物の減少、外来生物の増加など）」が 31.9%、武並町・串原で「廃棄物の不法投棄」が、他の地区と比べ高い割合となっています。



	環境問題に関心はない	河川の汚れ	大気の汚れ	土壌や地下水の汚れ	ダイオキシン等有害物質による汚染	地球温暖化	省資源・省エネルギー	新エネルギー（太陽光発電、バイオマスエネルギーなど）	森林・河川・農地などの荒廃	生態系の変化（貴重な動植物の減少、外来生物の増加など）	家庭ごみの増加	廃棄物の不法投棄	その他	無回答
全体 (n=987)	2.7%	22.4%	16.5%	8.4%	6.9%	49.2%	11.4%	24.0%	38.0%	20.8%	16.3%	23.3%	1.4%	3.9%
性別														
男性 (n=443)	2.7%	26.2%	14.7%	6.8%	5.6%	46.0%	10.8%	27.3%	42.2%	18.1%	13.1%	25.7%	0.9%	2.7%
女性 (n=538)	2.8%	19.3%	18.2%	9.9%	8.0%	52.2%	12.1%	21.4%	34.9%	23.2%	18.8%	21.4%	1.9%	4.1%
年齢別														
20～29歳 (n=63)	6.3%	31.7%	17.5%	3.2%	9.5%	49.2%	23.8%	28.6%	22.2%	12.7%	12.7%	19.0%	3.2%	3.2%
30～39歳 (n=92)	4.3%	27.2%	25.0%	5.4%	6.5%	47.8%	12.0%	29.3%	23.9%	23.9%	16.3%	15.2%	2.2%	2.2%
40～49歳 (n=133)	4.5%	18.8%	21.1%	6.8%	9.8%	48.9%	13.5%	27.8%	26.3%	18.8%	18.0%	19.5%	1.5%	3.0%
50～59歳 (n=147)	1.4%	20.4%	12.9%	12.9%	4.1%	50.3%	14.3%	26.5%	39.5%	18.4%	17.7%	27.9%	0.0%	2.0%
60～69歳 (n=262)	1.9%	16.0%	16.0%	6.9%	8.4%	53.1%	10.7%	24.4%	49.2%	24.0%	15.6%	23.3%	2.3%	1.5%
70歳以上 (n=283)	2.1%	27.6%	14.1%	10.6%	5.3%	46.3%	7.1%	18.4%	40.6%	20.5%	16.6%	26.5%	0.7%	6.7%
居住地別														
大井町 (n=209)	3.3%	29.2%	28.7%	6.7%	5.3%	50.2%	12.4%	23.9%	30.1%	15.3%	21.5%	19.1%	1.9%	3.3%
長島町 (n=178)	0.6%	25.8%	14.6%	11.2%	7.3%	51.1%	12.4%	29.8%	28.1%	24.7%	14.6%	25.8%	2.2%	3.4%
東野 (n=33)	0.0%	9.1%	24.2%	18.2%	3.0%	39.4%	9.1%	27.3%	57.6%	27.3%	6.1%	24.2%	3.0%	3.0%
三郷町 (n=54)	3.7%	18.5%	7.4%	11.1%	11.1%	63.0%	13.0%	31.5%	38.9%	14.8%	16.7%	25.9%	0.0%	0.0%
武並町 (n=68)	4.4%	29.4%	11.8%	10.3%	11.8%	48.5%	10.3%	23.5%	27.9%	16.2%	19.1%	32.4%	0.0%	1.5%
笠置町 (n=21)	4.8%	28.6%	19.0%	0.0%	0.0%	42.9%	9.5%	14.3%	47.6%	9.5%	14.3%	14.3%	0.0%	9.5%
中野方町 (n=37)	0.0%	35.1%	10.8%	5.4%	2.7%	45.9%	10.8%	18.9%	56.8%	18.9%	21.6%	18.9%	2.7%	2.7%
飯地町 (n=30)	0.0%	6.7%	20.0%	3.3%	0.0%	46.7%	16.7%	30.0%	46.7%	23.3%	16.7%	20.0%	3.3%	6.7%
岩村町 (n=94)	7.4%	17.0%	13.8%	9.6%	7.4%	56.4%	8.5%	23.4%	36.2%	31.9%	11.7%	19.1%	1.1%	0.0%
山岡町 (n=81)	3.7%	21.0%	16.0%	11.1%	11.1%	39.5%	8.6%	19.8%	46.9%	24.7%	9.9%	24.7%	1.2%	4.9%
明智町 (n=112)	2.7%	17.9%	8.9%	6.3%	8.0%	47.3%	12.5%	17.0%	38.4%	20.5%	16.1%	26.8%	0.0%	8.0%
串原 (n=29)	0.0%	6.9%	17.2%	0.0%	10.3%	55.2%	24.1%	13.8%	62.1%	17.2%	6.9%	34.5%	3.4%	0.0%
上矢作町 (n=37)	0.0%	10.8%	2.7%	5.4%	0.0%	40.5%	2.7%	32.4%	64.9%	18.9%	27.0%	13.5%	0.0%	8.1%

問 31 環境を守るために、あなたが普段の生活で行っていることはありますか？

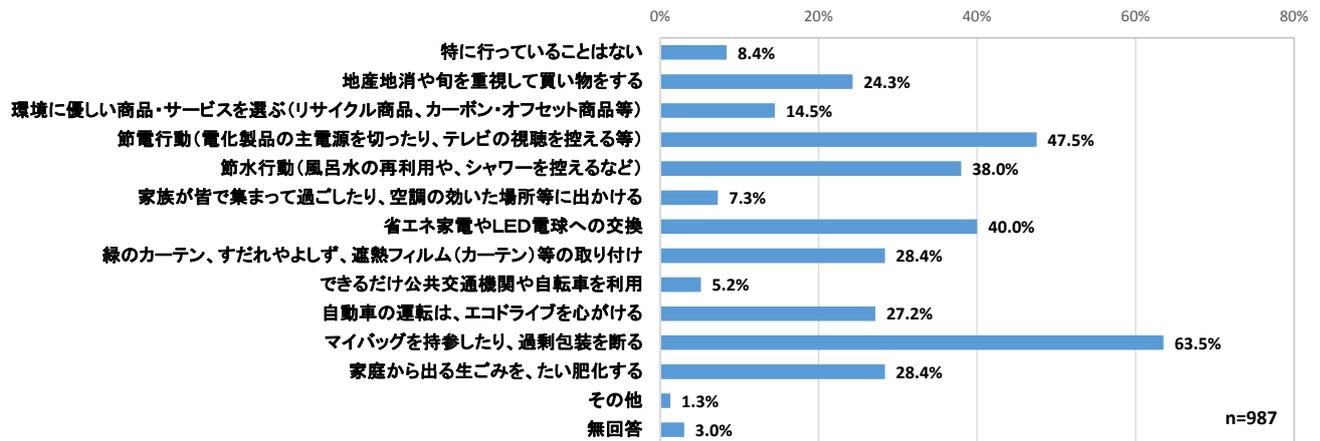
(複数回答：該当するものすべて)

「マイバッグを持参したり、過剰包装を断る」が63.5%と最も高く、次いで「節電行動（電化製品の主電源を切ったり、テレビの視聴を控える等）」が47.5%、「省エネ家電やLED電球への交換」が40.0%の順となっています。

性別でみると、女性で「マイバッグを持参したり、過剰包装を断る」が77.0%と、男性と比べ高くなっています。

年齢別でみると、すべての世代で「マイバッグを持参したり、過剰包装を断る」が、最も高くなっています。

居住地別でみると、笠置町・串原で「家庭から出る生ごみをたい肥化する」の割合が、他の地域に比べ高くなっています。



	特に行っていることはない	地産地消や旬を重視して買い物をする	環境に優しい商品・サービスを選ぶ(リサイクル商品、カーボン・オフセット商品等)	節電行動(電化製品の主電源を切ったり、テレビの視聴を控える等)	節水行動(風呂水の再利用や、シャワーを控えるなど)	家族が皆で集まって過ごしたり、空調の効いた場所等に出かける	省エネ家電やLED電球への交換	緑のカーテン、すだれやよしず、遮熱フィルム(カーテン)等の取り付け	できるだけ公共交通機関や自転車を利用	自動車の運転は、エコドライブを心がける	マイバッグを持参したり、過剰包装を断る	家庭から出る生ごみを、たい肥化する	その他	無回答
全体 (n=987)	8.4%	24.3%	14.5%	47.5%	38.0%	7.3%	40.0%	28.4%	5.2%	27.2%	63.5%	28.4%	1.3%	3.0%
性別														
男性 (n=443)	11.7%	18.7%	12.9%	43.3%	33.0%	4.5%	40.6%	23.0%	4.5%	32.7%	47.9%	23.7%	1.1%	1.6%
女性 (n=538)	5.6%	29.2%	16.0%	51.3%	42.4%	9.7%	39.8%	33.1%	5.8%	22.9%	77.0%	32.5%	1.5%	3.5%
年齢別														
20~29歳 (n=63)	9.5%	9.5%	11.1%	42.9%	33.3%	7.9%	28.6%	19.0%	6.3%	22.2%	61.9%	9.5%	0.0%	0.0%
30~39歳 (n=92)	7.6%	20.7%	6.5%	48.9%	34.8%	17.4%	39.1%	20.7%	2.2%	27.2%	69.6%	14.1%	1.1%	0.0%
40~49歳 (n=133)	5.3%	23.3%	14.3%	50.4%	43.6%	14.3%	39.8%	27.1%	4.5%	29.3%	71.4%	20.3%	2.3%	0.8%
50~59歳 (n=147)	7.5%	23.8%	19.0%	43.5%	36.1%	4.1%	40.1%	28.6%	3.4%	31.3%	66.0%	19.7%	2.0%	2.7%
60~69歳 (n=262)	7.3%	26.3%	16.0%	46.9%	38.5%	5.3%	42.0%	32.1%	3.8%	29.8%	66.0%	32.8%	0.4%	1.5%
70歳以上 (n=283)	11.7%	28.3%	14.5%	49.8%	38.2%	4.2%	41.7%	30.7%	8.1%	23.0%	55.5%	41.3%	1.8%	6.0%
居住地別														
大井町 (n=209)	10.5%	23.9%	12.4%	45.9%	40.7%	10.0%	40.2%	32.5%	7.7%	24.9%	61.2%	20.6%	1.0%	1.9%
長島町 (n=178)	3.4%	28.7%	12.9%	50.0%	41.0%	5.1%	41.0%	30.9%	6.7%	23.6%	65.7%	20.2%	2.2%	2.2%
東野 (n=33)	6.1%	36.4%	18.2%	42.4%	27.3%	18.2%	48.5%	36.4%	6.1%	42.4%	66.7%	24.2%	0.0%	3.0%
三郷町 (n=54)	9.3%	22.2%	13.0%	42.6%	29.6%	13.0%	29.6%	35.2%	1.9%	29.6%	66.7%	29.6%	1.9%	1.9%
武並町 (n=68)	7.4%	20.6%	8.8%	60.3%	47.1%	4.4%	47.1%	27.9%	4.4%	27.9%	69.1%	26.5%	0.0%	1.5%
笠置町 (n=21)	14.3%	19.0%	23.8%	38.1%	42.9%	0.0%	23.8%	9.5%	4.8%	9.5%	47.6%	57.1%	0.0%	4.8%
中野方町 (n=37)	8.1%	18.9%	16.2%	40.5%	37.8%	8.1%	32.4%	21.6%	2.7%	21.6%	62.2%	35.1%	2.7%	0.0%
飯地町 (n=30)	6.7%	16.7%	3.3%	53.3%	43.3%	3.3%	56.7%	20.0%	0.0%	40.0%	73.3%	40.0%	0.0%	6.7%
岩村町 (n=94)	11.7%	24.5%	18.1%	51.1%	40.4%	8.5%	42.6%	28.7%	4.3%	24.5%	64.9%	29.8%	2.1%	0.0%
山岡町 (n=81)	9.9%	21.0%	16.0%	39.5%	34.6%	7.4%	34.6%	24.7%	4.9%	24.7%	55.6%	35.8%	2.5%	3.7%
明智町 (n=112)	8.9%	23.2%	14.3%	46.4%	35.7%	4.5%	39.3%	25.9%	5.4%	33.9%	61.6%	33.0%	0.0%	6.3%
串原 (n=29)	6.9%	31.0%	31.0%	65.5%	31.0%	3.4%	48.3%	31.0%	0.0%	41.4%	79.3%	62.1%	0.0%	0.0%
上矢作町 (n=37)	5.4%	27.0%	18.9%	43.2%	24.3%	5.4%	37.8%	13.5%	2.7%	24.3%	62.2%	24.3%	2.7%	10.8%

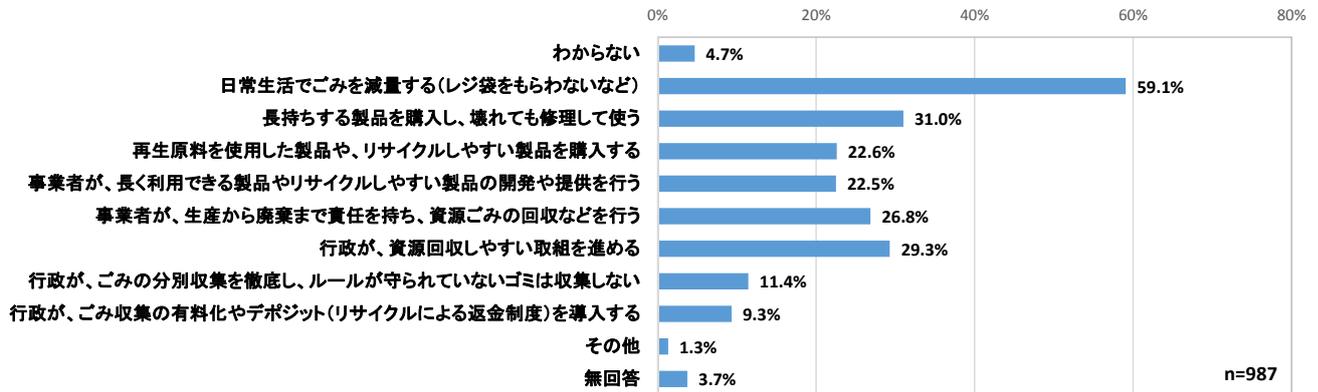
問 32 ごみを減らすために、特に何が必要だと思いますか？

(複数回答：3つまで)

「日常生活でごみを減量する(レジ袋をもらわないなど)」が 59.1%と最も高く、次いで「長持ちする製品を購入し、壊れても修理して使う」が 31.0%、「行政が、資源回収しやすい取組を進める」が 29.3%の順となっています。

年齢別で見ると、すべての年代で「日常生活でごみを減量する(レジ袋をもらわないなど)」が、最も高くなっており、20歳代で「事業者が、長く利用できる製品やリサイクルしやすい製品の開発や提供を行う」の割合が、60歳以上で「事業者が、生産から廃棄まで責任を持ち、資源ごみの回収を行う」の割合が、他の世代に比べ高くなっています。

居住地別で見ると、すべての地区で「日常生活でごみを減量する(レジ袋をもらわないなど)」が最も高くなっており、飯地町で「事業者が生産から廃棄まで責任を持ち資源ごみの改修などを行う」の割合が、他の地区と比べ高くなっています。



	わからない	日常生活でごみを減量する(レジ袋をもらわないなど)	長持ちする製品を購入し、壊れても修理して使う	再生原料を使用した製品や、リサイクルしやすい製品を購入する	事業者が、長く利用できる製品やリサイクルしやすい製品の開発や提供を行う	事業者が、生産から廃棄まで責任を持ち、資源ごみの回収などを行う	行政が、資源回収しやすい取組を進める	行政が、ごみの分別収集を徹底し、ルールが守られていないゴミは収集しない	行政が、ごみ収集の有料化やデポジット(リサイクルによる返金制度)を導入する	その他	無回答
全体 (n=987)	4.7%	59.1%	31.0%	22.6%	22.5%	26.8%	29.3%	11.4%	9.3%	1.3%	3.7%
性別											
男性 (n=443)	6.1%	53.3%	30.7%	20.3%	22.6%	27.8%	29.1%	12.9%	11.5%	1.4%	2.3%
女性 (n=538)	3.5%	64.1%	31.4%	24.5%	22.7%	26.4%	29.6%	10.4%	7.6%	1.3%	4.3%
年齢別											
20~29歳 (n=63)	4.8%	55.6%	28.6%	20.6%	30.2%	9.5%	30.2%	6.3%	14.3%	0.0%	1.6%
30~39歳 (n=92)	5.4%	62.0%	29.3%	23.9%	21.7%	17.4%	22.8%	9.8%	13.0%	2.2%	1.1%
40~49歳 (n=133)	4.5%	58.6%	31.6%	26.3%	25.6%	18.0%	24.1%	9.8%	11.3%	3.0%	3.0%
50~59歳 (n=147)	3.4%	55.8%	31.3%	23.8%	23.1%	25.9%	30.6%	10.2%	11.6%	0.7%	1.4%
60~69歳 (n=262)	4.2%	59.9%	30.9%	24.0%	23.3%	32.8%	32.1%	9.2%	9.2%	1.1%	1.9%
70歳以上 (n=283)	5.3%	60.4%	31.4%	19.4%	18.7%	33.6%	31.1%	17.0%	5.3%	1.1%	7.1%
居住地別											
大井町 (n=209)	4.8%	56.5%	29.2%	26.8%	23.4%	25.4%	26.8%	11.0%	12.9%	3.3%	3.3%
長島町 (n=178)	3.4%	64.6%	30.3%	20.8%	17.4%	28.7%	27.0%	14.0%	7.9%	1.7%	4.5%
東野 (n=33)	0.0%	57.6%	42.4%	21.2%	24.2%	15.2%	39.4%	9.1%	9.1%	3.0%	3.0%
三郷町 (n=54)	5.6%	57.4%	38.9%	20.4%	25.9%	33.3%	20.4%	16.7%	3.7%	0.0%	1.9%
武並町 (n=68)	8.8%	57.4%	25.0%	25.0%	27.9%	19.1%	30.9%	14.7%	4.4%	0.0%	2.9%
笠置町 (n=21)	14.3%	52.4%	33.3%	9.5%	19.0%	38.1%	23.8%	9.5%	19.0%	0.0%	4.8%
中野方町 (n=37)	0.0%	59.5%	27.0%	27.0%	37.8%	21.6%	40.5%	5.4%	5.4%	0.0%	2.7%
飯地町 (n=30)	3.3%	56.7%	40.0%	20.0%	13.3%	56.7%	26.7%	0.0%	6.7%	0.0%	6.7%
岩村町 (n=94)	2.1%	59.6%	30.9%	23.4%	27.7%	21.3%	31.9%	11.7%	11.7%	1.1%	0.0%
山岡町 (n=81)	6.2%	53.1%	34.6%	21.0%	22.2%	29.6%	28.4%	6.2%	12.3%	1.2%	6.2%
明智町 (n=112)	5.4%	59.8%	33.0%	17.0%	17.0%	25.9%	34.8%	11.6%	8.9%	0.0%	5.4%
串原 (n=29)	3.4%	72.4%	27.6%	20.7%	24.1%	27.6%	34.5%	10.3%	6.9%	0.0%	0.0%
上矢作町 (n=37)	5.4%	59.5%	18.9%	32.4%	24.3%	27.0%	27.0%	18.9%	5.4%	0.0%	2.7%

問 33 水の環境を守るために、行政が特に何を行うべきと思いますか？

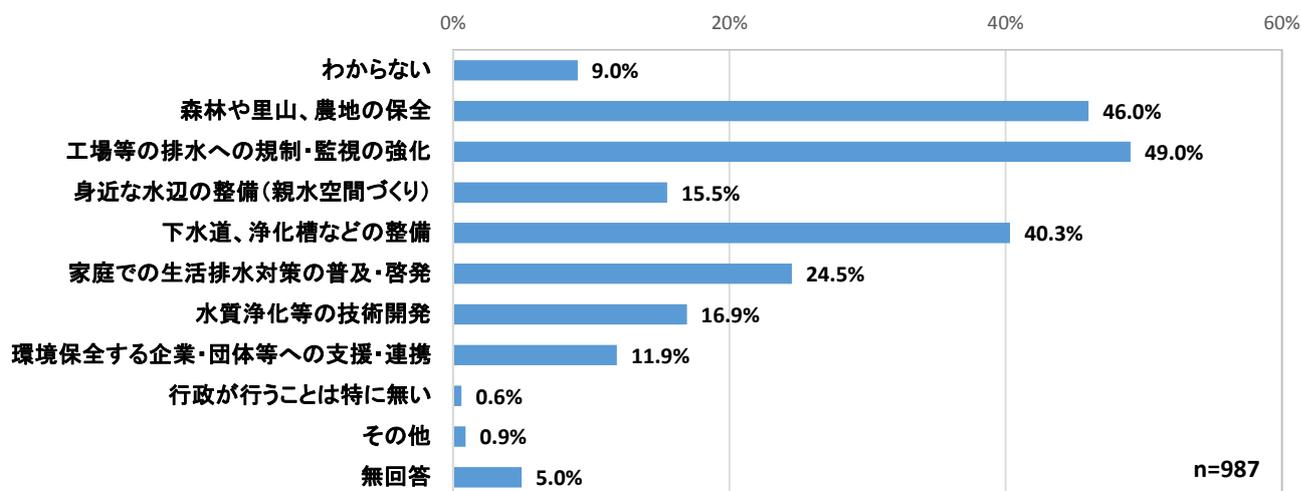
(複数回答：3つまで)

「工場等の排水への規制・監視の強化」が49.0%と最も高く、次いで「森林や里山、農地の保全」が46.0%、「下水道、浄化槽などの整備」が40.3%の順となっている。

性別でみると、男性で「森林や里山、農地の保全」の割合が、女性の割合と比べ高くなっています。

年齢別でみると、30歳代、50歳代、60歳代で「工場棟の排水への規制・監視の強化」の割合が50%以上となっており、60歳代で「森林や里山、農地の保全」の割合が50%以上となっています。

居住地別でみると、大井町・東野で「工場棟の排水への規制・監視の強化」の割合が60%以上、串原・上矢作町で「森林や里山、農地の保全」の割合が60%以上となっています。



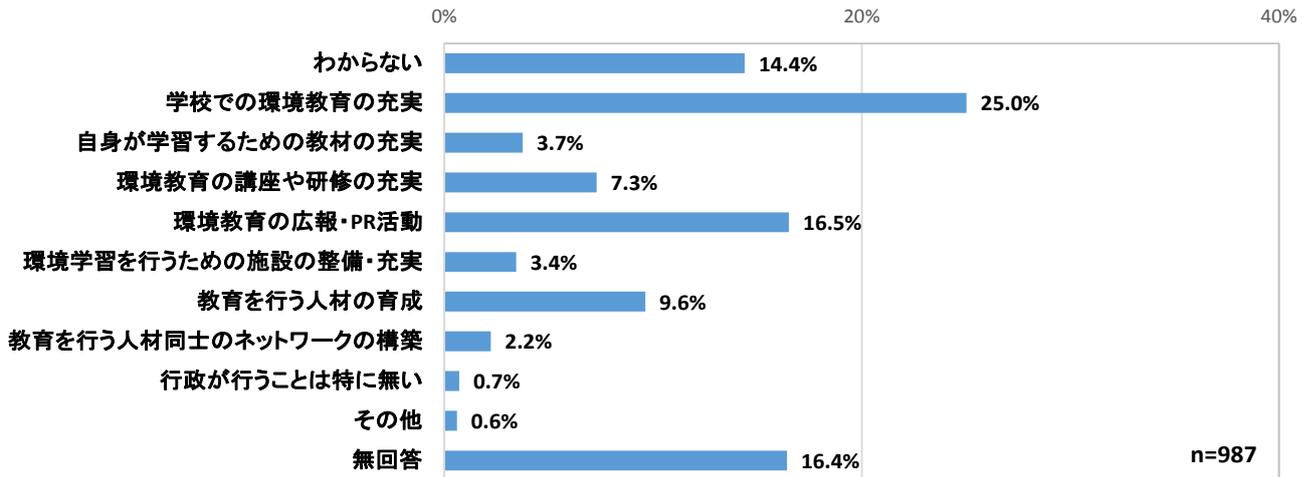
	わからない	森林や里山、農地の保全	工場等の排水への規制・監視の強化	身近な水辺の整備(親水空間づくり)	下水道、浄化槽などの整備	家庭での生活排水対策の普及・啓発	水質浄化等の技術開発	環境保全する企業・団体等への支援・連携	行政が行うことは特に無い	その他	無回答
全体 (n=987)	9.0%	46.0%	49.0%	15.5%	40.3%	24.5%	16.9%	11.9%	0.6%	0.9%	5.0%
性別											
男性 (n=443)	6.8%	52.4%	47.0%	18.1%	39.1%	23.7%	17.6%	14.2%	0.5%	1.4%	3.2%
女性 (n=538)	11.0%	41.1%	51.1%	13.6%	41.4%	25.1%	16.5%	10.0%	0.7%	0.6%	5.8%
年齢別											
20~29歳 (n=63)	11.1%	46.0%	41.3%	14.3%	34.9%	15.9%	25.4%	11.1%	0.0%	0.0%	1.6%
30~39歳 (n=92)	10.9%	33.7%	54.3%	15.2%	44.6%	23.9%	16.3%	12.0%	0.0%	1.1%	0.0%
40~49歳 (n=133)	9.0%	39.1%	43.6%	16.5%	44.4%	24.1%	15.8%	18.8%	0.8%	0.8%	1.5%
50~59歳 (n=147)	7.5%	49.7%	50.3%	17.0%	44.9%	25.9%	19.0%	13.6%	0.0%	1.4%	2.7%
60~69歳 (n=262)	6.9%	53.8%	52.7%	15.6%	43.1%	26.3%	14.5%	11.8%	0.4%	0.8%	3.8%
70歳以上 (n=283)	10.6%	44.9%	48.8%	14.5%	33.6%	24.4%	17.3%	8.1%	1.4%	1.1%	9.9%
居住地別											
大井町 (n=209)	10.0%	33.5%	61.7%	14.8%	36.4%	27.8%	20.6%	12.4%	0.5%	1.4%	1.9%
長島町 (n=178)	6.7%	42.7%	57.3%	14.0%	44.4%	27.0%	23.0%	9.0%	0.6%	0.0%	2.2%
東野 (n=33)	9.1%	54.5%	66.7%	12.1%	39.4%	27.3%	21.2%	12.1%	0.0%	3.0%	3.0%
三郷町 (n=54)	13.0%	55.6%	48.1%	16.7%	42.6%	20.4%	5.6%	14.8%	0.0%	0.0%	1.9%
武並町 (n=68)	16.2%	36.8%	48.5%	8.8%	47.1%	22.1%	14.7%	5.9%	0.0%	1.5%	7.4%
笠置町 (n=21)	9.5%	57.1%	33.3%	9.5%	38.1%	28.6%	9.5%	14.3%	4.8%	0.0%	4.8%
中野方町 (n=37)	13.5%	45.9%	29.7%	18.9%	37.8%	32.4%	10.8%	10.8%	0.0%	2.7%	5.4%
飯地町 (n=30)	3.3%	43.3%	36.7%	23.3%	36.7%	16.7%	6.7%	23.3%	0.0%	3.3%	13.3%
岩村町 (n=94)	7.4%	59.6%	42.6%	18.1%	30.9%	25.5%	17.0%	10.6%	2.1%	1.1%	3.2%
山岡町 (n=81)	6.2%	49.4%	48.1%	9.9%	45.7%	24.7%	16.0%	13.6%	1.2%	0.0%	7.4%
明智町 (n=112)	6.3%	44.6%	40.2%	17.0%	46.4%	20.5%	14.3%	8.9%	0.0%	0.0%	11.6%
串原 (n=29)	6.9%	79.3%	27.6%	24.1%	37.9%	10.3%	13.8%	24.1%	0.0%	0.0%	3.4%
上矢作町 (n=37)	13.5%	62.2%	27.0%	29.7%	32.4%	18.9%	13.5%	18.9%	0.0%	2.7%	5.4%

問 34 環境教育を進めるために、行政が特に何を行うべきと思いますか？ (単数回答)

「学校での環境教育の充実」が 25.0%と最も高く、次いで「環境教育の広報・PR活動」が 16.5%、「わからない」が 14.4%の順となっています。

年齢別でみると、20 歳代～40 歳代で「学校での環境教育の充実」の割合が高くなっており、50 歳代以上で「環境教育の広報・PR 活動」の割合が高くなっています。

居住地別でみると、串原で「学校での環境教育の充実」が 41.4%、飯地町で「環境教育の講座や研修の充実」が 20.0%、笠置町・串原で「教育を行う人材の育成」の割合が他の地区と比べ高くなっています。



	わからない	学校での環境教育の充実	自身が学習するための教材の充実	環境教育の講座や研修の充実	環境教育の広報・PR活動	環境学習を行うための施設の整備・充実	教育を行う人材の育成	教育を行う人材同士のネットワークの構築	行政が行うことは特に無い	その他	無回答
全体 (n=987)	14.4%	25.0%	3.7%	7.3%	16.5%	3.4%	9.6%	2.2%	0.7%	0.6%	16.4%
性別											
男性 (n=443)	11.7%	27.3%	3.6%	7.9%	17.8%	3.8%	9.5%	1.8%	0.9%	0.7%	14.9%
女性 (n=538)	16.7%	23.4%	3.9%	6.9%	15.2%	3.2%	9.9%	2.6%	0.6%	0.6%	17.1%
年齢別											
20～29歳 (n=63)	15.9%	39.7%	0.0%	1.6%	15.9%	4.8%	4.8%	1.6%	0.0%	0.0%	15.9%
30～39歳 (n=92)	20.7%	40.2%	1.1%	1.1%	9.8%	3.3%	6.5%	5.4%	0.0%	0.0%	12.0%
40～49歳 (n=133)	9.0%	35.3%	2.3%	7.5%	12.8%	2.3%	9.8%	1.5%	1.5%	1.5%	16.5%
50～59歳 (n=147)	14.3%	25.2%	4.1%	8.2%	17.0%	3.4%	10.9%	1.4%	1.4%	0.0%	14.3%
60～69歳 (n=262)	11.8%	17.6%	5.0%	11.5%	18.3%	3.8%	13.0%	2.3%	0.8%	0.8%	15.3%
70歳以上 (n=283)	17.3%	19.1%	4.6%	6.4%	19.1%	3.5%	8.1%	2.1%	0.4%	0.7%	18.7%
居住地別											
大井町 (n=209)	14.4%	32.5%	1.9%	4.3%	17.7%	2.4%	7.2%	0.5%	0.0%	1.0%	18.2%
長島町 (n=178)	8.4%	21.3%	5.6%	8.4%	15.7%	2.2%	14.0%	2.8%	0.0%	1.1%	20.2%
東野 (n=33)	9.1%	27.3%	3.0%	6.1%	15.2%	3.0%	9.1%	3.0%	0.0%	0.0%	24.2%
三郷町 (n=54)	27.8%	25.9%	5.6%	5.6%	14.8%	0.0%	5.6%	3.7%	0.0%	1.9%	9.3%
武並町 (n=68)	17.6%	27.9%	7.4%	10.3%	11.8%	2.9%	11.8%	0.0%	2.9%	0.0%	5.9%
笠置町 (n=21)	14.3%	28.6%	0.0%	4.8%	19.0%	4.8%	19.0%	4.8%	0.0%	0.0%	4.8%
中野方町 (n=37)	8.1%	24.3%	2.7%	5.4%	27.0%	8.1%	8.1%	2.7%	0.0%	0.0%	13.5%
飯地町 (n=30)	6.7%	36.7%	0.0%	20.0%	6.7%	6.7%	6.7%	3.3%	0.0%	0.0%	13.3%
岩村町 (n=94)	14.9%	26.6%	4.3%	7.4%	14.9%	3.2%	9.6%	3.2%	1.1%	0.0%	14.9%
山岡町 (n=81)	23.5%	11.1%	6.2%	7.4%	18.5%	8.6%	4.9%	2.5%	3.7%	0.0%	13.6%
明智町 (n=112)	12.5%	22.3%	2.7%	7.1%	20.5%	3.6%	8.0%	2.7%	0.0%	0.0%	20.5%
串原 (n=29)	6.9%	41.4%	3.4%	3.4%	6.9%	0.0%	20.7%	0.0%	0.0%	0.0%	17.2%
上矢作町 (n=37)	24.3%	5.4%	0.0%	10.8%	18.9%	5.4%	10.8%	5.4%	0.0%	2.7%	16.2%

(15) 男女共同参画について

問 35 男女共同参画について、どの程度知っていますか？

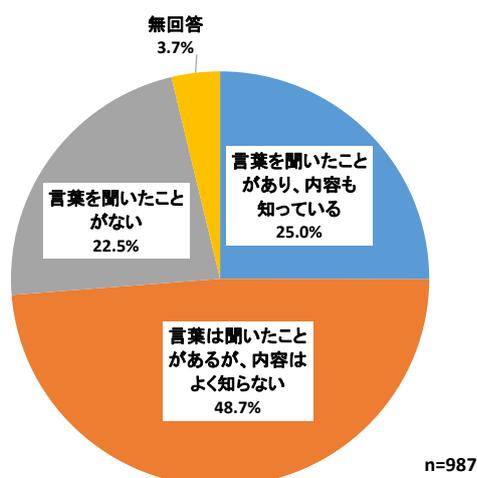
(単数回答)

「言葉は聞いたことがあるが、内容はよく知らない」が 48.7%と最も高く、次いで「言葉を聞いたことがあり、内容も知っている」が 25.0%、「言葉を聞いたことがない」が 22.5%となっています。

性別でみると、女性で「言葉を聞いたことがない」が 26.4%と、男性に比べ高くなっています。

年齢別でみると、30歳代で「言葉を聞いたことがない」の割合が 50%以上と、最も高くなっています。

居住地別にみると、大井町・武並町・笠置町・中野方町で「言葉を聞いたことがない」の割合が、「言葉を聞いたことがあり、内容も知っている」の割合を上回っています。



		言葉を聞いたことがあり、内容も知っている	言葉は聞いたことがあるが、内容はよく知らない	言葉を聞いたことがない	無回答
全体 (n=987)		25.0%	48.7%	22.5%	3.7%
性別	男性 (n=443)	30.5%	49.4%	17.8%	2.3%
	女性 (n=538)	20.8%	48.5%	26.4%	4.3%
年齢別	20～29歳 (n=63)	33.3%	50.8%	14.3%	1.6%
	30～39歳 (n=92)	9.8%	38.0%	52.2%	0.0%
	40～49歳 (n=133)	24.8%	49.6%	24.8%	0.8%
	50～59歳 (n=147)	23.8%	51.0%	21.8%	3.4%
	60～69歳 (n=262)	25.2%	56.5%	17.2%	1.1%
	70歳以上 (n=283)	29.0%	44.2%	19.1%	7.8%
居住地別	大井町 (n=209)	21.1%	52.6%	24.4%	1.9%
	長島町 (n=178)	27.5%	48.9%	21.3%	2.2%
	東野 (n=33)	30.3%	36.4%	27.3%	6.1%
	三郷町 (n=54)	31.5%	46.3%	22.2%	0.0%
	武並町 (n=68)	27.9%	35.3%	32.4%	2.9%
	笠置町 (n=21)	14.3%	66.7%	19.0%	0.0%
	中野方町 (n=37)	10.8%	67.6%	18.9%	2.7%
	飯地町 (n=30)	23.3%	46.7%	23.3%	6.7%
	岩村町 (n=94)	31.9%	40.4%	25.5%	2.1%
	山岡町 (n=81)	27.2%	48.1%	19.8%	4.9%
	明智町 (n=112)	18.8%	55.4%	17.0%	8.9%
	串原 (n=29)	31.0%	44.8%	20.7%	3.4%
	上矢作町 (n=37)	32.4%	43.2%	16.2%	8.1%

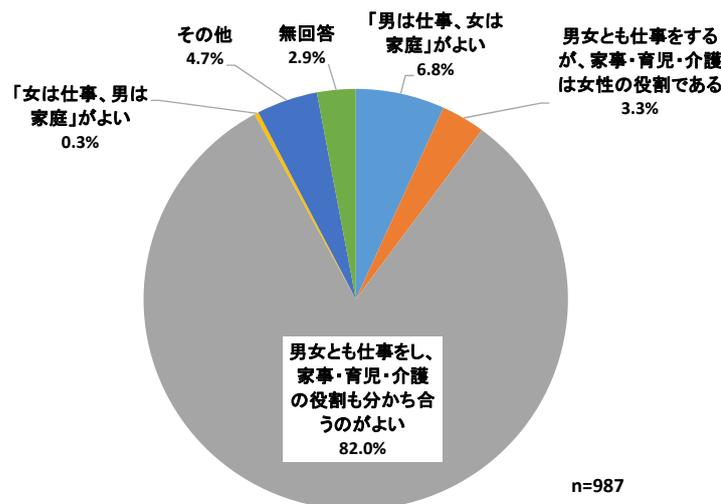
問 36 「男は仕事、女は家庭」という考えについて、どのように思いますか？（単数回答）

「男女とも仕事をし、家事・育児・介護の役割も分かち合うのがよい」が82.0%と最も高く、次いで「『男は仕事、女は家庭』がよい」が6.8%、「その他」が4.7%の順となっています。

性別でみると、男女ともに「男女とも仕事をし、家事・育児・介護の役割も分かち合うのがよい」の割合が約8割となっています。

年齢別でみると、年代が低いほど「『男は仕事、女は家庭』がよい」の割合が低くなり、年代が高いほど割合が高くなる傾向となっています。

居住地別でみると、すべての地区で「男女とも仕事をし、家事・育児・介護の役割も分かち合うのがよい」が75%以上となっています。

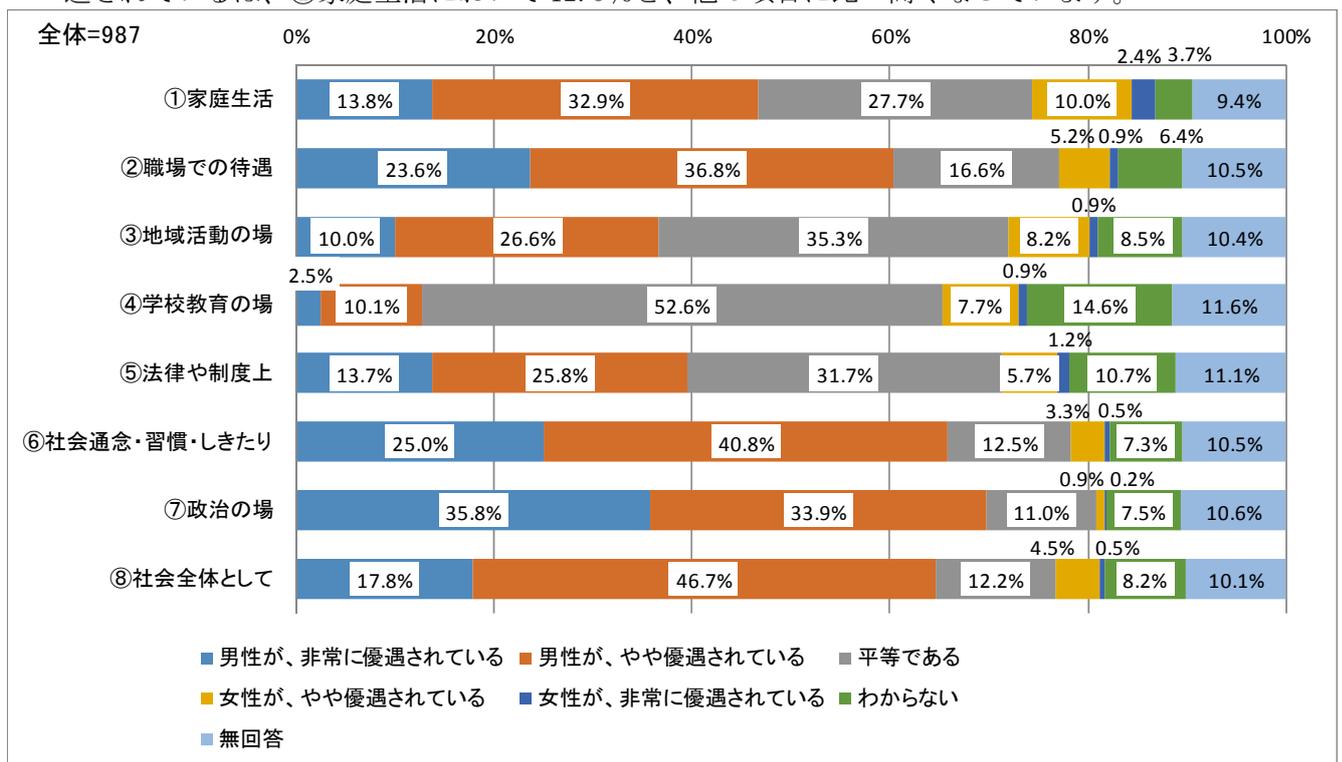


		「男は仕事、女は家庭』がよい	男女とも仕事をするが、家事・育児・介護は女性の役割である	男女とも仕事をし、家事・育児・介護の役割も分かち合うのがよい	「女は仕事、男は家庭』がよい	その他	無回答
全体 (n=987)		6.8%	3.3%	82.0%	0.3%	4.7%	2.9%
性別	男性 (n=443)	7.9%	5.0%	79.9%	0.5%	4.1%	2.7%
	女性 (n=538)	5.9%	2.0%	84.2%	0.2%	5.2%	2.4%
年齢別	20～29歳 (n=63)	1.6%	0.0%	92.1%	1.6%	4.8%	0.0%
	30～39歳 (n=92)	4.3%	4.3%	81.5%	1.1%	8.7%	0.0%
	40～49歳 (n=133)	5.3%	5.3%	77.4%	0.8%	9.8%	1.5%
	50～59歳 (n=147)	4.8%	2.0%	85.0%	0.0%	5.4%	2.7%
	60～69歳 (n=262)	8.0%	1.5%	85.9%	0.0%	3.8%	0.8%
	70歳以上 (n=283)	9.5%	5.3%	77.7%	0.0%	1.4%	6.0%
居住地別	大井町 (n=209)	8.1%	2.4%	82.8%	1.0%	4.3%	1.4%
	長島町 (n=178)	5.6%	3.9%	82.6%	0.0%	5.6%	2.2%
	東野 (n=33)	3.0%	6.1%	78.8%	0.0%	9.1%	3.0%
	三郷町 (n=54)	1.9%	3.7%	88.9%	0.0%	3.7%	1.9%
	武並町 (n=68)	5.9%	4.4%	85.3%	0.0%	0.0%	2.9%
	笠置町 (n=21)	14.3%	9.5%	71.4%	0.0%	4.8%	0.0%
	中野方町 (n=37)	10.8%	2.7%	81.1%	0.0%	5.4%	0.0%
	飯地町 (n=30)	3.3%	0.0%	90.0%	0.0%	0.0%	6.7%
	岩村町 (n=94)	9.6%	4.3%	78.7%	1.1%	4.3%	2.1%
	山岡町 (n=81)	6.2%	2.5%	82.7%	0.0%	4.9%	3.7%
	明智町 (n=112)	7.1%	3.6%	78.6%	0.0%	4.5%	6.3%
	串原 (n=29)	3.4%	3.4%	79.3%	0.0%	13.8%	0.0%
	上矢作町 (n=37)	8.1%	0.0%	81.1%	0.0%	5.4%	5.4%

問 37 次の①～⑧について、男女のどちらが優遇されていると感じますか？

(それぞれ1つに回答)

②職場での待遇、⑥社会通念・習慣・しきたり、⑦政治の場、⑧社会全体としては、「男性が、非常に優遇されている」と「男性が、やや優遇されている」を合わせた男性の方が優遇されているが60%以上と高くなっています。次いで、①家庭生活、③地域活動の場、⑤法律や制度上で、男性の方が優遇されているは36%から46%となっています。④学校教育の場では「平等である」が52.6%と高く、男性の方が優遇されているが12.7%と低くなっています。③地域活動の場と⑤法律や制度上でも「平等である」が30%以上となっています。「女性が、非常に優遇されている」と「女性が、やや優遇されている」を合わせた女性の方が優遇されているは、①家庭生活において12.5%と、他の項目に比べ高くなっています。



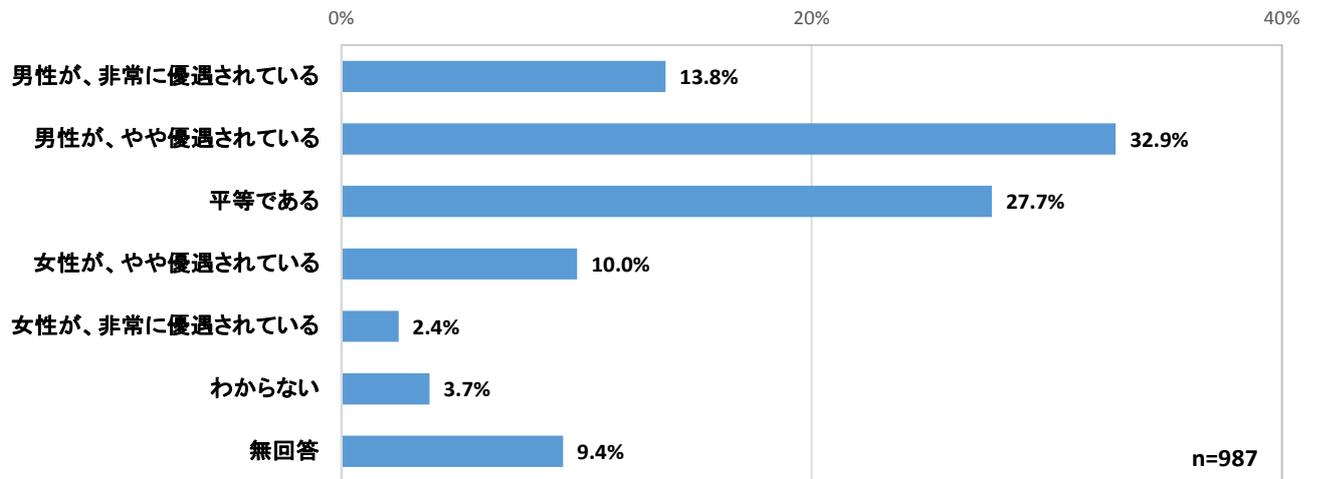
《① 家庭生活》

「男性が、やや優遇されている」が 32.9%と最も高く、次いで「平等である」が 27.7%、「男性が、非常に優遇されている」が 13.8%の順となっています。「男性が、非常に優遇されている」と「男性が、やや優遇されている」を合わせた男性の方が優遇されているが 46.7%、「女性が、非常に優遇されている」と「女性が、やや優遇されている」を合わせた女性の方が優遇されているは 12.4%となっています。

性別でみると、男性で「男性が、非常に優遇されている」が 33.4%と最も高く、女性で男性の方が優遇されているが 50.9%と高くなっています。

年齢別でみると、20 歳代～30 歳代で「平等である」が最も高くなっているが、40 歳代以上で「男性が、やや優遇されている」が最も高くなっています。

居住地別では、中野方町・岩村町で「男性が、非常に優遇されている」の割合が、笠置町で「女性が、やや優遇されている」の割合が、他の地区に比べ高くなっています。



	男性が、非常に優遇されている	男性が、やや優遇されている	平等である	女性が、やや優遇されている	女性が、非常に優遇されている	わからない	無回答
全体 (n=987)	13.8%	32.9%	27.7%	10.0%	2.4%	3.7%	9.4%
性別	男性 (n=443)	8.8%	33.4%	31.6%	12.2%	2.9%	7.2%
	女性 (n=538)	18.0%	32.9%	24.5%	8.4%	2.0%	10.4%
年齢別	20～29歳 (n=63)	9.5%	22.2%	39.7%	12.7%	1.6%	3.2%
	30～39歳 (n=92)	9.8%	27.2%	37.0%	13.0%	7.6%	0.0%
	40～49歳 (n=133)	9.8%	33.8%	27.8%	18.0%	3.0%	2.3%
	50～59歳 (n=147)	12.9%	36.1%	32.7%	7.5%	0.7%	6.1%
	60～69歳 (n=262)	17.2%	38.2%	26.3%	10.3%	2.3%	3.4%
	70歳以上 (n=283)	14.8%	30.7%	20.8%	6.0%	1.8%	23.7%
居住地別	大井町 (n=209)	15.8%	29.7%	31.6%	8.6%	2.4%	8.6%
	長島町 (n=178)	13.5%	32.0%	26.4%	13.5%	2.8%	6.7%
	東野 (n=33)	15.2%	42.4%	21.2%	15.2%	0.0%	6.1%
	三郷町 (n=54)	14.8%	31.5%	27.8%	11.1%	3.7%	3.7%
	武並町 (n=68)	8.8%	39.7%	27.9%	8.8%	1.5%	7.4%
	笠置町 (n=21)	4.8%	23.8%	33.3%	23.8%	0.0%	14.3%
	中野方町 (n=37)	18.9%	35.1%	18.9%	8.1%	5.4%	8.1%
	飯地町 (n=30)	13.3%	30.0%	36.7%	13.3%	0.0%	6.7%
	岩村町 (n=94)	19.1%	33.0%	23.4%	9.6%	3.2%	8.5%
	山岡町 (n=81)	14.8%	42.0%	19.8%	8.6%	1.2%	9.9%
	明智町 (n=112)	11.6%	30.4%	35.7%	8.0%	2.7%	9.8%
	串原 (n=29)	13.8%	31.0%	27.6%	3.4%	0.0%	17.2%
	上矢作町 (n=37)	2.7%	32.4%	21.6%	5.4%	5.4%	27.0%

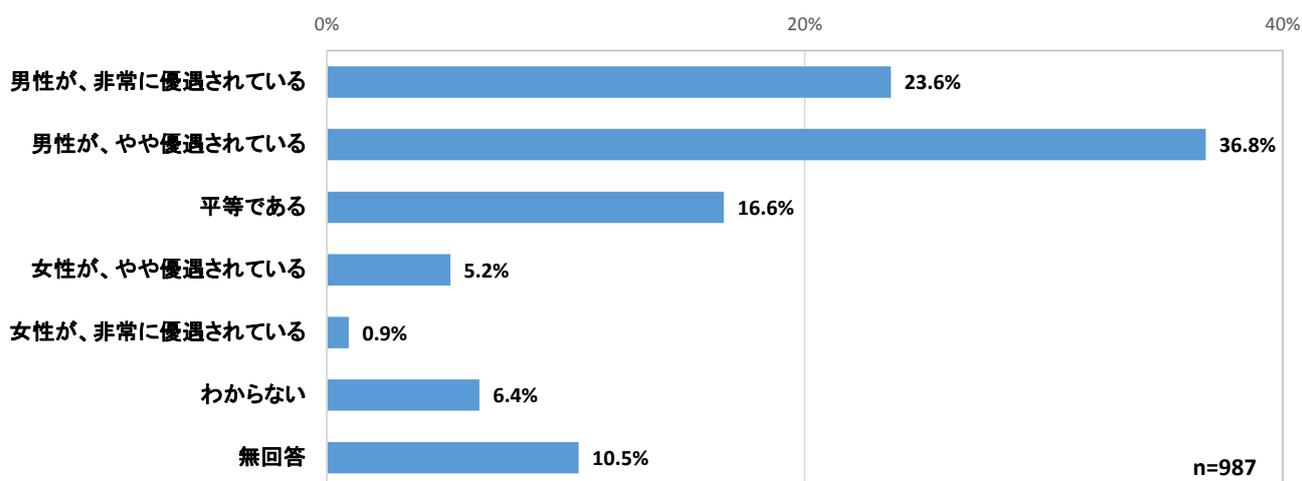
《②職場での待遇》

「男性が、やや優遇されている」が36.8%と最も高く、次いで「男性が、非常に優遇されている」が23.6%、「平等である」が16.6%の順となっています。「男性が、非常に優遇されている」と「男性が、やや優遇されている」を合わせた男性の方が優遇されているが60.4%、「女性が、非常に優遇されている」と「女性が、やや優遇されている」を合わせた女性の方が優遇されているは6.1%となっています。

性別でみると、男性の方が優遇されているが男女ともに6割以上と、高くなっています。

年齢別でみると、すべての年代で男性の方が優遇されているが50%以上となっており、特に60歳代で70%以上となっています。

居住地別でみると、笠置町で「女性が、やや優遇されている」が14.3%と、他の地区と比べ高くなっています。



		男性が、非常に優遇されている	男性が、やや優遇されている	平等である	女性が、やや優遇されている	女性が、非常に優遇されている	わからない	無回答
全体 (n=987)		23.6%	36.8%	16.6%	5.2%	0.9%	6.4%	10.5%
性別	男性 (n=443)	21.0%	39.3%	18.5%	7.0%	1.8%	4.7%	7.7%
	女性 (n=538)	26.0%	35.1%	15.2%	3.7%	0.2%	7.6%	12.1%
年齢別	20~29歳 (n=63)	25.4%	28.6%	19.0%	11.1%	4.8%	7.9%	3.2%
	30~39歳 (n=92)	19.6%	40.2%	18.5%	12.0%	0.0%	9.8%	0.0%
	40~49歳 (n=133)	24.8%	33.1%	25.6%	8.3%	2.3%	3.8%	2.3%
	50~59歳 (n=147)	26.5%	32.7%	25.2%	4.8%	1.4%	4.1%	5.4%
	60~69歳 (n=262)	29.8%	40.8%	13.7%	4.2%	0.4%	6.5%	4.6%
	70歳以上 (n=283)	17.0%	37.8%	9.9%	1.4%	0.0%	7.4%	26.5%
居住地別	大井町 (n=209)	25.4%	34.9%	18.2%	6.2%	0.5%	6.7%	8.1%
	長島町 (n=178)	24.7%	38.8%	15.7%	5.6%	1.1%	6.2%	7.9%
	東野 (n=33)	33.3%	36.4%	15.2%	0.0%	0.0%	9.1%	6.1%
	三郷町 (n=54)	24.1%	42.6%	20.4%	1.9%	0.0%	7.4%	3.7%
	武並町 (n=68)	23.5%	38.2%	16.2%	2.9%	0.0%	7.4%	10.3%
	笠置町 (n=21)	9.5%	33.3%	19.0%	14.3%	0.0%	4.8%	19.0%
	中野方町 (n=37)	16.2%	54.1%	13.5%	5.4%	0.0%	5.4%	5.4%
	飯地町 (n=30)	26.7%	26.7%	20.0%	0.0%	0.0%	13.3%	13.3%
	岩村町 (n=94)	24.5%	34.0%	14.9%	7.4%	2.1%	5.3%	11.7%
	山岡町 (n=81)	22.2%	29.6%	21.0%	3.7%	3.7%	8.6%	11.1%
	明智町 (n=112)	21.4%	43.8%	13.4%	5.4%	0.9%	4.5%	10.7%
	串原 (n=29)	20.7%	31.0%	17.2%	6.9%	0.0%	6.9%	17.2%
	上矢作町 (n=37)	24.3%	29.7%	10.8%	5.4%	0.0%	0.0%	29.7%

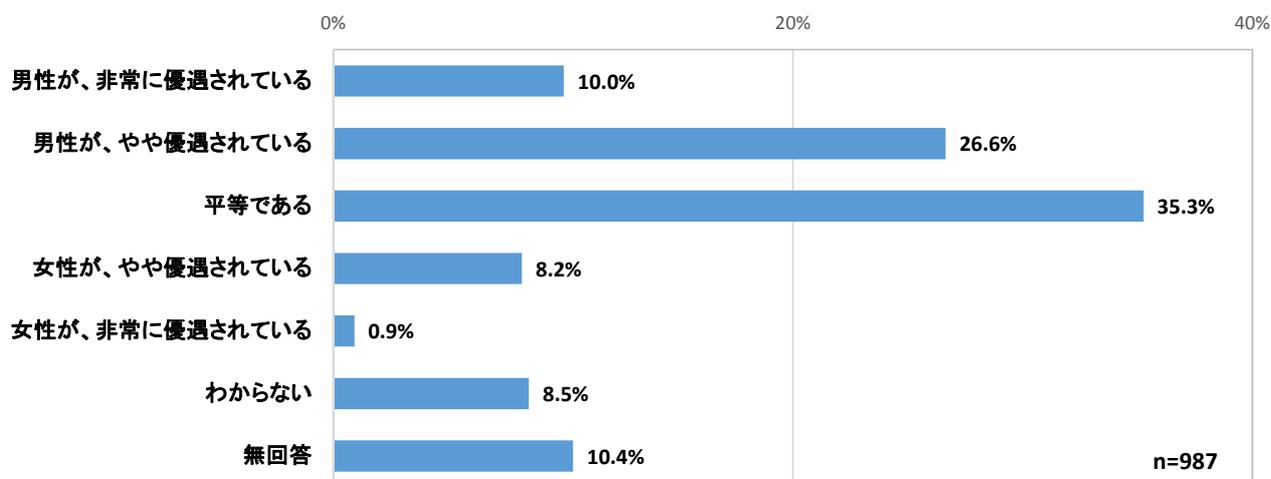
《③地域活動の場》

「平等である」が35.3%で最も高く、次いで「男性が、やや優遇されている」が26.6%、「男性が、非常に優遇されている」10.0%の順となっています。「男性が、非常に優遇されている」と「男性が、やや優遇されている」を合わせた男性の方が優遇されているが36.6%、「女性が、非常に優遇されている」と「女性が、やや優遇されている」を合わせた女性の方が優遇されているは9.1%となっています。

性別でみると、男性で「平等である」が39.3%と高く、女性で男性の方が優遇されているが37.2%と男性に比べ高くなっています。

年齢別でみると、20歳代～30歳代で「平等である」が5割弱と高くなっており、また60歳代で男性が優遇されているが45.8%と高くなっています。

居住地別でみると、東野で「男性が、やや優遇されている」、笠置町・中野方町で「女性が、やや優遇されている」が、他の地区に比べ高くなっています。



		男性が、非常に優遇されている	男性が、やや優遇されている	平等である	女性が、やや優遇されている	女性が、非常に優遇されている	わからない	無回答
全体 (n=987)		10.0%	26.6%	35.3%	8.2%	0.9%	8.5%	10.4%
性別	男性 (n=443)	9.3%	27.3%	39.3%	11.1%	0.7%	5.2%	7.2%
	女性 (n=538)	10.8%	26.4%	32.2%	5.9%	1.1%	11.3%	12.3%
年齢別	20～29歳 (n=63)	1.6%	23.8%	46.0%	6.3%	0.0%	19.0%	3.2%
	30～39歳 (n=92)	5.4%	20.7%	47.8%	10.9%	1.1%	13.0%	1.1%
	40～49歳 (n=133)	10.5%	24.1%	38.3%	14.3%	0.8%	9.8%	2.3%
	50～59歳 (n=147)	12.2%	26.5%	37.4%	8.8%	0.7%	8.2%	6.1%
	60～69歳 (n=262)	12.6%	33.2%	34.0%	6.9%	1.1%	8.8%	3.4%
	70歳以上 (n=283)	9.9%	24.7%	27.6%	6.0%	1.1%	4.2%	26.5%
居住地別	大井町 (n=209)	9.6%	19.1%	40.2%	9.1%	0.5%	12.0%	9.6%
	長島町 (n=178)	10.1%	29.8%	33.7%	9.6%	0.6%	9.0%	7.3%
	東野 (n=33)	9.1%	51.5%	24.2%	3.0%	0.0%	6.1%	6.1%
	三郷町 (n=54)	11.1%	35.2%	44.4%	3.7%	0.0%	1.9%	3.7%
	武並町 (n=68)	11.8%	22.1%	38.2%	7.4%	1.5%	10.3%	7.4%
	笠置町 (n=21)	4.8%	23.8%	28.6%	19.0%	0.0%	4.8%	19.0%
	中野方町 (n=37)	10.8%	21.6%	37.8%	13.5%	0.0%	8.1%	8.1%
	飯地町 (n=30)	16.7%	30.0%	23.3%	6.7%	0.0%	13.3%	10.0%
	岩村町 (n=94)	8.5%	24.5%	39.4%	9.6%	2.1%	5.3%	10.6%
	山岡町 (n=81)	12.3%	24.7%	33.3%	8.6%	2.5%	8.6%	9.9%
	明智町 (n=112)	8.0%	36.6%	29.5%	5.4%	0.9%	8.0%	11.6%
	串原 (n=29)	17.2%	10.3%	41.4%	10.3%	0.0%	3.4%	17.2%
	上矢作町 (n=37)	5.4%	27.0%	24.3%	2.7%	2.7%	8.1%	29.7%

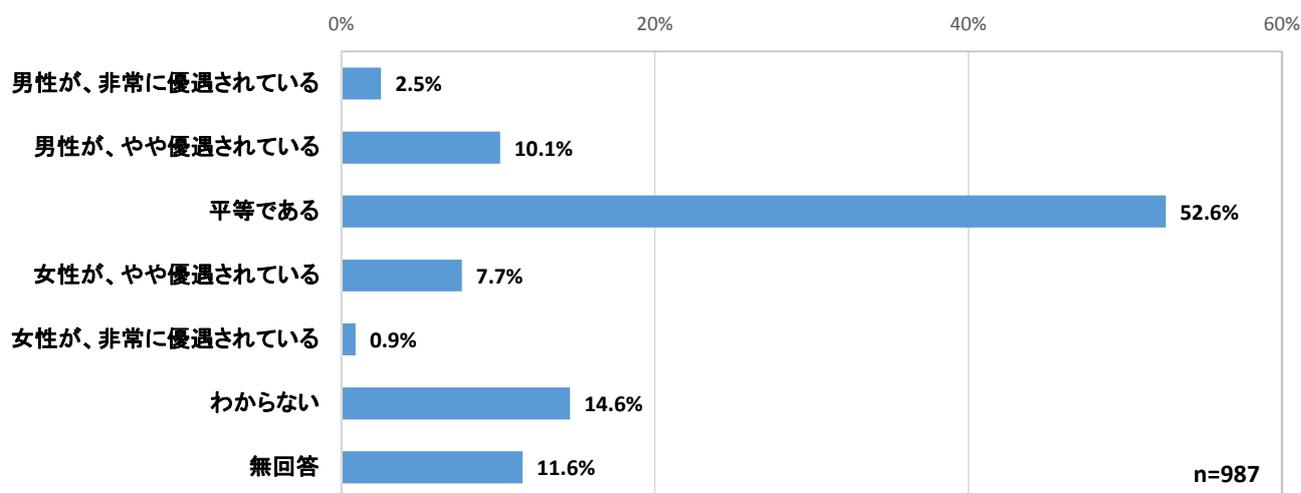
《④学校教育の場》

「平等である」が52.6%で最も高く、次いで「わからない」が14.6%、「男性が、やや優遇されている」が10.1%の順となっています。「男性が、非常に優遇されている」と「男性が、やや優遇されている」を合わせた男性の方が優遇されているが12.7%、「女性が、非常に優遇されている」と「女性が、やや優遇されている」を合わせた女性の方が優遇されているのは8.6%となっています。

性別でみると、男性・女性ともに「平等である」の割合が高くなっています。

年齢別でみると、20歳代、30歳代、50歳代で「平等である」が6割以上であり、他の年代に比べ高くなっています。

居住地別でみると、東野・三郷町で「男性が、やや優遇されている」、長島町・三郷町で「女性が、やや優遇されている」が、他の地区に比べ高くなっています。



	男性が、非常に優遇されている	男性が、やや優遇されている	平等である	女性が、やや優遇されている	女性が、非常に優遇されている	わからない	無回答
全体 (n=987)	2.5%	10.1%	52.6%	7.7%	0.9%	14.6%	11.6%
性別							
男性 (n=443)	0.9%	9.3%	56.4%	10.8%	1.1%	12.9%	8.6%
女性 (n=538)	3.9%	11.0%	50.0%	5.2%	0.7%	16.2%	13.0%
年齢別							
20～29歳 (n=63)	0.0%	11.1%	61.9%	11.1%	0.0%	12.7%	3.2%
30～39歳 (n=92)	0.0%	9.8%	63.0%	8.7%	1.1%	16.3%	1.1%
40～49歳 (n=133)	4.5%	12.0%	58.6%	6.8%	0.8%	15.0%	2.3%
50～59歳 (n=147)	2.7%	8.8%	60.5%	2.0%	0.7%	18.4%	6.8%
60～69歳 (n=262)	2.3%	13.0%	53.4%	9.9%	1.1%	15.3%	5.0%
70歳以上 (n=283)	2.8%	7.4%	40.3%	7.8%	1.1%	12.0%	28.6%
居住地別							
大井町 (n=209)	1.9%	12.9%	54.1%	6.2%	0.5%	14.4%	10.0%
長島町 (n=178)	3.4%	10.1%	49.4%	13.5%	0.6%	15.2%	7.9%
東野 (n=33)	6.1%	15.2%	54.5%	3.0%	0.0%	9.1%	12.1%
三郷町 (n=54)	1.9%	16.7%	48.1%	14.8%	0.0%	14.8%	3.7%
武並町 (n=68)	2.9%	11.8%	52.9%	7.4%	2.9%	10.3%	10.3%
笠置町 (n=21)	0.0%	4.8%	47.6%	9.5%	0.0%	19.0%	19.0%
中野方町 (n=37)	5.4%	5.4%	48.6%	8.1%	5.4%	21.6%	5.4%
飯地町 (n=30)	0.0%	6.7%	53.3%	10.0%	0.0%	16.7%	13.3%
岩村町 (n=94)	2.1%	4.3%	64.9%	2.1%	1.1%	13.8%	11.7%
山岡町 (n=81)	1.2%	8.6%	55.6%	8.6%	0.0%	14.8%	11.1%
明智町 (n=112)	2.7%	8.9%	53.6%	5.4%	1.8%	13.4%	14.3%
串原 (n=29)	3.4%	10.3%	44.8%	3.4%	0.0%	20.7%	17.2%
上矢作町 (n=37)	2.7%	10.8%	37.8%	2.7%	0.0%	16.2%	29.7%

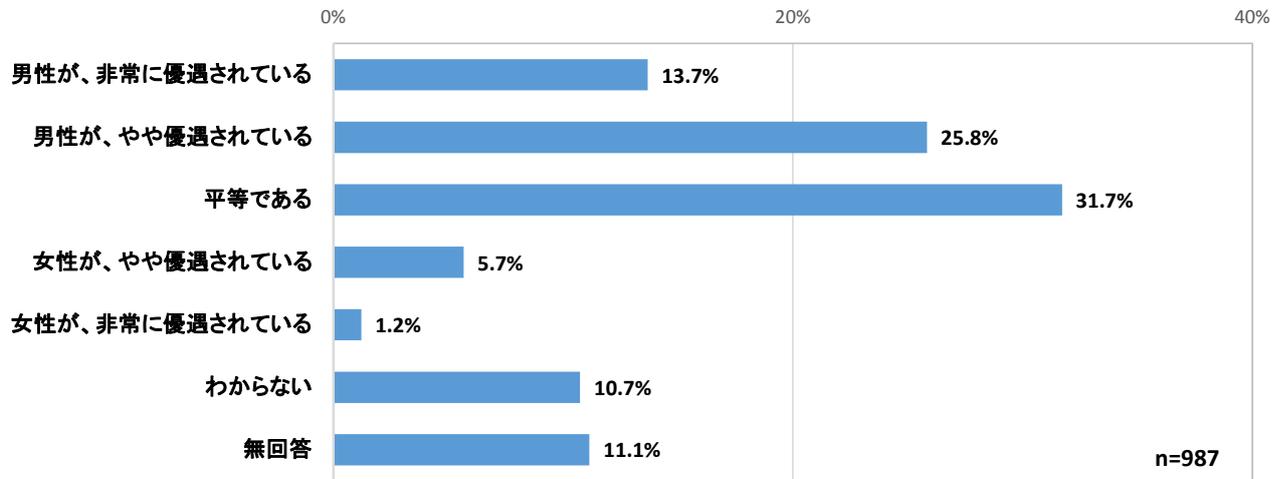
《⑤法律や制度上》

「平等である」が31.7%で最も高く、次いで「男性が、やや優遇されている」が25.8%、「男性が、非常に優遇されている」が13.7%の順となっています。「男性が、非常に優遇されている」と「男性が、やや優遇されている」を合わせた男性の方が優遇されているが39.5%、「女性が、非常に優遇されている」と「女性が、やや優遇されている」を合わせた女性の方が優遇されているは6.9%となっています。

性別でみると、男性で「平等である」が43.6%と高く、女性で男性の方が優遇されているが45.9%と、男性に比べ高くなっています。

年齢別でみると、30歳代、50歳代、60歳代で男性の方が優遇されているが40%以上と、他の年代に比べ高くなっています。

居住地別でみると、東野で男性が優遇されているが60%以上、笠置町・飯地町で女性が優遇されているが10%以上と、他の地区に比べ高くなっています。



		男性が、非常に優遇されている	男性が、やや優遇されている	平等である	女性が、やや優遇されている	女性が、非常に優遇されている	わからない	無回答
全体 (n=987)		13.7%	25.8%	31.7%	5.7%	1.2%	10.7%	11.1%
性別	男性 (n=443)	8.4%	23.9%	43.6%	7.9%	1.8%	6.1%	8.4%
	女性 (n=538)	18.2%	27.7%	22.3%	3.9%	0.7%	14.7%	12.5%
年齢別	20~29歳 (n=63)	9.5%	30.2%	30.2%	7.9%	4.8%	14.3%	3.2%
	30~39歳 (n=92)	17.4%	23.9%	31.5%	12.0%	2.2%	13.0%	0.0%
	40~49歳 (n=133)	12.8%	24.1%	38.3%	7.5%	2.3%	12.0%	3.0%
	50~59歳 (n=147)	15.0%	30.6%	27.2%	10.9%	0.0%	10.9%	5.4%
	60~69歳 (n=262)	14.9%	30.5%	37.4%	2.3%	1.5%	9.2%	4.2%
	70歳以上 (n=283)	11.7%	20.1%	26.5%	2.8%	0.0%	10.2%	28.6%
居住地別	大井町 (n=209)	13.9%	24.4%	33.0%	6.2%	1.9%	11.5%	9.1%
	長島町 (n=178)	15.2%	28.1%	30.9%	6.2%	2.2%	9.0%	8.4%
	東野 (n=33)	15.2%	45.5%	21.2%	6.1%	0.0%	6.1%	6.1%
	三郷町 (n=54)	14.8%	22.2%	38.9%	3.7%	0.0%	16.7%	3.7%
	武並町 (n=68)	10.3%	32.4%	29.4%	4.4%	0.0%	11.8%	10.3%
	笠置町 (n=21)	4.8%	23.8%	23.8%	19.0%	0.0%	9.5%	19.0%
	中野方町 (n=37)	16.2%	18.9%	24.3%	5.4%	0.0%	27.0%	8.1%
	飯地町 (n=30)	10.0%	23.3%	30.0%	6.7%	3.3%	13.3%	13.3%
	岩村町 (n=94)	14.9%	20.2%	37.2%	4.3%	2.1%	8.5%	12.8%
	山岡町 (n=81)	16.0%	27.2%	33.3%	4.9%	0.0%	6.2%	12.3%
	明智町 (n=112)	10.7%	31.3%	32.1%	6.3%	0.9%	8.0%	10.7%
	串原 (n=29)	13.8%	17.2%	37.9%	0.0%	0.0%	13.8%	17.2%
	上矢作町 (n=37)	16.2%	13.5%	21.6%	5.4%	0.0%	13.5%	29.7%

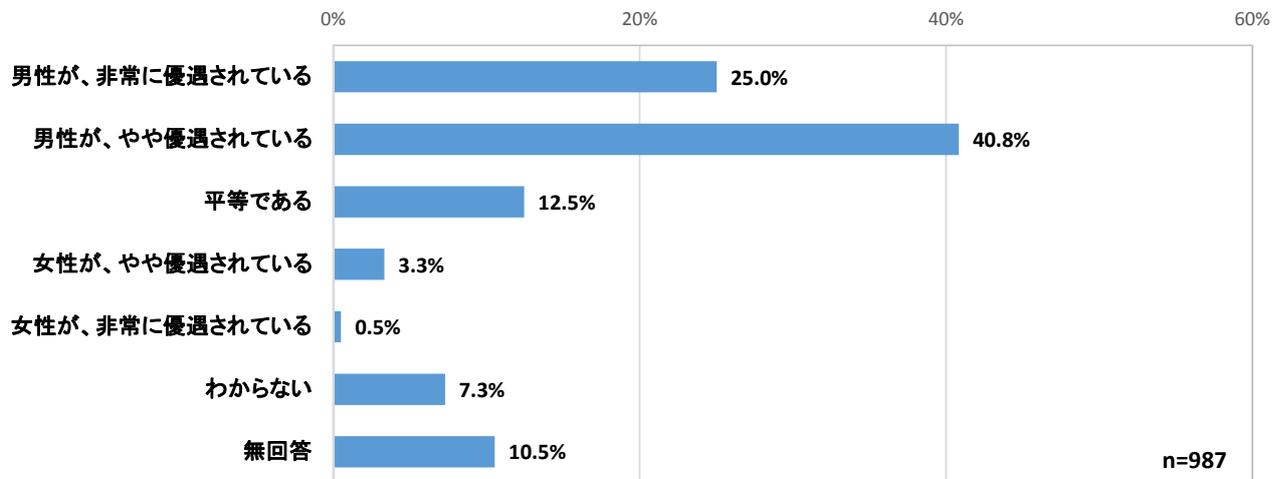
《⑥社会通念・慣習・しきたり》

「男性が、やや優遇されている」が40.8%と最も高く、次いで「男性が、非常に優遇されている」が25.0%、「平等である」が12.5%の順となっている。「男性が、非常に優遇されている」と「男性が、やや優遇されている」を合わせた男性の方が優遇されているが65.9%、「女性が、非常に優遇されている」と「女性が、やや優遇されている」を合わせた女性の方が優遇されているは3.9%となっています。

性別でみると、男性で「男性が、やや優遇されている」が47.4%と高く、女性で「男性が、非常に優遇されている」が30.5%と男性に比べ高くなっています。

年齢別でみると、40歳代～60歳代で男性の方が優遇されているが70%以上と、他の年代に比べ高くなっています。

居住地別でみると、東野・三郷町・飯地町・山岡町で男性が優遇されているが70%以上と、他の居住地に比べ高くなっています。



		男性が、非常に優遇されている	男性が、やや優遇されている	平等である	女性が、やや優遇されている	女性が、非常に優遇されている	わからない	無回答
全体 (n=987)		25.0%	40.8%	12.5%	3.3%	0.5%	7.3%	10.5%
性別	男性 (n=443)	18.7%	47.4%	14.9%	5.0%	0.2%	6.8%	7.0%
	女性 (n=538)	30.5%	35.9%	10.6%	2.0%	0.7%	7.8%	12.5%
年齢別	20～29歳 (n=63)	20.6%	39.7%	15.9%	4.8%	0.0%	14.3%	4.8%
	30～39歳 (n=92)	29.3%	35.9%	14.1%	2.2%	0.0%	18.5%	0.0%
	40～49歳 (n=133)	24.1%	50.4%	14.3%	3.8%	0.8%	4.5%	2.3%
	50～59歳 (n=147)	28.6%	45.6%	10.2%	2.7%	0.0%	7.5%	5.4%
	60～69歳 (n=262)	28.2%	46.2%	11.8%	3.4%	1.1%	5.3%	3.8%
	70歳以上 (n=283)	20.8%	31.1%	12.4%	3.5%	0.0%	5.3%	26.9%
居住地別	大井町 (n=209)	23.9%	43.1%	13.4%	3.3%	0.0%	7.2%	9.1%
	長島町 (n=178)	24.2%	42.1%	15.2%	3.4%	1.7%	6.2%	7.3%
	東野 (n=33)	30.3%	48.5%	9.1%	3.0%	0.0%	3.0%	6.1%
	三郷町 (n=54)	27.8%	44.4%	13.0%	1.9%	1.9%	7.4%	3.7%
	武並町 (n=68)	20.6%	47.1%	11.8%	1.5%	0.0%	10.3%	7.4%
	笠置町 (n=21)	19.0%	33.3%	4.8%	14.3%	0.0%	9.5%	19.0%
	中野方町 (n=37)	13.5%	51.4%	5.4%	5.4%	2.7%	13.5%	8.1%
	飯地町 (n=30)	26.7%	46.7%	13.3%	0.0%	0.0%	3.3%	10.0%
	岩村町 (n=94)	33.0%	36.2%	10.6%	3.2%	0.0%	6.4%	10.6%
	山岡町 (n=81)	33.3%	38.3%	9.9%	3.7%	0.0%	6.2%	8.6%
	明智町 (n=112)	24.1%	34.8%	15.2%	5.4%	0.0%	7.1%	13.4%
	串原 (n=29)	20.7%	37.9%	17.2%	0.0%	0.0%	6.9%	17.2%
	上矢作町 (n=37)	18.9%	27.0%	8.1%	0.0%	0.0%	13.5%	32.4%

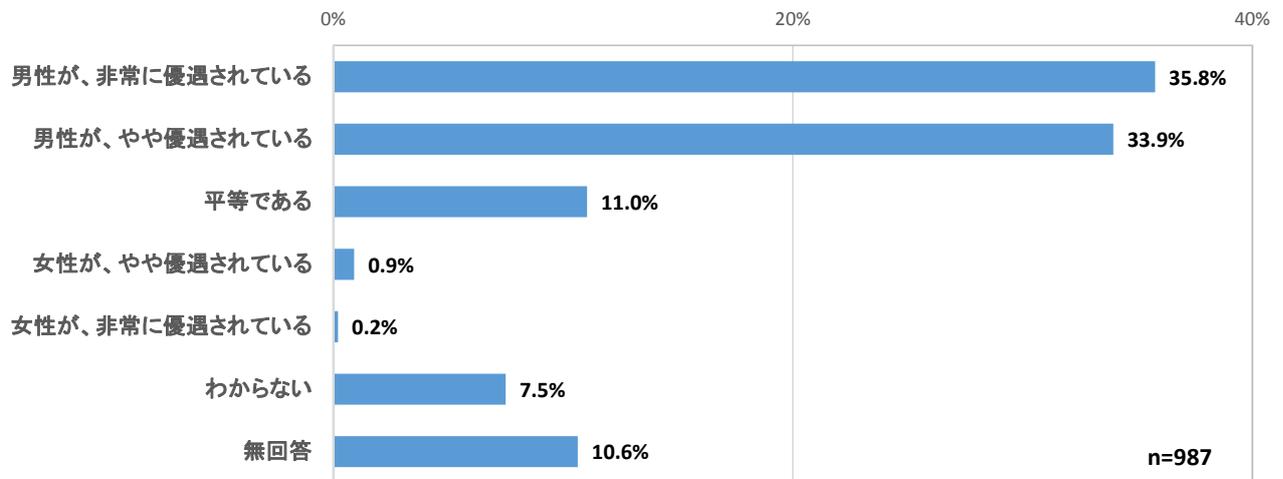
《⑦政治の場》

「男性が、非常に優遇されている」が35.8%と最も高く、次いで「男性が、やや優遇されている」が33.9%、「平等である」が11.0%の順となっている。「男性が、非常に優遇されている」と「男性が、やや優遇されている」を合わせた男性の方が優遇されているが69.7%、「女性が、非常に優遇されている」と「女性が、やや優遇されている」を合わせた女性の方が優遇されているは1.1%となっています。

性別でみると、男性で「平等である」が18.1%と女性に比べ高く、女性で男性の方が優遇されているが72.7%と、男性に比べ高くなっています。

年齢別でみると、30歳代～60歳代で男性の方が優遇されているが70%以上と、他の年代に比べ高くなっています。

居住地別でみると、長島町・東野・飯地町・明智町で男性が優遇されているが70%以上と、他の居住地に比べ高くなっています。



		男性が、非常に優遇されている	男性が、やや優遇されている	平等である	女性が、やや優遇されている	女性が、非常に優遇されている	わからない	無回答
全体 (n=987)		35.8%	33.9%	11.0%	0.9%	0.2%	7.5%	10.6%
性別	男性 (n=443)	28.7%	38.4%	18.1%	1.4%	0.2%	5.9%	7.4%
	女性 (n=538)	42.0%	30.7%	5.4%	0.6%	0.2%	8.9%	12.3%
年齢別	20～29歳 (n=63)	33.3%	36.5%	14.3%	0.0%	0.0%	12.7%	3.2%
	30～39歳 (n=92)	43.5%	31.5%	10.9%	1.1%	0.0%	12.0%	1.1%
	40～49歳 (n=133)	39.1%	40.6%	10.5%	0.8%	0.0%	6.8%	2.3%
	50～59歳 (n=147)	32.0%	38.1%	16.3%	0.0%	0.7%	7.5%	5.4%
	60～69歳 (n=262)	40.8%	36.6%	10.7%	0.0%	0.4%	8.0%	3.4%
	70歳以上 (n=283)	29.7%	26.9%	8.5%	2.5%	0.0%	4.9%	27.6%
居住地別	大井町 (n=209)	37.3%	32.5%	12.0%	1.0%	0.0%	7.7%	9.6%
	長島町 (n=178)	41.0%	38.2%	7.9%	1.1%	0.0%	4.5%	7.3%
	東野 (n=33)	48.5%	33.3%	3.0%	0.0%	0.0%	9.1%	6.1%
	三郷町 (n=54)	40.7%	24.1%	18.5%	1.9%	0.0%	11.1%	3.7%
	武並町 (n=68)	29.4%	38.2%	13.2%	0.0%	0.0%	8.8%	8.8%
	笠置町 (n=21)	19.0%	38.1%	9.5%	4.8%	0.0%	9.5%	19.0%
	中野方町 (n=37)	32.4%	35.1%	10.8%	2.7%	0.0%	10.8%	8.1%
	飯地町 (n=30)	30.0%	43.3%	6.7%	0.0%	3.3%	3.3%	13.3%
	岩村町 (n=94)	38.3%	29.8%	12.8%	0.0%	0.0%	8.5%	10.6%
	山岡町 (n=81)	30.9%	37.0%	13.6%	1.2%	0.0%	7.4%	9.9%
	明智町 (n=112)	35.7%	34.8%	8.9%	0.9%	0.9%	7.1%	11.6%
	串原 (n=29)	17.2%	34.5%	17.2%	0.0%	0.0%	13.8%	17.2%
	上矢作町 (n=37)	35.1%	18.9%	10.8%	0.0%	0.0%	5.4%	29.7%

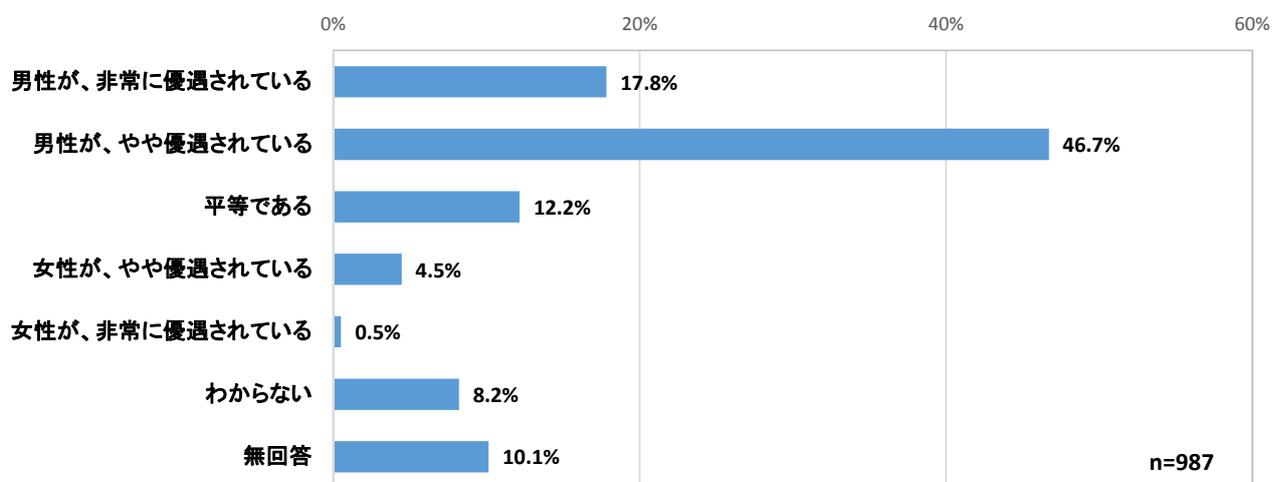
《⑧社会全体として》

「男性が、やや優遇されている」が46.7%と最も高く、次いで「男性が、非常に優遇されている」が17.8%、「平等である」が12.2%の順となっている。「男性が、非常に優遇されている」と「男性が、やや優遇されている」を合わせた男性の方が優遇されているが64.5%、「女性が、非常に優遇されている」と「女性が、やや優遇されている」を合わせた女性の方が優遇されているのは5.0%となっています。

性別でみると、男性で「平等である」が16.7%と女性に比べ高く、女性で男性の方が優遇されているが67.1%と、男性に比べ高くなっています。

年齢別でみると、50歳代～60歳代で男性の方が優遇されているが70%以上と、他の年代に比べ高くなっています。

居住地別でみると、長島町・東野・飯地町で男性が優遇されているが70%以上と、他の居住地に比べ高くなっています。



		男性が、非常に優遇されている	男性が、やや優遇されている	平等である	女性が、やや優遇されている	女性が、非常に優遇されている	わからない	無回答
全体 (n=987)		17.8%	46.7%	12.2%	4.5%	0.5%	8.2%	10.1%
性別	男性 (n=443)	13.5%	48.8%	16.7%	6.8%	0.9%	6.5%	6.8%
	女性 (n=538)	21.6%	45.5%	8.6%	2.6%	0.2%	9.7%	11.9%
年齢別	20～29歳 (n=63)	12.7%	49.2%	14.3%	7.9%	0.0%	12.7%	3.2%
	30～39歳 (n=92)	20.7%	40.2%	12.0%	10.9%	0.0%	15.2%	1.1%
	40～49歳 (n=133)	15.8%	53.4%	12.8%	6.0%	1.5%	8.3%	2.3%
	50～59歳 (n=147)	21.1%	52.4%	10.2%	4.8%	0.7%	6.1%	4.8%
	60～69歳 (n=262)	19.8%	55.3%	11.8%	1.5%	0.4%	7.3%	3.8%
	70歳以上 (n=283)	15.5%	34.6%	13.1%	3.5%	0.4%	7.1%	25.8%
居住地別	大井町 (n=209)	19.6%	42.6%	12.9%	4.3%	0.0%	11.5%	9.1%
	長島町 (n=178)	20.2%	50.0%	11.8%	6.2%	0.6%	3.9%	7.3%
	東野 (n=33)	21.2%	54.5%	12.1%	0.0%	0.0%	6.1%	6.1%
	三郷町 (n=54)	16.7%	50.0%	16.7%	3.7%	0.0%	9.3%	3.7%
	武並町 (n=68)	11.8%	54.4%	11.8%	1.5%	1.5%	8.8%	8.8%
	笠置町 (n=21)	4.8%	33.3%	19.0%	9.5%	4.8%	14.3%	14.3%
	中野方町 (n=37)	5.4%	51.4%	16.2%	5.4%	0.0%	13.5%	8.1%
	飯地町 (n=30)	13.3%	60.0%	13.3%	0.0%	0.0%	0.0%	13.3%
	岩村町 (n=94)	17.0%	48.9%	11.7%	4.3%	1.1%	7.4%	9.6%
	山岡町 (n=81)	19.8%	45.7%	12.3%	3.7%	1.2%	8.6%	8.6%
	明智町 (n=112)	23.2%	41.1%	8.0%	7.1%	0.0%	9.8%	10.7%
	串原 (n=29)	13.8%	44.8%	13.8%	3.4%	0.0%	6.9%	17.2%
	上矢作町 (n=37)	16.2%	37.8%	8.1%	2.7%	0.0%	5.4%	29.7%

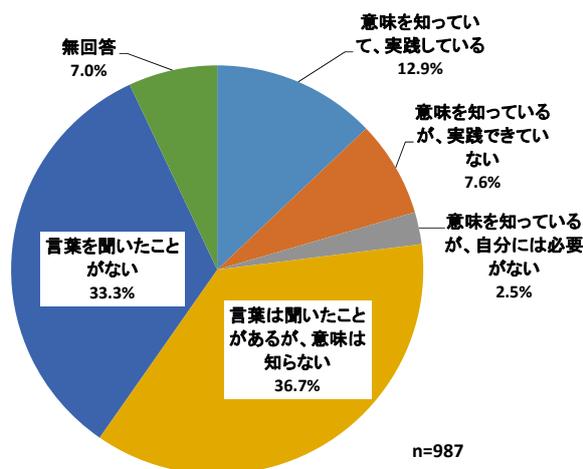
問 38 ワーク・ライフ・バランス（生活と仕事の調和）について、どの程度知っていますか？
（単数回答）

「言葉は聞いたことがあるが、意味は知らない」が36.7%と最も高く、次いで「言葉を聞いたことがない」が33.3%、「意味を知っていて、実践している」が12.9%の順となっています。

性別でみると、男性で「意味を知っていて、実践している」が15.8%と、女性に比べて高くなっています。

年齢別でみると、30歳代で「言葉を聞いたことがない」が最も高くなっている。

居住地別でみると、笠置町で「意味を知っているが、実践できていない」が19.0%と、他の居住地と比べ高くなっています。



		意味を知っていて、実践している	意味を知っているが、実践できていない	意味を知っているが、自分には必要がない	言葉は聞いたことがあるが、意味は知らない	言葉を聞いたことがない	無回答
全体 (n=987)		12.9%	7.6%	2.5%	36.7%	33.3%	7.0%
性別	男性 (n=443)	15.8%	9.0%	1.4%	36.8%	32.1%	5.0%
	女性 (n=538)	10.6%	6.5%	3.5%	36.8%	34.6%	8.0%
年齢別	20～29歳 (n=63)	11.1%	6.3%	1.6%	42.9%	38.1%	0.0%
	30～39歳 (n=92)	12.0%	5.4%	0.0%	33.7%	48.9%	0.0%
	40～49歳 (n=133)	14.3%	18.0%	0.8%	27.8%	36.8%	2.3%
	50～59歳 (n=147)	20.4%	8.8%	0.7%	32.7%	31.3%	6.1%
	60～69歳 (n=262)	12.2%	6.9%	3.1%	41.2%	32.8%	3.8%
	70歳以上 (n=283)	9.2%	3.9%	4.9%	38.9%	27.9%	15.2%
居住地別	大井町 (n=209)	11.5%	10.5%	1.9%	37.8%	33.0%	5.3%
	長島町 (n=178)	16.9%	5.6%	3.9%	32.6%	37.1%	3.9%
	東野 (n=33)	12.1%	6.1%	0.0%	51.5%	18.2%	12.1%
	三郷町 (n=54)	18.5%	5.6%	7.4%	38.9%	27.8%	1.9%
	武並町 (n=68)	14.7%	4.4%	0.0%	32.4%	39.7%	7.4%
	笠置町 (n=21)	9.5%	19.0%	0.0%	38.1%	14.3%	19.0%
	中野方町 (n=37)	10.8%	10.8%	0.0%	43.2%	29.7%	5.4%
	飯地町 (n=30)	13.3%	3.3%	3.3%	40.0%	26.7%	13.3%
	岩村町 (n=94)	11.7%	10.6%	1.1%	34.0%	35.1%	7.4%
	山岡町 (n=81)	9.9%	8.6%	2.5%	32.1%	44.4%	2.5%
	明智町 (n=112)	13.4%	2.7%	1.8%	39.3%	31.3%	11.6%
	串原 (n=29)	13.8%	13.8%	6.9%	34.5%	27.6%	3.4%
上矢作町 (n=37)	2.7%	5.4%	5.4%	43.2%	29.7%	13.5%	

8 その他の意見・自由回答について（恵那市のまちづくりについて）

（1）その他の意見について

各設問の「その他」として回答された意見は次のとおりです。（）内の数字は、同じ意見の数を表しています。

問7. 家族構成
<input type="radio"/> 1人暮らし
<input type="radio"/> 2世代+おば
<input type="radio"/> 4世代 (2)
<input type="radio"/> 兄
<input type="radio"/> 親、孫
<input type="radio"/> 親・子・姪
<input type="radio"/> 親・祖母
<input type="radio"/> 親・嫁
<input type="radio"/> 施設寮、入所者たち
<input type="radio"/> 父母3人
<input type="radio"/> 母 (2)
<input type="radio"/> 母、子
<input type="radio"/> 夫婦、甥
<input type="radio"/> 夫婦義理母
<input type="radio"/> 夫婦・母(2)
<input type="radio"/> 四世代
<input type="radio"/> 夫婦とそれぞれの母親の4人
<input type="radio"/> 夫婦・子
<input type="radio"/> 本人・親
<input type="radio"/> 夫婦・娘
問10. 人口減少対策
<input type="radio"/> 学校・医療機関の充実
<input type="radio"/> 文化的なことでもりあげてほしい
<input type="radio"/> リニアは全く不要。移動（通院、通学、通勤、買物、市役所へ）の交通手段を
<input type="radio"/> 商業施設の誘致（例えばイオンモールなど来ると人が動く！）
<input type="radio"/> 多様な文化、意見を受け入れる風土づくり。（井の中の蛙の状態では魅力がない）
<input type="radio"/> 産婦人科の無い市で人口増加は無理
<input type="radio"/> 行政改革の名のもとに学校統廃合や病院統合など周辺地域がさらに衰退する行政をやらない。「選択と集中という名目の地域切り捨て行政をやめる
<input type="radio"/> 土地を安く、他県の人をどんな人でも受け入れる
<input type="radio"/> 多くの人たちの心のつながり
<input type="radio"/> くいとめる必要はない。自然に任せるべき
<input type="radio"/> JR線を増やしてほしい。名古屋→中津川
<input type="radio"/> 産婦人科、小児科の充実
<input type="radio"/> 若い人が残りたくなる支援、例えば消防団の軽減等
<input type="radio"/> 大学生の研究、ゼミとのコラボレーション
<input type="radio"/> 優良企業を迎える。道路を良くする事。
<input type="radio"/> もう少し高齢者の施設が欲しい
<input type="radio"/> スベテ
<input type="radio"/> 学校でのいじめ対策など（いじめられたものはその地から離れたくなる）
<input type="radio"/> 市政、県政の改良
<input type="radio"/> 商業系の充実
<input type="radio"/> 障がいのある体ですので、思うように出かけられない
<input type="radio"/> ①④⑤は当然のことであるが、もっと道路を良くしていくこと。会社の誘致をして雇用をすること。
<input type="radio"/> 病院、恵南地区の住民が利用しやすいように岩村に総合病院があると良い。
<input type="radio"/> 商業施設の充実、今でも最低限住むには問題ありませんが、余暇を過ごせるような商業施設があると良いと思います。
<input type="radio"/> 医療費無料は子供ばかりでなく、年寄りや子供のいない世帯にも考えてほしい。むしろ子どもの医療費は多少とってもよいのでは？ちょっとしたことで気軽に病院に行くことが多く、成長の面で、心の弱さを所々で感じる。
<input type="radio"/> 小児科、産科

- 若い人が結婚しないので人口が減少する
- 交通手段の充実（特に中央線の本数増）
- 結婚出産に祝い金など
- 将来近くに駅ができるリニアのベッドタウンとして魅力あるまちにすべき

問 11. 健康づくり

- 健康教育
- 産婦人科の充実
- ノー残業デー
- 専門的な指導者を計画的に育成していくこと。
- 高齢化が進む中、寝たきりにならない指導が必要では
- 高齢者スポーツ活動（サークル）の育成と女性
- スポーツではなく、農林に参加できる仕組み
- 本人の心がけ
- 地産地消。地元の指導者の育成。
- シニア向け市営住宅
- 山岡にある運動プールなどが良い。もっと手軽に利用できることが大切です。
- 阿木川にもっと照明がほしい。夜ウォーキングがしたい。
- スベテ
- 地域（近く）に医療施設が必要
- 本人の自覚と認識
- 働く世代の健康に配慮し土日祭の診療を充実させてほしい。せっぱ詰らないとなかなか医療機関に出向くことができない。
- 寝たきり、痴呆の未全防止のための家庭内ストレッチや釣り公園などの環境整備、また、行政地域の連携
- 寝たきりにならないよう老人の運動補助対策
- 自主的に健康づくりに取り組む
- 便利が悪く出かけられない
- ゲーム感覚でできるリハビリの充実

問 12. 子育て

- いないので分かりません
- 保育料の無料化
- 「子育て支援」という言葉は山ほど聞きますが、実際仕事をしていると妊娠時も周囲には負に思われる状態。もっと、各職場の意識を変えてほしい。
- 家族の理解と協力と職場の理解
- 平和で安全な暖かい人間関係のあるまち
- 貧困からの脱出、低所得層のボトムアップ
- 医療費の高校までの無料化。公共交通機関の充実。例えば名古屋に通いやすく。
- 地域がばらばらになり、各家庭が孤立している。中山間地の特性を生かし、地域の人たちをつなぐ対策が必要。
- 保育を民営化しないで市が責任を持って行う。地域の子を地域で育てる。給食もセンター方式にしない、地域の食材で地域の味で。
- 育児休暇などへ企業が協力すること
- 雇用の確保、賃金の充実
- 第2子、第3子出産時、出産祝い金をだすとか。子ども手当はなくてもいいので、その分で給食費を無料化するなど
- ひとり親への支援
- スベテ
- 子育てにすぐ支援を求めるのがおかしい。「自分で産んだ子は自分で育てよ。」今の制度は甘すぎる。戦時中はみんな貧しくても素直に育っている。
- 人口減少対策
- 貧困家庭、母子家庭等への財政的援助
- 基本的に母親の本能として3歳までは24時間親子ともに生活できるのが本来の姿かと思っています。乳幼児を育てる時期が一番子育ての楽しいときでもあり親子の絆の蜜なるときかと思うからです。幼い子育て家庭にいろいろな形で支援されることを望みます。
- 他市よりも小中高校生が教育・医療が良いと思わせる条件づくり
- 嫁と姑の問題
- 保育料の減額
- 働く女性が増えているためPM6時以降も安心して子供を見守ってくれる（場と人）の充実子供の宿題とか例には学童で音読を。それは家でお母さんとかお父さんにやってもらうことを少し前なら当然どこの親もそうでしたが、今は

そうもしないできない親もいます。ケースバイケース柔軟な対応を求めます。

問 13. 生活環境

- 不便すぎることの解決
- 住民税を必要としない市の運営、外貨を稼ぐ事業推進（民間企業を学ぶ）
- 車道は確保されていても歩道が未整備である。車を持たない者（交通弱者）の移動手段を。タクシーの利用者にせめて半分くらいは助成を
- 大型商業施設の充実。
- とにかくバスの本数が減って買い物に行くのに困る。車を持たない年配の方は深刻です。
- 人気のないところに不法投棄のゴミが何年も放置されている。早く処理してほしい。
- 店舗の駐輪場が広いのは結構ですが、出るも入るも自由すぎてとても危ない。子供も車も店舗の駐車場は危険すぎます。少々不便でも出る入るをしっかりと規制した方が良い
- スーパーの深夜営業
- 今使っている危険な農薬を使わないようにする
- 全て、本人の心がけ
- 水質が悪くて魚もいない川だ…下水道の整備がぜひ必要です。
- 市道をもう少し整備してほしい。
- 夜間とても暗いがいい灯整備
- 放置されている隣地の竹藪が根をはってきて困る。地主に指示して整地してほしい。
- ①に関係しますが、杉ヒノキ林から自然林へ
- 自分のゴミは自分で処理すること
- 大井町に住んでいます。不必要に高い看板（危険な場合）が気になります。
- 農地の保全
- バス等公共交通の利便性、明知鉄道は不便です
- ゴミ屋敷の近所の対応。ネズミ、ゴミの臭い、草、市でなんとかしてほしい
- 農地と近いので、農薬の説明、注意等の説明があると安心
- ゴミを出さずににおいのあるものを家にて燃やす所（人）近所迷惑してます
- 安心して歩いたり、自転車で移動できる道路を。

問 14. 地震や大雨などの災害の不安

- 目が見えないので地域の方と連携をとってほしい
- 防災センターが川に近いが、災害時に対応が可能なのか。
- 消防署が最も危険なところにあって大丈夫か不安。
- 土岐川の氾濫。家から見える土岐川の山が削られて少しずつ崩れているようで不安
- 被災したときの避難生活について
- 大雪などでの倒木による停電、通行止めによる生活混乱
- 限界集落化が進む地区を多く抱く恵那市においてこれら地域の防災対策がほとんどと言っていいほど講じられていない現状
- 避難所の耐震性、安全性
- ハザードマップの危険箇所の危険除去対策
- 食事の確保
- 山岡町に消防署がないので困る。
- 大型車の進入難道路の解消
- 避難訓練のあり方に真剣みが足りない。具体的な訓練の目標が必要。
- 阿木川ダム決壊時の浸水マップの作成
- 雪害による停電
- 広報無線がないため情報が少ない
- 電線などが多すぎる。切れたとき逃げれない。
- 有事の際の行動
- 停電
- 阿木川ダム決壊による洪水
- 災害による火災
- 空き家の倒壊
- 電気、水、食料の確保
- ダムの安全性
- 大地震発生時の道路の安全性（橋や電柱による、道路使用不能になることが心配です）
- 土石流対策
- 避難自体が確実にできるか家族全員

- 河川の流れ よしがはえてる
- アレルギー児の対応
- 避難所自体の安全が確保されているか。地震で火災が発生した時の避難経路は安全か
- 土石流対策、溪流の点検
- 避難場所が適当であるか疑問をもつ
- 指定避難場所が心配なところだから

問 15. 火災や救急についての不安

- 明智消防署の人数が少ない
- まわりの山林や竹やぶの手入れがしてないので延焼が不安
- 日中に消火できる人が地域にいない
- 救急病院のたらいまわし
- 独居のため自分でしたいができることができるか。
- 近くの診療所に搬送できるか、受け入れてくれるか不安
- 救急病院の不足
- 独居老人が多くなっている。火の始末。急病で倒れていても見つけることが困難な状況が考えられる。
- 恵那病院だけは救急で入りたくない。
- 広報がない為情報が無い。病院不足
- 消化器、消火剤の入手および破棄が不便
- 経路の整備がされていない
- AED が小学校の構内や公民館内にあるので、時間外で鍵がかかっているとき使えない
- 市内のどの地域へも救急車が5分以内に到着できるか不安。
- 救急対応に時間がかかっている（遅い）
- 救急隊員の到着に時間がかかる。
- 地域消防団員の減少
- 日中は近所も高齢者のみになり対応できるか心配。
- 救急車の到着が遅い
- 恵那北消防分署を設置
- 下水道工事の為か地下水の路が変わってしまい、困っています。例として我が家の石垣の下に流水路ができ不安です。
- 救急車を以前たのんだとき、思ったより遅かったこと
- 高齢者がいるので避難活動が心配
- 防火水槽がない
- 町より少しはなれています。道をよくしてほしい。
- 火災や救急時に対する環境が悪い
- 救急車にきていただくことをためらってしまう
- 野焼きがたまに心配
- 救急車がくるまでの時間がかかる。
- 恵那市に専門病院がない。市民病院に検査機等医師が常駐しているか不安

問 16. 公共交通

- 自主運行バスを作してほしい
- 利用したい時⑤の充実があれば良い。市の財政も考えると。
- 小野川線のバスは必要無い。人が乗っていない、もったいない。
- 特に無し
- 車に今は乗れるから良い
- 駅前の交差点の信号が10時過ぎごろから点滅に変わるのは危ないと思います。
- 民間バスの代金が高い
- 山間部に住む高齢者や車の運転が難しい人が生活に困らないように、もっと交通サービスを充実させる必要があると思う！
- 運転代行サービス
- 恵那峡SA上り線までバス路線を延ばしてほしい。
- 低い料金設定！！
- 夜になると恵那駅員がいない。始発、終電までは駅員を含め窓口が開いていて欲しい
- 駅周辺で飲んだら寝て帰れる環境がほしい
- 高齢者支援のための輸送システム
- 山間部、広域な恵那市にあって、福祉施策とともに総合的な見地で既存のサービスのぜひを含めて検討すべき
- バスを小型化して、本数を増やす。病院送迎バスや山間地域に移動式店舗車を企業と協力して回すのはどうか？そ

れに住民も乗り降りできると便利だし、人数も増えると思う。

- 運転代行
- 車に乗れなくなってからバスに無料でのれるようにしてほしい
- 駅周辺のパーキング不足
- 今は自分で運転しているから。これからはバス停近くまで増やしてほしい。
- 武並駅付近の市営駐車場の整備
- バス電車の遅い時間帯のダイヤ追加
- 駅隣接の駐車場を拡充整備してほしい。
- 自家用車での行動が多い
- 安価な駅、駐車場
- 名古屋等のように一律で安い料金で利用できる公共バスがない。
- 駅前の一般車両の一時駐車スペースが少なすぎる。
- 車いすで乗れると良い。
- 特になし
- バス停が遠いのでバスに乗れない
- 費用対効果を考えると、打つ手なし
- 坂の上のバス停をずらしてほしい
- 東鉄バスの路線数を減らしてコミュニティーバスを増やした方が良いのではないか？
- 駅への送迎がしやすいように駐車場の整備
- 今のところはない

問 17. 産業振興

- 大型店はいらないが特徴のある店をつくる
- 公共交通を便利にする
- 人口増を企る
- 大垣のように IT を誘致
- 活動している方同士の交流をもち、レベルアップや情報交換をすることにより、統一性などをもち、活性化を図ると良い
- ご近所とのふれあいを大切にする
- 武並に大型店舗が必要。普段の買い物にも不便。車に乗れない老人は困る。
- 高齢者の家庭ばかりで困難
- わからない
- 人を魅了するだけの文化は統治にはほとんどない活気あるまちには何をどうすればいいのか思い当たらない。
- 恵那市は子育て、教育に力を入れていると思ってもらい若い人が多くなること
- 老人を遊ばせるより働かせること。75才まで。
- 人口に適合した「祭りの整理」
- コメリなど
- お年寄りが気軽に入れ、買物できる店が欲しい
- 日々の生活を保障するお店の充実
- 近くに映画館や劇場など

問 18. 小中学校教育の充実

- 子がいないのでわからない
- 恵南に1つの中学校という計画があるが、絶対反対で地域の子供は地域で育てることにし教師が移動して指導して行けばよい。子供が朝早くから遠くまで通学するようになれば地域はどんどん消えて村々は絶えてしまう。
- 統合しないこと
- 生徒の安全な通学とまともな学力向上の為に中学校のあまりに乱暴な統合をやめて！教育予算を増やして
- 親の理解。モンスターペアレント対策
- 家庭内でのコミュニケーション??
- 土曜の授業（半日程度）
- わからない
- 「子どもの立場に立脚した教育・努力をつけてやる」「道徳心をつけてやる」教育ではダメ。子供の内面を育てる教育が必要。
- 教育委員会の改善
- 道徳教育
- 自分で考える力をつけること
- 高校・大学で海外留学できるような心の準備、育成
- 親がバカすぎる！！

- 子どもの生活を見直す。学習できる環境を作る
- もっと道徳教育をしてほしい。昔はいじめなどなかった。みんな貧しくてたすけあった。
- 体験重視の教育
- 親、近隣の大人の資質向上
- 通学距離を短くしたい
- 学校を統合しようという動きがあるがバスで通学しなければいけないところに若い人はすみたくないはず
- 先生たちが忙しくて疲れを感じることもあるので先生たちが余裕をもてる環境づくり
- 恵那1校論は地域無視
- 家庭や親が子どもの能力ややれることを理解すること
- 通学路が心配。自転車専用レーン整備等
- 向上心を育む
- 授業を魅力あるものに。社会人講師など。

問 19. 生涯学習の充実

- わからない
- グループ学習の支援・促進
- IT文化に慣れることができるとWEBの参加勉強をする。
- 生涯学習が必要だと思う現代人の考え方を考える。→日常生活で学習ができないことが問題
- 本人の問題と思う
- 労働条件を良くし、学習参加できる条件をつくること。仕事や育児に追われる毎日ではムリ。
- 興味なし
- 誰でも簡単にできるように
- 自分の心がけ
- わからない
- 個々人のやる気
- 年金が安いので生活が苦しく、バイト等をしなければならない
- 老人と子どものふれあいの場
- 大人になって学習するためには子供の頃の学習習慣の充実が必要かと思う。
- 体制が整っていても老人は講座へいく交通手段が少ない。
- 必要なし
- 本人のやる気
- 市の施設で交通の手段のない、高齢者などのために各自治会の施設を利用する場合、市の施設利用の場合、同等の会場使用料になるような補助
- 文化センターは、講座や学習団体に対して、あまり協力的でないように見える。
- 車に乗れない人たちへの心遣い
- 高齢のため交通機関に不満
- 図書館の充実

問 20. 市民と行政の新しい関係づくり

- わからない
- よくわからない
- 情報がわからないからわからない
- 地域自治区そのものの認識が不十分
- いつまでたっても同じような人物が牛耳っている
- 知らないからわからない
- ごめんなさい、わかりません
- わからない
- わからない
- 知らない
- 一部の市民と行政の関係づくりは進んでいるかもしれないが多くの市民は関係を持っていない。
- まだハッキリ解らない
- 進もうしているが具体化されない
- 知りませんでした。
- 内容がよくわからない
- 全く知らない。
- わからない
- 自治区内にいろんな組織が並列し、同じ人がいくつか参加し、全町民が網羅されていない
- 自治の権限がない。合併のつけ

- 知らない
- わからない

問 22. 市政情報の入手方法

- 特に何もしない
- 入手していない
- 市会議員の報告
- 家族
- 自治会役員との交流等
- 防災無線（室内用の放送）
- 議員さんに聞く
- なし
- 広報紙は情報が遅いです。
- 生涯学習講座 ボランティア活動他
- 市議の発行紙
- ほとんど何がどうなっているかわかりません。
- アミックスコムえなっこチャンネル
- なし
- 職場の回覧
- 仕事関係にて
- 職員に教えてもらう
- 入手していない（スミマセン）
- 議員さんが発行しているチラシ
- 赤十字、布切など

問 23. 行財政運営

- 市民の声を聞け
- なし
- 市議の活動を明確に具体的に公表してほしい
- 市民の啓発
- 分野ごとに専門性の高い人を指名する。
- 現在も市民が市政に参加できているのが疑問
- まだよくわからない
- 何をしても変わらないと思う
- 議員の中には資質すら疑わしい人がいる中、個々の議員活動をガラス張りにするとともに、市政への貢献度を市民が評価する仕組みを取り入れる。
- 関心をもっともってもらえるような工夫
- 市民の意義
- 市民は地域の要望を聞いてもらえる姿勢を望んでいる。財政が足りないと聞いてもらえないからと初めから思っている。
- 町の中ばかり反映で周辺地域の方まで届かない。
- 市民の意見を活用することによって成功した事例の宣伝、PR
- 全体のアンケートだけでなく細かい事業等のアンケートも実施した方が反映できそう。
- インターネットやケイタイからの意見を取り入れる
- ①～⑥は現在でもある程度行われていると思われるが、もっと気軽に、簡単に参加できる仕組みが必要だと思われる。
- 今の国会のように多数派によって否決される、多数決だけではない意見の取り上げも必要
- 地域の全員を入れた班等をベースに順に上に組織化していく。各段階の活動内容を対象者に広報する。
- 現在会議があったとしてもいつも出席する人は決まっていますので、進歩しないと思う
- 議員に話しても聞こえているだけで聞いていないから話をする事ができない。
- わからない
- ホームページの活用
- 特に変わらないので…
- ネット
- 目安箱のようなものを設置
- 各地域を歩いてまわり、直接意見をきいてはどうか。
- 市民が市政を理解する努力が必要。①に近いが。
- 聞くだけでなく実行する事、直すこと

○民間シンクタンクの設置 図書館利用者が集合して図書館シンクタンク

○若い人たちが市政に関心がもてるようにする。

問 24. 市民の意見の市政への反映方法

○市民の為のものではない。行革はいつでもあやしい。市民の要求がないものに予算をつけないで！市民をだまさないこと

○重要案件は市民に問う。直接民主制にすべきです。

○わかりません

○施設の統合や民間委託以外の方法もあるのでは

○よくわからない。料金を上げないでください。

○専門家の育成（外資コンサル委託の軽減）

○見積にあまい

○議員数を減らす事

○外部からのアイデアをしっかりと受け入れる体勢が必要

○よくわからない。

○職員の削減

○特に生活保護担当の職員利用者もっと勉強してほしい。笑顔で接すること。暗い表情の人はだめ。たくさんの知識を持って利用したい人と主に最良の方法を考える姿勢が必要。

○成果主義の導入など

○議員数

○市民の願いを、声をよく聞いてすすめてほしい。

○知らなかった

○議員定数の削減、保育園の民間委託、中学統合など子どものことに関することばかり合理化を考えている。

問 25. 投票所の閉鎖時間

○不在者投票があるので8時～7時でよい。

○90%以上の投票率にできるような革新的な投票方法を検討してほしい。→罰則を設けるしか。

○もっとみんなが参加しやすい工夫を考えてください。

○閉鎖が早すぎる

○市内全所統一するべし

○期日前投票が充実して仕事の方が早く投票される地域もあると思うので、1hくらい早めることもできると思う。

○投票所が遠いため、年寄りには無理

○様々な職種・生活の人に対しての配慮がない。早めることにする必要なし。

○15時くらいに閉めても。長時間にしたところで来られる人数は決まっている。

○早めるべきでない

○お金（市の経費）のかからない方法に変更して下さい。

○夏は1時間、冬は2時間早める

○投票所が少なくなっている。遠くまで行かねばならない。行く手段の無い人もいる。

問 26. 市議会の活動についての情報の入手方法

○情報を得ていない

○ガラス張りの議会にしてほしい。

○広報が配られない為わからない

○活動が見えない

○具体的な活動として発信しているものがあるとは思えない。現状であり、何をどの程度とまで掘り下げた客観的な視点でとらえた情報発信媒体があるべき。

○現議員、議員OB等から入ることもある

○井戸端会議

○発行する議員だよりがなし

○職場の回覧

○職員に教えてもらう

○「明るい恵那」で

問 28. 市議会・議員への期待

○市議会議員に特に何か期待する事はない。期待できる議員がいない。どんぐりの背比べ！

○ない

○無し

○まじめに仕事をしてください

- 一部議員の資質向上
- 年に数回公民館での報告会の実施
- 特に無い
- 期待してない！
- 当選するための公約でなく、実現する為の公約を守ってほしい。
- 市の将来についてきちんと考えを持ってほしい。地域の議員等は何んの意味も見識も持っていないものばかり。
- 市民との接触がなさすぎる
- 特になし
- 各グループにとらわれず、議員としての意思をしっかりとってほしい。
- 公約ばかり言っているが現実には分からない政策ばかり言って期待することはできない。
- ナシ
- 議員の削減が重要
- 議員数を減らし、手当の減額
- 地域での問題などにもっと関心をもってほしい
- 選挙のときだけであとは何も報告はない。
- 選挙の時だけの声ばかりで末端までには遠い存在。
- 議員立法ができる議会に…
- 今の議員には期待しない
- 何もない
- がんばってやってほしい
- 議員としての自覚を今一度再認識し、税金を大事に使ってほしい！！
- 議員の削減が重要
- わからない
- 期待できない
- わからない
- 市民が心身ともにゆたかで健康な生活を送れるように努力をのぞみます。
- あまりあてにしてない
- 特にない
- 議員定数の削減（15名）
- 特に期待してません
- 何も
- 何も期待してはいい。何もしていないのでいるだけ
- 特になし

問 29. 「個人番号カード」を活用して、利用したい行政サービス

- マイナンバーはいらない個人情報もれる
- マイナンバーは不要と思います
- 市民にとってメリットどころか危険なマイナンバーは即刻廃止すべき。全く国民は不要。はだかにしないで！もうかるのはIT業界、セキュリティ業界ですぞ。国民監視をやめ、税逃れの巨大企業を追うべき。
- 必要なし
- 個人番号カードの必要性をあまり感じない。使い方がわからないまま使わない市民も多いのではないかと思う。無駄なのではないか…とも思う。
- 現在も受け取っていない人が多すぎるのはなぜ？説明不足！
- 全て管理されて嫌です。便利だけど複雑です。
- いろいろ問題視されているのにこのような質問をすること自体問題である。
- マイナンバーは不必要と思っている
- マイナンバー制度そのものに不信を持っています
- ない
- マイナンバー反対！
- 必要性を感じない、使いたくない
- 私の様な老人にははっきりいって何がなんだか分かりません
- 使い方を覚える気がない
- マイナンバー制度がどのように必要なのか、何に使われたいのかわかりません。
- 金融機関での身分証明、運転免許証の代わりになる。
- 不要廃止してほしい。
- 税金のムダ使いをやめて。何もするな。
- まだハッキリわからない
- 高齢にて活用が心配

- 犯罪や詐欺にあいそうでこんな制度はない方がよい。
- 情報流出を防止する策を提示し、行政に対する信頼感の育成が大前提
- マイナンバー制度自体、無理やり導入されたもので必要ない
- 必ず漏えい事件が起こりそう、起こります
- 個人情報流出が逆に心配
- e-tax
- どうしてもつくらなければいけないか
- 番号を刻印したものを首にかけておく（事故、身元不明のときに本人の確認が早くできる）
- マイナンバー制度が不安、悪用されやすい
- カードを持ち歩き、紛失が心配
- 個人番号カードを発行するか迷っている。
- 子供手当の手続きが簡単になれば良い
- 子供や年配には活用なしと思う
- 管理されているようでいやです。上から目線。
- 個人情報が流出しないか本当に心配です。

問 30. 環境問題への関心

- ごみ集積場の整備（地域外の人がもってくるため）
- 道路にペットボトルコンビニ弁当等のゴミが捨ててある
- 杉の乱立、寄る被害（強風が吹くと、道路の枝ごと折れて来てとどまる）
- 核汚染物質が瑞浪市にすてられようとしているので、環境問題の面から反対したい。
- 河川にビニール袋がいろいろのゴミがひっかる。とくに冬場は多い目立つ。
- 太陽光等パネルを多く見かけるが、パネルがそのうち産業廃棄物にならないかと心配。
- 太陽光発電の山はだ等のほうがよい
- 有害生物の増加（イノシシ、クマ、マムシ、スズメバチ）
- 原子力発電は一度間違いが起きると大きく長く影響を与える
- 道路等に平気でゴミを捨てる人がいる。個人が意識して考えないと良くならない。

問 31. 環境を守るために行っていること

- 個人の努力の追及だけでは追いつかない。大量生産、大量消費、大量廃棄のこの消費社会の仕組みを変えない限り。国がCOP21に真剣にとりくみ、CO2削減を確実に実行するよう政府へ働きかけることが最も重要。
- リサイクル
- 落ちているゴミは拾う
- 食後の汚れた皿はティッシュやキッチンペーパーで拭いてから洗う
- エコカー使用
- 私の住んでいる道路が美しい方が良いので、雑草を取ったりゴミを片づけたりしております。
- 日本は法律により十分やっているといます。
- ゴミの分別
- 分別とリサイクルセンターの活用
- リサイクル可能なものはエコプラザに持ち込み
- 野菜は葉、皮など全て使い切る。油は拭き取ってから洗う
- ごみ、草など野焼きはしない

問 32. ごみ減量に必要なこと

- リサイクルの推進
- メーカーが自分で出した包材なり製品を引き取るようにする。
- 過剰包装をなくす。
- 消防署近くに設置されたエコセンターがとても利用しにくいと聞きます。一度も利用したことはありません。
- 行政、企業で市内ボランティアを月一回など行う
- 過剰包装をやめる
- リサイクルできるごみの収集機会を増やす。パロー王子マテリア等リサイクルできるごみを収集できるごみを収集している業者をリスト化し配布する。
- 物を売らない、買わない。
- 恵南環境センターあおぞらの有効利用
- 包装を少なくすることだと思います。一個一個の小さなものまでの包装はいかがなものでしょうか。
- 土に還るものをつかう
- 過剰包装をなくす。

問 33. 水の環境を守るために行政がすべきこと

- やれるのか
- 農薬を使わない
- 川床の整備
- 排水の汚染度の測定とそれに応じた上下水道の料金設定→汚い水を流した人から多くお金をもらう仕組み
- 安全な洗濯機購入者にゴミ袋割引チケットを
- マンション、アパートの水質監視、指導
- 下水道が使えるところは加入するよう勧める
- 水の環境で一番汚れを感じるモトを調べて改善

問 34. 環境教育を進めるために行政がすべきこと

- 各個人のマナーによるところが大きいので、各家庭への環境を大切にする必要性に関する内容のパンフレットなどでの啓発
- 体験教育
- 家庭の意識が子どもに伝わる
- 川の生物調査を小学校で毎年実施し経年変化を一緒に考える。
- 問題点をつかんで知らせる。

問 36. 男女共同参画

- 日本の文化である男性女性の役割がどうしてもあるが、平等である方が良いが性別によりできる事とできない事がある。
- お互いが得意な方を担当すれば良い。
- 現代は女性（妻）も働かなければ生活水準を保てない場合が多いため、女性も仕事をせざるを得ない状況なのだと思う。
- 古い！昭和！
- ケースバイケース。できる人ができることをする。
- 子供が11歳くらいになるまでは女が一生懸命子育てに専念し（子供の心を育てる）その後に仕事に従事し、家事仕事を両立すればいい。女の人も外で働くことによって勉強になるから。
- 各家庭にあったやり方が良い。考えを押しつけること自体がそもそもおかしい。
- それぞれの家庭が決めること。家庭によって異なってよい。大事なことは夫婦でよく話し合い納得することだ。
- 自由にすればいい
- 各々の家庭の事なので何とも言えない
- そんなに単純なことではない
- ①②はナンセンスで、③④は決めつけすぎ。互いを尊重しあううえで互いがやれることをすれば足りる。
- 各家庭に任せる
- 今は共働きの家庭が多いと思う。家事も育児もどちらがした方がいいとは思わないが、仕事も家事もすべてをやるには、本人も子供も負担が大きい。共働きでも、心や身体に少しでも余裕がもてる支援があるといい。
- いろいろなケースがあるので、決めつけることができない。
- 家庭、家族さまざまで良い
- ①③④どれも良しとする。各家庭で自分たちのより良い形を決めれば良い。どちらかに押し付けるのではなく、分かち合うのは原則だと思います。
- 仕事、家庭と区別なくお互いに協力しあえる人間関係が大切であると思います。
- それぞれの家庭が決めること。
- ②はまずいと思われるが、①③④はそれぞれの家庭（または夫婦）の考え方（または価値観）の問題であり、それぞれが納得し、幸せと思っていればそれでいい話であると思う。問題は家事等の重要性をないがしろにして、相手を思いやらない心情や態度等であると思う。仕事についても言える。
- 子供の幼少時は男、女、のどちらかが家庭にいる方が良い。
- 各々の家庭の事なので何とも言えない夫婦で決めることで、性別で決めることとは思えない。
- 個々の家庭の事情だと思います。なんとも思いません。
- 正しい意味の自由が良い
- なぜ、このような設問があるのか？家庭や個人によってそれぞれ事情や考え方が違うので、そういう事情を考慮しながらすすめることが必要なのでは。
- 仕事、家事、育児、介護すべての男女の区別をつけるものではない。しかしながら男性、女性ならではできないこともあり、それぞれの役割をもってお互いに尊重しつつ全体的にバランスをとってゆくことと思う。
- 個人の考えで良い。①②③④すべて押しつけているように感じる。
- 家庭が（とくに子育て）しっかりできていけばそういう考え方は重視していない。夫婦が仲が良ければ良いと思っている。
- 経済面、環境面でそれぞれ異なる。一概に答えられない。
- 時と場合には男と女の仕事は同じではない

- 女は家庭でも家事、介護、育児、は分かち合う。
- その家庭にあった方法を選択したらいい
- 男女にかかわらず家庭内で話し合い役割分担をする。
- 家庭環境に合った選択で自由であるべき
- ①が可能ならばその方が良いが、生活が大変なので③になると良い。
- 現実には男のみの仕事では家庭生活は難しい
- どちらでもいい
- 各家庭のバランスのよいところで
- 個々の事であり、決めつけられない
- 「男は仕事、女は家庭」の考えは、今は成立しない。まちがっている。
- どちらでもよい
- 各家庭の考えを尊重すべし。押しつけるものではない。
- ①がいいけど現実③
- どれがよいと言うのはありません。それぞれの家庭の事情であったやり方でよい。
- 時と場合によってお互いの立場は変わってくると思う。
- 理想は「男は仕事。女は家庭」が良いと思うが事情もあるし、各家庭の考えによる。

問 38. ワーク・ライフ・バランス

- 仕事の職種、勤務地、生活基盤がマッチしてない。現在単身赴任中。週末は恵那のため。
- 仕事の条件と家庭環境等があわない
- 職場がそういう雰囲気ではない
- 社会の中で仕事をする年齢を過ぎている
- 共に充実している。
- 仕事がいそがしいため。
- 仕事が優先になってしまう為
- まだまだ田舎で女性は遠慮している
- 多忙の為
- 自分の人生やってきたから
- 仕事の負荷が高く平日は何もできない。
- 時間がない
- ことばは理解している。
- 農家ではそれはあてはまらない。
- 主婦業であること。自身の体力、能力で日々調整できる状況である為。
- 共働きだったが夫の協力はなかった。母子家庭のような状態だった。
- 仕事優先
- すみません高齢です！
- 時間がない
- 失職中、職がない
- 仕事に多くの時間をとられるため
- 仕事が忙しく、休みがないため
- 仕事の間に家庭内の仕事全部をやらなくてははいけない
- 時間的に余裕がないときがある
- 働く必要性が若者に無い
- 仕事が忙しいときとそうでない時の差が大きい
- なし
- 生活に追われ余裕がない
- 仕事が忙しい
- 賃金が低く生活とのバランスが取れない
- 自分が高齢になってきてあまり関係がなくなったと思えるので
- 仕事や会社の環境自体がそうになっていない
- 無職なので特にない
- 単身赴任
- 終業時間が遅い
- 年を取りすぎています。80才。
- 高齢で適用できない
- 仕事の比重が大きい
- 家庭事情と職場の状況が合わない。
- 公私混同

- 仕事が忙しすぎる。
- 個人が実践するには、社会（会社や地域や行政等）の支援や協力なしには実践は不可能と思われる。個人になぜ実践できてないのかと聞かれてもこまっちゃうなあー。自分だけ「ワーク・ライフ・バランス」とか言って、さっさと帰宅することも出来ないだろうし。
- 収入が少ないからバランスよくない
- 高齢にて
- 仕事に影響される
- 仕事が忙しい
- 余生しかないため
- 自家用野菜で趣味の減
- 分からない
- 就労と報酬の割合が人によってアンバランス
- 子育て中
- 仕事リタイヤなので忙しくない
- 高齢であるため必要ない
- 仕事が忙しい
- 仕事が長時間のため
- 理想と現実は違うから
- 退職している
- 1人は生活のすべてが仕事
- 男が一方的なワンマン
- 女性が働くのは大変
- 仕事の方が忙しい。
- 必要な分担をしているから
- 勤務時間が不規則なため
- 家族構成、介護必要高齢者あり、少数家族
- 高齢者
- 仕事以外にも畑や田などがあり、休みという感じがすることは少ない
- 年齢が高くなって、健康を維持していくことが第一になってきている。
- 両立は厳しい
- 仕事にかかる時間が多い

(2) 自由回答について

恵那市のまちづくりについて、多くの方から貴重なご意見やご提案をいただきました。ご意見などの内容については、庁内担当課などで回覧し、今後の市政の参考とさせていただきます。

なお、寄せられたご意見などの内容と件数は、以下のとおりです。

恵那市総合計画に基づく分類		件数
◇健やかで若さあふれる元気なまち（健康福祉）		83
1	安心して子どもを産み育てる環境づくりの推	27
2	健康づくりの促進	8
3	みんなで支え合う福祉のまちづくり	14
4	安心と生きがいのある高齢者福祉の充実	18
5	地域で共に暮らせる障がい者福祉の充実	2
6	地域の医療・救急体制の充実	14
◇豊かな自然と調和した安全なまち（生活環境）		70
1	豊かな自然環境の保全と活用	10
2	快適な都市環境づくり、まち並み景観整備の推進	21
3	移住・定住対策の推進	19
4	災害に強く、安心・安全なまちづくり	6
5	環境衛生対策の充実	13
6	地球温暖化対策の取り組み	1
◇快適に暮らせる便利で美しいまち（都市・交流基盤）		54
1	計画的な土地利用	5
2	地域内外の交流を支える道路体系の強化	29
3	公共交通の充実・強化	17
4	高度情報通信基盤の整備	3
◇活力と創造性あふれる魅力あるまち（産業振興）		57
1	にぎわいのある商業・サービス業の振興	17
2	新たな活力を生み出す工業の振興と新産業の育成	4
3	農林水産業の支援・高度化	6
4	魅力ある就労環境の充実	17
5	地域資源の連携による個性的な観光の振興	13
◇思いやりと文化を育む人づくりのまち（教育・文化）		27
1	学校教育の充実	12
2	生涯学習の推進	3
3	人を育み、人を生かす教育	3
4	文化・芸術活動の振興	6
5	文化財の保護	2
6	スポーツ活動の振興	1
◇健全で心の通った協働のまち（市民参画）		79
1	新しい自治の仕組みの確立	58
2	男女共同参画の推進	0
3	国際・都市・地域間交流の推進	5
4	時代に対応した行財政基盤の確立	16
◇その他		28
その他		28
合計		398

(1) 自由意見～健やかで若さあふれる元気なまち（健康福祉）～

1. 安心して子どもを生み育てる環境づくりの推進

意見	年齢	性別
○子育て支援と言いますが、実際は周囲の理解が低く1人1人の意識を変えていかないと難しいと思います。今年出産し共働きでしたが、産休・育休をとりました。職場からは代理はどうするか、忙しくなる、妊婦で働いている時のフォロー等めでたさより仕事への負担でかたみが狭い思いをします。又、姑からは「これで勘弁してくれ」と出産への援助よりも孫をみなければいけない自分への負担を言われ、子育てをしながら共働きをすることの難しさを実感しました。周囲でも子供はもっとほしい（3人目）けど…という人のほとんどが一番は経済的な負担が多いとの声がきかれます。又、結婚していない人からは子育てで忙しい事は「じゃあ産まなければ？」とねたまれます。法律なんてあっても実際旦那がとった産休も上の子どもの行事で終わりました。出産や退院時忙しくて職場で休みがほしいと言える状況ではなかった。本当は旦那も産休とれる職場になってほしいです。→特に3人目以降。1人、2人産む世帯はたくさんいます。もって3人以上子供がいる世帯を支援してほしいです。又、子供の事で有休や休みをとりやすい職場づくりをしてほしいです。子どもが多い程、行事などで休む機会が増えますが経済的にも負担が多いので仕事を正職で続けていきたい気持ちはあります。又、周囲の援助があれば、次も子供がほしい気持ちはありますが、実際上記のような現状のため難しいです。	30～39歳	女
○少子化対策には、出産のできる年代の男女が独身でいるより結婚、出産をする方が生活、税金など優遇されるような対策が必要だと思う。（例＝独身税のような）	40～49歳	男
○子育て支援の1つである保育サービスの充実化について保育士の待遇（給料体系）を見直すべきだと思います。	30～39歳	男
○少子化に対して、現状では自分たちが生活していくことが大変で、子育てまですることは昔に比べて負担は増加していると思います。小さなお子さんのいる家庭の声を聞いた方がより対策できると思います。	20～29歳	女
○今年からこども園になりましたが、色々な事が曖昧なので、もっとしっかりして欲しいです。我が家は幼児コースを利用していますが、料金が安い以外は利点が見つかりません。スタートさせる前にもっと下準備をする必要があったのではないかと思います。	30～39歳	女
○子供が外で遊べる所が少ない。子育て支援が十分とは言えない。医療体制も。子育てする場所を選べたり、教育の為の対策をもっと増やしてほしい。	30～39歳	男
○恵那市は他の市より親子に対してやさしい市だと聞きました。これからも親子で触れ合える場所を提供してください。	60～69歳	女
○子供が出産して実家へ帰ってきた時、上の子どもを一番近い保育園で預かってもらえるのととてもうれしいと思います。（指定のこども園はあるようですが遠くて通えません）	70歳以上	男
○土々根公園など、老人の勝手に子どもの遊び場が少なくなったと感じる。街の中心部だけでなく、広く子供の遊び場を造るべき。阿木川公園でも、遊具が少なく、夏など暑い時の日陰も作っていない。何の目的で整備してあるのか理解できず。一説には芝生が傷むから、との理由で、子供を遊ばせるのを嫌がられているとのこと。	40～49歳	男
○子どもがおもいきり遊べるような所が恵那には全くないのがとても残念。広く、楽しめるような公園などがあるといい。	30～39歳	男
○子供にはお金がかかるというのは当たり前ですが、経済面を理由に3人以上の子供を産むことをあきらめる人は多いです。少子化を止めたいのなら、子供を産んでも大丈夫！！やっつけていける！！と思える支援。保育料高すぎます。パートだと何のために働いているのか分からなくなります。小学校～は長期休暇をどうするか悩んでなかなか正社員で働きにくいです。学童も高額です。東濃は職場への通勤時間もかかりますから、5時や5時半に仕事が終わって6次に保育園お迎え…なんて毎日ハードです。とにかく子育て支援しないことには田舎の子供は減っていく一方です。	30～39歳	女
○全国的に少子高齢化、人口減少、過疎が進み、どうにかしなければと子育て支援等色々取り組んで努力しているようだけどもあまり効果が表れない気がします。思うに、苦勞して子育てし易い教育をつけ結果親はあまり報われていない。最後は老人ホームにも入れず、これでは何のための子育てだか…結婚もせず海外旅行等楽しんで独身をエンジョイし、小金を貯め、老後も安心。結婚をし、こどもを育てたひとにご褒美とか何らかのメリットがあるよう国の政策が必要だと思います。ちょっと質問にはずれているかと思いますが、いつも思っています。	70歳以上	女
○家族に95歳の母がいます。地域には子どもの声が聞こえません。私の子どもは、低い給料で2人の子どもを育てています。助けてやらねばなりません。子育てにはお金がかかる日本です。新聞に日本は先進国で教育にかかるお金は最下位でした。子供のころ「岐阜は木の国、水の国」とよく歌いました。子供の声が聞こえ山や川が豊かになり、雪で倒れ	60～69歳	女

意見	年齢	性別
た木もなくなり、木や水や農業で若者やみなの生活がなりたつようになればうれしいです。		
○子供たち（大人も）の公園（遊具）が全滅です。子育て、又、近所の大人の集う場所をたくさん欲しいです。	60～69歳	男
○認定こども園は急ぎすぎたのではないのでしょうか？これまでの行事など細かい所で子どもに負担や今までと違うことに戸惑いを感じている様に見える。各園での体制がととのっていないのでは？1人、2人、コースがちがう園児のために全体で合わせなければいけないことが多く、不自然で、わかりにくいことが多い。	30～39歳	女
○多子世帯への助成をする。	60～69歳	女
○子どもを産み育てるため産婦人科の所に力をいれてもらいたい。 保育園が美濃の跡地にできる話があったがどうなっているのか？	50～59歳	女
○若者が結婚しない（できない）のが多数みられる。市町村に人口の減少がみられるのもその一因と思われる。国・市の責任と思う。	70歳以上	男
○子育て支援の充実をもっと強化してほしい。気軽に行けるよう、施設を増やしたり、親子交流の日数を増やしてほしい。 出産の助成金・児童手当を増やしてほしい。出産祝い金など市からできるようになると、少子化対策の一環になるのでは。	30～39歳	女
○シングルマザーで正社員として働いています。土・日・祝も仕事です。子供が小さいのですが、恵那市の施設では十分に仕事ができないため、他市の保育園（365日、6:30～預かり有）にお願いして正社員として働いています。入学のことも考えると、地元の保育園でお友達をつくってもらいたいとも思うと、10年以上勤務した会社をやめた方が良いのか…と悩んでいます。土・日休みの会社ばかりではないことをご理解いただき、もう少し保育環境を良くしてもらいたいです。	40～49歳	女
○数年来東京から夫婦子ども1人で東京都の自然や環境の良さ、又地域の皆様の暖かさに魅せられて親もとへ移住してきました。その後、2人連れ、現在5人家族になりました。恵那市の人々に多少は貢献できたかと思っています。今後も住みやすく安心して子育てができるほか、恵那市があり続けていただきたいと思います。	60～69歳	女
○子どもの遊び場、遊具の充実した公園を増してほしい。	30～39歳	女
○アレルギー児童の学校給食を全て対応にして欲しいです。一部対応でも良いので、早急に対策をお願いいたします。 乳幼児学級の人数が少ないので、広報を使ってもう少し大々的に宣伝してみたいかがでしょうか。 アレルギーっ子の集いなどがあったら参加したいと思います。	30～39歳	女
○0才～3才くらいの乳幼児の遊ぶところがありません。小さくてもよいから遊園地をたくさん作ってください。	70歳以上	男
○小さな子が利用できる様な公園などありません。子育て出来る環境もまだまだです。地形的な事もあるでしょうし、地域の人の意識も変えなければいけないと思いますが、まだまだ発展の可能性（possibility）は大いにあります。笠置町の発展を期待します。	60～69歳	女
○恵那市は子どもと遊ぶための大きな公園がないため、いつも長野県の飯田市まであそびに行っています。恵那市に大きな公園を整備してもらい、他の地域からも人がたくさんくるような大きな公園をつくってください。お願いします。	30～39歳	女
○地域に学校がなくなったら宅地造成して売り出してもそこに住もうと思いますか？どうして串原のように町からみたら不便そうなところに9人子持ち、5人子持ちがいるのでしょうか。いろんなことを安易にことを運ばず、よく考えてください。	50～59歳	女

2. 健康づくりの促進

意見	年齢	性別
○健康保険、介護保険の使用を減らすため、市民の体力づくり（寝たきり減少対策）を進めるための施設の充実、指導者の養成に力を入れていただきたいです。 市民がなるべく健康寿命をより長く維持できるような対策に力を入れていただきたいです。 病人にお金を使うのではなく、病人になる前にお金をかけていただきたいです。接骨院などによる保険への不正請求も減少していくと思います	60～69歳	女
○健康寿命を延ばす対策として、地域の健康施設の有効活用。例えば60歳の人には健康施設利用券10枚配布、70歳の人には施設で行う健康教室参加券など。健康に興味をもって自ら活動できるきっかけをつくる対策を	50～59歳	男
○うちの義母は、先日満90歳を健康寿命で迎えることができました。中野方のみめくらメンバーでも平均寿命より健康寿命が上回る方々もたくさん！健康寿命日本一を目指	50～59歳	女

意見	年齢	性別
す恵那市なので、健康寿命の高い健やか高齢者の多い町、多い地区を表彰（お祝い金などもあるとつと Good）するとか。健やか健康者の多い町、多い地区を表彰するとか。「元気さは飯地には負けん！」とか「中野方には負けん！」とか。「一番介護保険を使わない町！」とか。人は「褒められる」ととてもモチベーションがあがるので、自分で生活ができて（独居の方も）健康寿命もしくは平均寿命以上の方々をさらに（ピンピンコロリ）死ぬまで現役の褒め誉めしてあげるといいですね！！		
○恵那市では「健幸都市恵那」を宣言されましたが、その中のエーナ体操を早く普及させていただいたと思います。子供たちに授業の一環として取り入れれば家庭でいち早く家族に浸透すると思います。	60～69 歳	女
○恵那市は健幸都市を宣言していますので、それに力を入れて高齢者をその気にさせる体操を取り入れたらと思います。ひとり暮らしの方だけではない人を取り込みたいと思います	60～69 歳	女
○健康増進法が施行され、10年余の時を経て、分煙禁煙の考えも全般的に定着してきたようです。ただ気になることのひとつに、自治体単位の寄合会議ではいまだに喫煙者がいます。せいぜい1時間が2時間の我慢で住むことなので、それらの人たちにも受動喫煙の防止に対する理解と協力が得られる様、広報紙面等での啓発をお願いします。健幸都市恵那推進の為に！！	60～69 歳	男
○恵那市もこの先高齢化社会と人口減少化は避けられないと思います。もうすでに現在そうなっているような気もしますがそれについては対策はなくどうしようもないことだと思います。そこで問題になってくるのが高齢化に伴う医療や介護の費用をいかに少なくしていくかということになります。我が家にも認知症で要介護4の家族がいますが、誰かひとりが犠牲になって面倒を見なければならなくなりますので、仕事はできなくなりますし、恵那市からも施設使用料などの費用をかなり負担していただいています。そうなりますとその家族にとっても恵那市にとっても負担が大きくなってしまいます。そこで行政には高齢化になっても健康で病院や介護施設に長く入らなくても済むようなそんなまちづくりをしていただけるよう計画をたてて実行していただきたいと思います。	60～69 歳	男
○私の家では犬を2匹かっています。毎日公園へ散歩に行くのを楽しみにしています。よくカンバンが変わっているの、苦情が多いのかなと思っています。この6年間にはウンチもよく落ちていたり、ゴミも散らかっています。とくに若い人のマナーが悪く、目の前でウンチを取らない時には、注意もします。いつもくるひとはきちんととっています。私は気になる時は、人のウンチもとっています。そういう人もいますので、最近ではあまり落ちていません。どうか公園での犬の散歩は禁止にしないでください。犬の好きなひとは多くて、楽しみにつれてみえます。マナーは皆守っています。	60～69 歳	女

3. みんなで支えあう福祉のまちづくり

意見	年齢	性別
○地域でコミュニティ（たまり場）70～80代の方が気楽に立ち寄れる場所づくり。例えば健康体操に参加しましょう等とうたってお茶100～200円くらいで飲める自販機設置や月1～2回ボランティアのお茶サービス等行ってはどうか。特に男性が外へでないと何とかにまっしぐらに進むかんじと思われます。	70 歳以上	女
○楽しいまちづくりをしてください。 若い人も老人も仲良く暮らせるような社会、まちづくり	70 歳以上	女
○恵那市に居住して40年近くになります。図書館、文化センターでのイベントなど適度に利用していますが、環境の良い住みやすいところだと思います。10月に社会福祉協議会大井支部主催のおしゃべり会に参加しました。地域の人たちの交流親睦を深めたいという取組に感謝ですが、参加者が集まらない（少ない）という状況もあります。市民が近隣の住民が心を許して楽しく明るく生活できるように心していきたいと思います。年齢に関係なく、前向きに考え行動したいと思います。	70 歳以上	男
○定年以降、時間的に余裕のある、しかも元気な人たちが沢山見えます。そういった方々が市政の為に若い方々の生活のためにボランティア活動に気楽に参加できる機会をもっとたくさん増やすべき。これからは高年齢の方々を大いに活動する機会を与えることが地域の活性化や健康面でも大切なことだと思います。年寄は待っている人が沢山いますよ。	60～69 歳	男
○少子高齢化の大変な時代に突入いたしました。が、私は幸いにも三世同居の家庭にて、本当に恵まれ有り難く、感謝の気持ちで過ごしています。昔からうかがう「向こう三軒両隣」と言われますように、まず自分たちの身近なことは、自分達で守るように、若者、手間のある人などが互いに気配りし、手を差し伸べる気持ちで生活する事。	70 歳以上	男
○地域の連携が希薄の様気がします。近隣つながりを持ち、暮らしやすい町づくりを願っています。	70 歳以上	女
○皆で力を合わせて住み良い町のできる事を願います。	70 歳以上	女

意見	年齢	性別
○恵那市の地域での交流をもっと増やして、皆で協力し合ってよい地域づくりがしていきたいと思います。その方法や場を作っていただけたらと思います。地震などの災害への対策なども根気強く市民1人1人が意識できるように取り組んでいただきたいです。	20～29歳	女
○ボランティア活動に多くの人が参加し、地域の活性化し（高齢者の人との交流など）に貢献し、それが本人の生きがいにつながるとうれしい。	60～69歳	女
○・地域での格差ないようにしてほしい。 ・地域の年寄り（60歳以上の方）をもっと有効に使って地域子育てを助けられるようにしたらどうですか。時間を持って余している人はたくさんみえると思います。そんな方、もっと気軽にお手伝いできるような形を。	50～59歳	女
○年末も近づき、皆様には何かとご多忙のことと存じます。さて70才が目の前に来ています私のことですが、長男夫婦は他所に家を建て別居しており、義母は数年前に亡くなり、90代の寝たきりの義父を在宅介護して3年たちました。私の体（特に腰）がしんどいです。心もおれないよう、社会とつながりたいと思いますが、その入り口として若い人も年配の人も気軽に立ち寄り集まれる場所、自由に集まれるそういう場を、1部屋開放して作ってほしいです。いつまでも笑顔でいられる様に、と思っています。良い意味での「井戸端会議のできる場」をぜひ考えてください。お願いいたします。	60～69歳	女
○色々な意味で多様化されていると思いますが、高齢化が進み現代のスマホで何もかもできる時代にはついていけない世代が多くなっています。何でもかんでもスピード化するのではなく人と人とのやりとりや目と目を見ながら接してゆける世の中になるといいと思います。すべてに優しい恵那市であってほしいと思います（今は冷たいといっているのではありません）思いやりのある恵那市民を官民あげてとりくみたいものと思います。小さい時から…	60～69歳	女
○自ら活動しないくせに、文句ばかり言う住民が多い。困ったときは行政を頼りにする体質をなんとかしたい。若い世代で自立した活動をする者たちをしっかりと支援・評価していくことが大切。活動団体や個人も実践を重ねていくことで経験を積み、結果として「市民力」が向上すると良いのですが…	40～49歳	男
○私の町には人の集まる場所がなく（少ない）交流ができません。小さな集まりが少しづつ広がっています（歌声喫茶など）がまだまだです。行政のバックアップが必要です。	60～69歳	女

4. 安心と生きがいのある高齢者福祉の充実

意見	年齢	性別
○高齢化が進み、独居老人も増えている事と思います。地域でも声掛け、お手伝い等など行政と共に実践していくことが理想だと思います。又、体の不自由な方などの為、大手スーパー、コンビニなど食材その他配達をしてもらえようシステムを作る様、行政からの働きかけをしていただくと有り難く思います。	60～69歳	女
○とにかく高齢者の能力を最大限に活用することが大切である。（高齢者は資源です）	60～69歳	男
○・高齢化社会のため、介護をする人材の確保をした方が良い。施設がふえても、人材が足りなければ意味がない。	20～29歳	女
○市民病院に老健がほしい。老人ホーム特養を作してほしい。後期高齢者の仲間入りしたので先のことが心配です。	70歳以上	男
○介護施設は数多くできているがなかなか思うように入居できないということを開くことがあるが、早く入居できる様に希望されている方の空き状況を見て考えた方がよいと思います。	60～69歳	女
○我が家は97歳の義母（在宅で寝たきり、腹部からの点滴で会話は不可、耳は聞こえている様子）の介護をしています。月～土まで訪問看護を午前中受けていますが、ヘルパーさんを頼んだところ、やることは看護師さんと同じだったので、家族でもできるため、一か月で断りましたが、内情は私達夫婦と義兄の3人で世話しています。私達は年金生活者なので時間に余裕があるので、世話できますが、シングルの方や、勤めのある方は大変だと感じます。自宅介護を国はすすめています、前述の立場の人とはとても世話できるとは考えられません。働いている方が安心して介護できるような施設とか、手だてを地方から考えていただきたいと思っています。	60～69歳	女
○高齢化の進む恵那市なので、介護、医療の充実は何よりも大切ですが、そのことに大量のお金をつぎ込めない。それなら企業（大企業でなく、地元の中小優先）とコラボして、恵那病院周辺に一大介護関連施設を作り、名古屋等の都会の老人も利用できる（緑があって、美しく、散歩や、映画や美術館もあり、スポーツもできるような村を作り）収入の道を考えて、老人のレジャー施設等を総合的に考えてもよいと思う。	60～69歳	女
○すみよい町、年老いた人たちの安全な憩いの場所	70歳以上	女
○介護保険料が年に上がって年金がとても少なくなりました。生活ができなくなりそうで	70歳以上	女

意見	年齢	性別
す。介護を受けていないひとにとっては重い負担です。介護を受けている人からもっととるべきです。年をとったら施設に入れば見てくれる今の現在ですが、子が親を見るのは当然です。子を都会や外国に出して立派に育てたつもりでいても面倒をみなければ自慢になりません。介護料が上がるばかりです。消費税もより行政は一般人からとることばかり、個人の生活も考えて欲しい。「アベノミクスの三本の矢」とかわけのわからないことばかりです。		
○私は今80になる女性です。今後老化が進み、認知症又は人（家族）の手を借りなければ生活できなくなると思い、不安は募ります。もっと安くはいれる施設を増やしていただけたら安心して暮らせると思います。 安心して暮らしていける恵那市をお願いしたいと切にお願い致します。	70歳以上	女
○恵那市は他市より介護保険が高いと聞いています。少し安くならないですか、国民（年金）からひかれて生活が大変です。年々生活が苦しくなっています。	70歳以上	女
○すべてを通して東部は良いところだと思います。年はとっていてもまちのためにできることはしたいと思います。	70歳以上	女
○国による老人ホームの規制は厳しく経営者も働く人も苦しく、今のままでは下流老人が増えて町の活性化も考えられない。地方独自の法を策定し老人ホームの充実を図っていく。	70歳以上	男
○少子高齢化で年寄りばかりがふえ、支えるべき子どもが少ない。介護施設、安い金額で入所できる所を今からつくっていかないと間に合わない。	60～69歳	女
○特別養護老人ホームを増やしてほしい。介護の必要な老人が増えているので。	50～59歳	男
○介護施設の充実を。（レベルの高い職員の雇用、施設の建設等）	40～49歳	女
○高齢化が進むなか、高齢者が生き生きと元気に働ける頼りにされる場所をふやすことで、まちおこしができるくらいのパワーがでるのでは、と思います。（おばあちゃん市やシルバー人材など）	50～59歳	女
○介護施設ももっと年寄りがいきいきと過ごせる場だともっと元気に暮らせると思います。皆が同じ事をするのが楽しいのか少し疑問に思う。	60～69歳	女

5. 地域で共に暮らせる障がい者福祉の充実

意見	年齢	性別
○車椅子で行けるところをもっとふやしてほしい。考えてくれているところもあるが、幅がぎりぎりだったり、段差がある。	50～59歳	男
○福祉についてあまりに不公平なところがある。 身体障がい者の方、元気に仕事に行って収入をもらって見える。 人も障がい者、良く調べてもらいたい。	70歳以上	女

6. 地域の医療・救急体制の充実

意見	年齢	性別
○新しい市立恵那病院の充実に期待しています。	70歳以上	男
○婦人科医師を誘致してほしい。ふるさと納税の特典を充実してほしい。	30～39歳	女
○医療連携 広域医療振興を推進し、東美濃山間部と三河山間部の緊急時の人命救助の対応が迅速にできる	70歳以上	男
○新しい恵那病院が出来つつありますが、今のままの状態建物だけが大きくなる可能性がありますがどう見ても老人病院でしかありません。幼児が緊急で罹り、脳性マヒで寝たきりになってしまったことが今年春にありました。経験のある小児科のDr.を数名、セカンド、サードとオピニオンできる体制をつくって下さい。安心して育てる医療を望みます。	60～69歳	女
○市内に産科がないのが残念	20～29歳	女
○「健幸な町づくり…」はすばらしく、検診なども充実してきているように感じます。ありがとうございます。が、検診に何うと保健師さん等沢山の方がおられますがその数の割に合理的でないような印象を受けます。健診の業者さんと思われる方々は少人数がこなしておられるのに、少々？？です。健診のために駐車場が広く確保されガラガラなのに他の行事の駐車には使用できない。その確保のために職員さんが駐車場係をしておられました。健康はみんなの願いです。もっとも大切なことですが、少々他の業務とのバランスがとれてないように感じました。感じる時があります。乱筆にて申し訳ありません。	50～59歳	女
○年令が高い人が多い山間地区は、急病人が出た時など救急車も時間がかかるし、すぐ見て下さるお医者さんもみえないのでとても不安です。（時間外にはみてもらえない事が多い）助かる命も助からないのでは？	60～69歳	女

意見	年齢	性別
○市内で入院施設のある病院は一か所でよいのではないか。	60～69歳	女
○早く産科の充実を	60～69歳	女
○産婦人科が無い。(子育てに不便な町だと感じる)	20～29歳	女
○一番身近で困っていることとしては医療についてで、各医療機関どの病院も大変雑な診療をされることが多くあり、とても不安と怒りを感じています。定期的な指導か何かしていただくと安心して利用できると思います。よろしくお願いします。	20～29歳	女
○武並に医療施設がありません。一刻も早く開業してください。	60～69歳	男
○健康診断をもう少し詳しくいろんな項目をやってもらいたい。	30～39歳	女
○1つでいいので病院の充実を。(おおきな病院)	40～49歳	女

(2) 自由意見～豊かな自然と調和した安全なまち(生活環境)～

1. 豊かな自然環境の保全と活用

意見	年齢	性別
○自然の残っている場所や河川の浄化によって水質の改善などを目指してほしい。	60～69歳	男
○都市から引っ越したばかりでまだわからないことばかりですが、もっともった良い恵那にするために空気が良い、水が良い、買物が狭いところに集中して量販店があるということは周辺はなんでも開発するのではなく美しい里山を残し、なお便利で安全な食もあるまちをつくられると良いと思います。	70歳以上	女
○財政厳しい中とは思いますが倒壊寸前の状態の建物については補助を出しても撤去する方向で検討されたい。そして美しい森林、新緑を残すことが大事だと思います。	70歳以上	男
○昔は私の家のまわりには田畑がありました。季節もそれで感じる事もあり、又となり同士の人が顔を合せて、井戸端会議で花を咲かせていた姿が昨今見受けられません。少し淋しい気がします。駅前の活性化を願う恵那峡というすばらしい場所があるのにあまり知られていないのが残念です。	60～69歳	女
○町中に緑が少ない、広い駐車場を必要なのはわかりますが真夏の照り返しがひどいと思います。せめて駐車場の四方には樹木数本でも植えられていたら景観もよくなると思います。	60～69歳	女
○里山づくりが重要だと思う。道路にまで迫っている木を片づけ、明るく見通しのよい道や見えるところの里山を作ることで、ずいぶん気持ちの良い土地になると思う。戦後から昭和の時代、めちゃくちゃに植え、手入れされていない木(庭木も含めて)道路から少なくとも2m地上は何一つないという里山づくりがしてほしい。(美しい村連合の町づくりでは、徹底しているので、頑張ればできると思う)急斜面で、倒れ掛かるように放置されている森林、里山をみると、市民、町民でも不安で、他の町のひとなら二度と通りたくないだろうと思います。私有地、公有地ともに計画的な里山づくりを願っています。	60～69歳	女
○恵那市は他の町にくらべて大変、環境も景観も昔のままに残っている。(他の町は極度に新しい家が建ち、見た目がとても悪く感じられる)状態を維持することに重点を置いてほしい。休耕地などを簡単に家を建てたり、ソーラーを建てたりとても見苦しい。お金利益ばかりを求めないでほしい。何もないこともすごいことだと思う。中途半端な気持ちで開発を絶対しないでほしい。今ある状態をとにかくきれいに保ってほしい。不便を楽しめるまちづくりにしてほしい。	30～39歳	女
○商業施設を増やすより、自然や環境の整ったまちになると思います。	30～39歳	女
○山や川に囲まれて、空気がきれいでも水もおいしい。このままでいてほしい。	20～29歳	女
○自然がたくさんあるので活かした方がよい(キャンプ場の整備とか)	20～29歳	女

2. 快適な都市環境づくり、まち並み景観整備の推進

意見	年齢	性別
○ペット社会なので、ペットもいっしょに住める住宅をふやしてほしい。障がい者の方も住めるバリアフリーの住宅も建ててほしい。診療所の充実の強化。古い住宅の整備を強化してほしい。	40～49歳	女
○リニア中央線の建設についてわが家の近くの地下を通るということに不安があります。安全性などの説明を住民にしっかりしてもらえるようにお願いしたいです。また自然破壊につながるのではないかと少々懸念しています。リニア反対派の意見にも耳を傾けていたかなければと思います。他の市民の皆さんがリニアに対しどのような考えをもっているのか知る機会が欲しいと思います。	20～29歳	女
○市営住宅を各地域に建てていただきたい。中津川などは、スーパーは21時までだが恵那は20時。住みやすくするために営業時間を長く願いたい。	40～49歳	男
○武並町は買物するところがコンビニしかなく、買物が不便なので、買物をするところを	30～39歳	男

意見	年齢	性別
増やしてほしい。武並町の車屋がどこにあるかわからなく不安です。		
○観光とかではなくて、住民が今住んでいる事に誇りを持てる街づくりを行ってほしい。	50～59歳	男
○住みやすい恵那市にしてください	40～49歳	男
○若者が集まる町づくり、専門学修の場、最先端医療設備、研究開発、巨大レジャー施設、巨大ショッピングセンター、他にはないスケールのもの。日本一、世界一、唯一無二、なんでもよいのです。唯一無二！2番ではダメです。1番です！	50～59歳	男
○安全安心な町の整備の重視。・若者の働く場の確保。・住み続けたい街の実現。・保育伊、教育、産婦人科充実。・災害を起こさない町の整備。	60～69歳	男
○これからリニアで大きく変わっていく恵那市に発展、便利、いろんな思いになるでしょうが、リニアが通る周辺は一番大変だと思います。そんな所も考えて、市もいい風に発展してほしいです。	60～69歳	女
○恵那の若い市民の皆様方に恵那市の町づくりに発展します様期待しております。恵那の町は素晴らしい所になって人口がどんどん増えて良い環境になります様にお祈りいたします。	70歳以上	女
○公園に照明を充実させてほしい。夜でも使いやすいようにしてほしい。バスや電車をもう少し遅い時間帯のダイヤも作ってほしい。スーパーを1時間でも長くやってほしい。もう少し活動時間が増えれば夜が活気づくのではないかな。	30～39歳	男
○中心部の開発をやめて郊外山間僻地の住民の生活改善をすすめる。老人、子供に暖かい政治住民のための行政を望む。住んでよかったと思える街にする。	70歳以上	男
○恵那市周辺ばかりいろんな物が集まり寂しいばかりです。(山岡在住)	60～69歳	女
○恵那市と一緒にってから(合併)これといって何もいいことがないと言っているのか不安だらけ	70歳以上	女
○少子化対策と雇用の対策。恵那市で安心して生活していきたいと思える魅力ある町づくり対策。	40～49歳	女
○旧恵那市街はきれいになってきていると思いますが、市の中心部だけでなく、他の地域にも目を向けていただきたい。	50～59歳	女
○市会議員の減少が節約となる。合併して元恵那町、村の過疎化、高齢化が進み、若者の住みにくい不便な街になっている。	60～69歳	女
○駅前通りの商店街シャッター通りからもう少しでも常に人通りのある通り、街並みをつくってほしい。若い人が地元で働ける会社を誘致してほしい。観光施設の掘り起し等で都会からのお客を呼び込んでほしい。	60～69歳	男
○一極集中が叫ばれている昨今、田舎は益々過疎化が進み、空き家が増え、やがて屋根が剥げ落ち、やがて朽ちて景観とか何かにつけ世の中に大きな問題だと思います。特に上矢作町、串原の奥地では迫った時期が来ていると思われます。	70歳以上	男
○駅の裏側の町には郵便ポストが一基もない。町の中は100m位置にあるのにこのアンケートも郵便局までいかなければなりません。郵便局の人に願ったけど無視されました。市からもポストの設置お願いしてください。みんな困っています。	70歳以上	女
○恵那駅周辺の活性化を。	40～49歳	女

3. 移住・定住対策の推進

意見	年齢	性別
○若い世代の人たちが「恵那市に住みたい」と思えるような魅力的なものが増えればと思います。	20～29歳	女
○まず恵那の人口を増やすことが大切だと思います。子供が増えないと町の商店も仕事も増えません。子供が大勢いれば年寄りもお手伝いすることがたくさんあると思います。	70歳以上	女
○恵那市の町づくりと言っても問題が広がりすぎですので、岩村町のみ限定させていただきます。町の活性化はとても重要な課題です。特に岩村町は高齢化もすすみ、町全体に若々しい雰囲気が今一つ感じられません。イベント等は一時的でまた、観光客が一時より増加しておりますが、大正村と同じ様な姿(一時はすさまじい勢いでしたが近頃めっきり観光客もへり、街の勢いが感じられません)になってしまうのではないかと危惧しています。若者世帯がまずは定住し、増加し、若い世代が生活できる基盤こそが町づくりの基礎だと思います。そのために若者の雇用の場をどんどん増やし、岩村は安心して暮らせる町だと体感できるような施策が早急にすすめられることが重要です。	70歳以上	男
○各大学に働きかける。(研究→地域コミュニティ、地域産業)。住居を提供し、学生に住んでもらう。地域コミュニティにも参加してもらう。若い人を必要としている所。アルバイトを紹介し、恵那市に住んでもらう。農業、林業、NPO。	50～59歳	男
○農村地域の人口減少(とくに子供の数)が激しく、限界集落に向かっている。田舎に住	40～49歳	男

意見	年齢	性別
むメリットがなければ人口減少をとめることができない。雇用対策、税金教育費等の減税など、何かの都会より田舎で生活する方がメリットあると思ってもらえる政策が必要だと思います。		
○若者の働く場所の確保（企業の誘致等）。若者の定住。そして恵那市の人口の減少を食い止める。	60～69歳	男
○人口減少に対する問題は、様々な今後の恵那市への政策にも大きく影響を与えます。若者に魅力のある街、本当に住みたい街、恵那市で働きたい、そういった環境整備に財政を投入頂きたい。 働く場所とその環境、安心して、子育てができる充実した環境を求めます。 10代、20代に対する意見をどんどんと聞いて頂きたいと思います。	50～59歳	男
○単身用のアパートや、住める所を作してほしい。やはり、住める所がないと、いくら移住してほしいとアピールしても、不安だと思う。	40～49歳	男
○老人が幸せを感じる都市づくり。町から若い人たちが出て行かないような町になるといいな。	70歳以上	女
○若い人達が好んでこの地で生活しやすい環境づくり。大型施設やゲームセンターなど雇用についてもお年寄りを大切にすることも大事ですが、これからの人たちのこともっと考えるべき。	50～59歳	男
○恵南、恵北に住むのは、仕事や病院、買物、学校など恵那中心へ出ていく事が多い。そのため、交通費が負担となるが、水道料が安い、固定資産が安いなどのメリットもあった。だが、水道料が統一しないと不公平という理由で値上げをされ、学校も減り、負担は増すばかりでこのままだと恵南恵北地域の人口減少は当たり前の事のように思える。そういう地域の若年層を増やすために、子供園、学童保育の整備と料金の値下げ、緊急でも対応できる近くの病院、働く場の確保は必要かと思う。	40～49歳	女
○恵那市の特徴をレーダーチャートにしてみました少しでも回りの自治体より優れている所を伸ばすことでアピールし、注目され、人口減少にブレーキをかけるようにしてはどうでしょうか。基本的には仕事がないと人口を維持できないが、高齢者が快適に暮らせる町などをアピールしても良いと思う。	60～69歳	男
○移住・定住対策は重要だと思いますが、恵那市で生まれ育った子どもが住み続けられる環境が必要だと思います。大学誘致は難しくても雇用の場確保は継続していくべきだと思います。	20～29歳	男
○市営住宅をもっと増やせば、人口も増えていくと思います。	60～69歳	女
○人口減少にて恵南地域や飯地、中野方など遠方の地域では過疎化が進み若者の流出を防ぐ対策が必要、対策として各地域に工場など働ける場所をつくりその事業者に何らかの補助金を出すなど	40～49歳	男
○地方創生事業として提案します中央自動車道恵那インターと東名高速道（豊田、豊橋間のいずれかの地点）を結ぶ南北幹線高速道の建設を提言します。リニア岐阜県駅の開通に日本の大動脈新東名高速道と中央自動車道を短時間で結ぶことによって物流や人の交流が活性化されこの地方に大きな経済効果が期待される・積極的に人口増加を図る生活基盤である働き場の確保と生活環境の整備を行い、自然豊かな住みやすい町づくりをめざし、UIターンを積極的に推進することにより地域の発展と人口増加を図る	70歳以上	男
○移住支援があると（恵那で定住するために）助かる。（現在アパートで、家を建てたいが経済的に困難）	30～39歳	女
○人口減少の歯止め対策	60～69歳	女
○人口が減少する中で、若者が離れていかない町づくりをした方が良い。色々な場面で不便を感じるため離れてしまう。私も一回は恵那を出ました。帰って来て思ったのが「やっぱり不便だ、何もできない」と感じました。もっと魅力がないと、この先も子供は減り高齢者ばかりになってしまうと思います。恵那市の良い所を引き出し、住みやすい、戻ってこれやすい町にした方が良いと思います。	20～29歳	女

4. 災害に強く、安心・安全なまちづくり

意見	年齢	性別
○防災について 各地域に消火栓が取り付けられているが一度も点検をしたことがないが心配です。団員はマンホールのふたあけられますか。	70歳以上	女
○一部の地域だけとは思いますが、消防団について操法に力を入れすぎなのでは？と思います。本来は火災、災害が起こった時にいち早くかけつけ活動してもらうものですが、操法訓練がメインになっているように見受けられます。家庭も犠牲になっている現状なので一度、あり方について見直しして頂きたいと思います。	30～39歳	女

意見	年齢	性別
○笠置、飯地、中野方3町に1か所笠置町河合のへんにミニ消防署を置いたらいかがでしょうか？	60～69歳	女
○消防団活動において、操法が主になっており、そのため入団員数の減少や転居したり、入居したくない要因のひとつに思います。なので、退団と町外もしくは市外への転居も選択肢になってきています。	30～39歳	男
○大雪の時の道路の対策	50～59歳	男
○地方創生事業として提案します 中央自動車道恵那インターと東名高速道（豊田、豊橋間のいずれかの地点）を結ぶ南北幹線高速道の建設を提言します。 リニア岐阜県駅の開通に日本の大動脈新東名高速道と中央自動車道を短時間で結ぶことによって物流や人の交流が活性化されこの地方に大きな経済効果が期待される ・地震、災害時の連携 東海地震などで東名高速道など主要道路がマヒした時などには迂回道として相互に利用できる	70歳以上	男

5. 環境衛生対策の充実

意見	年齢	性別
○養豚場の指導（水質、悪臭）	70歳以上	男
○下水道がまだありません。トイレの水洗を早く希望します。	60～69歳	女
○リサイクルセンターの運営についてプラスチックごみの収集は採算に合わないのでは中止になったとのこと。何かおかしいと思います。そもそもあんな大きな建物をたてたところで採算が合うのでしょうか。リサイクルとはそういうことではないところに意味があると思うのです。ものを大切に使い、ゴミを出さないところに目的があるはず。プラスチックゴミを捨てるたびにこれでいいのかなと思います。	60～69歳	女
○近所で草を燃やされている方がいて、洗濯物に臭いがついてしまいます。夕方にするとか、雨が降りそうな日にするとか、曜日を決めるとか、自治体の問題かもしれませんか？	60～69歳	女
○現在の恵那市エコセンターの見直し（現施設はお金がかかりすぎではないでしょうか）。全国的に恵那市エコセンターのような処理方法を実施して居るところは多くあるのでしょうか？他市と比べてゴミの処理費（市民一人あたり）は恵那市は高いと思います。処理施設のメーカーも実績が多く有るところを選定すべきです。安かろう悪かろうでは最悪です。メーカー選定も識者委員会等への数社メーカーによるプレゼン等を行い、恵那市に一番当てはまる（恵那市から出るごみ種）地産地消のゴミ質にあった処理設備の提案をもとべべきと思います。	60～69歳	男
○ペットボトルのキャップを学校、家庭でも集めたらどうでしょう	70歳以上	女
○国道257線歩道より1メートルは草を刈っていただけていますがその下は刈っていただけないので面積が広いものは大変です。若い人がいれば刈ってもらいますが、年を取っているものでは困ります。	70歳以上	女
○ゴミ袋が高くて困る。その割にゴミ対策がうまくされていないように感じる。	30～39歳	女
○隣である中津川市に比べ、ゴミ袋の値が倍以上する根拠が良くわからない。（高値である程、取り組みとしては有効であるとは思いますが…）	40～49歳	男
○猫（飼猫）の放し飼い、糞で困っています。庭の花木全滅しました。	40～49歳	男
○大井町のバロー近くにある王子あたりが時々くさいにおいがすると聞きます。水質が不安です。	30～39歳	男
○農地の荒れ地、時間がなく、（老人になり）道の草が伸び放題の所が多くなり環境が悪く、子供がとても心配です。又、虫他どうにかならぬですか。	70歳以上	女
○町内に中学生の人数が少なく、あと数年で0人になります。現在新聞などの回収は学校頼りが主ですが、私の知っている市では決められた日に軒先に新聞を出しておけば、回収してくれます。（たぶん新聞店が共同で）町中の町内はどこも中学生の数が少なく、隣の町に頼めないとします。市内のところどころに回収する場所もありますが、足腰が弱い方はそれも不自由になります。回収が学校の資金にもなりますが	60～69歳	女

6. 地球温暖化対策の取り組み

意見	年齢	性別
<p>○1. 環境保全と省エネ対策、自然エネルギーの導入など、クリーン恵那市を目指す。</p> <p>①RDFの地産地消、市の公共施設にエネルギー源として投入する（運搬エネルギーの節約、エネルギー軽費の節減、雇用対策など）</p> <p>②家庭ごみの発生量の圧縮、リサイクル化※分別の細分化（紙、プラスチック系の者は分別徹底→リサイクル）※各家庭内における堆肥化の促進→地域への発展</p> <p>2. 再生エネルギーの積極導入</p> <p>太陽光発電→公共施設の屋根へ緊急時の非常電源風力、バイオマス、間伐材（除草済みのものを含む）→有効活用と地域おこし</p>	70歳以上	男

(3) 自由意見～快適に暮らせる便利で美しいまち（都市・交流基盤）～

1. 計画的な土地利用

意見	年齢	性別
○最近急速に空き家が増えているので、早急に対策を考えて欲しい。人口が減少していく中なので、再利用より解体を行政の判断でできるように決めて欲しい。	60～69歳	男
○過疎対策の充実、耕作放棄の土地の活用、竹林の整備などを通して対策を考える。	70歳以上	男
○近い将来集落が崩壊する。 コンパクトなまちづくりを進め、仕事と住居とその環境づくりが必要と考える。	40～49歳	男
○施設の有効利用	40～49歳	男
<p>○リニア新幹線岐阜県駅の新設に伴う地域活性化策について</p> <p>①恵那市内には、環境に優れ、まとまった土地が恵那市飯地町に「旧五明センター跡地」があるため、都市直下型地震、東海地震などによる被害回避のために政府機関のバックアップ機能施設を誘致すること。（国土強靱化法第8条に規定されている。国家及び社会の諸機能の大体措置の確保を図ることに資する。）（古屋圭司衆議院議員は、先の総選挙に公約している。）（愛知県共済協同組合は用地提供の内諾済）</p> <p>高齢化で営農不能（耕作放棄）、山林の荒廃を防ぐため、13地区に管理運営する組合を組織し、農地、山林を護り、国土保全に資する仕組みを構築すること。</p> <p>①営農、山林経営を年間通じて作業ができるように組織とする。</p> <p>②組織のない地区は組織を立ちあげ、依存の組織を改変する。</p> <p>③この組織は、法人化して経済的基盤を確立させる。</p> <p>④これらの組織は相互に連絡、ネットワーク化し、効率的に活動できるようにする。これらには行政が強力な指導力を発揮して具体化すること。</p>	70歳以上	男

2. 地域内外の交流を支える道路体系の強化

意見	年齢	性別
○県道蛭川線で町の方から蛭川に向かう旭ヶ丘で蛭川へ行く車の方向指示が2/3位しかださない（特に男性が多い）	70歳以上	男
○学校への通学路を危険な所がないか定期的に点検してもらいたい。	70歳以上	男
○市外区域に対する道路整備を早急に行ってほしい。	70歳以上	男
○きよしのとこやさんの交差点、矢印信号をつけてほしいと思います。	70歳以上	女
○ご年配の方の交通マナーが悪いです。	40～49歳	男
<p>○県道の拡幅について</p> <p>恵那市は観光産業で多くの方が恵那市で働いています。恵那に観光バスがついていただいています。県道恵那峡線（多い長島の交差点の拡幅大型バス、トラック、非常に危険です。観光恵那なら拡幅していただきたいと思います。）</p> <p>武並に中央道のインターの設置</p> <p>恵那市の工業団地、県のスケート場の便利、発展の為早くから土地の確保をして工場の誘致市での宅地開発等お願いします。</p> <p>市道の拡幅について</p> <p>旧来からの市道ですが火災、緊急時での時など今だって拡幅がなされない所が多く見受けられます。野畑地区、野尻地区、旭ヶ丘地区、丸池地区、天王山地区、1年で10mでも少しずつ計画を、②で希望しましたプロ集団の人材の確保こそ長い恵那市の発展につながる事だと思います、いち早く非常に伴う危険の排除を考えてください。</p>	70歳以上	男
○JR恵那駅前の送迎駐車場の利用マナーが悪すぎることが、私、通勤者にとって今一番の問題点であり、早急に改善すべきだと思います。ここのエリアは電車、バス、等の利用者が一時的に乗降する場所だと思います。しかしながら、駐車場かわりにしている人（朝6時頃にもうすでにちょうどいい場所に止まっている車がある。）ジャマ！！	50～59歳	男

意見	年齢	性別
・横断歩道上に5分以上止まっている車、電車利用（乗降に）そんなに時間がかかりますが？それに西側のタクシー乗り場スペースに少し車の前部を入れて、Uターンしていく車（よく都市部でみる赤い棒みたいなので区切ってはいかが？）まだまだ書ききれないことが沢山あります。市職員や交通課の警察官で、見回りや取締り等の注意喚起などできませんか？ぜひ改善してほしいです！よろしくお願いします。		
○とにかく道路状況が一向に改善されていない。せめて片道一車線を確保してほしい。近年温暖化傾向により、豪雨になることが多く、道路状況が十分でない我々の居住区間では寸断、崩壊が懸念されます。迂回道路が少ない現状では孤立することも十分考えられます。明智―豊田線では川に沿って道路が走っています。大雨・洪水で道路崩壊となった場合、片道一車線も確保されていない現状では、すぐに通行できない状況になる。早急な改善を希望します。	60～69歳	女
○恵那駅裏の開発・道路の整備。 市街地にある企業・工場は企業団地に集約し、跡地を大型店舗含めた商業施設に活用し、車利用で買い物をできる町にしてほしい。	50～59歳	男
○夜間暗い道が多いので危険 ・恵那駅のロータリー送迎者の渋滞何とかして欲しい ・イノシシ対策	40～49歳	女
○主要道路の整備は多くできた一方、生活道路の舗装等、直接かかわる周辺整備まで手がまわらないのか。舗装も手入れされず穴だらけで不都合だ	70歳以上	男
○生活道路の路面の整備と年次計画を立て進める。（30年間くらいですべての整備が出来る。路面が悪いと行政サービスの悪いまちに見られる。）	60～69歳	男
○むかしの市道の道をなおしてほしい ・道路にひびわれがしているのでなおしてほしい	70歳以上	女
○運送業、製造業の基点を作るように各企業(大手)に働きかける。（その道線も整備） ・恵那の利点(人件費安い土地が安い)なにがある？ ・恵那ICの出入り口も渋滞しないように再検討 ・坂本（中津川の人）が恵那IC、恵那駅前を利用しやすいみちづくり上記が進んだら大きな商業施設を コストコ イオン 中津←中津？ ・道の駅（温浴施設併設）←サウナ必要 絶対流行る。1から2年でもととれる。山や田舎はダメ！ ・ガソリン高すぎ！他県、他市でガソリン入れている。→ガソリン流れてしまう。（他県へ）	40～49歳	男
○恵那市全域の主要道路整備（例えば環状線並）	60～69歳	男
○観光人口の増加と道路の整備についていつも思うことですが、串原温泉ささゆりの湯は冬期間は路面状態が悪いためお客様に苦勞をかけていると思います。県道403号と11号の改良が促進されたならば、関係者の努力もずっと実るのではと思います。同様に恵南の他、長野県の一部からも広く頼られている上矢作病院も県道33号の整備促進して下されれば、ずっと利用しやすくなると想像しています。	60～69歳	男
○リニアに関して愛知県との今後の道路網計画の素案が有るのでしょうか。	60～69歳	男
○恵那市内の整備ばかりされています。 ・市内は道は広いし、便利もいいですが、恵南地区はよくないです。とにかく他にも目を向けて平等に整備をするべきである。若者たちもとどまるようになるのではないかな？	50～59歳	女
○道が狭く緊急時や雪が降った日時は不便をしている。洞の方に入っていく道（本通り等は整備されている）がすごく狭く水はけが悪く特に冬は凍っていて危ないので早急に道路の拡張してほしい。合併する前には道路の整備行われることに決定していたのに、今田にそのまま取り残されたように感じる。早急に検討してほしい。恵那の駅前通り周辺は整備が進んでいるがその予算をもう少し分散して検討してほしい。多いに希望する。	60～69歳	女
○川のくろに石とか草がはえ、せまくなり、道もせまいところがあり、車の通るときが危なく感じます。すごく大きな車が通るので。	70歳以上	女
○毎日車通勤していますが、野志の信号のない交差点がなかなか国道に出られません。押しボタンを設置してほしい（信号）	50～59歳	男
○恵那、瑞浪館の19号を2車線にして下さい。	20～29歳	女
○少子高齢化がすすみ、人口が減少し、うんと住みにくくなっています。交通手段がうんと少なく歩いて移動をしなくてはならないのに道路の交通量は多く、スピードがひどくなって悲しいくらいです。また、山岡では歩道、自転車が通る道が無い所があり、安心して歩けません。中学生の自転車通学も不安です。	70歳以上	女
○恵那峡は大きな駐車場がないから発展しないと思います・	70歳以上	女
○道路整備ですが、特に悪い所から早急にやってもらいたい。農道などは一段上にアスファルトを流しているが、比較的良い所は後にして、穴や割れ目があり、水が吸い込んでいような場所をやってください。路側の草を一年に何回か刈っていますが、個人に補助金(草刈りの刃)とかを出して、その場所を任せてはどうでしょうか。高額を求めているないので、この方が路側はきれいになると思います。	70歳以上	男

意見	年齢	性別
○里山づくりが重要だと思う。道路にまで迫っている木を片づけ、明るく見通しのよい道や見えるところの里山を作ることで、ずいぶん気持ちの良い土地になると思う。戦後から昭和の時代、めちゃくちゃに植え、手入れされていない木（庭木も含めて）道路から少なくとも2m地上は何一つないという里山づくりがしてほしい。（美しい村連合の町づくりでは、徹底しているので、頑張ればできると思う）急斜面で、倒れ掛かるように放置されている森林、里山をみると、市民、町民でも不安で、他の町のひとなら二度と通りたくないだろうと思います。私有地、公有地ともに計画的な里山づくりを願っています。	60～69歳	女
○生活道路もよく大雨の時は通行止めになったりするので仕事に行く日はとても不都合です。そうならないために道路を早く安心して通行できるようにしてほしい。	60～69歳	女
○通学路には、車の通りが一定基準行っていないくても、信号は設置すべき。特に恵那病院から下ったところの横断歩道。渡る子供がいるのに誰も止まらず危険。	40～49歳	男
○地方創生事業として提案します中央自動車道恵那インターと東名高速道（豊田、豊橋間のいずれかの地点）を結ぶ南北幹線高速道の建設を提言します。リニア岐阜県駅の開通に日本の大動脈新東名高速道と中央自動車道を短時間で結ぶことによって物流や人の交流が活性化されこの地方に大きな経済効果が期待される・この道路建設の第1の目的は企業誘致リニア新幹線岐阜県駅の開通と南北幹線高速道の開通によって有利に企業誘致が到来、将来性のある多業種の優良企業の誘致や企業の本社化も可能になる。また、首都機能の一部移転も考えられる・この地方と三河地方を結ぶ国道の整備、拡張を行う南北幹線高速道の開通と同時に国道19号線と国道1号線を結ぶ国道の整備、拡張を行うことにより東美濃山間部や三河山間部の生活道路としての利便性が高まり、農業や林業の発展につながる・観光道路として静岡県や三河地方などから東名高速道を利用して美濃地方や飛騨地方また長野県への観光が短時間で結ばれ観光産業としての発展が期待される・中部空港へのアクセスがよくなる	70歳以上	男

3. 公共交通の充実・強化

意見	年齢	性別
○高齢化して運転免許を返上したは良いが、タクシーを使えばよいと簡単に言うけれど私の地域ではタクシー程あてにならないものは無いというほど使い勝手の悪い状態で困ったとの声が飛び交っています。乗合タクシーなどの事業ができれば助かる人が多いのではないのでしょうか。	70歳以上	女
○私は三郷の住人です。今は車社会で仕方ないと思いますが、バスや駅前のタクシーを見るともったいないくらい人が乗ってません。昔は朝晩ほとんどまんいんでしたが。店もパローヤアピタができる以前は三郷も店が5から6件ありました。今ではガソリンスタンドも店も1件もありません。もの1つ買うにしても街まで車で15分かけてでかけて行かなくてはならないのでとても不便しています。	70歳以上	女
○定期バスを1日に数本しか出ないところはマイクロバスにしたらいと思います。今は自家用車がほとんどあるので大きなバスはいらないと思う。いずれ私も免許を返す時がくる。バスを利用して買物に行きます。	70歳以上	女
○近所でも、車のないお年寄りの方が、買物や病院に行くのに本数の少ないバスをまって、車があればすぐな事でも何時間もかかって用事をすまさないといけない方が多い。今まで、地域や市のために貢献していただいた方達が、これからも安心して暮らしていただけるようにしてほしい。70歳以上の方は、月にタクシーの回数券を渡したり（必要ある方のみ）何か対策を考えて欲しい。	30～39歳	女
○行政と市民に温度差を感じることがある。町の中の人たちとそうではない人達との利便性が全く違い、車がある人は良いが老人たちは困っているのではないかと思います。バス等交通の便がもう少しあると思います。	40～49歳	男
○JRの快速が遅くなったと思います。もう少し早くしてもらえないかと思っています。以前は50分、55分で名古屋についてたと思います。（武並から快速で市制は関係ないですね。）	60～69歳	女
○山間地で高齢者ばかりで運転できない人ばかりで不便しています。	70歳以上	女
○年齢が上がってくると生活範囲がせばまってくるので日々の生活に必要な買い物、病院などが不安になってくる。今は車があるから良いが、もっと高齢になった時はたして一人で生活がスムーズにいくかどうか。1人暮らしの人は大変だと思う。バスなどの交通手段がありがたく思うようになるのかな。	60～69歳	女
○定期バス（巡回）をふやしてほしいです。二人（夫婦）で今の所いいのですが、数年先が心配です。	60～69歳	女
○市内全域にコミュニティバスのような運行をお願いしたいです。学生。高齢者など車の運転ができない市民が様々な施設をりようするためにできるように	40～49歳	女
○高齢者は車を持たないので不便でも買い物もかなりするのであながちバカにできませ	70歳以上	女

意見	年齢	性別
ん。私は足が悪くなり夫も運転できなくなるのでここ2から3年の間に考えねばならない。		
○現在車を運転して市内まで病院、買物等は行けますが、運転できなくなった時に交通面に不安があります。高齢者ばかりなので、将来移動販売などがあつたらいいと思います。	70歳以上	女
○リニア中央線の建設についてわが家の近くの地下を通るということに不安があります。安全性などの説明を住民にしっかりしてもらえるようお願いしたいです。また自然破壊につながるのではないかと少々懸念しています。リニア反対派の意見にも耳を傾けていたかなければと思います。他の市民の皆さんがリニアに対しどのような考えをもっているのか知る機会が欲しいと思います	20～29歳	女
○高齢者にとり、病院への通院、買物など生活弱者にとり、交通の手段は本当に大切なことです。公共交通利用迄に届く足（家からバス停）に、本当に困るとよく言われる。弱者切り捨てにならぬようにきめ細やかな対策が急がれますが、市政に頼るばかりでなく、民間とタイアップして少しでも良い生活ができるように願っています。	70歳以上	男
○現在は自分のことは自分でしているが、年齢をかさねるとともに、病院、買物等の不便を感じてくると思う。（交通の便が悪く、自動車にのれなくなるとこの先不安）	60～69歳	女
○岩村から恵那市へでかけようとするとは車で出かけますがこれから高齢になるにつれて交通手段がとて不安です。バス、明知鉄道の料金負担軽減を！	60～69歳	女
○JRの本数は今のままでいいと思うが、都会に比べて本数が少ないとは思う。	20～29歳	女

4. 高度情報通信基盤の整備

意見	年齢	性別
○スマホ、アイパッド、タブレットの使い方、内容の意味等、現物を使っての講習会を希望します。時代の流れにそうため。中津川市では資料付き無料の講習会が行われているとのこと。お考えください。	70歳以上	男
○市内全域を無料Wi-Fiにしてほしい。	40～49歳	男
○市のメール配信がよくない。火事などもっとわかりやすくどこの火事なのかわかるようにしてほしい。（中津のメール方がいろんな面でわかりやすい）いつになったら産婦人科導入されるのか。民間の病院の医師も困っている。	30～39歳	女

（4）自由意見～活力と創造性あふれる魅力あるまち（都市・交流基盤）～

1. にぎわいのある商業・サービス業の振興

意見	年齢	性別
○地元で結婚したいと思っているけどなかなか出会いの場が少ないので、婚活の場をつかってほしい。アミューズメント的な所が少なく遊ぶところがない。（カラオケ、ボーリング、ゲームセンターetc…）	30～39歳	女
○映画館、ボーリング場などの遊戯施設がほしい。	40～49歳	男
○せめて駅前商店街を復活させていただき明るい町になっていただきたい。夜間食事するところもない、早く暗くなる町は寂しいです。若者の出会いの多い場所ができることで、結婚される方々も増えて人口増加にもつながると良いと考えます。	50～59歳	女
○イオンモールのような大きなショッピングモールが恵那に出店してくれれば…	20～29歳	男
○駅（恵那）周辺の商店街を活性化し、観光スポットとして焦点をあててほしい。	20～29歳	女
○観光客が来ても食事する店がないので、道の駅でもあつたらいいと思う。	70歳以上	男
○大正村も古くなり来村する人も少なくなった。今度は大きくディズニーランドのような（小型）大人も遊べる場所ができるといいかなあ。歴史も大事だが親子で1日遊べる場所など	70歳以上	女
○夜間の遅い時間に買い物（スーパーマーケット）に行きたくても、恵那市のお店は夜8時で閉店のところばかりなので、せめて夜9時ごろまでやってくれるお店が欲しいです。（現在遅い時間の買い物のときは中津の方へ行っています）	50～59歳	女
○生活の場と仕事の場が同一なのが本来の人間の生き方であった。農・工・商ともに経営者兼労働者として生きてきたものである。近代経営の合理化、生産の効率化が表通りとなって、大型化したので、生活と仕事の場が離れ交通手段の近代化もともなって遠距離通勤が普通となった。リニアもいいけど、この路線を走って本当に人の生活は幸福になるのだろうか、と疑問に思う。生活の原点に戻り、個人経営者の保護、育成が大切と思う。町のシャッター通りをなくしたい。	70歳以上	男
○恵那市全体をひとくくりにはできない。 現に旧恵那市はまちが活性化して住みやすそうに感じるが恵南地区は地域人も何か閉鎖的で暗いイメージ。祭りやイベントもその時は盛り上がるかもしれないが他は人通りも少なく	50～59歳	女

意見	年齢	性別
たとえ、日曜日通りを通行止めにしてイベントをやっても土産物（カステラ、酒屋など）以外の店はいい迷惑だ。いっそショッピングモールやスーパー銭湯など町民が楽しんでくつろげる施設を誘致した方がいい。もうまちづくりなどという田舎くさい考えはやめたほうが良い。		
○バロー系列以外の商業施設を誘致してください。ゲンキーとかツタヤとか。	20～29 歳	女
○高齢者ばかりなので、将来移動販売などがあつたらいいと思います。	70 歳以上	女
○店がほんとに少なく、4 月からは今あるサークルKも閉店となるとのこと。日々の食料品を買ったりも遠くまで車で出かけなくてはならないのです。	70 歳以上	女
○若い人の集まるようなショッピングセンターが無いので、バロー以外のショッピングセンターを作してほしい。	40～49 歳	男
○買物をする場所が少ない。大型ショッピングモール等が欲しい。魅力ある町にする為に、市民を巻き込んだ活動が少ない。月一回、駅前で歩行者天国に楽市をやる等、恵那といえば恵那峡としか認知されていないので、特産品等の発信を。	30～39 歳	男
○行政と民間が一对となった施設（スーパーの近くに病院・市役所の出先機関があるなど）があると何かと便利だと思います。	60～69 歳	女
○商店街が淋しい。まちなかいちももう少し工夫した方がいいのでは？	30～39 歳	女

2. 新たな活力を生み出す工業の振興と新産業の育成

意見	年齢	性別
○企業団地、企業、工場、市へ活性化で、若人が遠くへいかず市にとどまると思います。私達のように二人暮らしがすごく多いです。	不明	女
○・運送業、製造業の基点を作るように各企業(大手)に働きかける。(その道線も整備) ・恵那の利点(人件費安い土地が安い) なにがある？ ・恵那 IC の出入り口も渋滞しないように再検討 ・坂本（中津川の人）が恵那 IC, 恵那駅前を利用しやすいまちづくり 上記が進んだら大きな商業施設を コストコ イオン ・道の駅（温浴施設併設）←サウナ必要 絶対流行る。1 から 2 年でもととれる。山や田舎はダメ！ ・ガソリン高すぎ！他県、他市でガソリン入れてる。→ガソリン流れてしまう。(他県へ)	40～49 歳	男
○地場企業を核に宇宙航空産業の関連業種を導入拡大し工業の成長を図ること。	70 歳以上	男

3. 農林水産業の支援・高度化

意見	年齢	性別
○地域資源を活用する地域の活性化予算を集中投下してほしい。農林業の六次産業化推進が望ましい。	70 歳以上	男
○これから農産物が手に入らない時代になると思われます。恵那に行けば食べ物が手に入るというまちづくりが良いと思います。	50～59 歳	男
○農道の生活道路の整備	60～69 歳	男
○農家の後継ぎが減少し、田畑も草だらけ。若者が楽しく働けて農家も新しい光をあてて欲しい。	60～69 歳	女
○地産地消を今以上に進めて欲しい。	60～69 歳	女
○小規模多機能自治推進ネットワークの活用について ①恵那市のように地域自治区を設け、多種多様な地域条件にある市にあっては、大いに参考にすべきである。自治区で地域主権を確立する為にも有効である。 高齢化で営農不能（耕作放棄）、山林の荒廃を防ぐため、13 地区に管理運営する組合を組織し、農地、山林を護り、国土保全に資する仕組みを構築すること。 ①営農、山林経営を年間通じて作業ができるように組織とする。 ②組織のない地区は組織を立ちあげ、依存の組織を改変する。 ③この組織は、法人化して経済的基盤を確立させる。 ④これらの組織は相互に連絡、ネットワーク化し、効率的に活動できるようにする。これらには行政が協力的な指導力を発揮して具体化すること。	70 歳以上	男

4. 魅力ある就労環境の充実

意見	年齢	性別
○合併以降、人口の減少が続いております。その原因を行政として、十分に分析し、対策を具体的に市民に提示する。市民の行政へのかかわりについて、いろいろな人材の活用を行うべきである。特定の人物がいろいろな面で力を最大限発揮することができるわけがな	60～69 歳	男

意見	年齢	性別
い。恵那市には優秀な人間が沢山参画できず眠っている。		
○福祉、介護、地元で働く事のできる仕事を充実させてほしい。	30～39歳	男
○地場産業に若者が多くつくると良いと思う。 恵那の住民が恵那地区で働いてもらえると良いと思う。	70歳以上	女
○これから子供達が地元で働く場所がかぎられているから家から出て遠くで働く場所を見つけて人口減少につながる。企業をもっとふやし、交通便もよくすること？	60～69歳	男
○市民が住んで良かったと言える恵那市にしてほしいです。若者や働きたいという人材を企業は受け入れてほしいです。	40～49歳	女
○働く場所が沢山欲しいです。	70歳以上	女
○今、子供が自分の家から仕事場に行く家庭が少ないです。高校を卒業しても就職するところが少ない。まして大学は他県に出ていきます。卒業しても就職するところが少ないので、地元に戻らず、他県で就職してしまいます。皆が言います、地元がいい就職先がない！と。若い人がいない所は活気がありません。年寄りの人の意見も良いですが、若い人の意見をどんどん取り入れて行けばいいです。若い人の意見を聞く耳をもって活気のある町づくりを！！	60～69歳	男
○若者が働ける場を増やす。	20～29歳	女
○人が集まりやすいまちづくりを目指してほしい。企業間の競争意識を高められるような政策があれば中小企業、新規開業もし、自然体が活発になるのでは。	40～49歳	男
○働く所が稀有な状況で若者は増々流出しております。予算も限られた中でのことと思いますので、10年～20年の長期計画をたて、ブレずに少しずつパッケージをバージョンアップしていくのも良いかと思えます。	40～49歳	男
○若者が働ける雇用の確保の充実と高齢化に伴う若者の福祉施設の業務に携わる賃金ベースのUPの検討を望みます。若者～お年寄りまで長く住み良い町づくりのために働く場所があることが大切だなと思えます。	50～59歳	女
○安心して働くことのできる優良な会社、職場が増えることを望みます。	50～59歳	男
○・高齢化が進んでいく中、人口と財政収入を増やしていくため、企業誘致（工業、商業）を積極的に行ってほしい。合わせて非正規社員も少なくしていけると思えます。 ・子育て支援の1つである保育サービスの充実化について保育士の待遇（給料体系）を見直すべきだと思います。	30～39歳	男
○若い人達が希望をもって働き、家庭をもって子供を増やす様親や地域の人たちが気を使ってあげるといいと思います。まず恵那の人口を増やすことが大切だと思います。子供が増えないと町の商店も仕事も増えません。子供が大勢いれば年寄りもお手伝いすることがたくさんあると思います。若い人もおいた人も毎日にこにこ働く町がいいと思います。	70歳以上	女
○恵那市の町づくりと言っても問題が広がりすぎですので、岩林町のみに限らせてもらいます。町の活性化はとても重要な課題です。特に岩林町は高齢化もすすみ、町全体に若々しい雰囲気は今一つ感じられません。イベント等は一時的でまた、観光客が一時より増加しておりますが、大正村と同じ様な姿（一時はすさまじい勢いでしたが近頃めっきり観光客もへり、街の勢いが感じられません）になってしまうのではないかと危惧しています。若者世帯がまずは定住し、増加し、若い世代が生活できる基盤こそが町づくりの基礎だと思います。そのために若者の雇用の場をどんどん増やし、岩村は安心して暮らせる町だと体感できるような施策がそうきゅにすすめられることが重要です。	70歳以上	男
○企業誘致による労働力人口の増加	70歳以上	男
○ハローワークの運営時間を延長すると便利だと思う。17時に閉まっては、働いている人間はなんともならない。	40～49歳	男

5. 地域資源の連携による個性的な観光の振興

意見	年齢	性別
○笠置山ロッククライミングが全国的に注目されている。大会などあるのか分からないが、もっと市政も積極的に関ってPRしたらどうか。 とにかく恵那市は保守的なので住んでいてもつまらない。PRも下手。専門分野のプロに入ってもらって街づくりをしてほしい。明知鉄道のSLなど上手にやればもっと集客できるのではと歯がゆい思いで見ている。 「次の市長」に期待します。	40～49歳	男
○大正～昭和初期の史跡を整備し、発信し、県内外からの観光客、見学者を増やす。	50～59歳	男
○恵那市は他の市に負けないくらいたくさんの観光資源があると思います。又観光に関してもっともっと見直せる場所があると思います。ただPRがあまりうまくならなかったり一貫性がなく単発のところがあるような気がします。もっと一貫してできるように、向かう方向をしっかりと定めて、外部の人、外国人の意見を聞いてうまく取り入れながら進め	30～39歳	女

意見	年齢	性別
ていければまだまだよくなっていくところがあると思います。余談ですが、今関市が youtube で流している PR ビデオがかなりおもしろいです。恵那市もこんなおもしろいことしたらどうでしょうか。最後に市役所職員は無駄に多いと思います。		
○他県の方から言われたが、「岩村城周辺は歴史的な資料がもっとあるはず、妻籠、馬籠よりも格上だからもっと全国に PR しても良いのではないか」とのことであった。観光地としての魅力を向上させる必要があるのではないかと。例えば周辺の飲食店や見どころ、銘品やブランド品の充実等必須ではないかと思う。他に大河ドラマ化の PR 等市民も注目し、子供も喜ぶ街づくり。恵那の景観・自慢できること 100 選など恵那だけで無理なら恵那と中津川で、市民から良い所、景観を募集するとか…（実は市民も知らない良い所が発見できるかも）。100 個集まったらみどころ map の作成などなど。恵那はすてきな町ですので、ぜひ PR しましょう。	50～59 歳	男
○最近リニアの事で新聞やニュースでとりあげられることが多くなり、東濃地方の名前であちこちで見る事が多いです。リニアの完成と共に、恵那市の発展にもつながると良いと思います。	40～49 歳	女
○アイデアというより妄想ですが、「よつぱと！」という累計 1300 万部を突破した大人気漫画に「綾瀬恵那」というキャラクターがおり、何かの間違いで市とのコラボが実現すれば結構な宣伝になるのになあなどと思っております。「たまたま名前が同じ」という以上の関連が見出せないのが難しいとは思いますが。	20～29 歳	男
○明智のロマン亭が閉鎖され、その後についていろいろとお話があるようですが、個人的には意見として道の駅にしてほしいです。私は車で長野、岐阜、愛知、静岡へ週末にでかけますが、とにかく道の駅というだけで大勢の人が集まってきます。地元でとれた野菜は人別に小さなコーナーを設けてあったり軽い飲食ができ、とにかく賑わっています。時々明智で観光客に「何かおいしいものを食べられる場所はないか」と尋ねられますが、案内できるところがありません。せつかくの大正村が残念なことになっている気がします。	50～59 歳	女
○せつかくの恵那峡をよみがえらせてほしい！地場産業推進にもなると思う。	60～69 歳	女
○観光についていえば、「銀の森」や「恵那川の川上屋」「すや」などあるの恵那峡線が秋には大賑わいするというのを踏まえ、どこかある一画なり、エリアなりに素敵な魅力ある店、カフェ等を作るか集めるかして宣伝をすれば結構、お客さんが来そうな気がするのですが（イメージは軽井沢の「ハルニレテラス」）	40～49 歳	女
○観光のための事を考えてほしい	60～69 歳	女
○みのじ祭のようなイベントをその他何かもう少し増やしたらどうか？	70 歳以上	女
○観光施設や場所はあるものいまいち知られていない。（アピールがうまくできていない）と感じるため改善されると良いと思います。	30～39 歳	女
○観光施設の掘り起し等で都会からのお客を呼び込んでほしい。	60～69 歳	男

（５）自由意見～思いやりと文化を育む人づくりのまち（教育・文化）～

1. 学校教育の充実

意見	年齢	性別
○学校教育は大切である。恵南地区を一つの中学に統合するなどのもつてのほかである。少人数であっても地元の中学は残してほしい。恵那市との市町村合併後、中央集権化が進み、不便な所は増々不便になった。不満は出てないのか？私は大変不満である。	50～59 歳	男
○子供から環境の事など学ぶことも多いです。学校での教育に保護者をまきこむ研修の場などがあると効率よく学べ、よいと思います。	40～49 歳	女
○教育委員会は子供達のための教育ではなく、将来、世界人類の発展に寄与する子供達の教育ができるよう態勢づくりをしてもらいたい。	40～49 歳	男
○市民のために今後も様々な事柄がよくなっていくことを願っています。今は中学校統合が最も興味があります。地域のため、子供たちのために一番良い方法で考えてほしいです。市民の意見も大切にしてほしいです。	40～49 歳	女
○広い恵那南地区の 5 つの中学校を 1 校に統合することはあまりに無理があり（通学時間や方法の困難さ）せめて 2 校ぐらいにしないとさびれるばかり。市の考える「まちづくり」に逆行すると考えます。教育委員会の「1 校統合案」の暴走を止めて欲しいと切に願います。	60～69 歳	男
○子供の数が少なくなり、学校の合併などの話をききますが、少人数で授業がうけられた方が細やかな対応をもらえると思うので、希望している。恵那市内の高校の数が少なくなって、今後どうなるか心配です。	40～49 歳	女
○中学校の統合ですが、分校にして ICT 活用の授業をして、ある日は本校へスクールバスで行き、ほとんどは歩いて登校するのはどうですか。	20～29 歳	男

意見	年齢	性別
○将来を担う子供達の教育に力を入れてほしい。	30～39歳	男
○子育てする場所を選べたり、教育の為の対策をもっと増やしてほしい。恵那に誇りを。恵那から、学力の底上げをしてすごい人を出してほしい。	30～39歳	男
○串原中学校も小規模教員の望む方々に選択肢をつくるのも1案かと思います。合併により、集中効率化が進むのもよいのですが、バランスよく各地区がにぎやかに存続していきたいものです。道路整備により交流しやすくなればと思います。我田引水のようにすみません。	60～69歳	男
○今の時代分かる所ですが学校については人の往来が人数の少ない所ほど激減します。人を優先した政策をお願いします	60～69歳	男
○小学校、中学校、保育園は子どもは少なくなったとはいえ、元気に教育を受けて育っています。もっと地域と力を合わせてすすめていくといいと思います。	70歳以上	女

2. 生涯学習の推進

意見	年齢	性別
○社会教育（講座、セミナー等）はとても充実していると思います	50～59歳	男
○佐藤一斉の本を多くの人によんでもらう。また、菜根譚の本も。豊かな人生を送る為だと思う。	70歳以上	男
○私は恵那の図書館が好きです。岩村もこれから振興事務所など工事の時は充実させてほしい。	60～69歳	女

3. 人を育み、人を生かす教育

意見	年齢	性別
○まちをつくるためには人を育てる、大切にできる環境が必要だと思います。環境を与えていくだけではなく、自らが考えて感じられることが子どもたちには必要だと思います。地産地消から作る人を見る、作る過程を知る、それを分って消費していくことで大切にできるのではないかと思います。食育の中でもぜひ実践して欲しいと思います。自園給食、大事だと思います。財政運営には効率化や合理化も必要と感じますが、一番大切にしてほしいのは人だと思います。何でも効率的ばかりを優先するのはちがうと感じます。	30～39歳	女
○恵那市民各人が夢や希望を持つことによって活気のあるまちづくりができると思います。すべての面で人事育成をお願いしたいです。	60～69歳	女
○少子化問題についてはとにかくしっかりした青少年を育成する機関が必要である。子供をしっかり育てる社会構造の大改革と若者が社会的にも経済的にも精神的にも地域社会をリードしていく社会機構をつくりあげていくこと。それには行政と地域と住民と個人が1人1人の台意識改革が必要である。自分のひとりひとりのこと、自分の家族、自分の地域だけではなくて将来の日本を発展していく世界を見て抜本的な改革が必要であります。	60～69歳	男

4. 文化・芸術活動の振興

意見	年齢	性別
○申し訳ありません。子供のころより全体が住み良くなり、食べ物がなかったころに育った不便を考えると、これ以上は考えたくありません。考えるとしたら、習慣、しきたりを思い出すことだと思います。	70歳以上	女
○①毎年恒例の恵那峡花火ですが私が恵那に嫁いで30年になりますが、以前は恵那市内（阿木川河にて花火が打ち上げられ家族で楽しみましたが今はありません！！東野、久須見と所々では花火大会ありますが又、市民のための花火も見たいですね。来年はぜひよろしくです！！そのため寄付金は出したいと思います！！②みのじ祭の創作みこしも楽しいですが、やはり伝統的な御所車とか小京都の高山祭のような出し物は品格があって良いと思います。伝統芸能の生き残れる又、子供達へ言い伝えられるお祭りにしてほしいです！テレビ等でPRできるような催しに期待します！	50～59歳	女
○市民が恵那市民として誇れるものが欲しい。また、交通事故死亡0を市民みんなで達成できるようにする。ラジオ体操をみんなで！など身近なことに目を向けられるようにする。広報を楽しみにできるように内容向上！1人1人の力を信じてお願いします。	50～59歳	女
○大正村を公の事業として運営していく。理事長などを立候補して情熱を注いでくれる人を選びたい 各地区より代表をえらぶと自分たちの大正村としての自覚も出てくるのでは…今のままの大正村では心配です	70歳以上	女
○広重美術館は市民は無料入館できるようにしていただきたい、などの不満はあるが、お	40～49歳	男

意見	年齢	性別
おむね恵那市は老人中心に考えているように感じる。子供中心の市政に移行していくべきである。		
○市民三学のとりくみがいいと思う。文化を大事にする町だと安心できる。ふるさとだから住んでいるが、もし他の町にくらしていたら、引っ越したいと思うほどではない。しかしそれほど不満もない。 みのじのみりの祭がもう少し魅力があればいいのに、と思う（毎回同じなので）	20～29 歳	女

5. 文化財の保護

意見	年齢	性別
○史跡の街を唱えながら、旧草採地を工場団地として払い下げがありました。そのために武並山参宮通路がなくなってしまいました。この参宮道路は史跡として赤線になっているとおもいますが	70 歳以上	男
○大正～昭和初期の史跡を整備し、発信し、県内外からの観光客、見学者を増やす。	50～59 歳	男

6. スポーツ活動の振興

意見	年齢	性別
○笠置山ロッククライミングが全国的に注目されている。大会などあるのか分からないが、もっと市政も積極的に関ってPRしたらどうか。	40～49 歳	男

(6) 自由意見～健全で心の通った協働のまち（市民参画）～

1. 新しい自治の仕組みの確立

意見	年齢	性別
○自治会活動するのにお金がかかると思いますが、各自治体で自由に使える市からの助成があればと思います。 ある程度自治会に市の活動を任せて本当の自治会になるのでは。（権限の委譲）	60～69 歳	男
○各年齢にあった意見を聞き、活用できるよう提言する制度を作ってはどうか。提言をいさせるよう行政にも頑張ってもらいたい。	70 歳以上	女
○あまり背伸びせず地味でも良い。固い運営をしたらいいと思います。あれもこれもと手を広げず本当に困っている人たちに目を向けて下さい。	70 歳以上	男
○本当にご苦労様です。市民が行政に頼らず、地域の事は地域でできる仕組みと住民の意識改革が必要です。恵那市内でも田舎に行く程、住民の意識は高いと思われます。	40～49 歳	男
○国や県で新案が出るとすぐ恵那市が先どりするように見えるが、もっと深く考え恵那のために一番よい方法はどんなことか大勢の人の意見も聞いて実行して欲しい。十年先にあの時決定したことはよかったと言えるようにする。市の役職の方は市民の安心な暮らしの責任をもってもらいたい。役を退職してからも誰にも感謝してもらえるような仕事をしてほしい。	70 歳以上	女
○ドーナツ現象（中心厚く、外側に薄い）が目立つので市職員の配置をもっと思い切って優秀な人材を考えては。市の幹部の方はそのことについて地域の人たちの意見をよく聞いてはどうでしょうか。	70 歳以上	男
○もっと「長の人」との交流が必要。挨拶にすぐにかえられないこと。市長、町長さんとの。ゆっくりと話し合うことが大切。どういう方向に今町が向いているのか全くわからない。いつも仲良しこよしではなく、知らない人との交流をもって人の掘り起こしをしてもらいたい。今皆が何を考えて生きているのか。自分のできることは何か。いろんな資格を持っている人が多くいらしていると思うのですが、市はそういう人を把握してそういう人を動かして町の活性化に努めて欲しい。	60～69 歳	女
○市民の目線で行政を行ってほしい	60～69 歳	男
○世代間で物事の考え方、見方が相違して意見のとりまとめが難しい事業の企画、計画、政策提言を求めとりまとめ決定に時間を要するのではないかと。年代間のバランスの取れた委員の選任方法の検討（各自治区においての協議会構成、町自治会連合会との重複にならないように考慮し、組織体制を検討すること。意識調査の結果について広報で発表されたい。住民への意識調査は少なくとも年1回を行うことを望みます。	70 歳以上	男
○何かと市街地に居住する方が優遇されている市政であるような気がします。地方が活性化するような市政を望みます。	60～69 歳	男
○恵那市になってから何もかも上矢作町に対して対応が悪い	70 歳以上	女
○全国の市町村が自己PRのため積極的に宣伝してます。恵那市を全国に発信すべきです。今はどこも人口減少で大変です。高山市をもっと研究すべきです。若者、よそ者、変り者、	70 歳以上	男

意見	年齢	性別
の話を良く聞いて再度対策を立てるべきと思います。恵那市と中津川と同じエリアとして考えても…。		
○何を言っても市政は住民の方を向いてくれない。あきらめのムードが漂っている。若い人がどんどん減って消滅寸前の集落、さびれた商店街…。その中で雇用とか活性化の名のもとに進められていく行政…。UターンやIターンが多くなる恵那市になるためにはどうしたらよいか、市民ひとりひとりもそうだが、行政としても真剣に考えて欲しい。恵那市はどこからきてどこへ行くのか市民には見えてこない。漂流民のような不安がある。なぜだろうか。	60～69歳	女
○市民の目線で行政の運営ができる人材の育成、指導力のある人材の育成、ハード部分よりも人材の確保、教育面を大切にしてほしいと思います。専門家の育成。	60～69歳	男
○合併以来、行政サービスが悪くなりました。例えば、危険な所の改善依頼をしても、市全体からしてそれ以上に危険なところがある、とかそのような予算がないと一蹴されてしまいます。市民の声を忠実に聞き入れていただきたい。併せて振興事務所の充実を図ってほしいです。	70歳以上	男
○市内いろいろ多部門で委託に出されているようですが、委託出したから市から手が離れた、は困ります。あくまで市の事業である事を心得、気配り目配りは必要ではないでしょうか。市の姿勢では誠に困ります。	70歳以上	女
○アンケートにある問38の中から市民が身近な問題ととらえるテーマについてワークショップを行う場と回数をぜひ聞いてほしい。それが行政と市民の間を近づけるチャンスだと思います。	70歳以上	男
○恵那市の広報は月2回必要ですか？月1回で良いような気がする。	60～69歳	女
○市という大きな町ではいろいろな発展があるが、町村という地域では何をすることも予算がないと先に進むことができず活動が減少されていく現状です。地域の発展に協力してほしいです。	60～69歳	女
○市役所の窓口の対応が悪すぎる。昼食時にしか用事を済ませられない人がいるのに相手をするのが面倒くさいという顔で出てこられて不愉快。「市役所の〇〇課」を聞いてもはっきりしゃべらないので何回も聞き直すと「だからー」という態度で腹が立つ。税金払ってこんな対応されて年寄りを馬鹿にするにも大概にしろ！よく考えて職員を採用しろ！縁故ばかりだからおかしい関係がでてくるんだ。	60～69歳	女
○まちづくりのためにはあまり関係ありませんが、アパートにも広報を配布していただきたいです。市の情報が何もわかりません。市役所にもらいにいけばいいのですが、なかなかそのためだけでも行けないので…。市の情報をもっと身近に知りたいです。	30～39歳	女
○最近、地域まちづくり協力隊とかいう人が入ってきていかにも町づくりに協力しています、私が地域を変えています、と言わんばかりの感じで、活動している様に思えます。もう少し、控えめに協力させていただいているといった方のほうが、地域住民には安心です。そもそもそういう人が必要なのかも疑問です。そのためか、今まで町民に伝わってきた情報も伝わりにくく、今、町内で何が行われていて何が必要なのかが住民に伝わってこず、行事だけが増えています。会議ばかり盛んに行っているようですが、その内容、応えが全く伝わっていません。町内役職の人にもなにもわからない人ばかりで自分では動こうとせず活性化にはほど遠い！！	50～59歳	女
○1. 議員の削減。2. 職員の削減による残業が多い様に思う。(必要に応じて増加するのもいいではないか？)	70歳以上	男
○仕事をしているため、昼休みに市役所に行くことが多々あります。そのたびに思うのは、事務所のデスクの所で食事をとられている人が多く、においが気になります。食事は違う場所で、交代でとった方が絶対いいと思います。	50～59歳	女
○今市議会議員は給料をもらうだけで、地域には何をしているか、どんなことに力を入れてやっているか不明です。選挙の時のように、小さな地区を対象に、実状態を報告することを義務付けるようなことを考えてほしい。	70歳以上	男
○私たちは恵那市に仲間入りしました。各々が小さな町で各々の長所も短所もあったかと思えます。今、その長所も短所も上手に生かされる所も少なく、市の片隅にいるだけのように感じることもあります。せっかくの田舎の5ヵ町村、各々がもっと特徴を生かして恵那市の中に存在感を見出だしたいのです。恵那市の誇れる田舎でありたいと思います。その為にもっと生かせる方法はないのか、旧恵那郡の力を発揮する力のある会合はできないのでしょうか。恵那市の魅力あるまちの一員でありたいと考えます。いつも市の発展のためにありがとうございます。	60～69歳	女
○反対意見はつきものです。恵那市ならではの独創的な施策を期待します。	60～69歳	男
○自治会がないと広報、回覧がありません。現在市役所にもらいに行ってます。広報をみないと何もわかりません。災害の時はどう行動していいか？大変困ります。特に地震の時どうすればよいのですか？	60～69歳	女

意見	年齢	性別
○恵那は広報紙一か月に二度発行してみえますが、一度でもいいじゃないかこのごろ思います。（名古屋は一か月に一度と聞きました。その代りページ数が多い。）	70歳以上	女
○市役所の中での組織改革がある場合、改革を提案や実行に移そうとする方が、最後まで責任をもってやりとげてほしい。結局のところ中身が変わって不便な思いを強いられるのは市民の方だと思う。	40～49歳	女
○業務の専門性が高い方が臨時職員で正規は専門性が低いという話をよく聞きます。又、多くの政策提言はコンサルタントが作成しているとも聞きます。職員のモチベーションを高める意味でもマネジメントに進む職員と専門性を高めていく職員等1人1人のキャリアの方向性を決めていくような施策展開が必要と考えられる。	60～69歳	男
○恵那市内での地域格差がある。 大井長島町だけが優遇されている。 市長が地域を差別してはダメです。	40～49歳	男
○例えばマイナンバー制度など、慎重に決めなければいけないのに、国が決めたこととして上意下達式にそのまま受け入れるのではなく、国に対して地方としてきちんと意見をいう「市」であってほしいと思う。これはマイナンバー制度だけでなく、「子ども園制度」や「安保健制」など、まるで国の出先機関のようではいけないなあとおもっている。	20～29歳	女
○市職員の質の向上をお願いします 市民との対話、問題発生時の対処に責任を果たしていただきたい。まず、会話における言葉使いの教育！市、地区、組の組織の連携を充実するために区長、組長の教育もして、全体の質を上げていただきたい 上に立つ人の質向上をお願いします いつも市のことを考えて愛して下さい 次の世代に自信を持って渡していきたいですね。	50～59歳	女
○県会議員は町のイベントなどのあいさつに来られるだけでどんな活躍されているかわかりません。	70歳以上	女
○些細なことですが、東町文化センター玄関大勢の人の出入りがありますが、昨年来1つ2つの植木鉢が手入れされないままでおかれていました。これはもしかして文化センター、コミュニティー、各々の責任者が居られるかも等とったりします。内部のことはわかりませんが、小さな施設では長は兼任で十分ではないでしょうか。	70歳以上	女
○レクスボとか自治会から参加の行事はボランティアとか参加したい人だけでお願いします。行事の人数を集めなくてはいけないものはやめてください。日曜日が仕事の人は多いです。市、町、の色々な活動もその日に参加できる人だけでやってください。	50～59歳	女
○国、市の借金返済へ、老人福祉より元気で働くようにすべし。生きがいあり、貢献へ。 1. 責任を持たせて、規制はしない方がよい。 2. 市職員が多すぎる。人件費で価値ある仕事、事業ができない。 3. 後ろ向き、消極的幹部は交替させるがよい。 4. 民間力活用が一番、止めるな、ブレーキをかけず、協力したらよい。 5. 民間のよい積極的意見を聞き、助力、実現するのがよい。 6. 上から目線で威張らぬがよい。以上委職員の方々への要望です。	70歳以上	男
○人と経済が少しでも回らないと人は住めない。地域協議会の存在と課題ではないのか。メンバーの言動、行動からみて、その気配はみられない。自治意識の喪失。	70歳以上	男
○市議の人数を減らした方がいいと思う	30～39歳	女
○旧恵那市と恵南の行政・公共サービス等が同じ恵那市となった今でも随分の開きがあるように思う。同じ市民として平等に暮らせるようにしてほしい。恵南の手厚いサービスに財政がかかりすぎてはいないでしょうか。必要のない施設は民間所有としたり、処分したりと…。	60～69歳	女
○市役所が新しくなり、うろうろしても市職員誰1人も知らない顔で声もかけてくれなかった！広くなりすぎ、税金の無駄遣い！市職員が悪すぎ！	40～49歳	女
○地域協議会の運営がより住民と深くかかわれるような工夫が必要かと考えられます。 ※行政側からの説明伝達という型がやや気になります。 ※委員の選任に一工夫があってもよい。地域性別年齢域内各組織などの組み合わせなど	70歳以上	男
○市職員の各課にプロ集団の設置について 市職員は2～3年で職場異動してしまいます、組みでの要望等で話に出向いても、係りが変わって話が続きません、この人に聞けば道路の問題、農業問題、土地問題、等エキスパート人材の確保が望ましいのではないのでしょうか。 地籍調査について 旧来からの土地、道路の狭さ、地域が立ち上がらない等問題があるかと思いますが、④で述べました緊急時、災害時等などの為にも難しい所からの話を進めるべきだと思います。予算が国から出るとの事、1年に2件、3件と進めていただきたいです。（恵那市は進ん	70歳以上	男

意見	年齢	性別
でいる)		
○市役所でのサービスは土日祝日でもうけられる様にしてほしい。一般市民は平日は働いている為、なかなか行くことができない。平日でも夜遅くまでうけられる様にするとか！！市民の言葉をもっと聞いてもらえるようにしてほしい！！	40～49歳	男
○広報を自治会や未加入、全世帯に。市税だけで納め配布できる形を考えて欲しい。自治会、未加入の者はとりに行くでは違うと思う。全世帯、不公平なく行っていただきたい。	40～49歳	男
○中学生が行っている「市長と語る会」をもっと発展させ、子供～高齢者を含めたうえで「市長と語る会」を開催すればより恵那市の向上と繁栄につながっていくのではないだろうか？	20～29歳	男
○市議会の議案書もHPで公開して欲しい。(東濃5市で当市だけが公開していない。)	60～69歳	男
○市政の内容や各議員の活動等、私達市民がもっと知る努力が必要だと常日頃感じています。	60～69歳	男
○行政と市民に温度差を感じることもある。	40～49歳	男
○市職員の勤務態度、マナーの向上を第1とする。 アンケートの結果を広報に載せる。 職員の給与を民間並みにする。 行政が身近にあったらと感じられる。	70歳以上	男
○市役所のサービスでは職員の皆さんがとても丁寧に対応してくださるので安心して相談できる状態だと思います。子育てについても保健センターに電話させていただいたところ、本当に丁寧に相談にのっていただけありがたかったです。	40～49歳	女
○私は、その道の専門家ではないので特にアイデアはありませんが、先日、明知鉄道が主催した講演会、保田武彦先生の話や1月14日、明智かえでホールでの豊田庄吾さんの講演はその道の専門家であり、行政担当の方は是非聞かれて「まちづくり」に生かされるといいと思います。	60～69歳	男
○手書きで色々な意見が常に出せるようなポスト見たいのがあると良いと思う。	50～59歳	男
○消滅都市と名指しされた市にしては市民も行政も相変わらず動かない。もっと真剣に全市民の声を聞いて下さい。	70歳以上	男
○弱者切り捨てにならぬようにきめ細やかな対策が急がれますが、市政に頼るばかりでなく、民間とタイアップして少しでも良い生活ができるように願っています。若者が恵那市内近隣の職場で働くことが出来るよう、産業誘致、人口流出の歯止めなど強力に。	70歳以上	男
○市役所内の人の多さに驚きますが、あれだけの人数が必要なのかと思う	60～69歳	女
○恵那市のまちづくり、市政への意見、提案 1、行政改革の提案 ① 事務文書管理基本条例を制定すること。事務の真髄は文書・書類にあり、これの管理が極めて大切である。この文書は市民共有の財産である。その管理を厳正にすべきである。文書廃棄処分を見直すこと、契約書類等、土地の図面など、ただ単に古いものを廃棄しては、後に取り返しつけないことが生じる。 ②事務引継の文書化を標準化すること。地域や住民と協議している事業が、職員が交代すると重体またはストップしてしまう事例がある。前任者から聞いていない、そんなことは知らない、初めて聞いたなどと言って逃げてしまう。自分の不得手な事項は、なおさらのことである。これらの不始末を防ぐには、事務引継ぎを文書で行うことで、所定の重要事項を明記する「事務引継書」を標準的なものを定めて励行すること。 ③行政組織に地域振興事務所の機能強化について。事務所長には、やり場がないから出先へという島流し人事でなく、地域の特性を把握し地域の課題を着実に処理できる企画調整力、実行力のある有能な人物を起用すること。(事例…飯田市の地域主権で実施)	70歳以上	男

2. 男女共同参画の推進

意見なし

3. 国際・都市・地域間交流の推進

意見	年齢	性別
○行財政改革を本気で取り組むならば、中津川市と協力して無駄な財政支出を削る。例えば、病院は専門性を分担、恵那市民病院は産科・婦人制、中津川市民病院は脳神経科というように。 さらに火葬場は両市の共同運営。12万人で1か所で十分、負担は半分です。近い将来恵那、中津川の両市の人口は合わせて10万人以下になるであろう。10万人で支えられる公共施設を考えられるべきである。	70歳以上	男

意見	年齢	性別
両市には公共の葬儀場（セレモニーホール）がない。そのため葬儀料が高い。両市で安心して葬儀ができる施設をつくるべきである。		
○恵那市と中津市の合併	30～39歳	男
○市街地と過疎地域ではいろいろな温度差みたいなものが発生するのはある程度やむを得ないこととは感ずるが過疎地域に住むものとしては格差があると感じている人が多い。このあたりの住民サービス向上に傾注して隣接市町損と連携をとった行政運営が行われることを期待したい。	60～69歳	男
○市内に英語、中国語、韓国語の表記が少ないと思います。観光に力を入れる時に必要かと思います。	60～69歳	女
○世界的に発する都市づくりが必要だと思います。オーディナリーな政策が議会を通りやすいのはわかりますが、具体策を申し上げられなくて大変恐縮ですが、産業の活性化を望みます。	40～49歳	男

4. 時代に対応した行財政基盤の確立

意見	年齢	性別
○収入があるのに市民税を払っていない人、夫婦同居しているのに年金をもらっている人います。しっかり調査してほしい。	60～69歳	女
○国からの補助金や市民税のみの収入だけではなく、自営業での財源を確保できるような事業の推進をして欲しい。	50～59歳	男
○市財政の予算配分は市民本位とはかけ離れている！例えばリニアのようなひどいものをなぜ市は市民をだましてまで関連施設に大きな予算を市民無視で使うのか。図書館にもおいてあるリニアに関する本もみてその怖さを幹部は学ぶべき。10年間もリニア建設公害に苦しめられ危険いっぱいのリニアを強引に進めることに怒りでいっぱい。沿線住民の犠牲をどう償うのか。国に対しての地方の犠牲を知らんぷりでホイホイとついていくとは情けなすぎる。老人介護も教育予算も福祉も医療も公共交通も切り捨て、リニアや大型道路作りばかりではここに住めなくなる。逃げれるものならここから逃げ出したい！！良心のある市政を！	70歳以上	女
○”恵那市のまちづくり”をするにあたり、生きたお金として使ってほしいを思います。無意味でなく、ドブに捨てる様でなく、市民が（といっても50%くらいの人）が納得される様に。。。それにはアンケートとか小さな意見でも取り上げていただけたらよいのでは…と思います。乱文乱筆にて失礼します。	60～69歳	女
○私の周りの共通した意見として「とにかく税金（市県民税）が高い」というのが共通の意見です。 以前、市県民税の支払いが滞ってしまった時に税務課の人に「贅沢せずちゃんと税金を納めてください」と言われたことがあります。正直怒りを覚えました。贅沢などしていません。自営業でぎりぎりの所で生活しています！自営業を営んでいる人たちは将来のためにお金を残そうと必死でやりくりをしていると思います。今のままではお金を残せる状況ではありません。	50～59歳	男
○恵那市は今後合併特例債の減少や人口減少に伴う税収が大きく減少するものと思われまます。したがってこれからの姿勢の取り組みは非常に厳しいものと思われまます。これらのことを踏まえ調査することが必要ではないかと思ひます。	60～69歳	女
○市の財源を増やすためにふるさと納税を実施する。	60～69歳	男
○大企業を誘致して市民税を安くする！中津川市と比較すると市民税が高い！	50～59歳	男
○限られた財源で全ての事はできないと思いますが、自分の周りを見ると、高齢化による問題や子育てに関する生きにくさを感じます。市民の足となる交通網をもう少し細やかにしてほしかったり、病院、産婦人科、学童など様々な所で不安を感じています。人口が流出しない様、上手に使ってほしいです。	40～49歳	女
○さしあたって児童公園のイルミネーションあんなむだなことはやめてほしいものです。町なか整備とかいってかなりお金がづぎ込まれているようですがあれも大変無駄なことと思います。商店の人たちがもっと自分たちで必死で活気をつくりだすことの方が大切なのは。	60～69歳	女
○まちをつくるためには人を育てる、大切にできる環境が必要だと思います。環境を与えていくだけではなく、自らが考えて感じられることが子どもたちには必要だと思います。地産地消から作る人を見る、作る過程を知る、それを分って消費していくことで大切にできるのではないかと思います。食育の中でもぜひ実践して欲しいと思います。自園給食、大事だと思います。財政運営には効率化や合理化も必要と感じますが、一番大切にしてほしいのは人だと思います。何でも効率的ばかりを優先するのはちがうと感じます。	30～39歳	女
○・市職員、議員定数の削減。・予算のムダ使いをやめてください。・働かない職員や低	60～69歳	男

意見	年齢	性別
能力職員の減給。資質向上。・水道、下水道料金の削減対策・無料講演などの縮小。・安全安心な町の整備の重視。・若者の働く場の確保。・住み続けたい街の実現。・保育伊、教育、産婦人科充実。・予算査定を厳しく行い、無駄な予算のカットを確実に行う。・災害を起こさない町の整備。		
○市の職員が多いように感じます。少し職員を減らした方がいいと思います。市の財政が少しは豊かになるのではないのでしょうか？	60～69 歳	女
○都市計画税について 都市計画税の廃止、そうでないと不公平感がいつまでも付きまといまいます。若者の定住の足かせ又町の中の発展にもなりません、恵那市を愛しています、長く住む町にしたいものです。 つたない意見ですがよろしく進めてください。	70 歳以上	男
○われわれから見ると恵那市の市街地だけが進展し旧恵南は稼働率をふるいにかけられ、又過疎イコール切り捨て、箱物施設は取り潰す、特に学校問題は重要で、たとえに資本主義の悪玉が金、物、最後に人、の優先順位に近年は思え、すべては金がなければという事だと思えます	60～69 歳	男
○地域主催の確立地域自治区の財政基盤強化確立のために、資源を活用した経済活動に恵那市の債務保証をはじめ革新的支援制度を整備すること。 ①地域住民が英知を集め、地域特有の資源を活用した継続的安定的な経済活動に対して、市として事業的確性。安定性を見極めて財政支援及び債務保証の制度を創設する。 ②地域資源を活用した地域活性化事業に対する積極的財政支援制度を創設すること。（飯地町の場合、小水力発電事業計画の実施中）	70 歳以上	男

(7) その他

1. その他

意見	年齢	性別
○急にアンケートを送られて来てもアイデアは出ません！！もう少し時間を下さい。	30～39 歳	男
○夫が前回の意識調査を記入し提出しましたが、前回の時の調査が生かされて無い様に感じます。今度の調査をぜひ生かしてくださいませお願い致します。	60～69 歳	女
○市政については利用しているものが少なく満足度を考える機会がそもそもないため回答に非常に困りました。	20～29 歳	女
○無作為抽出では、関心の無い人や意識の低い人も含まれると思いますが、そのような人の回答を集めても意味がないと思われまます。例えば、私は子供も独立し、子育てには全く関心がありません。このようなアンケートは衆愚を集めているように思えます。	60～69 歳	男
○恵那に移住して約1年。日々の生活に追われ、行動範囲も限られているので、恵那市についてはほとんど理解していません。あまりお役にたたない回答で申し訳ございません。	60～69 歳	女
○特に無し！	60～69 歳	男
○この度無作為抽出とのことですが、私（70歳過ぎ）達より年齢の中をちぢめて若い方の意見がお役に立つと思います。	70 歳以上	女
○アンケートにお答えしましたが、私自身町のため、市のために何をしているかと考える時、何もしていない自分にはずかしさを覚えます。	70 歳以上	女
○恵那市を盛り上げたらどうでしょう。方法は	60～69 歳	女
○このアンケートについて 「今どうなのか」という事実（統計、他自治体と比較）を確認しつつ、アンケートに応えたい。職場が市内にないので、実態わからず、一般論となった部分あり。	50～59 歳	男
○市政についての問には自分が内容をあまり考えたことがないのか番号を選び、○印をつけるのに大変でした。自分の住んでいる恵那市を住みよい町にしていきたいです。	60～69 歳	女
○分からないことが多い	70 歳以上	不明
○わからないことばかりで調査結果がでないと思います。	70 歳以上	女
○私は昭和生まれの人間です。平成の都市も20年余りになり、何事も自分でできることを責任もってやらなければならないと思いながら1日をすましています。	不明	女
○問は20までに	70 歳以上	男
○ズ切に遅れて申し訳ありませんでした。	70 歳以上	女
○山森に手を入れ今はとなりは皆の公園に成り、今や娘が居住を考えて欲しいと言っている。本人は一人では無理と言います。アンケート、わからない事が多くてごめんなさい。	不明	不明
○なかなか時間をもてず、遅くなり、申し訳ありませんでした。	30～39 歳	女
○（調査対象者が）仕事で長野の方についております。お正月まで帰りません。調査ができません。まことにすみません。	不明	不明

意見	年齢	性別
○老夫婦のため良い回答ができません。もっと若い人達の意見を聞いたほうがいいと思います。子どものこともよくわからない。こんな解答で申し訳ありません。	70歳以上	女
○毎回このようなアンケートが送られてきます。無作為抽出と書いてありますが、私は毎回あたっているのでしょうか。私もひまではないので次回は違う人をお願いします。	30～39歳	女
○遅くなってしまうすみませんでした	20～29歳	女
○理解できないところは答えられずすみません。以前のものはどうなったのか何の公表もなかったように思いますが、意見が活かされていますか。住所が山すぎて恵那市民の生活がほとんどできていない現状です。あまり参考にならずすみません。市が何をしているのか全くわかりません。	60～69歳	女
○行政のことに関心を持つ余裕すらありません。市民の意見を聞かれることは良いと思いますが、調査内容が広すぎ。また簡潔だと思います。表面だけ知ってもいかなものでしょうか。	20～29歳	女
○このアンケートは市の行政方針（「選択と集中」で大井、長島の中心市街地の活性化と周辺地域の統廃合による合理化の押しつけ）に沿った解答項目が並べられている。行政にとって都合の良い結果がでるように仕組みられている。	70歳以上	男
○問9は何のための質問でしょうか。重要度は例えば、大項目毎で高～低を高を1つというように優先度をつけないと意見がないのではないか。この質問から政策判断などの資料には使わないでください。	60～69歳	男
○恵那市のまちづくり→意味が分からない	60～69歳	女
○今回初めてのアンケートでしたがやってみて「今までそんなことも考えたこともなかった」という内容も多く、今までどれだけ平穩無事に生活してきたのかと改めて感じました。市の職員の皆様が私たちの生活を知らないところで支えてくださっているおかげです。ありがとうございます。	40～49歳	女

平成 27 年度市民意識調査のお願い

あなたの声をお聞かせください

日ごろは、市政にご理解・ご協力いただきありがとうございます。

さて、市では、市民の皆さんから市の取組に対する評価をいただくとともに、これからのまちづくりに対する考えをお聞きし、今後の市政運営の基礎資料とするため、市民意識調査を実施いたします。調査結果は、今後の施策の達成度を測る指標とし、市民の皆さんに満足していただける市政の実現に向けて活用いたします。

つきましては、お忙しいところ大変恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成 27 年 12 月 恵那市長 可知 義明

【市民意識調査について】

- 対象となる方 20 歳以上の市民の皆さんの中から 2,000 人を無作為抽出しました。
- 回収方法 記入が終わりましたら、同封の返信用封筒に入れて、12 月 19 日（土）までに郵便ポストに投函してください（切手は不要です）。
返信用封筒に住所・氏名の記入は不要です。

※この調査は、過去にも実施させていただいております。また、市では当調査の他にも、個別のアンケート調査等を行っております。同じ方に調査をお願いさせていただく場合もございますが、「今」の恵那市についてのご意見を伺う調査となりますのでご容赦ください。
※ご回答いただいた内容は、個人が特定できないように、全て統計的に処理します。

記入上の注意

- 1 お送りしたあて名のご本人がお答えください。氏名は記入しないでください。
- 2 何らかの事情により、ご本人が記入できない場合には、ご本人の意思を反映してご家族の方などが記入してください。
- 3 記入にあたって不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

【問い合わせ先】

〒509-7292 恵那市長島町正家一丁目 1 番地 1

恵那市役所 総合政策課 政策推進係

TEL : 0573-26-2111(内線 327) FAX : 0573-26-2155

◎あなた自身についておたずねします

(あてはまる番号に○を付けてください。12月1日現在で回答してください。)

問1 あなたの性別は次のどちらですか。

- ① 男 ② 女

問2 あなたの年齢は、次のどの区分ですか。(12月1日現在)

- ① 20～29歳 ④ 50～59歳
② 30～39歳 ⑤ 60～69歳
③ 40～49歳 ⑥ 70歳以上

問3 あなたのお住まいは、次のどの地区ですか。

- ① 大井町 ⑧ 飯地町
② 長島町 ⑨ 岩村町
③ 東野 ⑩ 山岡町
④ 三郷町 ⑪ 明智町
⑤ 武並町 ⑫ 串原
⑥ 笠置町 ⑬ 上矢作町
⑦ 中野方町

問4 あなたの職業は、次のうちどれですか。

- ① 農林業
② 会社員・会社役員
③ 自営業(商業・サービス業)
④ 自営業(製造業・建設業)
⑤ 公務員・団体職員
⑥ パート・アルバイト
⑦ 家事専業
⑧ 学生
⑨ 無職
⑩ その他

問5 あなたの恵那市での居住年数(通算)は、次のうちどれですか。

- ① 1年未満 ④ 10～14年
② 1～4年 ⑤ 15～19年
③ 5～9年 ⑥ 20年以上

問6 あなたのお住まいの形態は、次のうちどれですか。

- ① 1戸建て(持ち家)
② 1戸建て(借家)
③ 民間アパート・マンション
④ 市営住宅・雇用促進住宅など
⑤ 社宅・寮
⑥ その他

問7 あなたの同居している家族構成は、次のうちどれですか。

- ① 単身
② 夫婦のみ
③ 2世代(親・子)
④ 3世代(親・子・孫)
⑤ その他()

問8 あなたの同居家族に次の方はいますか。(該当するすべてに○)

- ① 就学前の子ども(0～5歳)
② 小学生
③ 中学生
④ 65歳以上

◎市政についての満足度と重要度についておたずねします

問9		(1) 満足度					(2) 重要度					
		満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満	高い	やや高い	どちらともいえない	やや低い	低い	
「1」～「57」のすべての項目について (1)『満足度』の1～5の中から1つに○印 (2)『重要度』の1～5の中から1つに○印 を付けてください												
健康福祉	1	保育サービス・子育て支援	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	2	健康診断・相談、保健予防	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	3	地域の助け合いによる福祉活動	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	4	生活支援・介護など高齢者福祉	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	5	障がい者(児)への福祉サービス	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	6	医療機関(病院・診療所)	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	7	緊急医療体制(夜間・休日・救急)	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
生活環境	8	山林や河川などの自然環境の保全	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	9	まち並み・景観の保全と整備	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	10	公園・緑地など憩いの場	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	11	移住・定住の支援対策	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	12	市営住宅の整備	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	13	地震・災害に対する安心感	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	14	消防体制(署の配置など)	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	15	防犯・治安などの安心感	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	16	上水道・簡易水道の整備	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	17	下水道・農業集落排水・合併処理浄化槽の整備	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	18	し尿収集と処理サービス	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	19	大気汚染・騒音・水質など公害対策	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	20	ごみ収集と処理サービス	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	21	ごみ減量化と資源リサイクル化	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	22	自然エネルギーの活用などの地球温暖化対策	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
都市・交流基盤	23	幹線道路(国道・県道など)の整備	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	24	身近な市道・生活道路の整備、維持管理	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	25	段差や道幅など歩道の安全性	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	26	JR中央線の便利さ	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	27	明知鉄道の便利さ	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	28	バスの便利さ	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	29	情報通信環境の整備	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

「1」～「57」のすべての項目について (1)『満足度』の1～5の中から1つに○印 (2)『重要度』の1～5の中から1つに○印 を付けてください		(1) 満足度					(2) 重要度				
		満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満	高い	やや高い	どちらともいえない	やや低い	低い
産業振興	30 買い物の便利さ	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	31 商店街のにぎわい	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	32 工業の振興対策	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	33 新しい分野の起業家支援	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	34 農業の振興対策	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	35 林業(里山・山林)保全と振興	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	36 魅力ある働く場の確保	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	37 観光施設と誘客PR	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
教育・文化	38 小中学校における教育	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	39 生涯学習施設の数と設備	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	40 生涯学習情報・出前講座メニューの量	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	41 図書館(室)の設備と蔵書数	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	42 学校・地域・家庭の連携	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	43 文化・芸術活動の振興	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	44 文化財の保存・活用	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	45 体育施設の数と設備	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
住民参加	46 地域コミュニティ活動の支援	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	47 市民団体やNPOなどの活発化	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	48 市政に関する市民参加の機会	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	49 市政への市民の意見の反映	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	50 広報による市情報の提供と公開	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	51 市ホームページの内容やデザイン	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	52 男女共同参画の取り組み	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	53 在住外国人との交流や国際交流の推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	54 インターネットでの申請など利便性	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	55 受付・窓口などでの市職員の対応	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	56 健全な財政運営	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
57 行政改革の推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	

****ここからは、個別の施策についておたずねします****

◎人口減少対策についておたずねします

問 10 恵那市の人口減少を食い止めるためには、特に何が必要だと思いますか？

<2 つまでに○印>

- ① 少子化対策（結婚・子育て支援）
- ② 健康寿命の延伸（高齢者支援、健康づくり）
- ③ 魅力づくり対策（歴史・自然・文化の活用、PR）
- ④ 雇用対策（雇用の確保、起業・就職支援、産業の活性化）
- ⑤ 移住・定住対策（移住者支援、三世帯同居支援、宅地開発など）
- ⑥ その他〔具体的に：]

◎健康づくりについておたずねします

問 11 健康づくりを充実するためには、特に何が必要だと思いますか？

<2 つまでに○印>

- ① 健康診断の充実
- ② 健康づくり事業の充実（生活習慣病の予防など）
- ③ 食育の推進（食生活の見直しなど）
- ④ 職場や地域における健康づくりの推進
- ⑤ 医療施設や救急診療、休日・夜間診療体制の充実
- ⑥ リハビリテーションの充実
- ⑦ 手軽にスポーツに親しむことができる環境づくり
- ⑧ その他〔具体的に：]

◎子育てについておたずねします

問 12 安心して子どもを産み育てるためには、特に何が必要だと思いますか？

<3 つまでに○印>

- ① 保育サービスの充実（乳児保育、延長保育、一時保育など）
- ② 子育てに関する情報提供や相談体制の充実
- ③ 母子保健対策の充実（母子健康診断など）
- ④ 放課後児童対策の充実
- ⑤ 子どもが安心・安全に遊べる場所の整備
- ⑥ 子どもの交通安全・防犯対策
- ⑦ 親同士が交流できる機会の充実
- ⑧ 子育て家庭への経済支援
- ⑨ 手助けがほしい家庭を、地域の人が支援する体制の整備
- ⑩ 産科・小児科医療の充実
- ⑪ 不妊治療を含め、妊娠・出産に対する支援の充実
- ⑫ その他〔具体的に：]

◎生活環境についておたずねします

問 13 生活環境を快適にするためには、特に何が重要だと思いますか？

<2 つまでに○印>

- ① 自然環境の保全（山林や里山の整備）
- ② 循環型社会の推進（リサイクル活動など）
- ③ 河川やダム湖などの水質・水辺環境の保全
- ④ まち並み・景観の保全と整備
- ⑤ ごみ問題の改善（不法投棄の防止、ゴミ処理方法の適正化など）
- ⑥ 安心・安全な居住環境の整備と定住促進
- ⑦ 生活道路や歩道の整備
- ⑧ その他〔具体的に： _____〕

◎防災・消防についておたずねします

問 14 地震や大雨などの災害について、あなたが特に不安に感じることは何ですか？

<2 つまでに○印>

- ① 特に不安はない
- ② 指定避難場所がわからない
- ③ 建物・家屋の倒壊
- ④ 避難所までの安全・確実な経路がない
- ⑤ 地震による家具などの転倒
- ⑥ 災害時の、家族との連絡方法
- ⑦ 大雨による浸水被害
- ⑧ 災害に対する地域の取組が希薄
- ⑨ 地滑り・がけ崩れの発生
- ⑩ その他〔具体的に： _____〕

問 15 火災や救急について、あなたが特に不安に感じることは何ですか？

<2 つまでに○印>

- ① 特に不安はない
- ② 消防署が家から遠い
- ③ 建物が密集しており、延焼が不安
- ④ 応急手当に自信がない
- ⑤ 道が狭いなど、緊急車両の到着が不安
- ⑥ 搬送先の病院が、希望に添えるか心配
- ⑦ 初期消火に自信がない
- ⑧ 女性の救急隊員が少ない
- ⑨ 近くに消火栓がない
- ⑩ 119 番のかけ方に自信がない
- ⑪ その他〔具体的に： _____〕

◎公共交通についておたずねします

問 16 公共交通サービスの充実について、あなたが特に望むものは何ですか？

<2 つまでに○印>

- ① 駅周辺の交通環境（タクシー・バス乗り場、交差点等）の整備
- ② JR・民間バスの利便性の向上
- ③ 市が運営する自主運行バスの利便性の向上
- ④ 明知鉄道の利便性の向上
- ⑤ 乗合タクシー※、有償ボランティア輸送など、新たな交通手段の導入
- ⑥ DMV※など新たな公共交通の導入
- ⑦ その他〔具体的に： _____〕

※乗合タクシー：複数の目的地に向かう人が乗り合わせて利用するタクシー

※DMV：鉄道と道路を自由に行き来して走行できる新しい乗り物

◎産業振興についておたずねします

問 17 「活力あるまち」にするためには、特に何が重要だと思いますか？

<2 つまでに○印>

- ① 地産地商(消)^{*}や観光との連携などによる、農林業の活性化
- ② 観光振興を進め、交流人口を増やす
- ③ ブランド品開発や地場産業の活性化
- ④ 企業団地を整備し、企業や工場などの誘致
- ⑤ 新たな産業の育成や起業の支援
- ⑥ 商店街のまち並み整備や、空き店舗対策
- ⑦ 集客力のある大型店舗(ショッピングセンター)などの誘致
- ⑧ その他 [具体的に: _____]

^{*}地産地商(消)：地元の農産物を地域の商店と提携し、消費者に提供する販売方法

◎教育についておたずねします

問 18 小中学校教育を充実するためには、特に何が重要だと思いますか？

<2 つまでに○印>

- ① 子どもの学力の向上
- ② 教職員の資質・指導力の向上
- ③ 子どもの道徳心やしつけの向上
- ④ 学校と地域との関わり
- ⑤ 子どもの個性を育てること
- ⑥ 統合を視野に入れた学校区の検討
- ⑦ いじめや不登校への対応
- ⑧ 特に問題は感じない
- ⑨ 家庭教育と学校教育の連携
- ⑩ その他 [具体的に: _____]

問 19 生涯学習を充実するためには、特に何が重要だと思いますか？

<2 つまでに○印>

- ① 生涯学習講座の充実
- ② 生涯学習体制の充実(指導者の育成)
- ③ 社会教育施設の設備充実
- ④ 文化・芸術活動の推進
- ⑤ 体験学習の充実(社会体験など)
- ⑥ 情報基盤(ケーブルテレビ等)の活用
- ⑦ その他 [具体的に: _____]

◎市民参加や市民協働についておたずねします

問 20 各地域に地域自治区が設けられるなど、市民と行政の協働による地域づくりが進められつつあります。この市民と行政の新しい関係づくりは進んでいると思いますか？

<1 つだけに○印>

- ① 進んでいると思う
- ② どちらかと言えば、進んでいると思う
- ③ どちらともいえない
- ④ どちらかと言えば、進んでいないと思う
- ⑤ 進んでいない
- ⑥ その他 [具体的に: _____]

問 21 あなたは、過去 1 年間に地域のまちづくり活動やボランティア活動に参加しましたか？

【例：自治会行事、清掃活動、消防団、子育て支援、祭りのスタッフなど】

<1 つだけに○印>

- ① 参加した
- ② 参加していない

問 22 あなたは、どのような方法で市政の情報を入手していますか？

<該当するものすべてに○印>

- | | |
|--------------------|-----------------|
| ① 市の発行する広報紙 | ② 市役所や振興事務所の窓口 |
| ③ 市ウェブサイト（ホームページ） | ④ 公共施設のポスター・チラシ |
| ⑤ ケーブルテレビ | ⑥ 新聞、雑誌 |
| ⑦ 告知放送 | ⑧ 自治会の回覧 |
| ⑨ その他〔具体的に： _____〕 | |

問 23 市民の意見を市政に反映するために、特に何が重要だと思えますか？

<2 つまでに○印>

- | |
|------------------------------|
| ① 計画づくりなどで市民参画の機会を充実する |
| ② 市の重要な会議の委員に、公募市民を入れる |
| ③ 市が行う会議の内容を、知ることができる機会を充実する |
| ④ 事業の評価に、市民が加わるようにする |
| ⑤ アンケートや意見箱など、多数の意見を聞く機会を増やす |
| ⑥ 市長や議員が、多くの市民と対話集会する機会を充実する |
| ⑦ 今のままで良い |
| ⑧ その他〔具体的に： _____〕 |

◎行財政運営についておたずねします

問 24 健全で効率的な行財政運営を行うため、市は「行財政改革」に取り組んでいます。そのためには、特に何が重要だと思えますか？

<2 つまでに○印>

- | | |
|--------------------|-------------------------|
| ① 行政組織の簡素化・合理化 | ② 施策・事業の評価や進行管理の徹底 |
| ③ 職員の意識改革 | ④ 重要課題への予算の重点配分や重点投資 |
| ⑤ 自主財源を増やす | ⑥ 内部経費（給与・事務費など）の適正化・削減 |
| ⑦ 公共施設の整理統合や適正配置 | ⑧ 政策立案や予算化の検討を、市民参画で行う |
| ⑨ 民間にできることは民間に任せる | |
| ⑩ その他〔具体的に： _____〕 | |

****ここからは、個別の計画・事業についておたずねします****

◎選挙での投票所の開所時間についておたずねします

問 25 各選挙（衆議院・参議院・市議会議員等）における、投票日当日の投票所の開所時間についてお尋ねします。あなたは、お住まいの地域の投票所の閉鎖時間*を早めることについて、どのように考えますか？

<1 つだけに○印>

- | | |
|--------------------|--------------------|
| ① 閉鎖時間を、2 時間早めても良い | ② 閉鎖時間を、1 時間早めても良い |
| ③ 今までどおりで良い | ④ 特に意見は無い |
| ⑤ その他〔具体的に： _____〕 | |

※現在の投票所の開所時間

●午前 7 時から午後 8 時まで：大井・長島・東野・三郷・武並・岩村

●午前 7 時から午後 7 時まで：笠置・中野方・飯地・山岡・明智・串原・上矢作

◎市議会の活動についておたずねします

問 26 市議会の活動について、主にどこから情報を得ていますか？

＜該当するものすべてに○印＞

- ① 特に情報は得ていない
- ② 市議会ウェブサイト（ホームページ）
- ③ 広報紙「えな議会だより」
- ④ 各議員が発行する議員だより等
- ⑤ 新聞記事
- ⑥ 議員に直接聞いている
- ⑦ 議会報告会
- ⑧ 公共施設に設置されている議会資料
- ⑨ ケーブルテレビ（えなっコチャンネル）の市議会中継
- ⑩ その他〔具体的に： 〕

問 27 市議会では平成 24 年度より本会議の様子をインターネットによるライブ配信、録画配信を行っていますか、ご存知ですか？

＜1 つだけに○印＞

- ① 見たことがある
- ② 知っているが見たことはない
- ③ 知らない

問 28 市議会・議員の活動に対して、特に期待することは何ですか？

＜2 つまでに○印＞

- ① 行政のチェック機能
- ② 議会報告等、市民への説明責任
- ③ 行政とのパイプ役
- ④ 市政に対する政策提言
- ⑤ 地域での相談、調整役
- ⑥ 議会基本条例※を策定し、議会の役割を明確にする。
- ⑦ その他〔具体的に： 〕

※ 議会基本条例：地方議会の運営をどのように行うのかを定めた条例です。地方分権改革により自治体権限が拡大し、議会の役割も大きくなりました。これに対応するため、「議会の役割の明確化」と「議会改革の推進」を図り、活発な論議を促すことを目的として定めるものです。なお、恵那市では、「議会基本条例」は策定されていません。

◎マイナンバー制度に伴う、個人番号カードの活用についておたずねします

問 29 マイナンバー制度に伴い、平成 28 年 1 月から、顔写真付で身分証明書にも利用できる「個人番号カード」の申請・発行が可能となります。「個人番号カード」は IC チップを搭載しているため、様々な分野での活用が期待されています。

この「個人番号カード」を活用して、利用したい行政サービスは何ですか？

＜該当するものすべてに○印＞

- ① 利用したいサービスは無い
- ② 全国のコンビニエンスストアでの、各種証明書（住民票・戸籍・印鑑証明・税証明等）の交付
- ③ 公共施設（図書館・文化センター等）での、自動交付機を使った各種証明書の交付
- ④ 図書館の利用・本の貸し出し（図書館利用カードとして活用）
- ⑤ 検診・健康診断・健康相談・予防接種等の予約
- ⑥ 予防接種の履歴、検診・健康診断の結果の確認
- ⑦ 災害時における、避難者情報の登録や避難場所の確認
- ⑧ わからない
- ⑨ その他〔具体的に： 〕

◎環境問題・環境対策についておたずねします

問 30 環境問題について、特に関心を持っているものは何ですか？

<3 つまでに○印>

- ① 環境問題に関心はない
- ② 河川の汚れ
- ③ 大気の汚れ
- ④ 土壌や地下水の汚れ
- ⑤ ダイオキシン等有害物質による汚染
- ⑥ 地球温暖化
- ⑦ 省資源・省エネルギー
- ⑧ 新エネルギー（太陽光発電、バイオマス※エネルギーなど）
- ⑨ 森林・河川・農地などの荒廃
- ⑩ 生態系の変化（貴重な動植物の減少、外来生物の増加など）
- ⑪ 家庭ごみの増加
- ⑫ 廃棄物の不法投棄
- ⑬ その他〔具体的に：]

※バイオマス：化石燃料を除いた再生可能な生物由来の有機資源

問 31 環境を守るために、あなたが普段の生活で行っていることはありますか？

<該当するものすべてに○印>

- ① 特に行っていることはない
- ② 地産地消や旬を重視して買い物をする
- ③ 環境に優しい商品・サービスを選ぶ（リサイクル商品、カーボン・オフセット※商品等）
- ④ 節電行動（電化製品の主電源を切ったり、テレビの視聴を控える等）
- ⑤ 節水行動（風呂水の再利用や、シャワーを控えるなど）
- ⑥ 家族が皆で集まって過ごしたり、空調の効いた場所等に出かける
- ⑦ 省エネ家電やLED電球への交換
- ⑧ 緑のカーテン、すだれやよしず、遮熱フィルム（カーテン）等の取り付け
- ⑨ できるだけ公共交通機関や自転車を利用
- ⑩ 自動車の運転は、エコドライブを心がける
- ⑪ マイバッグを持参したり、過剰包装を断る
- ⑫ 家庭から出る生ごみを、たい肥化する
- ⑬ その他〔具体的に：]

※カーボンオフセット：商品の売上を植林やクリーンエネルギー事業に投資して、排出したCO₂を相殺（オフセット）する仕組み

問 32 ごみを減らすために、特に何が重要だと思いますか？

<3 つまでに○印>

- ① わからない
- ② 日常生活でごみを減量する（レジ袋をもらわないなど）
- ③ 長持ちする製品を購入し、壊れても修理して使う
- ④ 再生原料を使用した製品や、リサイクルしやすい製品を購入する
- ⑤ 事業者が、長く利用できる製品やリサイクルしやすい製品の開発や提供を行う
- ⑥ 事業者が、生産から廃棄まで責任を持ち、資源ごみの回収などを行う
- ⑦ 行政が、資源回収しやすい取組を進める
- ⑧ 行政が、ごみの分別収集を徹底し、ルールが守られていないゴミは収集しない
- ⑨ 行政が、ごみ収集の有料化やデポジット（リサイクルによる返金制度）を導入する
- ⑩ その他〔具体的に： 〕

問 33 水の環境を守るために、行政が特に何を行うべきだと思いますか？

<3 つまでに○印>

- ① わからない
- ② 森林や里山、農地の保全
- ③ 工場等の排水への規制・監視の強化
- ④ 身近な水辺の整備（親水空間づくり）
- ⑤ 下水道、浄化槽などの整備
- ⑥ 家庭での生活排水対策の普及・啓発
- ⑦ 水質浄化等の技術開発
- ⑧ 環境保全する企業・団体等への支援・連携
- ⑨ 行政が行うことは特に無い
- ⑩ その他〔具体的に： 〕

問 34 環境教育を進めるために、行政が特に何を行うべきだと思いますか？

<1 つだけに○印>

- ① わからない
- ② 学校での環境教育の充実
- ③ 自身が学習するための教材の充実
- ④ 環境教育の講座や研修の充実
- ⑤ 環境教育の広報・PR活動
- ⑥ 環境学習を行うための施設の整備・充実
- ⑦ 教育を行う人材の育成
- ⑧ 教育を行う人材同士のネットワークの構築
- ⑨ 行政が行うことは特に無い
- ⑩ その他〔具体的に： 〕

◎男女共同参画についておたずねします

問 35 男女共同参画について、どの程度知っていますか？

<1 つだけに○印>

- ① 言葉を聞いたことがあり、内容も知っている
- ② 言葉は聞いたことがあるが、内容はよく知らない
- ③ 言葉を聞いたことがない

問 36 「男は仕事、女は家庭」という考えについて、どのように思いますか？

<1 つだけに○印>

- ① 「男は仕事、女は家庭」がよい
- ② 男女とも仕事をするが、家事・育児・介護は女性の役割である
- ③ 男女とも仕事をし、家事・育児・介護の役割も分かち合うのがよい
- ④ 「女は仕事、男は家庭」がよい
- ⑤ その他〔具体的に： 〕

